

Video Communication System

クイックスタートガイド

最初にお読みください！

JP

Quick Start Guide

Please read it before proceeding!

GB

Guide de démarrage rapide

Lisez-le avant de continuer!

FR

Kurzanleitung

Lesen Sie sie bitte, bevor Sie fortfahren!

DE

Guía de inicio rápido

Lealo antes de continuar!

ES

Guida introduttiva

Leggere attentamente prima di procedere!

IT

快速入门指南

敬请操作之前阅读！

CS

Guia de Início Rápido

Leia antes de continuar!

PT

IPELA



PCS-TL33

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～6 ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは



- ❶ 電源を切る。
- ❷ 電源コードや接続コードを抜く。
- ❸ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる場合があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



接触禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く

目次

⚠ 警告.....	4
⚠ 注意.....	5
付属の説明書について.....	7
本機の特長.....	7
持ち運びのできる一体型	
ビデオコミュニケーションシステム.....	7
使いやすいユーザーインターフェース.....	7
コンピューターディスプレイとしても	
使用可能.....	8
付属品を確認する.....	8
各部の名称と働き.....	9
インジケータの名称と機能.....	10
システムの接続.....	11
接続端子の使いかた.....	11
接続上のご注意.....	11
接続例（単独で使用）.....	12
コンピューターとの接続例	
（マウスを個別に使用）.....	12
コンピューターとの接続例（マウスを共用）.....	12
電源を入れる / 切る.....	13
レンズカバーを開ける.....	13
電源を入れる.....	13
初期設定ウィザード.....	14
電源を切る.....	14
スタンバイ状態にする.....	14
ビデオ会議画面とコンピューター画面を	
切り換える.....	15
本機の高さを調節するには.....	16
本機の性能を維持するために.....	16
使用・保管場所について.....	16
液晶画面について.....	16
CMOS センサー特有の現象.....	17
内蔵スピーカーについて.....	17
お手入れについて.....	17
仕様.....	17
RGB 入出力仕様.....	19

このクイックスタートガイドには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。このクイックスタートガイドをよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

また、付属の CD-ROM には、本機のより詳しい情報を記載した取扱説明書が収録されています。クイックスタートガイドと併せてお読みください。



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。



禁止

AC 電源コードや DC 電源接続コードを傷つけない

AC 電源コードや DC 電源接続コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、コードが傷んだら、ソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。



禁止

雨のあたる場所や、油煙、湯気、ほこりの多い場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない

感電の原因になります。



禁止

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電したり本機が故障することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐためにネットワークケーブルや電源プラグを抜いてください。また、雷が鳴りだしたら、本機には触らないでください。



禁止

たこ足配線をしない

配線器具をたこ足配線して定格を超えた電流が流れると、火災などの原因となります。



指示

AC アダプターの AC プラグ、DC プラグは根元まで差し込む

しっかり根元まで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



禁止

ネットワークコネクタに指定以外のネットワークや電話回線を接続しない

本機のネットワークコネクタに次のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T と 100BASE-TX タイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

また、ネットワークコネクタをお使いになるときは、職場などのネットワーク管理者にご相談ください。



下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を
与えることがあります。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、本機内部に熱がこもり、発煙、発火などが起こり、やけどの原因になることがあります。



注意

接続の際は電源を切る

電源を入れたままで電源コードや接続ケーブルを接続すると、感電や故障の原因になることがあります。



指示

付属の AC アダプターや電源コードを使う

付属の AC アダプターや電源コードを使わないと、感電や故障の原因になることがあります。



禁止

付属の AC アダプターは指定された製品以外には使用しない

指定された製品以外に使用すると、故障の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で AC アダプターにさわらない

感電の原因となることがあります。



分解禁止

分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



指示

移動させるときは電源コード、接続コードを抜く

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

直射日光に当たる場所、熱器具の近くには置かない

変形したり、故障したりするだけでなく、レンズの特性により火災の原因となります。特に窓際に置くときなどご注意ください。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

通電中の本体や AC アダプターに長時間触れない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



注意

排気口からの排気に長時間あたらぬ

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。

この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。



プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときは電源ケーブルや AC アダプターのプラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため AC アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。



注意

ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。

ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本システムの使用をやめて休息してください。

万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは、医師の診察を受けてください。



禁止

製品の上に乗らない、重いものを乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面はガラスでできています。

重い物をのせたり、落としたり、画面を強打したりしないでください。

強い衝撃を与えると液晶が割れて、故障やけがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく接続・配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかかったりするような恐れのある場所を避け、十分注意して接続・配置をしてください。



注意

転倒、移動防止の処理をする

本製品をラックに取り付けたり、取り外すときは、転倒・移動防止の処置をしないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。安定した姿勢で注意深く作業してください。また、ラックの設置状況、強度を十分にお確かめください。

付属の説明書について

本機には、このクイックスタートガイドをはじめとして、次の説明書が付属しています。目的に応じてお読みください。

クイックスタートガイド（本書）

システムの接続方法や、初期設定などを簡単に説明しています。（付属の CD-ROM にも同じクイックスタートガイドが収録されています。）

取扱説明書（付属の CD-ROM 内）

本機の詳しい操作方法や会議に必要なさまざまな設定など、本機の機能をすべて説明しています。

CD-ROM の動作環境

付属の CD-ROM を動作させるには、次の環境が必要です。

- コンピューター：Intel® Pentium® プロセッサ搭載のコンピュータ
 - －搭載メモリー：64 MB 以上
 - －CD-ROM ドライブ：8 倍速以上
 - ディスプレイモニター：解像度 800 × 600 ドット以上
 - OS：Microsoft® Windows® XP Professional または Windows XP Home Edition
- 上記の条件を満たさない環境では、CD-ROM の動作が遅くなったり、まったく動作しない場合があります。

準備

付属の CD-ROM に収録されている取扱説明書を使用するためには、以下のいずれかのソフトウェアがコンピューターにインストールされている必要があります。

- Adobe® Acrobat® Reader 4.0 以上
- Adobe Reader 6.0 以上

メモ

Adobe Reader がインストールされていない場合は、下記の URL よりダウンロードできます。

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

取扱説明書の見かた

- 1 CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM 「Manuals for Video Communication System」を挿入する。

しばらくすると、画面に CD-ROM の内容が表示されます。

- 2 「Japanese」というファイル名の PDF をダブルクリックする。

Adobe Reader が起動し、本機の取扱説明書の表紙が画面に表示されます。

「目次」の各項目をクリックすると、その見出しのページが表示されます。

- Adobe、Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation のアメリカ合衆国および他の国における登録商標です。
- Intel、Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- “IPELA” および **IPELA** はソニー株式会社の商標です。

本機の特長

ビデオコミュニケーションシステム PCS-TL33 は、ネットワークを通じ映像と音声を送受信することにより、相手側と同席しているかのように会議ができるビデオ会議システムです。日本国内だけでなく、海外とも簡単に接続できます。

持ち運びのできる一体型ビデオコミュニケーションシステム

カメラ、モニター、コーデック部からマイク、スピーカーまでが小型のキャビネットに一体化されており、小型軽量なので、簡単に持ち運びができます。また、VESA マウントに対応しており、さまざまな場所に設置できるため、会議の場所を選びません。

17 型ワイドディスプレイとデジタルパン・チルト・ズーム対応カメラを内蔵しています。

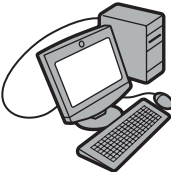
使いやすいユーザーインターフェース

ユーザーインターフェースに透過型のデザインを採用し、付属のマウスを使用して操作を行います。また、ディスプレイには、操作案内用のメッセージとヘルプが表示されません。

コンピューターディスプレイとしても使用可能

本機は、単独で使用するだけでなく、コンピューターと接続してディスプレイとしても使用できます。コンピューターと接続する場合は、本機とコンピューターのそれぞれにマウスを接続するか、1つのマウスを共用します。

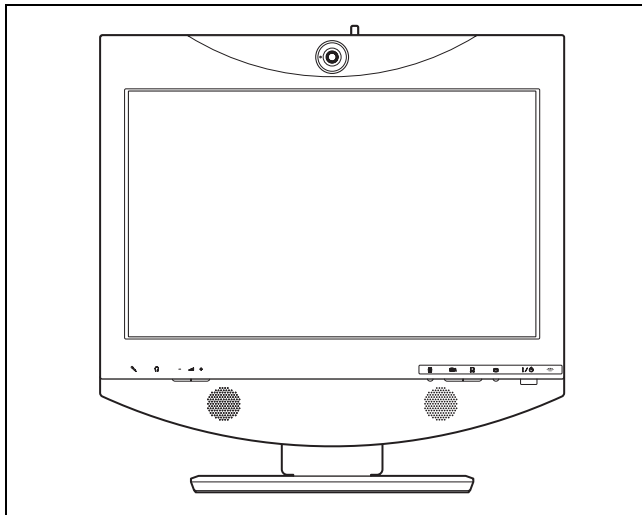
別売りのデータソリューションモジュール PCSA-DSM1 を使用して、ディスプレイに表示されているコンピューターの画像をビデオ会議の相手に伝送できます。

単独で使用	コンピューターと接続して使用（個別にマウスを使用）	コンピューターと接続して使用（マウスを共用）
		

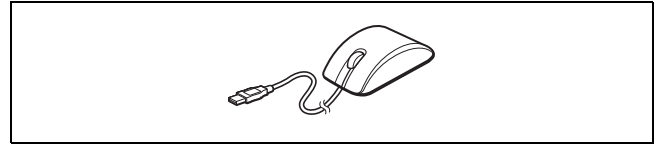
付属品を確認する

梱包箱から取り出したら、以下のものが揃っているか確認してください。

- PCS-TL33 本体 (1)



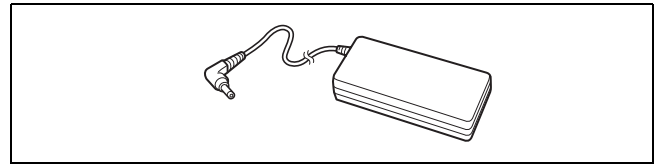
- オプティカルマウス PCS-RMU1 (1)



ご注意

光学センサーの特性上、透明な素材や光を反射する素材（ガラス・鏡など）の上では正しく動作しない場合があります。その場合は、このような素材の上を避けるか、市販の光学マウス対応マウスパッドなどをご使用ください。ただし、マウスパッドの色や材質などにより、正しく動作しない場合があります。

- AC アダプター VGP-AC19V15 (1)



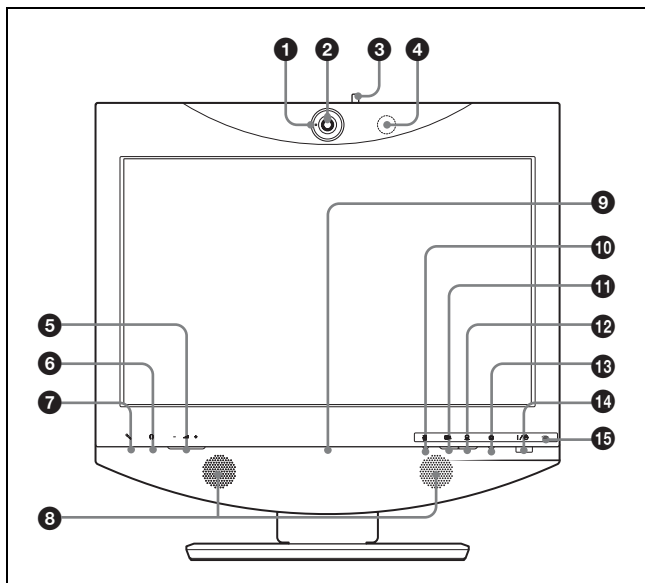
- 電源コード (1)
- クイックスタートガイド（本書）(1)
- CD-ROM（取扱説明書）(1)
- B&P ワランティブックレット (1)
- 保証書 (1)

ヒント

付属の CD-ROM には、本機の詳しい操作方法やさまざまな設定方法が記載されている「取扱説明書」(PDF) が収録されています。

各部の名称と働き

前面



① タリーランプ

相手側に自分の映像が送信されているときに点灯します。

② カメラレンズ

③ レンズカバー開閉レバー

カメラを隠すカバーを開閉します。

④ マイク

⑤ ㄥ (音量) ボタン

音量を調整します。

+: 音量が大きくなります。

-: 音量が小さくなります。

⑥ ㊦ (ヘッドホン) 端子 (ステレオミニジャック)

ヘッドホン (市販) と接続します。

⑦ ㄩ (マイク) 端子 (ミニジャック)

別売りのマイクロホン PCS-A1 または PCSA-A3 を接続します。

⑧ スピーカー

⑨ オンラインランプ

主に、発着信についての状態を示します。

⑩ ㊦ (マイクオフ) ボタンとインジケーター

自分側からの音声を相手に送るのを中断するときに押します。再び音声を相手に送るときは、もう一度押します。

⑪ ㊦ (ビデオ会議) ボタンとインジケーター

コンピューター画面からビデオ会議画面に切り換えるときに押します。

⑫ ㊦ (PC) ボタンとインジケーター

コンピューター画面に切り換えるときに押します。

⑬ ㊦ (メニュー) ボタン

設定メニューを表示するときに押します。

通話中に 3 秒間押し続けると DTMF 用ソフトキーボードが表示されます。

⑭ ㊦ (電源) スイッチとインジケーター

本機の電源を入 / 切します。

PC モードでコンピューターディスプレイとして使用中は、スイッチを一度押すと電源が切れます。

VC モードでスイッチを一度押すとスタンバイ状態になります。電源を切るときは、5 秒以内にもう一度押してください。

ご注意

通話中は、電源スイッチは機能しません。

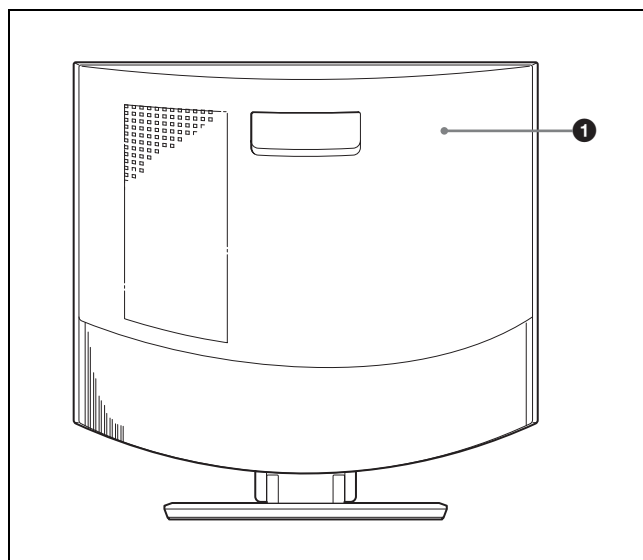
⑮ ㊦ メモリースティックインジケーター

メモリースティックスロットの状態を表します。

ご注意

点灯中はメモリースティックを抜かないでください。

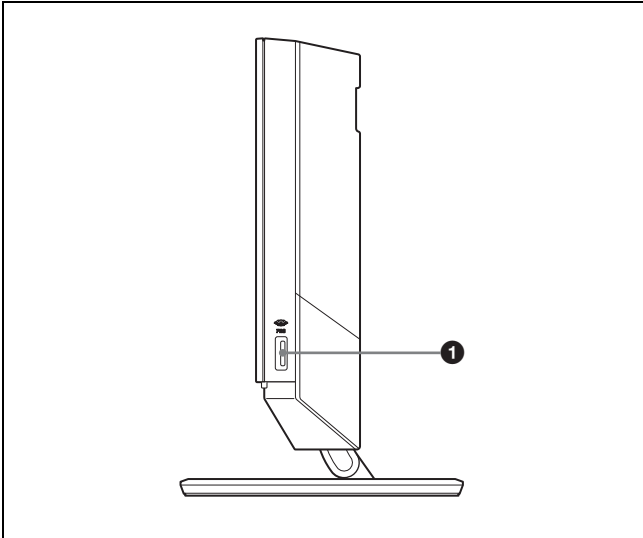
後面



① リアカバー

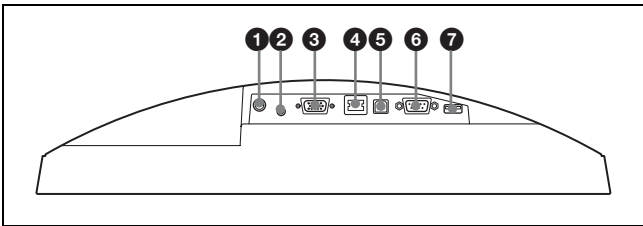
リアカバーをはずすと、内部にコネクターパネルがあります。また、内部にはスタンド部分とディスプレイ部分の接続部があり、ネジ留め位置を変えると高さを調節できます。

右側面



① メモリースティックスロット
“メモリースティック”を挿入します。

コネクターパネル部
(リアカバー内、下から見た図)



- ① DC 19.5V 端子**
付属の AC アダプター VGP-AC19V15 を接続します。
- ② AUDIO IN (PC 用音声入力) 端子 (ステレオミニジャック)**
RGB IN 端子に接続したコンピューターの音声出力端子と接続します。
- ③ RGB IN (RGB 入力) 端子 (ミニ D-sub 15 ピン)**
コンピューターの RGB 出力端子と接続します。
- ④ 100BASE-TX/10BASE-T 端子 (モジュラー端子)**
カテゴリ 5 のケーブルを使ってハブなどに接続します。
リンク・データ・インジケータ (緑) と 100/10 Mbps インジケータ (オレンジ) がついています。
- ⑤ PC 端子**
RGB IN 端子に接続したコンピューターと、マウスを共用する場合に使用します。コンピューターの USB 端子と接続します。

ご注意

USB ケーブルは、長さ 3 m 以下のものをお使いください。

- ⑥ RS232C 端子 (D-sub 9 ピン)**
サービス用です。
- ⑦ マウス端子**
付属のオプティカルマウス PCS-RMU1 を接続します。

インジケータの名称と機能

インジケータ	状態	意味
/ 〇 (電源) *	緑点灯	電源オン
	オレンジ点灯	スタンバイ
	オレンジ点滅 (1 秒周期)	FAN 異常
	消灯	電源オフ
オンライン *	青点滅 (3 回 / 秒)	発着信中
	青イルミネーション点灯	通信中
	消灯	オフライン (不在着信なし) またはスタンバイ
☒ (PC) *	青点灯	コンピューター画面を表示中
	白点灯	ビデオ会議画面を表示中
	消灯	スタンバイ
☒A (ビデオ会議) *	青点灯	ビデオ会議画面を表示中
	白点灯	コンピューター画面を表示中
	消灯	スタンバイ
☒ (マイクオフ) *	オレンジ点灯	マイクオフ
	白点灯	マイクオン
	消灯	スタンバイ
☒ (メモリースティック)	オレンジ点灯	アクセス中
	消灯	非アクセス中
タリーランプ	オレンジ点灯	カメラ映像を相手に送信中 (レンズカバー開)
	オレンジ点滅 (5 秒周期)	Closed 映像を相手に送信中 (レンズカバー閉)
	消灯	カメラ映像送信停止
リンク・データ	緑点灯	リンク・アップ
	緑点滅	データ・アクティブ
	消灯	リンク・ダウン
100/10 Mbps	オレンジ点灯	100 Mbps
	消灯	10 Mbps

* 本体の起動中は点灯します。温度異常を検出すると点滅し、電源を落とします。

システムの接続

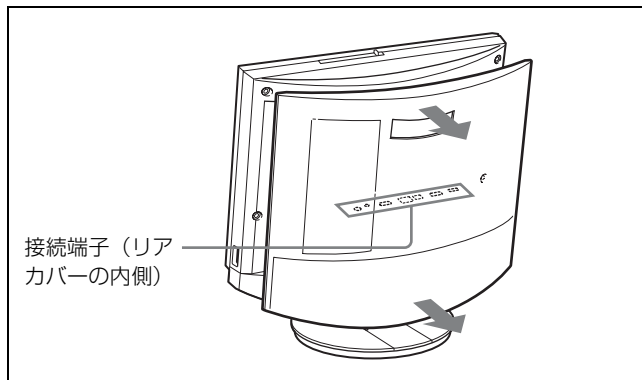
ここでは、代表的なシステムの接続のしかたを説明します。本機は、単独で使用するだけでなく、ビデオ会議をしていないときにはコンピューター用のディスプレイとしても使用できます。コンピューターと接続する場合は、本機とコンピューターのそれぞれにマウスを接続するか、本機とコンピューターを市販の USB ケーブルで接続することによってマウスを共用します。

接続端子の使いかた

接続端子はリアカバーの内側にあります。リアカバーを外してケーブルを接続し、接続終了後に再びリアカバーを取り付けてください。

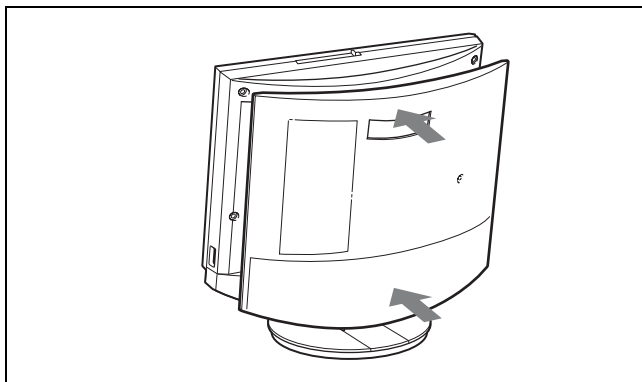
リアカバーを外すには

手前に引っぱります。



リアカバーを取り付けるには

4 か所の突起を合わせ、押し付けます。



接続上のご注意

⚠ 警告

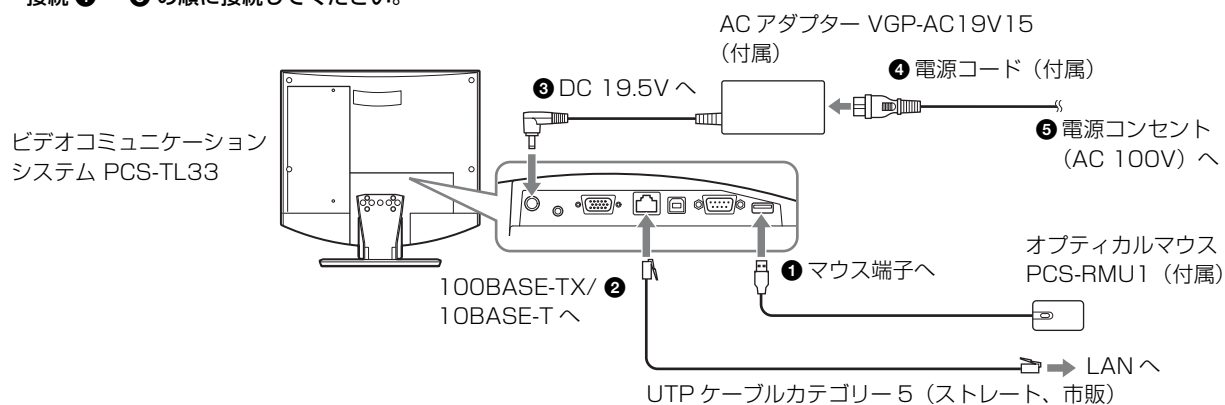
- 必ず本機に付属の AC アダプターと電源コードをご使用ください。
- AC アダプターの AC プラグと DC プラグは根元までしっかり差し込んでください。
- 安全のために、100BASE-TX/10BASE-T 端子を過電圧が加わるおそれのあるネットワークなどに接続しないでください。

⚠ 注意

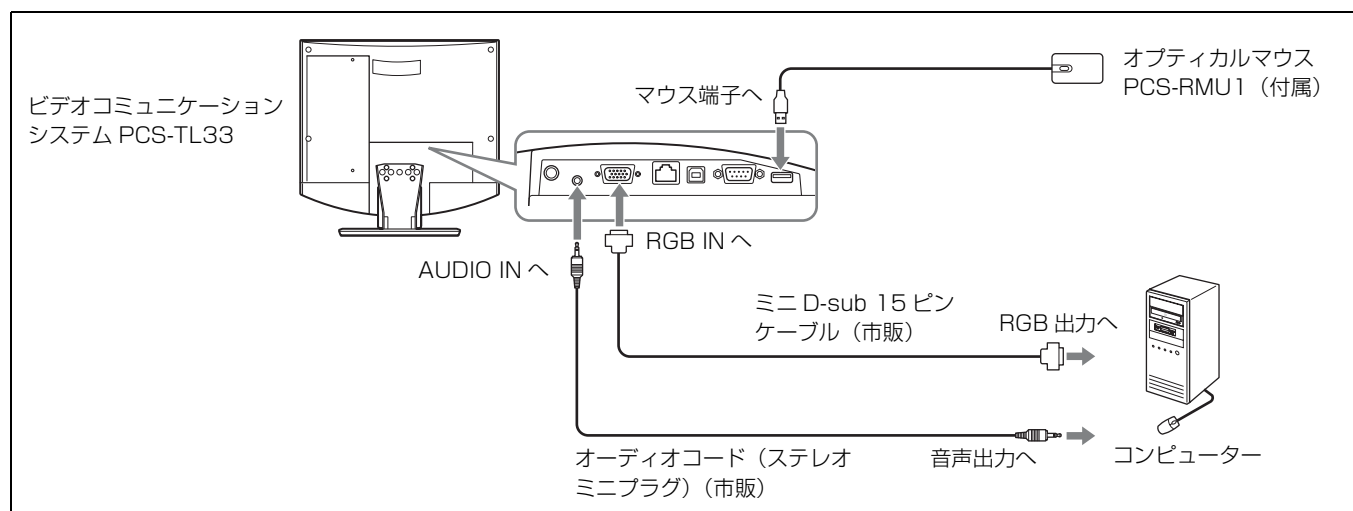
- 接続するときは、必ず各機器の電源を切ってから行ってください。
- 本機が壊れますので、電源を入れたままケーブルを抜き差ししないでください。

接続例（単独で使用）

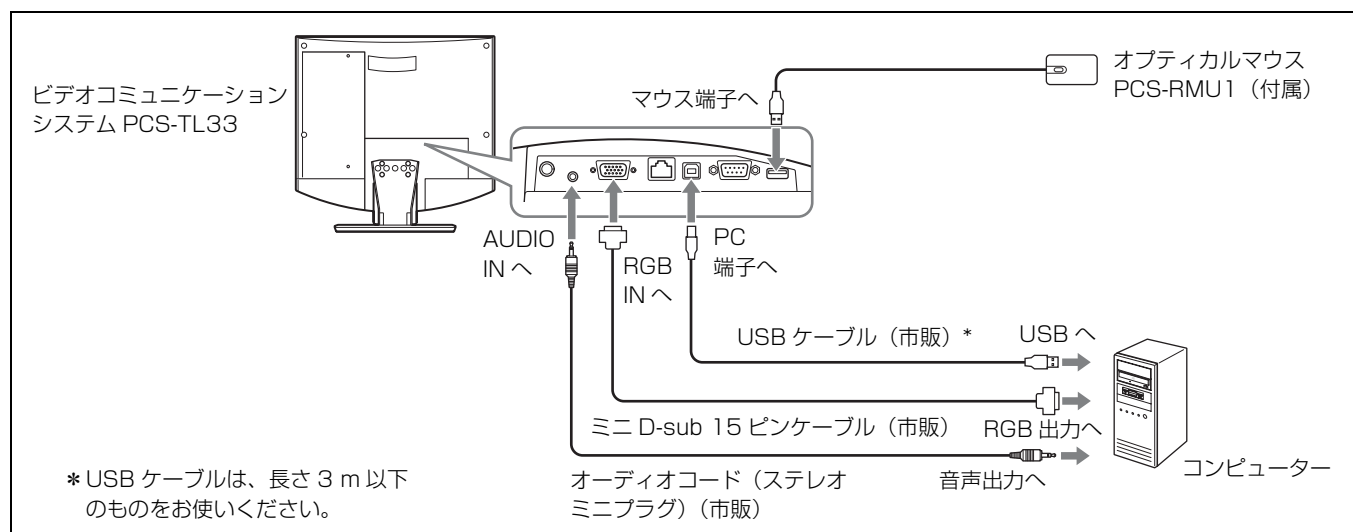
接続 ① ～ ⑤ の順に接続してください。



コンピューターとの接続例（マウスを個別に使用）



コンピューターとの接続例（マウスを共用）



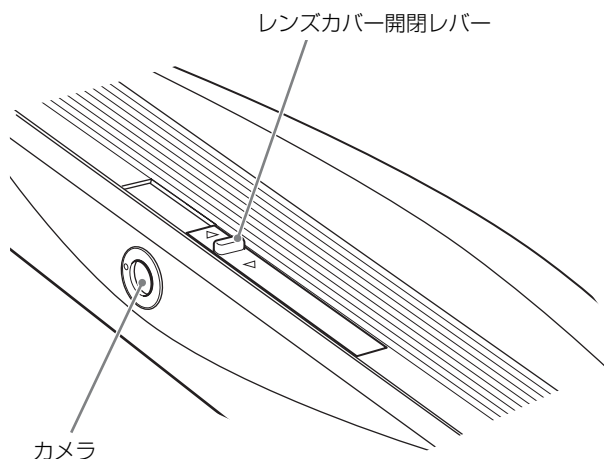
電源を入れる / 切る

本機の電源を入れる前に、システム全体を正しく接続してください。

画面はソフトウェアにより異なることがあります。

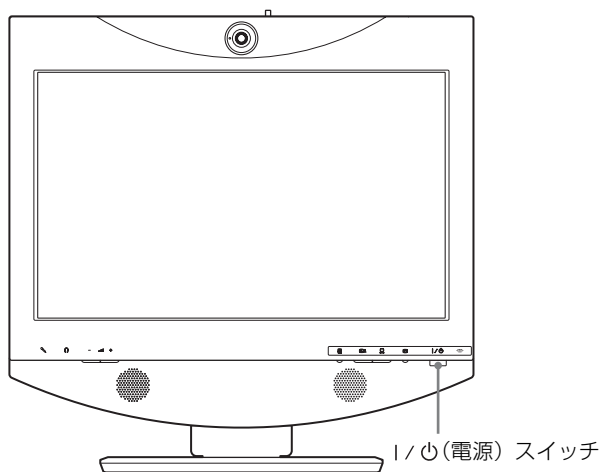
レンズカバーを開ける

本機には、カメラを隠すためのレンズカバーがついています。ビデオ会議を始める前に、本体上部のレンズカバー開閉レバーを右にスライドさせ、必ずレンズカバーを開けてください。レンズカバーが閉まったままでは、自分側の映像が相手に見えません。



電源を入れる

本機のI/O(電源)スイッチを押します。

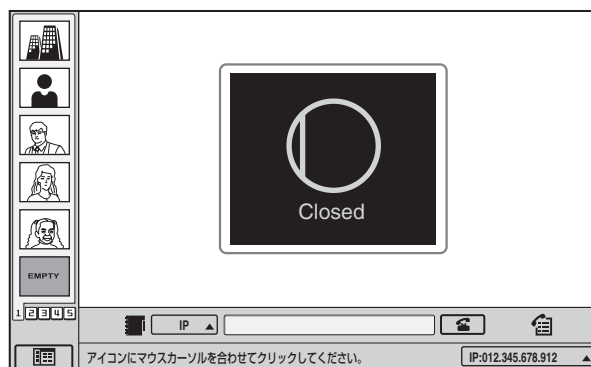


スイッチのインジケーターがオレンジ色に点灯し、本機の電源が入ります。起動が完了すると緑色に点灯します。ディスプレイにはランチャーメニューが表示され、自分側のカメラが写している映像も表示されます。

ランチャーメニュー



レンズカバーが閉まっているときは、ランチャーメニューが次のように表示されます。



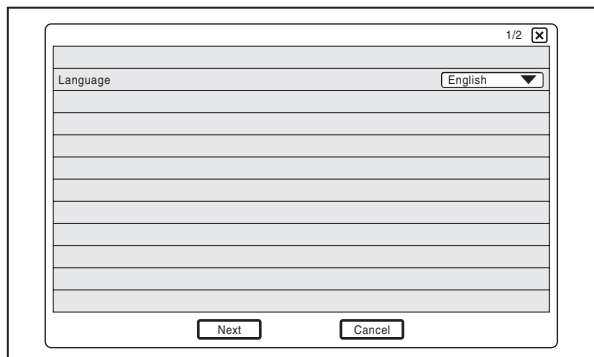
ご注意

- 電源コードをコンセントに差し、最初に電源スイッチを押したときは、スイッチのインジケーターが点灯するまで10秒程度かかることがあります。
- 設置後に初めて電源を入れたときは、初期設定用のウィザードが表示されます。ウィザードに従って設定を行ってください。

初期設定ウィザード

ソフトウェアにより仕様が異なることがあります。

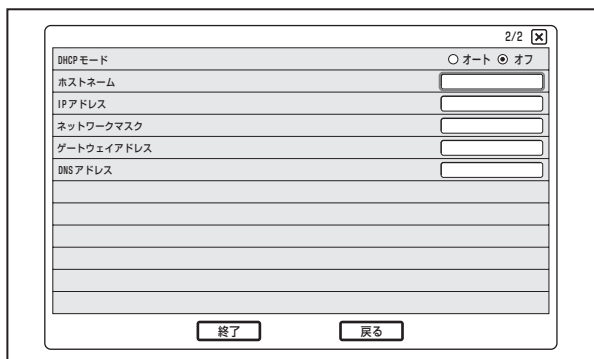
- 1 Language のプルダウンリストからメニューやメッセージに表示する言語を選ぶ。



- 2 「Next」をクリックする。
- 3 LAN に関する設定をする。

ご注意

以降は日本語を選択した場合の表示です。



DHCP モード: DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol、動的ホスト設定プロトコル) を設定します。

オート: IP アドレスとサブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS アドレスを自動的に取得します。

オフ: DHCP を「オフ」に設定します。「オフ」にしたときは、IP アドレスとサブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS アドレスを入力してください。

ホストネーム: ホスト名を入力します。

IP アドレス: 本機の IP アドレスを入力します。

ネットワークマスク: サブネットマスクを入力します。

ゲートウェイアドレス: デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。

DNS アドレス: DNS (Domain Name System) サーバーアドレスを入力します。

◆ LAN の設定方法がわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 4 「終了」をクリックする。

設定が保存されます。

電源を切る

- 1 本機の I/O (電源) スイッチを 2 度押す。

スイッチを 1 度押すと「本体を待機状態にするときはしばらくお待ちください。電源を切る場合は再度電源スイッチを押して下さい。」というメッセージが表示されるので、もう 1 度電源スイッチを押してください。

- 2 会議で使用したその他の機器の電源を切る。

ご注意

- 長期間システムを使わないときは、電源を切っておいてください。ただし、電源を切ると、会議をする相手から呼び出しが受けられません。
- PC モードでコンピューターディスプレイとして使用中は、スイッチを 1 度押すと電源が切れます。
- 通話中は、電源スイッチは機能しません。

スタンバイ状態にする

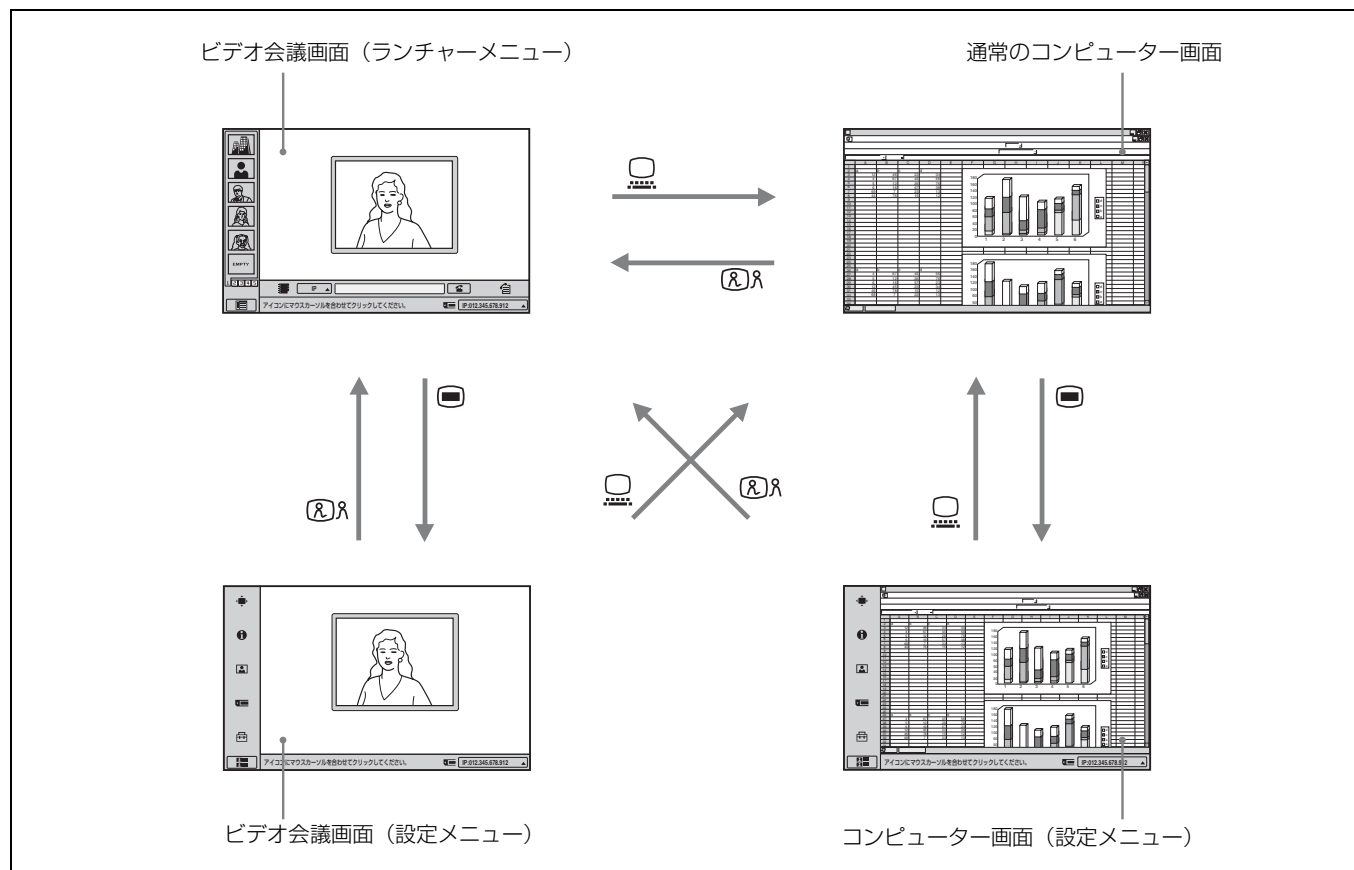
本機の I/O (電源) スイッチを押すと、「本体を待機状態にするときはしばらくお待ちください。電源を切る場合は再度電源スイッチを押して下さい。」というメッセージが表示されます。そのまま本機の操作をしないでいると、スタンバイ状態になります。

スタンバイ状態の場合は、相手からの呼び出しを受けることができます。

スタンバイ状態から復帰させるには、電源スイッチを 1 度押します。

ビデオ会議画面とコンピューター画面を切り換える

本機右下の  (メニュー) ボタン、 (PC) ボタン、 (ビデオ会議) ボタンで、ビデオ会議画面とコンピューター画面を切り換えることができます。



ご注意

- コンピューターと接続していない場合は、 (PC) ボタンを押してコンピューター画面に切り換えると、マウス操作ができなくなります。
- 通話中で子画面を表示している場合は、コンピューター画面に切り換えても子画面が表示されます。ただし、子画面に表示される映像は、相手または自分の映像となります。
- 本機とコンピューターに個別にマウスを接続している場合は、表示中の画面に応じて操作するマウスが異なります。通常のコンピューター画面を表示しているときはコンピューターに接続されているマウスを、その他の画面を表示しているときは本機に接続されているマウスを操作してください。

本機の高さを調節するには

本機のスタンド部分とディスプレイ部分は、ネジで固定されています。出荷時は、3段（25 mm 間隔）のネジ穴のうちディスプレイが一番低い位置に固定されていますが、固定するネジ穴を変えることでディスプレイ部分の高さを調節できます。

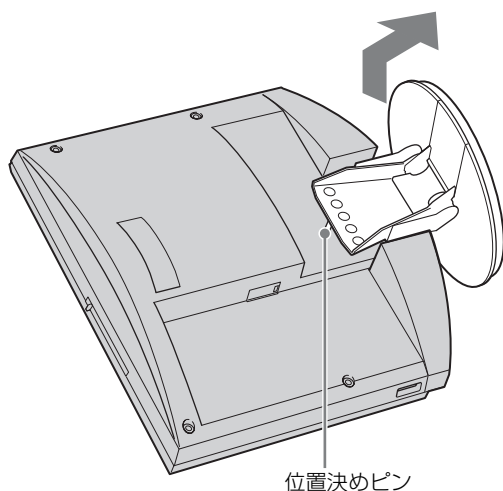
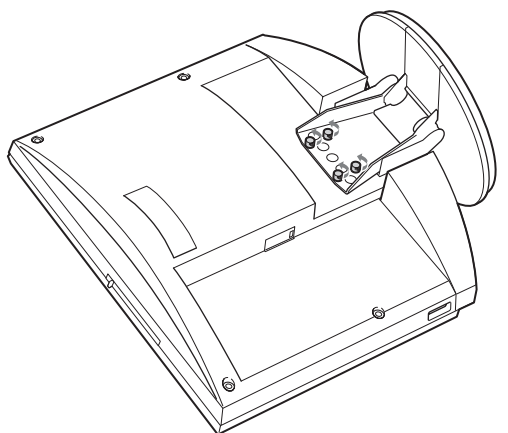
1 本機のリアカバーをはずす。

◆ リアカバーのはずしかたは、11 ページをご覧ください。

2 コインなどでネジ（4 個）をはずし、スタンド部分を持ち上げて、固定したい位置の穴に位置決めピンを差し込む。

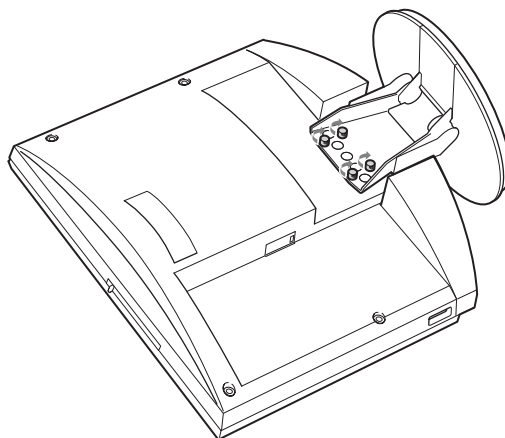
ご注意

高さの調節は、必ず各機器の電源を切り、液晶画面を下にし、柔らかい布等の上に本機を寝かせた状態で行ってください。



位置決めピン

3 コインなどでネジ（4 個）を締め付けてスタンド部分を固定する。



4 本機のリアカバーを取り付ける。

本機のパフォーマンスを維持するために

使用・保管場所について

次のような場所での使用および保管は避けてください。

- 極端に寒いところや暑いところ。
- 湿気、ほこりの多いところ。
- 激しく振動するところ。
- 強い磁気を発生するものの近く。
- 強力な電波を発生する機器やラジオの送信所の近く。
- 雑音が多いところ。

液晶画面について

取扱上のご注意

- 液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。

- ・使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

輝点・滅点について

本機の液晶パネルは有効画素 99.99% 以上の非常に精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

CMOS センサー特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CMOS センサー（Complementary Metal Oxide Semiconductor）特有の現象で、故障ではありません。

白点

CMOS センサーは非常に精密な技術で作られています。宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。

これは CMOS センサーの原理に起因するもので故障ではありません。

また、下記の場合、白点が見えやすくなります。

- ・高温の環境で使用する時
- ・ゲイン（感度）を上げたとき

折り返しひずみ

細かい模様、線などを撮影すると、ぎざぎざやちらつきが見えることがあります。

レーザービームについてのご注意

レーザービームは CMOS センサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOS センサー表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。

内蔵スピーカーについて

スピーカーからは磁気が発生していますので、磁気テープや磁気ディスクなどはスピーカー開口部から離しておいてください。データが破損するおそれがあります。

お手入れについて

- ・お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。また画面の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- ・アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ・殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

仕様

ビデオコミュニケーションシステム PCS-TL33

本機は ITU-T 勧告 H.323 と IETF SIP に準拠しています。ソフトウェアにより仕様が異なることがあります。

動画

動作帯域	64 kbps ～ 2048 kbps
コーディング方式	H.261/H.263/H.263+/H.263++/H.264 (ITU-T 勧告準拠)
	MPEG4 Simple Profile
画素	CIF 352 ピクセル× 288 ライン
	QCIF 176 ピクセル× 144 ライン

静止画

画素	704 ピクセル× 576 ライン
圧縮方式	H.261 (ITU-T 勧告準拠) Annex. D (4CIF)
	H.263 (独自方式)

音声

周波数帯域	14 kHz (MPEG4 Audio)
	7 kHz (G.722 ITU-T 勧告準拠)
	3.4 kHz (G.711/G.728/G.729 ITU-T 勧告準拠)
伝送レート	64 kbps、96 kbps (MPEG4 Audio)
	56 kbps、64 kbps (G.711 ITU-T 勧告準拠)
	48 kbps、56 kbps、64 kbps (G.722 ITU-T 勧告準拠)
	16 kbps (G.728 ITU-T 勧告準拠)
	8 kbps (G.729 ITU-T 勧告準拠)

ネットワーク

多重分離化	映像信号、音声信号、データを多重分離化
-------	---------------------

フレームフォーマット	H.225.0 (ITU-T 勧告準拠)
回線	LAN (100BASE-TX/10BASE-T)
サポート LAN プロトコル	HTTP FTP Telnet RTP/RTCP TCP/UDP SNMP

リモートコントロール

相手カメラコントロール	H.281 (ITU-T 勧告準拠)
-------------	--------------------

カメラ

映像素子	1/3.8 型カラー CMOS
総画素数	約 133 万画素
有効画素数	約 128 万画素
レンズ	焦点距離 f 2.1 mm
F 値	1 : 2.4
画角	水平：約 87° 垂直：約 71°

最至近撮影距離 300 mm

パン・チルト・ズーム機能

デジタル方式

オートホワイトバランス機能搭載

自動露出機能搭載

フレームレート オート（環境照度に合わせ自動切り換え）
/30/15 fps

ディスプレイ

サイズ	17.1 型ワイド
解像度	1280 × 768 (WXGA)
最大画面輝度	410 cd/m ²
応答時間	13 ms
コントラスト比	600 : 1
視野角	176°
発色数	1670 万色

ディスプレイコントローラー

PinP	4 隅
PandP	2 画面 / 3 画面表示
サイドバイサイド	2 画面表示
入力	内部：ビデオ会議用 外部 RGB：コンピューターディスプレイ
ワイド切替	ノーマル、ズーム、ワイド
RGB 切替	640 × 480、800 × 600、1024 × 768、 1280 × 768 など、拡大表示可能

スピーカー

スピーカー	3 W × 2
-------	---------

マイクロホン

周波数帯域	14 kHz
指向特性	単一指向性

その他

電源電圧	DC 19.5 V
消費電流	6.15 A
動作温度	5 °C ~ 35 °C
動作湿度	20% ~ 80%
保存温度	- 20 °C ~ + 60 °C
保存湿度	20% ~ 80%（結露しないこと）
外形寸法	424 × 376 × 95.5 mm（幅 / 高さ / 奥行き）（スタンド除く） 424 × 419 × 258 mm（幅 / 高さ / 奥行き）（スタンド含む）
質量	約 8 kg
付属品	オプティカルマウス PCS-RMU1（1） AC アダプター VGP-AC19V15（1） 電源コード（1） CD-ROM（1） クイックスタートガイド（1） B&P ワランティブックレット（1） 保証書（1）

AC アダプター VGP-AC19V15

電源	AC 100 ~ 240 V、50/60 Hz、 1.6 A ~ 0.7 A
出力	DC 19.5 V、6.2 A
動作温度	5 °C ~ 35 °C
動作湿度	20% ~ 80%
保存温度	- 20 °C ~ + 60 °C
保存湿度	20% ~ 80%（結露しないこと）
外形寸法	155 × 67 × 36.5 mm（幅 / 高さ / 奥行き） （突起部含まず）
質量	約 550 g

マイクロホン PCS-A1（別売り）

周波数帯域	13 kHz
指向特性	無指向性
外形寸法	74 × 16 × 93 mm（幅 / 高さ / 奥行き）
質量	約 170 g
電源	プラグインパワータイプ
ケーブル長	8 m

マイクロホン PCSA-A3（別売り）

周波数帯域	13 kHz
指向特性	単一指向性
外形寸法	68 × 16 × 96 mm（幅 / 高さ / 奥行き）
質量	約 200 g
電源	プラグインパワータイプ
ケーブル長	8 m

データソリューションモジュール PCSA-DSM1（別売り）

消費電力	20 W 以下
動作温度	5 °C ~ 35 °C
動作湿度	20% ~ 80%
保存温度	- 20 °C ~ + 60 °C
保存湿度	20% ~ 80%（結露しないこと）
外形寸法	107 × 250 × 34 mm（幅 / 高さ / 奥行き） （突起部含まず）
質量	約 550 g
付属品	クイックスタートガイド（1） B&P ワランティブックレット（1） 保証書（1）

SIP ソフトウェア PCSA-SP1（別売り）

付属品	シリアル番号シール（1） 取扱説明書（1）
-----	--------------------------

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「JIS C 61000-3-2 準用品」です。
JIS C 61000-3-2 準用品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部：限度値 - 高調波電流発生限度値(1 相当りの入力電流が 20A 以下の機器)」を準用し、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

株式会社リコーが製作、販売したリコービットマップフォントを使用しています。

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

RGB 入出力仕様

表示画素数	備考	水平同期周波数 fH(kHz)	垂直同期周波数 fV(Hz)	ドットクロック (MHz)	同期信号極性
640 × 480	VGA mode	31.469	59.94	25.17	H- 負 V- 負
	Macintosh 13"	35	66.667	30.24	H- 負 V- 負
	VGA VESA 72 Hz	37.861	72.809	31.5	H- 負 V- 負
	VGA VESA 75 Hz	37.5	75	31.5	H- 負 V- 負
	VGA VESA 85 Hz	43.269	85.008	36	H- 負 V- 負
800 × 600	SVGA VESA 56 Hz	35.156	56.25	36	H- 正 V- 正
	SVGA VESA 60 Hz	37.879	60.317	40	H- 正 V- 正
	SVGA VESA 72 Hz	48.077	72.188	50	H- 正 V- 正
	SVGA VESA 75 Hz	46.875	75	49.5	H- 正 V- 正
	SVGA VESA 85 Hz	53.674	85.061	56.25	H- 正 V- 正
1024 × 768	XGA VESA 60 Hz	48.363	60.004	65	H- 負 V- 負
	XGA VESA 70 Hz	56.476	70.069	75	H- 負 V- 負
	XGA VESA 75 Hz	60.023	75.029	78.75	H- 正 V- 正
1280 × 768	WXGA VESA 60 Hz*	47.693	59.992	80.12	H- 負 V- 正

* データソリューションモジュール PCSA-DSM1 での送信はできません。

Owner's Record

The model and the serial numbers are located at the rear. Record the serial number in the space provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No. PCS-TL33 Serial No. _____

WARNING

To reduce a risk of fire or electric shock, do not expose this product to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

WARNING

Use the AC power adapter provided with this equipment as a power supply source.

Manufacture	Type No.
Sony	VGP-AC19V15

Any other power sources may result in hazards such as a fire. Disconnect device of this equipment is the mains plug of the AC adapter.

The mains plug on this equipment must be used to disconnect mains power.

Please ensure that the socket outlet is installed near the equipment and shall be easily accessible.

In the event of abnormal operations, disconnect the mains plug.

NOTICE

Use the power cord set approved by the appropriate testing organization for the specific countries where this unit is to be used.

CAUTION for LAN port

For safety reason, do not connect the LAN port to any network devices that might have excessive voltage.

For the customers in the USA

WARNING

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment.

This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a computing device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

Disposal of the used lamp

For the customers in the USA

Lamp in this product contains mercury. Disposal of these materials may be regulated due to environmental considerations. For disposal or recycling information, please contact your local authorities or the Electronic Industries Alliance (www.eiae.org).

For the customers in Canada

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

For the customers in Europe

The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.

The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the addresses given in separate service or guarantee documents.

For the customers in Europe, Australia and New Zealand

WARNING

This is a Class A product. In a domestic environment, this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures. In the case that interference should occur, consult your nearest authorized Sony service facility.

This apparatus shall not be used in the residential area.

Table of Contents

Supplied Documents.....	22
Features	22
Integrated Portable Video Communication System	22
Intuitive User Interface	22
Using the PCS-TL33 as a Computer Display	23
Verifying Package Contents.....	23
Names and Functions of Parts.....	24
Indicator Names and Functions	25
System Connections.....	26
About the Connectors	26
Connection Precautions	26
Connection Example (Stand-Alone Use)....	27
Connection Example for Use With Computer (Separate Mouse).....	27
Connection Example for Use With Computer (Shared Mouse)	27
Turning the System On/Off.....	28
Opening the Lens Cover	28
Turning the System On.....	28
Initial Setup Wizard.....	29
Turning the System Off	29
Setting the Video Communication System to Standby Mode	29
Switching Between Videoconference Display and Computer Display.....	30
Adjusting the Height of the Display.....	31
Precautions.....	31
Operating or storage location.....	31
LCD screen	31
Phenomena specific to CMOS sensors	32
Built-in speakers	32
Cleaning.....	32
Specifications	32
Acceptable RGB Input/Output Signals.....	35

This Quick Start Guide provides important precautions and product-handling instructions for avoiding accident or injury. To ensure safe operation of the product, read this guide carefully and retain it for future reference.

Also, refer to the operating instructions stored on the supplied CD-ROM for more detailed information about this product. You should refer to this document together with the Quick Start Guide.

Supplied Documents

This product comes with a number of documents, as listed below. Consult the appropriate document(s) according to your requirements.

Quick Start Guide (this document)

Gives basic information about initial settings and how to connect the system. (The supplied CD-ROM also contains an identical Quick Start Guide file.)

Operating Instructions (on supplied CD-ROM)

Provides detailed information about operation procedures and settings necessary for conducting various kinds of videoconference sessions. All functions of the product are covered in this document.

CD-ROM operation requirements

The following system requirements apply for using the CD-ROM.

- Computer: Equipped with Intel® Pentium® processor
 - RAM: 64 MB or more
 - CD-ROM drive: ×8 speed or better
 - Display: Resolution 800 × 600 or better
 - Operating System: Microsoft® Windows® XP Professional or Windows XP Home Edition
- If the above requirements are not met, CD-ROM operation may be slow or not possible.

Preparations

To access the operating instructions on the supplied CD-ROM, one of the following software applications must be installed on the computer:

- Adobe® Acrobat® Reader 4.0 or later
- Adobe Reader 6.0 or later

Note

If Adobe Reader is not installed, you can download it from the following URL:
<http://www.adobe.com>

Viewing the Operating instructions

- 1 Insert the supplied CD-ROM (labelled “Manuals for Video Communication System”) into the CD-ROM drive of the computer.

After a while, a screen listing the contents of the CD-ROM will appear.

- 2 Double-click the PDF with the file name “English”.

Adobe Reader will start up and the first page of the Operating Instructions for the Video Communication System will be shown on the screen.

By clicking on an entry in the “Content” section, you can jump directly to the respective page.

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">• Adobe and Adobe Reader are trademarks of Adobe Systems Incorporated.• Microsoft and Windows are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States of America and other countries.• Intel and Pentium are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation or of its subsidiaries in the United States of America and other countries.• “IPELA” and IPELA are trademarks of Sony Corporation. |
|--|

Features

The PCS-TL33 Video Communication System is a videoconferencing system that allows natural, face-to-face communications with a remote party by transmitting and receiving images and sound via a network. The other party can be located anywhere, including overseas.

Integrated Portable Video Communication System

All necessary elements of the Video Communication System including camera, monitor, codec, microphones and speakers are integrated in a single compact cabinet. This ensures easy portability and lets you set up a videoconference almost anywhere.

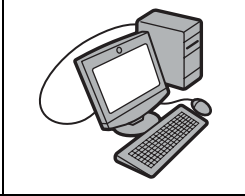
The built-in 17-type display supports wide mode, and the built-in camera is equipped with digital pan/tilt and zoom.

Intuitive User Interface

The user interface employs an overlay design that lets you control operations with a simple click of the supplied mouse. User guidance in the form of messages and on-line help is also provided.

Using the PCS-TL33 as a Computer Display

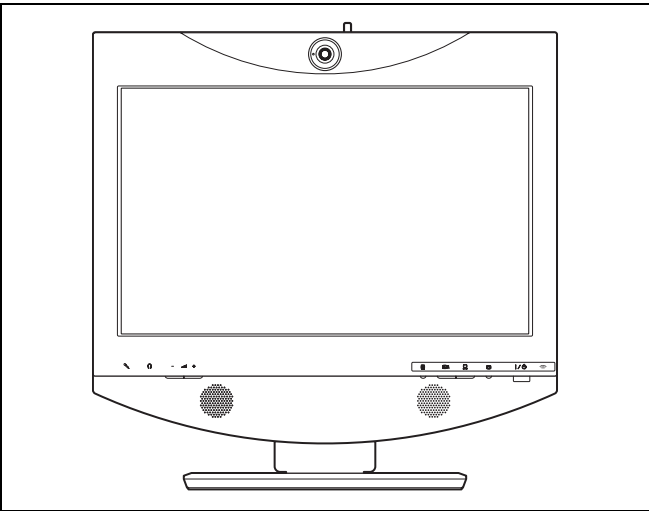
Besides operating in stand-alone mode, it is also possible to connect the PCS-TL33 to a computer. In this case, you can either use different mice for the computer and the PCS-TL33, or use a single mouse for both. The separately available Data Solution Module PCSA-DSM1 lets you transmit the computer screen content on the display to the remote party during a videoconference.

Stand-alone use	Use with a computer and separate pointing devices	Use with a computer and a single pointing device
		

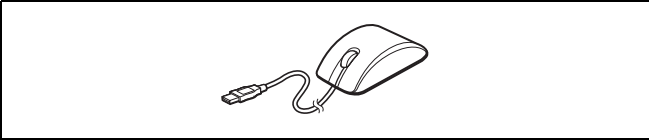
Verifying Package Contents

Once you have unpacked the unit, make sure that all of the following items are present:

- PCS-TL33 main unit (1)



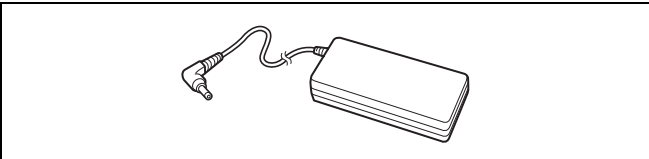
- Optical mouse PCS-RMU1 (1)



Note

Due to the nature of the optical sensor, the mouse may not operate properly on transparent or reflective surfaces (such as glass or mirrors). If the mouse does not operate properly, avoid using these surfaces or use a commercially available optical mouse pad. Depending on the color and material of the mouse pad, however, the mouse may still not operate properly.

- AC adapter VGP-AC19V15



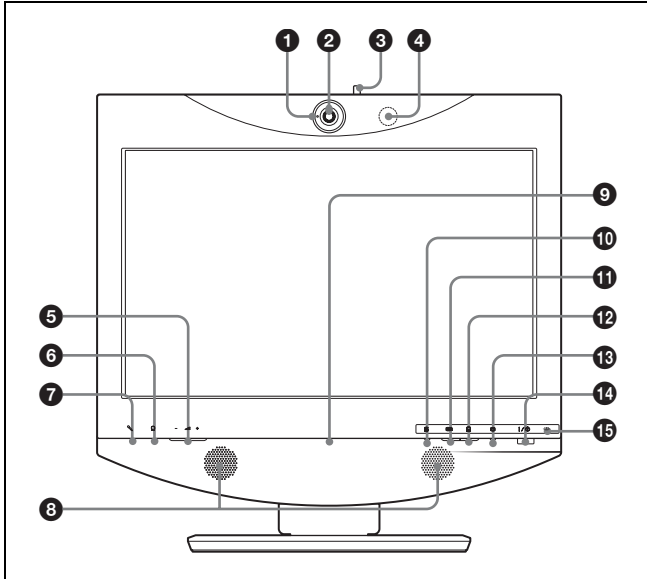
- Power cord (1)
- Quick Start Guide (this document) (1)
- CD-ROM (Operating Instructions) (1)
- Warranty Booklet (1)

Note

The supplied CD-ROM contains the Operating Instructions, which provides detailed information about operation procedures and all settings. This document is supplied as a PDF file.

Names and Functions of Parts

Front view



- 1 Tally lamp**
Lights up when local video is being sent to the remote system.
- 2 Camera lens**
- 3 Lever for lens cover**
Lets you close the camera lens.
- 4 Microphone**
- 5 (Volume) buttons**
Serve to adjust the volume.
+: Increases the volume level.
-: Decreases the volume level.
- 6 (Phones) jack (stereo mini jack)**
Allows connection of a pair of headphones (commercially available).
- 7 (Mic) jack (mini jack)**
Allows connection of the optional microphone PCS-A1 or PCSA-A3.
- 8 Speakers**
- 9 Online lamp**
Shows mainly the incoming/outgoing call status.
- 10 (Mic Off) button and indicator**
Lets you suppress the sound from the local system. Press the button again to resume sending the sound to the remote system.

11 (Videoconference) button and indicator

Serves for switching from computer screen to videoconference screen.

12 (PC) button and indicator

Serves for switching to computer screen.

13 (Menu) button

Press to bring up the Setup menu.

Press and hold this button for 3 seconds during

communication to bring up the DTMF soft keyboard on the screen.

14 (Power) switch and indicator

Turns power to the system on and off.

When using the system as a computer screen in PC mode, pressing the switch once turns the power off.

When using the system in videoconference mode, pressing the switch once sets the system to standby mode. To turn the power off in videoconference mode, press the switch again within 5 seconds of the first press.

Note

The power switch does not function during a communication session.

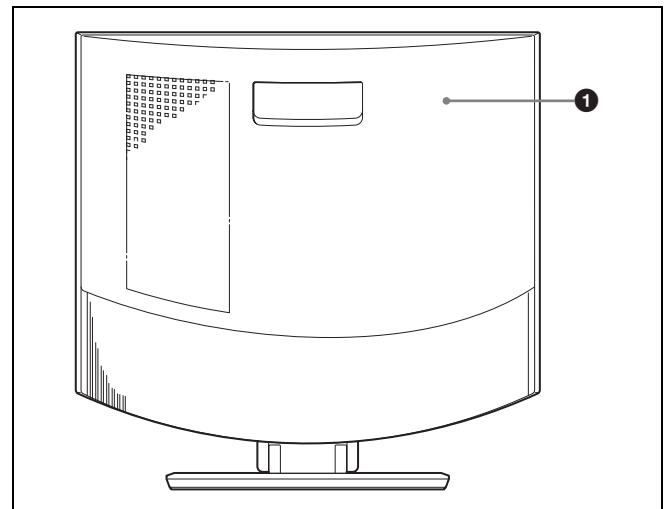
15 “Memory Stick” indicator

Shows the status of the “Memory Stick” slot.

Note

Do not remove the “Memory Stick” when this indicator is lit.

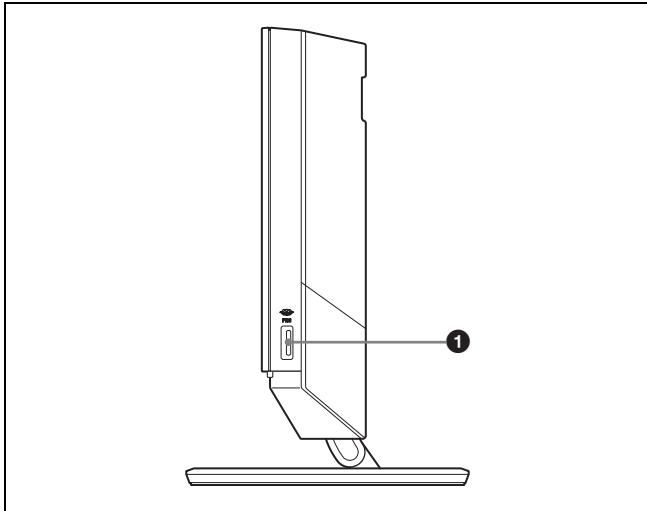
Rear view



1 Rear cover

Removing this cover gives access to the connector panel. The connecting section between the stand and the display is also located behind the panel. You can adjust the height of the display by changing the screw positions.

Right side view

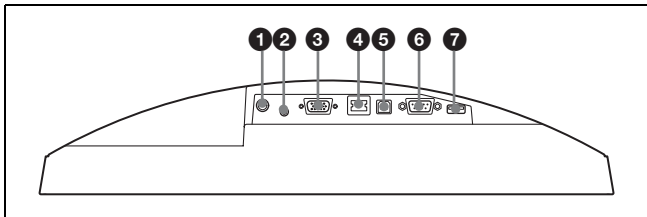


❶ “Memory Stick” slot

A “Memory Stick” can be inserted here.

Connector panel

(section behind rear cover, seen from below)



❶ DC19.5V connector

Connect the supplied AC adapter VGP-AC19V15 here.

❷ AUDIO IN (PC sound input) jack (stereo mini jack)

Connect this jack to the audio output of a computer connected to the RGB IN connector.

❸ RGB IN connector (15-pin mini D-sub connector)

Connect the RGB output of a computer here.

❹ 100BASE-TX/10BASE-T port (modular port)

Use a Category 5 LAN cable to connect this port to a hub or similar equipment.

This port is equipped with a Link/Data indicator (green) and a 100/10 Mbps indicator (orange).

❺ PC port

This connector is used when the same mouse is to be used for the PCS-TL33 and for a computer connected to the RGB IN connector. Link the connector to a USB port on the computer.

Note

Use a USB cable that is 3 m (10 ft.) or shorter.

❻ RS-232C port (9-pin D-sub connector)

This connector is used only for servicing the system.

❼ Mouse port

Connect the supplied optical mouse PCS-RMU1 here.

Indicator Names and Functions

Indicator	Status	Meaning
I / ⏻ (Power) *	Lit green	Power is on
	Lit orange	Standby
	Flashing orange (1-second cycle)	Problem with fan
	Out	Power is off
Online *	Flashing blue (3 times per sec.)	Sending/receiving
	Blue illumination lit	Communication in progress
	Out	Offline (no missed call) or standby
💻 (PC) *	Lit blue	Computer display
	Lit white	Videoconference display
	Out	Standby
👤 (Videoconference) *	Lit blue	Videoconference display
	Lit white	Computer display
	Out	Standby
🔊 (Mic off) *	Lit orange	Mic off
	Lit white	Mic on
	Out	Standby
📶 (“Memory Stick”)	Lit orange	Accessing “Memory Stick”
	Out	Not accessing “Memory Stick”
Tally lamp	Lit orange	Camera image being sent to remote party (lens cover open)
	Flashing orange (5-second cycle)	Closed image being sent to remote party (lens cover close)
	Out	Camera image not being sent
Link/Data	Lit green	Link is established
	Flashing green	Data is transferring
	Out	Link is offline
100/10 Mbps	Lit orange	100 Mbps
	Out	10 Mbps

* The indicator is lit while the system is starting up. If abnormal temperature is detected, the indicator flashes and power turns off.

System Connections

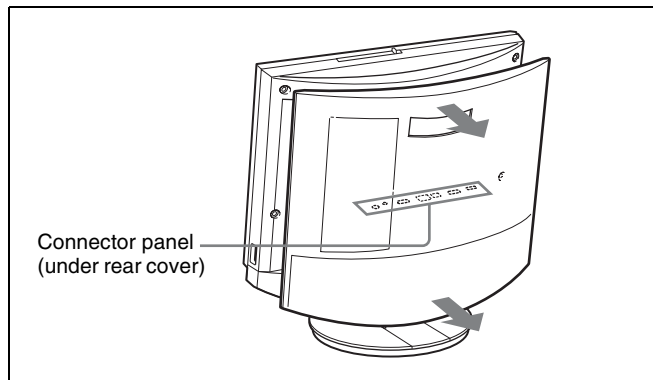
This section describes the typical system connections. Besides operating in stand-alone mode, it is also possible to connect the PCS-TL33 to a computer for use as a display when no videoconference is in progress. In this case, you can either use different mice for the computer and the PCS-TL33, or connect the PCS-TL33 and the computer with a generic USB cable and use the same mouse for both.

About the Connectors

The connectors of the system are located under the rear cover. Remove the cover to make connections, and then replace the cover again.

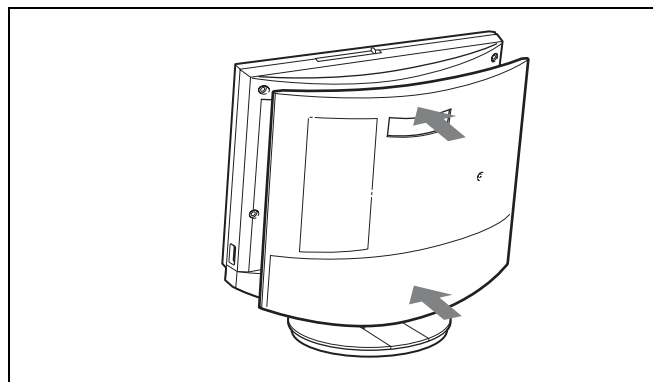
To remove the rear cover

Pull the cover off towards you.



To attach the rear cover

Push the cover in while aligning the four stubs.



Connection Precautions

Warning

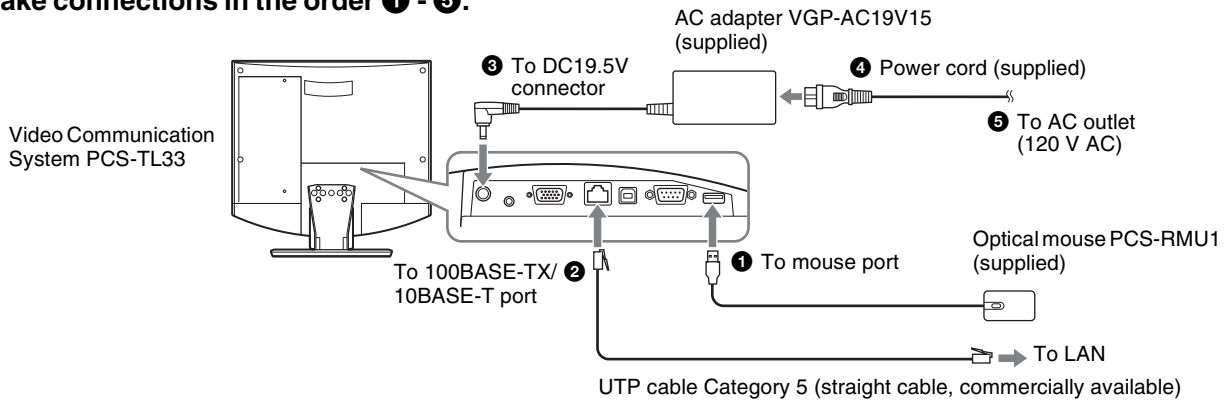
- Use only the supplied AC adapter and power cord.
- When connecting the power cord of the AC adapter and the DC cable, insert the plugs fully and securely.
- For safety, do not connect the 100BASE-TX/10BASE-T connector to a network where excessive voltages may occur.

Caution

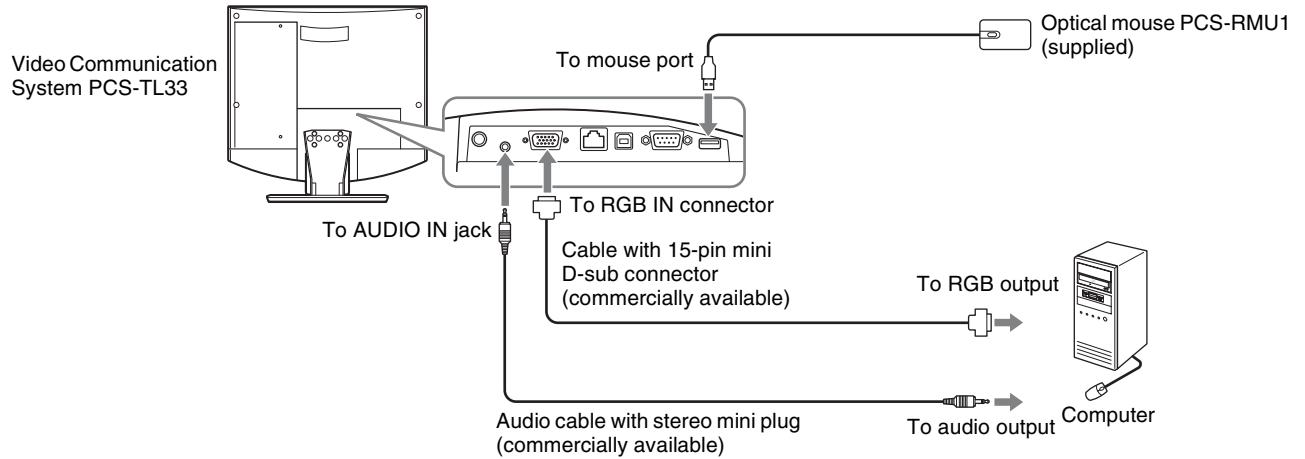
- Before making any connections, be sure to turn power to all components off.
- To prevent damage to the unit, do not plug in or disconnect any cable while power to the unit is turned on.

Connection Example (Stand-Alone Use)

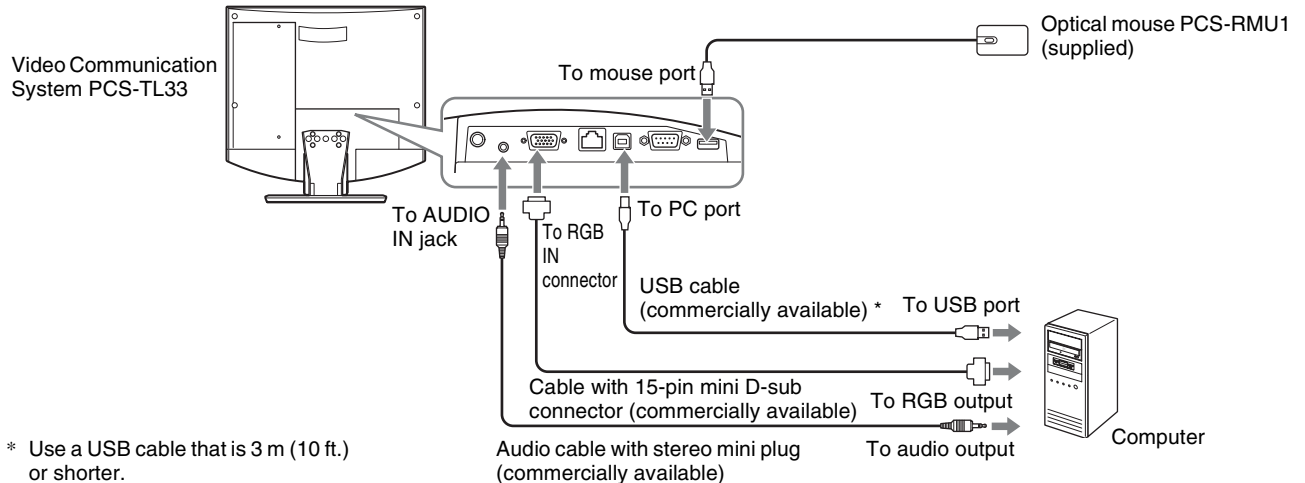
Make connections in the order ❶ - ❺.



Connection Example for Use With Computer (Separate Mouse)



Connection Example for Use With Computer (Shared Mouse)



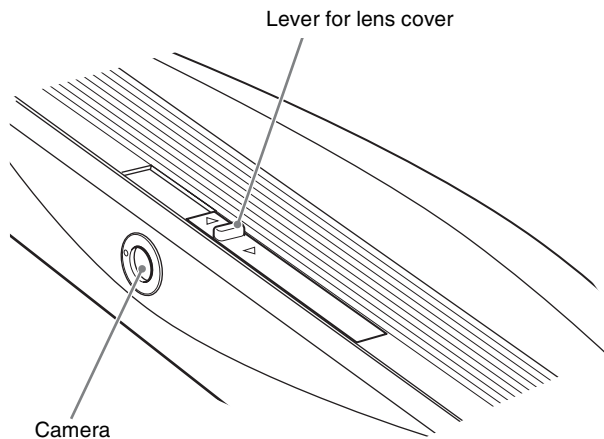
Turning the System On/Off

Before turning the system on, make sure that system connections have been completed correctly.

Screens may appear different from those shown here, depending on the software.

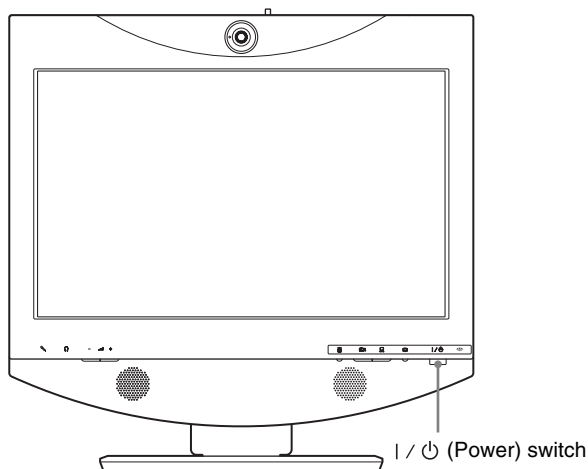
Opening the Lens Cover

The system is equipped with a lens cover to hide the camera. Before starting a videoconference, open the lens cover by sliding the lever for lens cover on the top of the system to the right. If the lens cover is closed, the picture on the local site will not be seen on the remote site.



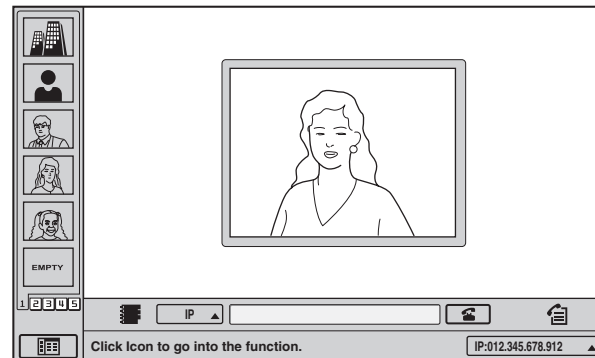
Turning the System On

Press the I / ⏻ (Power) switch on the PCS-TL33.

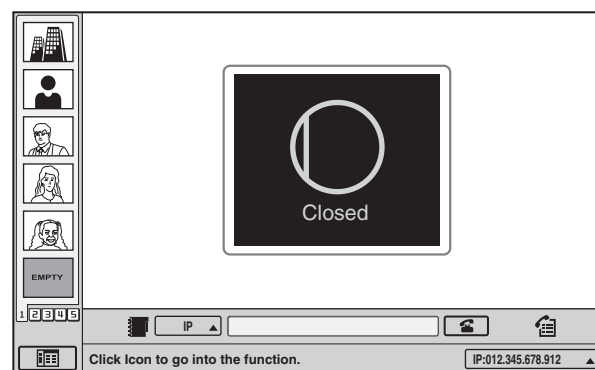


The indicator of the switch lights up in orange and power to the Video Communication System comes on. When powering on is complete, the indicator lights up in green. The launcher menu appears on the display and the picture of the local camera is also shown.

Launcher menu



When the lens cover is closed, the launcher menu appears as follows.



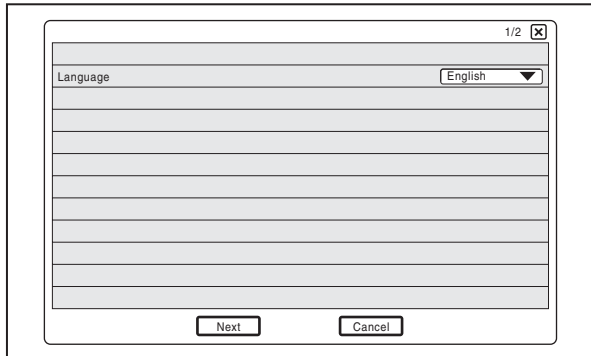
Notes

- The first time the power switch is pressed after the power cord is plugged into a wall outlet, it may take as long as ten seconds for the indicator on the switch to light up.
- When you turn on power to the Video Communication System for the first time after installation, the setup wizard will appear. Set up your system following the wizard.

Initial Setup Wizard

Configuration items may differ depending on the software.

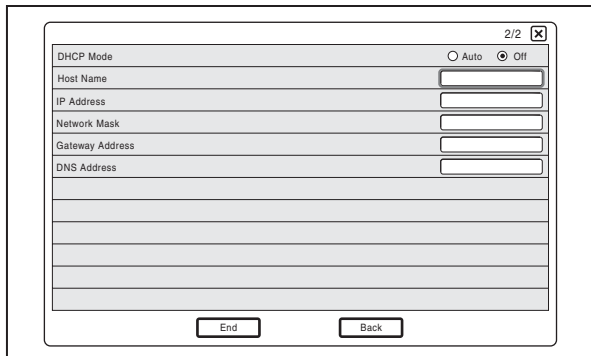
- 1 Select the language used for menus and messages from the “Language” pull-down list.



- 2 Click “Next”.
- 3 Make the required LAN settings.

Note

The following examples assume that English has been selected as display language.



DHCP Mode: Sets the DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol).

Auto: Automatically assigns your IP address, subnet mask, gateway address and DNS address.

Off: Deactivates DHCP. In this case you must set your IP address, subnet mask, gateway address and DNS address manually.

Host Name: Enter your host name.

IP Address: Enter your IP address.

Network Mask: Enter your subnet mask.

Gateway Address: Enter your default gateway address.

DNS Address: Enter your DNS (Domain Name System) server address.

If you do not know the settings required for your LAN configuration, contact your network administrator.

- 4 Click “End”.

The settings are saved.

Turning the System Off

- 1 Press the I / O (Power) switch twice.

After pressing the switch once, the message “To enter standby mode, wait for a few moments. To turn off the power, press the power switch again.” appears. Press the power switch again.

- 2 Turn off the power of other equipment used for the videoconference.

Notes

- Turn the power to the system off when the system will not be used for an extended period. While the power is off, you cannot receive a call from a remote party.
- When using the system as a computer display in PC mode, the power turns off with one press of the power switch.
- During a conference, the power switch does not function.

Setting the Video Communication System to Standby Mode

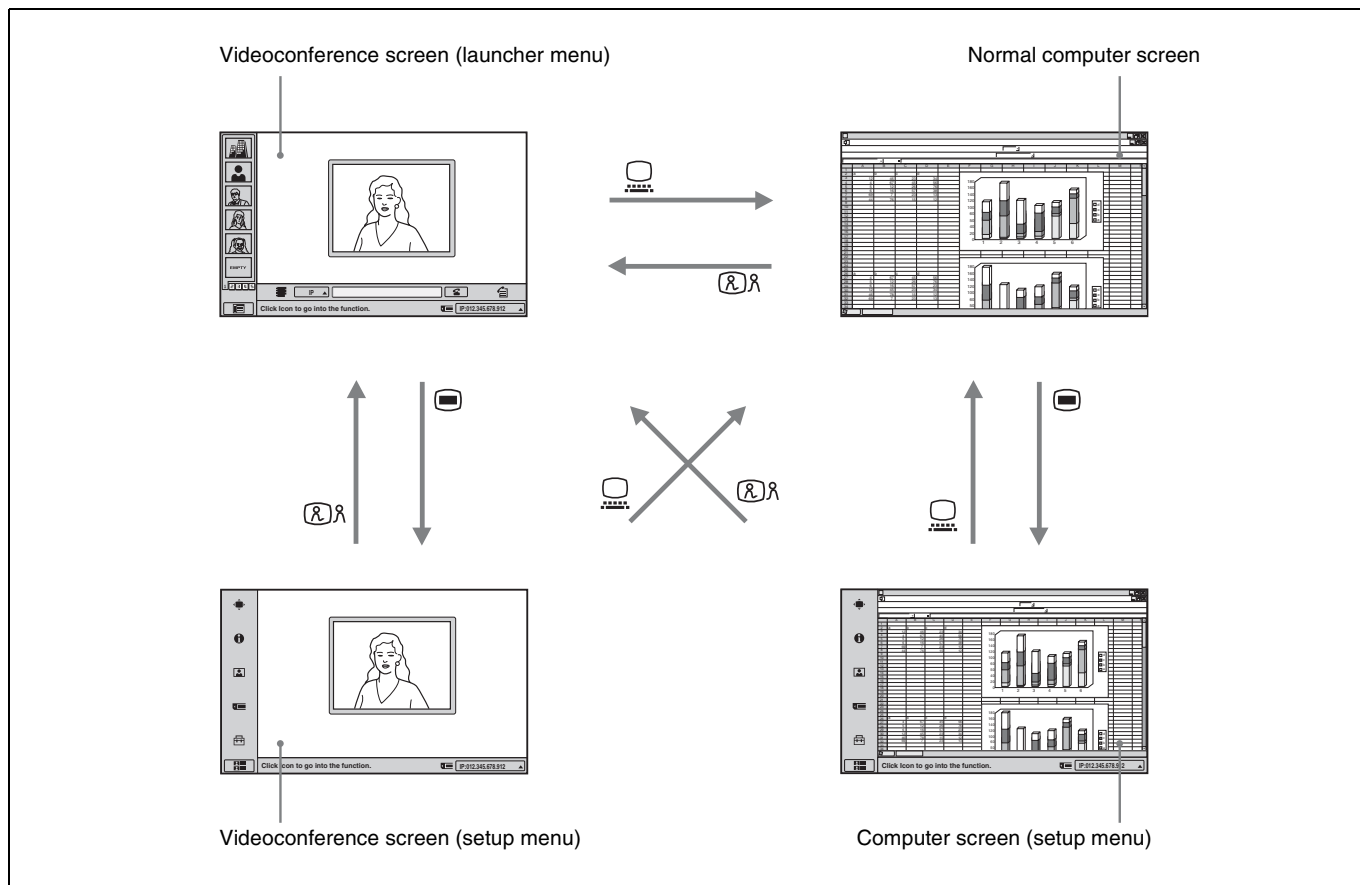
When you press the I / O (Power) switch on the PCS-TL33, the message “To enter standby mode, wait for a few moments. To turn off the power, press the power switch again.” appears on the display. When you simply wait in this condition, the system will go into standby mode.

You can receive a call from a remote party in the standby mode.

To return to normal mode from standby mode, press the power switch once.

Switching Between Videoconference Display and Computer Display

You can use the  (Menu) button,  (PC) button, and  (Videoconference) button at the bottom right of the unit to switch between the videoconference screen and computer screen display.



Notes

- When the PCS-TL33 is not connected to a computer, pressing the  (PC) button to switch to computer display will disable the mouse.
- If a sub-picture is being displayed during a communication session, the sub-picture will remain visible also when you switch to computer display. However, the video shown on the sub-picture will be either from the remote system or the local system.
- When separate mice are being used for the PCS-TL33 and for the computer, the currently active mouse will depend on the current display screen. While the normal computer screen is displayed, the mouse connected to the computer is active. When other screens are displayed, the mouse connected to the PCS-TL33 is active.

Adjusting the Height of the Display

The stand and the display section of the PCS-TL33 are joined by fastening screws. There are three sets of screw holes, spaced 25 mm apart. In the factory default condition, the display is fixed in the lowest position. By choosing a different set of screw holes, you can change the height of the display.

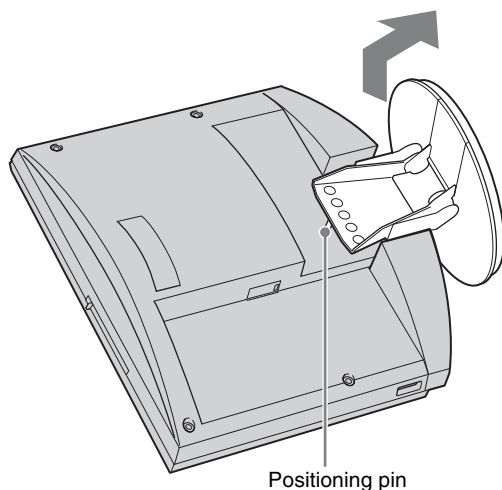
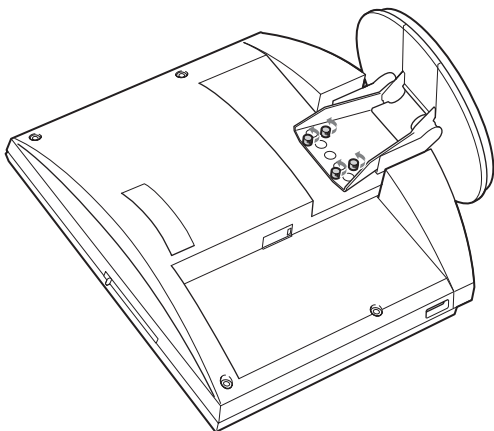
- 1 Remove the rear cover of the unit.

For information on how to do this, see page 26.

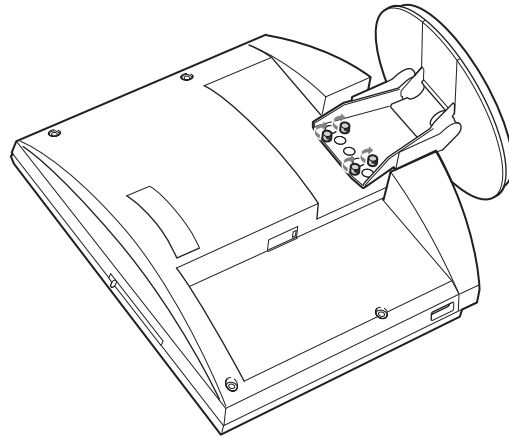
- 2 Remove the 4 screws using a coin or a similar object, lift up the stand, and insert the positioning pin in the hole for the new stand position.

Note

Before changing the height of the display as described above, be sure to turn the power off. Place the display face down on a soft cloth or similar.



- 3 Tighten the 4 screws using a coin or a similar object to secure the stand.



- 4 Attach the rear cover again.

Precautions

Operating or storage location

Avoid operating or storing the system in the following locations:

- Extremely hot or cold places
- Humid or dusty places
- Places exposed to strong vibration
- Close to sources of strong magnetism
- Close to sources of powerful electromagnetic radiation, such as radios or TV transmitters
- Noisy places

LCD screen

Notes on use

- Do not expose the LCD screen surface to the sun. Doing so may damage the screen surface.
- Do not push or scratch the LCD screen, or place objects on top of the system. The image may become uneven or the LCD panel may be damaged.
- If the system is used in a cold place, a smear may occur in the picture or the picture may become dark. This does not indicate a failure. These phenomena improve as the temperature rises.
- Ghosting may occur when still pictures are displayed continuously. It may disappear after a few moments.
- The screen and cabinet get warm when the system is in use. This is not a malfunction.

Display pixels

Although the LCD display panel is made with high-precision technology and has an effective picture element ratio of over 99.99%, black dots (dead pixels) may appear on the screen or pixels may become permanently lit (red, blue, green, etc.) or unlit. The appearance of dead pixels after extended periods of use is common among LCD display panels. Be aware that such appearances do not represent a malfunction.

Phenomena specific to CMOS sensors

The following phenomena that may appear in images are specific to CMOS (Complementary Metal Oxide Semiconductor) sensors. They do not indicate malfunctions.

White flecks

Although the CMOS sensors are produced with high-precision technologies, fine white flecks may be generated on the screen in rare cases, caused by cosmic rays, etc. This is related to the principle of CMOS sensors and is not a malfunction.

The white flecks especially tend to be seen in the following cases:

- when operating at a high environmental temperature
- when you have raised the gain (sensitivity)

Aliasing

When fine patterns, stripes, or lines are shot, they may appear jagged or flicker.

Note on laser beams

Laser beams may damage a CMOS sensor. You are cautioned that the surface of a CMOS sensor should not be exposed to laser beam radiation in an environment where a laser beam device is used.

Built-in speakers

The speakers generate magnetism. To avoid damaging the data, keep magnetic tapes and disks away from the speakers.

Cleaning

- Before cleaning, disconnect the power cord from the AC outlet.
- The LCD screen surface is finished with a special coating. To remove dust from the screen surface, wipe gently with a soft, dry cloth.

- Do not use volatile solvents such as alcohol, benzene or thinners as they may damage the surface finishes.
- When you use chemical cleaning cloth, observe the instructions that come with it.
- Do not apply volatile solvents such as an insecticide to the screen, or allow rubber or plastic objects to touch to the screen for a long time, as they may damage the surface finishes.

Specifications

PCS-TL33 Video Communication System

This unit is compliant with ITU-T Recommendations H.323 and IETF SIP.

Motion picture

Operating bandwidth

64 kbps to 2048 kbps

Coding

H.261/H.263/H.263+/H.263++/H.264
(ITU-T Recommendation)
MPEG4 Simple Profile

Picture elements

CIF: 352 pixels × 288 lines
QCIF: 176 pixels × 144 lines

Still Picture

Pixels

704 pixels × 576 lines

Encoding

H.261 (ITU-T Recommendation) Annex.
D (4CIF)
H.263 (special format of this system)

Sound

Bandwidth

14 kHz (MPEG4 Audio)
7 kHz (G.722 compliant with ITU-T
Recommendation)
3.4 kHz (G.711/G.728/G.729 compliant
with ITU-T Recommendation)

Transmission rate

64 kbps, 96 kbps (MPEG4 Audio)
56 kbps, 64 kbps (G.711 compliant with
ITU-T Recommendation)
48 kbps, 56 kbps, 64 kbps (G.722
compliant with ITU-T
Recommendation)
16 kbps (G.728 compliant with ITU-T
Recommendation)
8 kbps (G.729 compliant with ITU-T
Recommendation)

Network

Multiplexing

Video, audio, data

Frame format

H.225.0 (compliant with ITU-T
Recommendation)

Interface

LAN (100BASE-TX/10BASE-T)

LAN protocol supported

HTTP
FTP
Telnet
RTP/RTCP
TCP/UDP
SNMP

Remote control

Far end camera control

H.281 (compliant with ITU-T
Recommendation)

Camera

Image device 1/3.8 inch color CMOS
Total pixel count: approx. 1.33 million
Effective pixel count: approx. 1.28 million
Lens $f = 2.1$ mm
 $F = 1:2.4$
Horizontal angle: approx. 87°
Vertical angle: approx. 71°
Focal distance 300 mm
Pan/tilt/zoom function
By digital processing
Auto White Balance function built-in
Auto Exposure function build-in
Frame rate Auto (switches automatically to match
ambient illumination)/30/15 fps

Display

Size 17.1 inch widescreen (Viewable area
measured diagonally)
Resolution 1280×768 (WXGA)
Maximum screen luminance
 410 cd/m^2
Response time 13 ms
Contrast ratio 600 : 1
Angle of view 176 degrees
Number of colors
16,700,000 colors

Display controller

PinP 4 corners
PandP Two/Three windows
Side-by-Side Two windows
Input Internal: Video Communication
External RGB: Computer display
Wide mode Normal, Zoom, Wide
RGB mode 640×480 , 800×600 , 1024×768 ,
 1280×768 , etc.
Display of zoomed picture is possible.

Speaker

Speaker 3 W $\times$ 2

Microphone

Frequency range
14 kHz

Directional characteristic

Narrow-angle directional

General

Power requirements

19.5 V DC

Current consumption

6.15 A

Operating temperature

5°C to 35°C (41°F to 94°F)

Operating humidity

20% to 80%

Storage temperature

-20°C to $+60^\circ\text{C}$ (-4°F to $+140^\circ\text{F}$)

Storage humidity

20% to 80% (no condensation)

Dimensions

$424 \times 376 \times 95.5$ mm (w/h/d)
($16\frac{3}{4} \times 14\frac{7}{8} \times 3\frac{7}{8}$ inches) (not
including the stand)
 $424 \times 419 \times 258$ mm (w/h/d)
($16\frac{3}{4} \times 16\frac{1}{2} \times 10\frac{1}{4}$ inches)
(including the stand)

Mass

Approx. 8 kg (17 lb 9 oz)

Supplied accessories

Optical mouse PCS-RMU1 (1)
AC adaptor VGP-AC19V15 (1)
Power cord (1)
CD-ROM (1)
Quick Start Guide (1)
Warranty booklet (1)

VGP-AC19V15 AC Adaptor

Power requirements

100 to 240 V AC, 50/60 Hz,
1.6 A to 0.7 A

Output

19.5 V DC, 6.2 A

Operating temperature

5°C to 35°C (41°F to 94°F)

Operating humidity

20% to 80%

Storage temperature

-20°C to $+60^\circ\text{C}$ (-4°F to $+140^\circ\text{F}$)

Storage humidity

20% to 80% (no condensation)

Dimensions

$155 \times 67 \times 36.5$ mm (w/h/d)
($6\frac{1}{8} \times 2\frac{3}{4} \times 1\frac{7}{16}$ inches)
(not including the projected parts)

Mass

Approx. 550 g (1 lb 3 oz)

PCS-A1 Microphone (Optional)

Bandwidth 13 kHz

Directional characteristic

Omnidirectional

Dimensions

$74 \times 16 \times 93$ mm (w/h/d)
($3 \times 2\frac{1}{32} \times 3\frac{3}{4}$ inches)

Mass

Approx. 170 g (6 oz)

Power	Plug in power
Cable length	8 m (26 ft 3 in)

PCSA-A3 Microphone (Optional)

Bandwidth	13 kHz
Directional characteristic	Unidirectional
Dimension	68 × 16 × 96 mm (w/h/d) (2 ³ / ₄ × 21 ¹ / ₃₂ × 3 ⁷ / ₈ inches)
Mass	Approx. 200 g (7 oz)
Power	Plug in power
Cable length	8 m (26 ft 3 in)

PCSA-DSM1 Data Solution Module (Optional)

Power consumption	20 W max.
Operating temperature	5 °C to 35 °C (41 °F to 94 °F)
Operating humidity	20% to 80%
Storage temperature	−20 °C to +60 °C (−4 °F to +140 °F)
Storage humidity	20% to 80% (no condensation)
Dimensions	107 × 250 × 34 mm (w/h/d) (4 ¹ / ₄ × 9 ⁷ / ₈ × 1 ³ / ₈ inches) (not including the projected parts)
Mass	Approx. 550 g (1 lb 3 oz)
Supplied accessories	Quick Start Guide (1) Warranty booklet (1)

PCSA-SP1 SIP Software (Optional)

Supplied accessories	Serial Number seal (1) Operating Instructions (1)
----------------------	--

Design and specifications are subject to change without notice.

This product uses Ricoh bitmap fonts produced and marketed by Ricoh Co., Ltd.

Note

Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.

Acceptable RGB Input/Output Signals

Picture element	Signal format	fH (kHz)	fV (Hz)	Dot clock (MHz)	Sync
640 × 480	VGA mode	31.469	59.94	25.17	H-neg V-neg
	Macintosh 13"	35	66.667	30.24	H-neg V-neg
	VGA VESA 72 Hz	37.861	72.809	31.5	H-neg V-neg
	VGA VESA 75 Hz	37.5	75	31.5	H-neg V-neg
	VGA VESA 85 Hz	43.269	85.008	36	H-neg V-neg
800 × 600	SVGA VESA 56 Hz	35.156	56.25	36	H-pos V-pos
	SVGA VESA 60 Hz	37.879	60.317	40	H-pos V-pos
	SVGA VESA 72 Hz	48.077	72.188	50	H-pos V-pos
	SVGA VESA 75 Hz	46.875	75	49.5	H-pos V-pos
	SVGA VESA 85 Hz	53.674	85.061	56.25	H-pos V-pos
1024 × 768	XGA VESA 60 Hz	48.363	60.004	65	H-neg V-neg
	XGA VESA 70 Hz	56.476	70.069	75	H-neg V-neg
	XGA VESA 75 Hz	60.023	75.029	78.75	H-pos V-pos
1280 × 768	WXGA VESA 60 Hz*	47.693	59.992	80.12	H-neg V-pos

* Cannot be transmitted by the PCSA-DSM1 Data Solution Module.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire le risque d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écartier tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un technicien qualifié.

AVERTISSEMENT

Utilisez l'adaptateur d'alimentation CA fourni avec l'appareil en tant que source d'alimentation électrique.

Fabricant	N° de type
Sony	VGP-AC19V15

Une source d'alimentation différente peut s'avérer dangereuse et présenter, par exemple, un risque d'incendie.

Le dispositif de coupure de l'appareil est la fiche secteur de l'adaptateur CA.

La fiche secteur de cet appareil doit être utilisée pour couper l'alimentation secteur.

Veuillez vous assurer que la prise est installée à proximité de l'appareil et qu'elle est facilement accessible.

En cas d'anomalie, débranchez la fiche secteur.

AVIS

Utilisez l'ensemble de cordon d'alimentation approuvé par l'organisme de test approprié pour les pays spécifiques où l'appareil est utilisé.

AVERTISSEMENT concernant le port LAN

Pour des raisons de sécurité, ne connectez pas le port LAN à un périphérique réseau dont la tension risque d'être excessive.

Pour les clients en Europe

Le fabricant de ce produit est Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japon.

Le représentant autorisé pour EMC et la sécurité des produits est Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question concernant le service ou la garantie, veuillez consulter les adresses indiquées dans les documents de service ou de garantie séparés.

Pour les utilisateurs en Europe, Australie et Nouvelle-Zélande

AVERTISSEMENT

Il s'agit d'un produit Classe A. Dans un environnement domestique, cet appareil peut provoquer des interférences radio, dans ce cas l'utilisateur peut être amené à prendre des mesures appropriées.

Si des interférences se produisent, contactez votre service après-vente agréé Sony.

Ne pas utiliser cet appareil dans une zone résidentielle.

Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Table des matières

Documents fournis.....	38
Caractéristiques	38
Système de communication vidéo déplaçable intégré.....	38
Interface utilisateur intuitive.....	39
Utilisation du PCS-TL33 en tant qu'écran d'ordinateur	39
Vérification du contenu de l'emballage...	39
Nomenclature et fonctions	40
Nomenclature des témoins.....	41
Connexions de système	42
A propos des connecteurs	42
Précautions de connexion	42
Exemple de connexion (utilisation autonome)	43
Exemple de connexion pour utilisation avec ordinateur (souris séparée)	43
Exemple de connexion pour utilisation avec ordinateur (souris partagée).....	43
Mise sous/hors tension du système.....	44
Ouverture du cache d'objectif	44
Mise sous tension du système.....	44
Assistant de configuration initiale	45
Mise hors tension du système	45
Réglage du système de communication vidéo en mode veille	45
Commuter entre l'écran de vidéoconférence et l'écran d'ordinateur.....	46
Réglage de la hauteur de l'écran	47
Précautions	47
Emplacement de fonctionnement ou de stockage	47
Ecran LCD	48
Phénomènes particuliers aux capteurs CMOS	48
Haut-parleurs intégrés.....	48
Nettoyage	48
Spécifications	48
Signaux d'entrée/sortie RGB acceptables ..	51

Ce guide de démarrage rapide fournit des précautions importantes et des instructions de manipulation pour éviter tout accident ou toute blessure. Pour vous assurer d'un bon fonctionnement du produit, lisez ce guide attentivement et conservez-le pour le consulter ultérieurement.

Consultez aussi le mode d'emploi enregistré sur le CD-ROM fourni pour de plus amples informations sur ce produit. Vous devez consulter ce document et le guide de démarrage rapide.

FR

Documents fournis

Ce produit est fourni avec un certain nombre de documents, comme suit. Consultez le(s) document(s) qui répond(ent) à vos besoins.

Guide de démarrage rapide (le présent document)

Donne des informations de base sur les réglages initiaux et les raccordements du système. (Le CD-ROM fourni contient aussi un fichier identique Guide de démarrage rapide.)

Mode d'emploi (sur le CD-ROM fourni)

Fournit des instructions détaillées sur les procédures de fonctionnement et les réglages nécessaires pour effectuer une vidéoconférence. Ce document couvre toutes les fonctions de ce produit.

Fonctionnement du CD-ROM

Le système suivant est nécessaire au fonctionnement du CD-ROM.

- Ordinateur : Equipé d'un processeur Intel® Pentium®
 - RAM : 64 Mo ou supérieur
 - Lecteur CD-ROM : Vitesse ×8 ou supérieur
 - Ecran : Résolution 800 × 600 ou supérieur
 - Système d'exploitation : Microsoft® Windows® XP Professionnel ou Windows XP Edition Familiale
- Sans ces conditions, le fonctionnement du CD-ROM peut être lent ou impossible.

Préparations

Pour accéder au mode d'emploi sur le CD-ROM fourni, vous devez avoir installé un des logiciels suivants sur votre ordinateur :

- Adobe® Acrobat® Reader 4.0 ou supérieur
- Adobe Reader 6.0 ou supérieur

Remarque

Si Adobe Reader n'est pas installé, vous pouvez le télécharger sur le site suivant :
<http://www.adobe.com>

Visionner le mode d'emploi

- 1 Insérez le CD-ROM fourni (intitulé « Manuals for Video Communication System ») dans le lecteur CD-ROM de votre ordinateur.

Après un moment, une liste du contenu du CD-ROM apparaîtra.

- 2 Double-cliquez sur le fichier PDF appelé « Français ».

Adobe Reader sera lancé et la première page du mode d'emploi du système de communication vidéo sera affiché sur l'écran.

En cliquant sur un élément de la section « Contenu », vous pouvez accéder directement à la page souhaitée.

- Adobe et Acrobat Reader sont des marques commerciales d'Adobe System Incorporated.
- Microsoft et Windows sont des marques commerciales déposées de Microsoft Corporation aux Etats-Unis et dans d'autres pays.
- Intel et Pentium sont des marques commerciales ou des marques commerciales déposées de Intel Corporation ou de ses filiales aux Etats-Unis et dans d'autres pays.
- « IPELA » et **IPELA** sont des marques commerciales de Sony Corporation.

Caractéristiques

Le système PCS-TL33 de communication vidéo est un système de vidéoconférence qui permet de communiquer naturellement et face à face avec un interlocuteur éloigné, grâce à l'envoi et à la réception d'images et de son par réseau. L'interlocuteur peut être situé n'importe où, même à l'étranger.

Système de communication vidéo déplaçable intégré

Tous les éléments nécessaires au système de communication vidéo, dont la caméra, le moniteur, le codec, les microphones et les haut-parleurs, sont intégrés dans un seul coffret compact. Ceci garantit une portabilité facile et vous permet de communiquer par vidéoconférence de presque partout.

L'écran intégré de type 17 prend en charge le mode large, et la caméra intégrée est équipée d'un mouvement de panoramique/inclinaison numérique et d'un zoom.

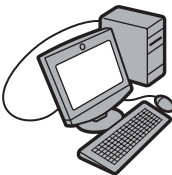
Interface utilisateur intuitive

L'interface utilisateur est de type recouvrement, et vous permet de contrôler les opérations à l'aide d'un simple clic de la souris fournie. Il y a également un guide d'utilisateur sous forme de messages et d'assistance en ligne.

Utilisation du PCS-TL33 en tant qu'écran d'ordinateur

Outre l'utilisation en mode autonome, il est aussi possible de raccorder le PCS-TL33 à un ordinateur. Dans ce cas, vous pouvez utiliser des souris différentes pour l'ordinateur et le PCS-TL33, ou une seule souris pour les deux.

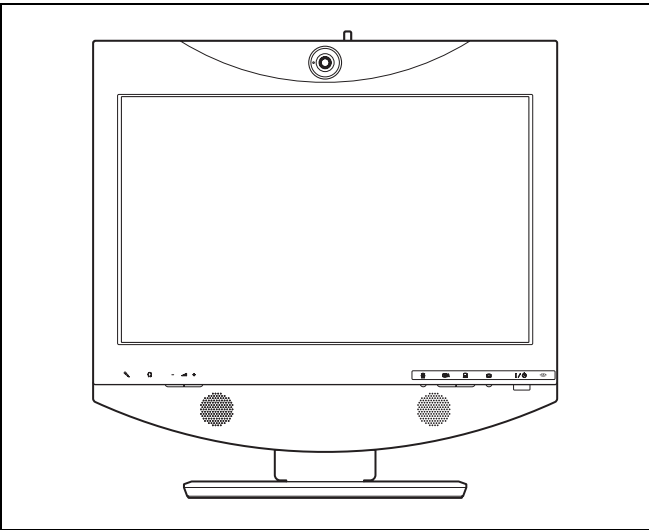
Le module disponible séparément PCSA-DSM1 vous permet de transmettre le contenu de l'affichage de l'écran d'ordinateur vers l'écran de l'interlocuteur lors d'une vidéoconférence.

Utilisation autonome	Utilisation avec ordinateur et dispositifs de pointage séparés	Utilisation avec ordinateur et dispositif de pointage unique
		

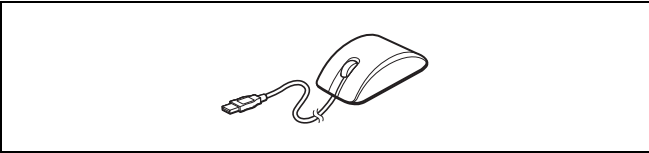
Vérification du contenu de l'emballage

Une fois l'appareil déballé, assurez-vous de la présence de tous les éléments :

- PCS-TL33 unité principale (1)



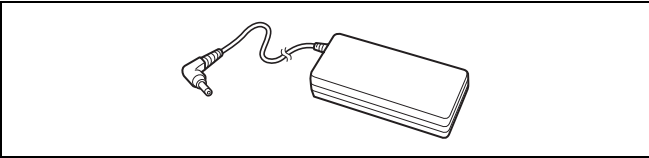
- Souris numérique PCS-RMU1 (1)



Remarque

A cause de la nature du capteur optique, la souris peut ne pas fonctionner correctement sur des surfaces transparentes ou réfléchissantes (comme du verre ou des miroirs). Si la souris ne fonctionne pas correctement, évitez d'utiliser ces surfaces ou utilisez un tapis de souris optique disponible dans le commerce. En fonction de la couleur et du matériau du tapis de souris, la souris pourrait continuer à ne pas fonctionner.

- Adaptateur CA VGP-AC19V15 (1)



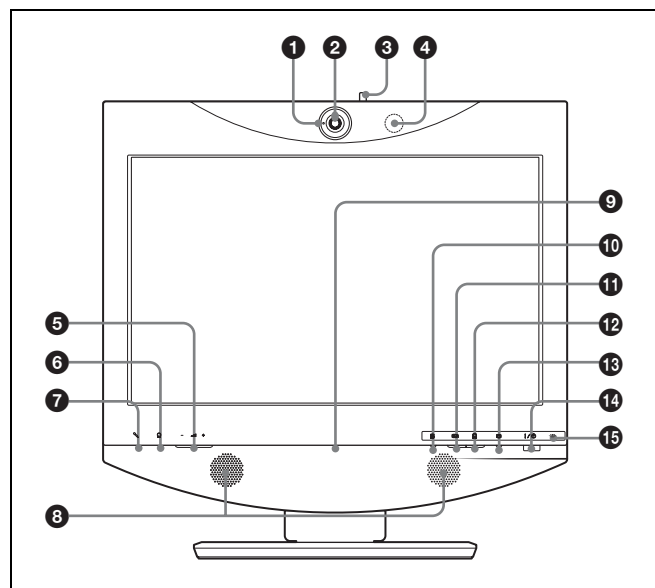
- Cordon d'alimentation (1)
- Guide de démarrage rapide (le présent document) (1)
- CD-ROM (Mode d'emploi) (1)
- Certificat de garantie (1)

Remarque

Le CD-ROM fourni contient le mode d'emploi, qui donne des informations détaillées sur les procédures de fonctionnement et tous les réglages. Ce document est fourni sous format PDF.

Nomenclature et fonctions

Vue avant



1 Signal lumineux (Tally)

S'allume quand une vidéo locale est envoyée au système à distance.

2 Objectif

3 Manette pour cache d'objectif

Pour fermer l'objectif.

4 Microphone

5 Boutons (Volume)

Pour le réglage du volume.

+ : Augmente le volume.

- : Diminue le volume.

6 Prise (écouteurs) (miniprise stéréo)

Pour le raccordement d'écouteurs (disponible dans le commerce).

7 Prise (micro) (miniprise)

Pour le raccord d'un microphone PCS-A1 ou PCSA-A3 optionnel.

8 Haut-parleurs

9 Lampe témoin de connexion

Montre surtout l'état des appels reçus/émis.

10 Bouton témoin (désactivation du microphone)

Pour la suppression de son du système local. Appuyez à nouveau sur le bouton pour rétablir l'envoi du son vers le système à distance.

11 Bouton témoin (vidéoconférence)

Pour commuter entre l'écran d'ordinateur et l'écran de vidéoconférence.

12 Bouton témoin (PC)

Pour commuter vers l'écran d'ordinateur.

13 Bouton (Menu)

Appuyez sur ce bouton pour accéder au menu de configuration.

Appuyez et maintenez ce bouton enfoncé pendant 3 secondes pendant la communication pour faire apparaître le clavier DTMF sur l'écran.

14 Interrupteur témoin (Alimentation)

Pour mettre le système sous et hors tension.

Si vous utilisez le système en écran d'ordinateur en mode PC, une seule pression de cet interrupteur met le système hors tension.

Si vous utilisez le système en mode vidéoconférence, une seule pression de cet interrupteur met le système en veille. Pour mettre le système hors tension en mode vidéoconférence, appuyez à nouveau sur l'interrupteur dans les 5 secondes qui suivent.

Remarque

L'interrupteur d'alimentation ne fonctionne pas pendant une communication.

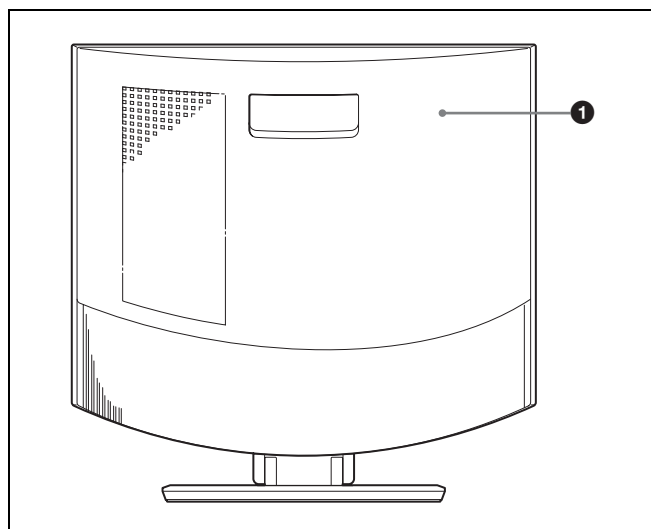
15 Témoin « Memory Stick »

Pour voir l'état de l'emplacement du « Memory Stick ».

Remarque

Ne retirez pas le « Memory Stick » quand ce témoin est allumé.

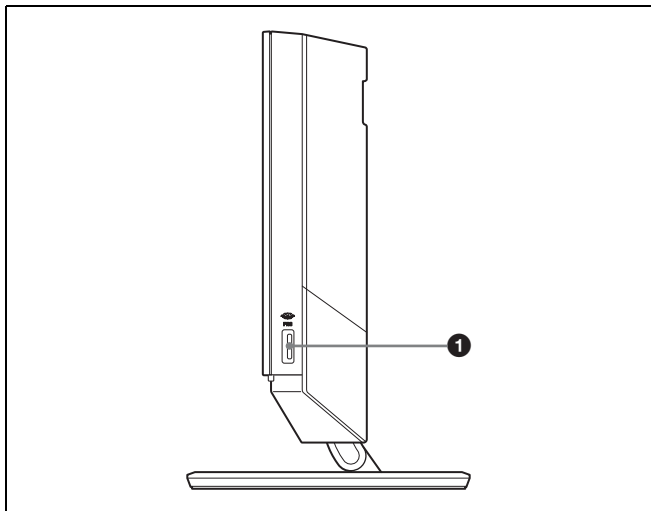
Vue arrière



❶ Capot arrière

Retirez ce capot pour accéder au panneau de contrôle. La section de raccordement entre le support et l'écran est aussi derrière le panneau. Vous pouvez ajuster la hauteur de l'écran en changeant la position des vis.

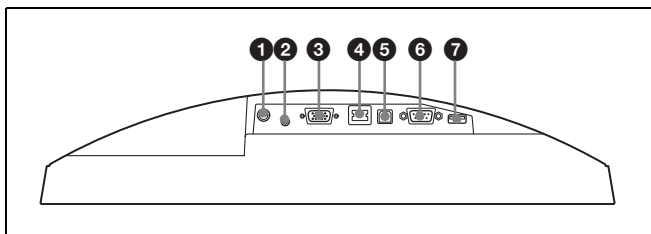
Vue du coté droit



❶ Emplacement pour « Memory Stick »

Vous pouvez introduire un « Memory Stick » ici.

Panneau de connexions (section derrière le capot arrière, vue d'en bas)



❶ Connecteur CC 19,5 V

Raccordez ici l'adaptateur CA fourni VGP-AC19V15.

❷ Prise AUDIO IN (entrée de son de PC) (miniprise stéréo)

Raccordez cette prise avec la prise de sortie audio de l'ordinateur raccordé au connecteur RGB IN.

❸ Connecteur RGB IN (connecteur mini D-sub 15 broches)

Raccordez ici la sortie RGB d'un ordinateur.

❹ Port 100BASE-TX/10BASE-T (port modulaire)

Utilisez un câble de catégorie 5 LAN pour raccorder ce port à un multipoint ou un dispositif similaire.

Ce port est équipé d'un témoin Lien/Données (vert) et d'un témoin 100/10 Mbits/s (orange).

❺ Port PC

Utilisez ce connecteur quand vous voulez utiliser la même souris pour le PCS-TL33 et pour l'ordinateur raccordé au connecteur RGB IN. Reliez le connecteur à un port USB de l'ordinateur.

Remarque

Utilisez un câble USB de 3 m (10 pieds) ou moins.

❻ Port RS-232C (connecteur D-sub 9 broches)

Ce connecteur sert uniquement à l'entretien du système.

❼ Port souris

Raccordez ici la souris numérique PCS-RMU1 fournie.

Nomenclature des témoins

Témoin	Etat	Signification
I / ⏻ (Consommation) *	Allumé en vert	Sous tension
	Allumé en orange	Mode veille
	Clignotant orange (cycle de 1 seconde)	Anomalie du ventilateur
	Pas de témoin	Hors tension
En ligne *	Clignotant bleu (3 fois par seconde)	Envoi/réception
	Allumé en bleu	Communication en cours
	Pas de témoin	Off-line (aucun appel manqué) ou en veille
💻 (PC) *	Allumé en bleu	Ecran d'ordinateur
	Allumé en blanc	Ecran de vidéoconférence
	Pas de témoin	Mode veille
📺 (Vidéoconférence) *	Allumé en bleu	Ecran de vidéoconférence
	Allumé en blanc	Ecran d'ordinateur
	Pas de témoin	Mode veille
🎤 (Microphone désactivé) *	Allumé en orange	Microphone désactivé
	Allumé en blanc	Microphone allumé
	Pas de témoin	Mode veille
📶 (« Memory Stick »)	Allumé en orange	Accès au « Memory Stick »
	Pas de témoin	Pas d'accès au « Memory Stick »

Témoin	Etat	Signification
Signal lumineux (Tally)	Allumé en orange	Des images de caméra sont transmises à l'interlocuteur (cache d'objectif)
	Clignotant orange (cycles de 5 secondes)	Des images aveugles sont transmises à l'interlocuteur (cache d'objectif fermé)
	Pas de témoin	Aucune image de caméra n'est transmise
Lien/Données	Allumé en vert	Le lien est établi
	Clignotant vert	Des données sont transmises
	Pas de témoin	Le lien est off-line
100/10 Mbits/s	Allumé en orange	100 Mbits/s
	Pas de témoin	10 Mbits/s

* Le voyant s'allume lors de la mise en route du système. Si une température anormale est détectée, le voyant clignote et le système se met hors tension.

Connexions de système

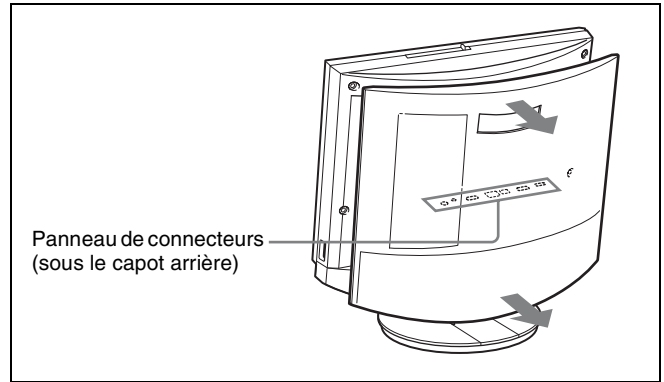
Cette section décrit les connexions système types. Outre l'utilisation en mode autonome, il est aussi possible de raccorder le PCS-TL33 à un ordinateur pour une utilisation en écran quand aucune vidéoconférence n'est en cours. Dans ce cas, vous pouvez utiliser des souris différentes pour l'ordinateur et le PCS-TL33, ou raccorder le PCS-TL33 et l'ordinateur à l'aide d'un câble USB et utiliser la même souris pour les deux.

A propos des connecteurs

Les connecteurs du système sont situés sous le capot arrière. Retirez le capot pour effectuer les connexions, puis remplacez-le.

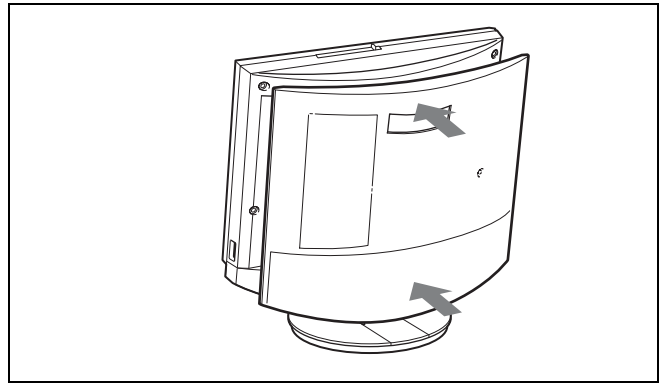
Pour retirer le capot arrière

Tirez le capot vers vous.



Pour mettre en place le capot arrière

Poussez sur le capot en l'alignant avec les quatre souches.



Précautions de connexion

Avertissement

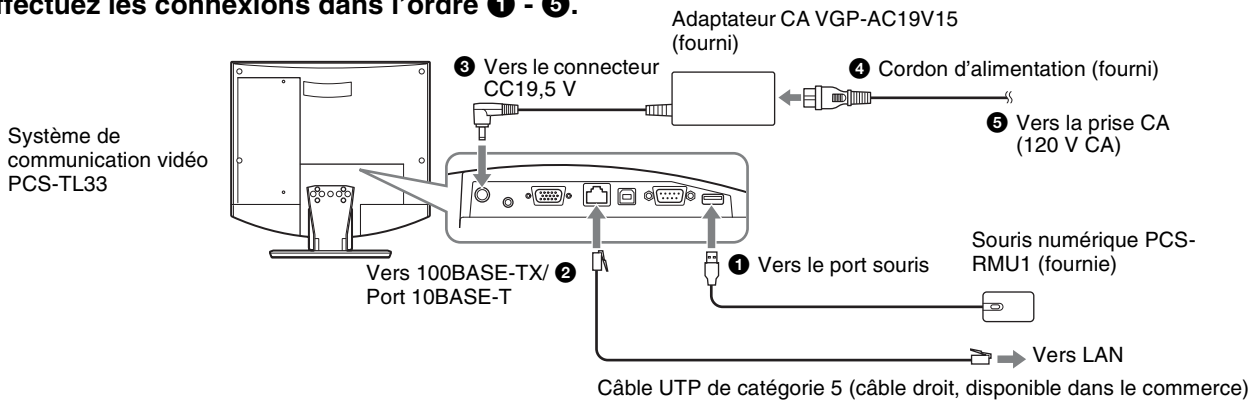
- Utilisez uniquement l'adaptateur CA et le cordon d'alimentation fournis.
- Lors du raccordement du cordon d'alimentation de l'adaptateur CA et du câble CC, introduisez les prises à fond et fermement.
- Pour votre sécurité, ne raccordez pas le connecteur 100BASE-TX/10BASE-T à un réseau où une tension excessive est possible.

Attention

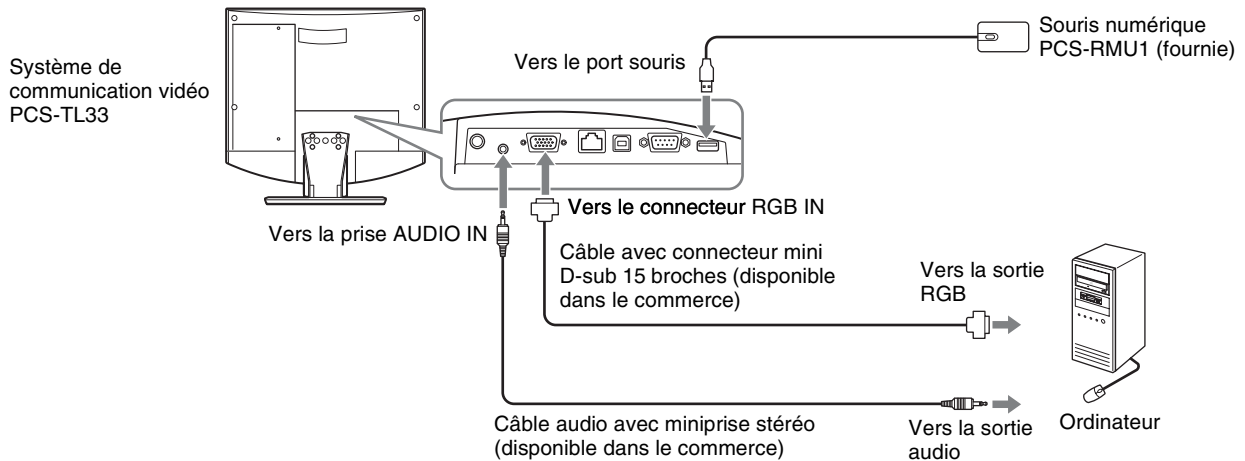
- Avant d'effectuer tout raccordement, veillez à mettre toutes les composantes hors tension.
- Pour éviter tout endommagement de l'appareil, ne branchez ni de débranchez aucun câble si l'appareil est sous tension.

Exemple de connexion (utilisation autonome)

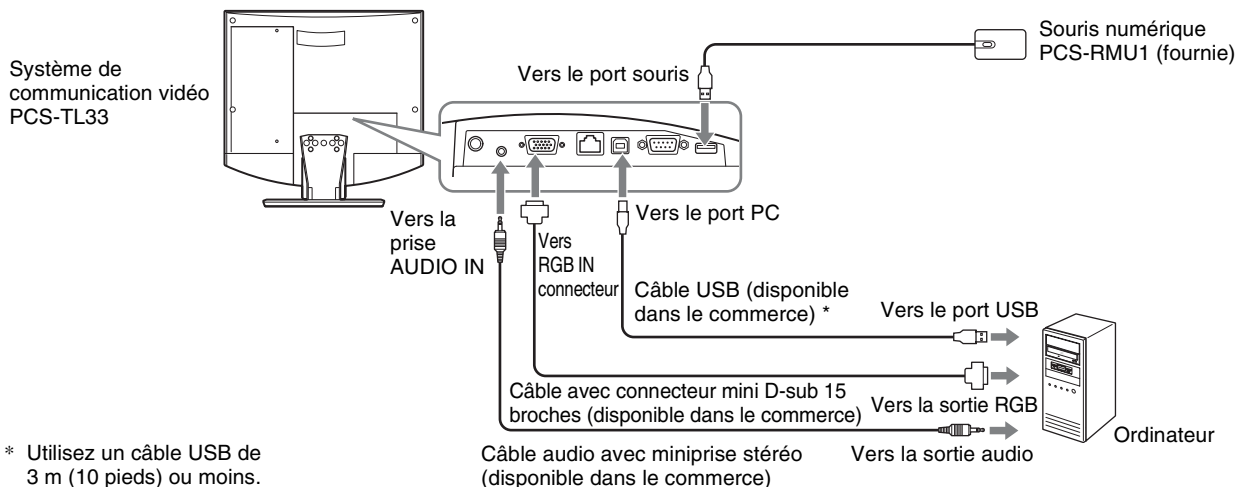
Effectuez les connexions dans l'ordre ❶ - ❺.



Exemple de connexion pour utilisation avec ordinateur (souris séparée)



Exemple de connexion pour utilisation avec ordinateur (souris partagée)



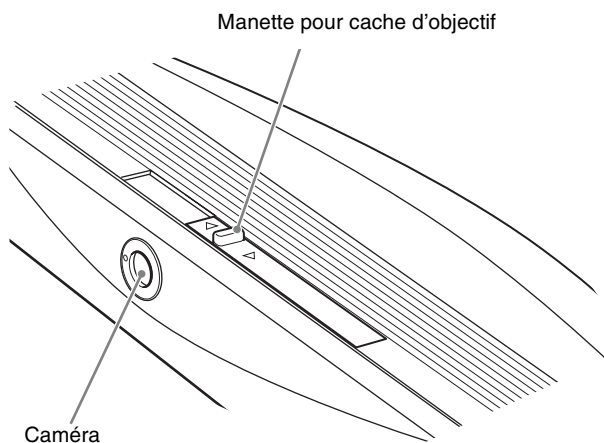
Mise sous/hors tension du système

Avant de mettre le système sous tension, vérifiez que les connexions du système ont été effectuées correctement.

L'apparence de l'écran qui est montré ici peut être différente selon la version du logiciel.

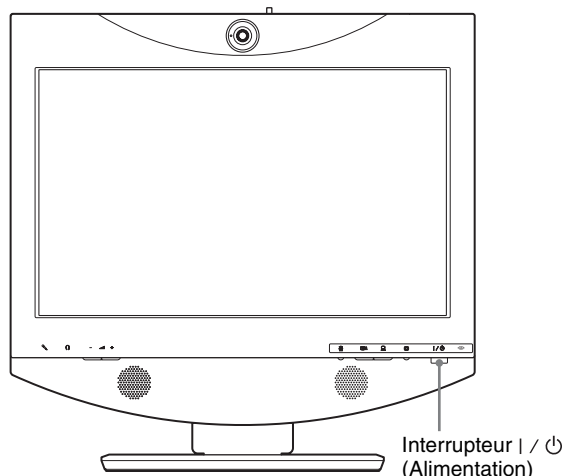
Ouverture du cache d'objectif

Le système est équipé d'un cache d'objectif servant à cacher la caméra. Avant de commencer une vidéoconférence, ouvrez le cache en faisant glisser vers la droite sa manette située au-dessus du système. Si le cache d'objectif est fermé, l'image sur le site local n'est pas visible sur le site distant.



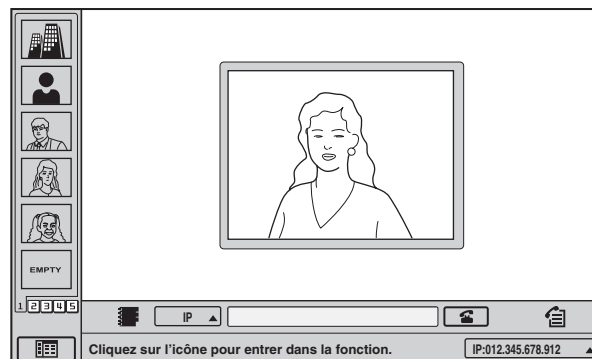
Mise sous tension du système

Appuyez sur l'interrupteur  (Alimentation) sur le PCS-TL33.

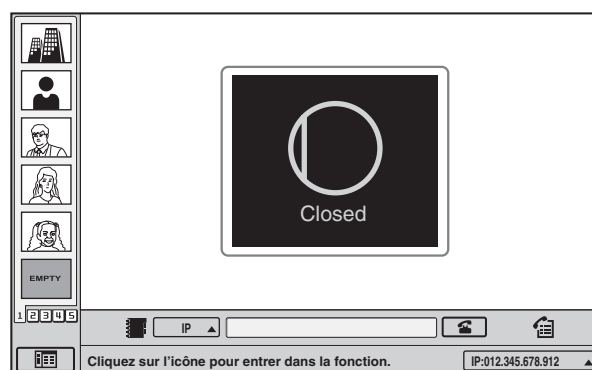


L'interrupteur témoin s'allume en orange et le système de communication vidéo est sous tension. Lorsque le moniteur est sous tension, le témoin s'allume en vert. Le menu de démarrage s'affiche sur l'écran et l'image de la caméra locale est aussi affichée.

Menu de démarrage



Lorsque le cache d'objectif est fermé, le menu de démarrage s'affiche de la façon suivante.



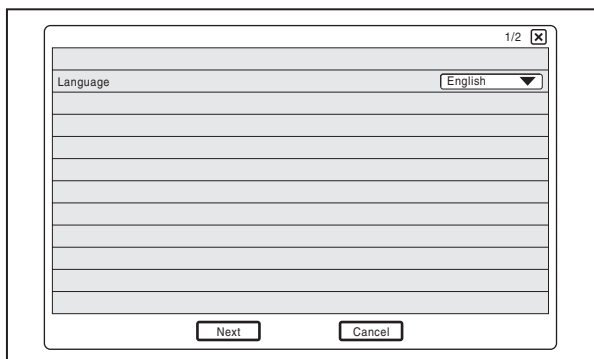
Remarques

- La première fois que vous appuyez sur l'interrupteur d'alimentation après avoir branché le cordon d'alimentation dans la prise murale, l'interrupteur témoin peut prendre jusqu'à dix secondes pour s'allumer.
- Lorsque vous mettez le système de communication vidéo sous tension pour la première fois après l'installation, l'assistant de configuration s'affiche. Configurez votre système à l'aide de l'assistant.

Assistant de configuration initiale

Les éléments de configuration peuvent varier selon le logiciel.

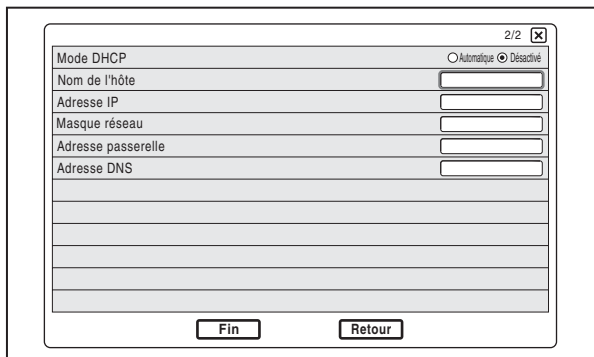
- 1 Sélectionnez la langue utilisée pour les menus et les messages dans la liste déroulante « Language » (Langue).



- 2 Cliquez sur « Next » (Suivant).
- 3 Effectuez les réglages LAN nécessaires.

Remarque

Les exemples ci-après prennent en compte la sélection de le français comme langue d’affichage.



Mode DHCP : Règle le DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol).

Automatique : Distribue automatiquement votre adresse IP, votre masque de sous-réseau, vos adresses passerelle et DNS.

Désactivé : Désactive le DHCP. Dans ce cas, vous devez effectuer manuellement les réglages de votre adresse IP, votre masque de sous-réseau, vos adresses passerelle et DNS.

Nom de l'hôte : Saisissez votre nom d’hôte.

Adresse IP : Saisissez votre adresse IP.

Masque réseau : Saisissez votre masque de sous-réseau.

Adresse passerelle : Saisissez votre adresse passerelle par défaut.

Adresse DNS : Saisissez l’adresse de votre serveur DNS (Domain Name System).

Si vous ne connaissez pas les réglages nécessaires à la configuration LAN, contactez votre administrateur de réseau.

- 4 Cliquez sur « Fin ».

Les réglages sont enregistrés.

Mise hors tension du système

- 1 Appuyez deux fois sur l’interrupteur | / ⏻ (Alimentation).

Après avoir appuyé une fois sur l’interrupteur, le message « Pour entrer en mise en veille, attendez 5 secondes. Pour éteindre, appuyez à nouveau sur l’interrupteur d’alimentation. » s’affiche à l’écran. Appuyez à nouveau sur l’interrupteur d’alimentation.

- 2 Pour mettre d’autres appareils utilisés pour la vidéoconférence hors tension.

Remarques

- Mettez le système hors tension lorsque vous ne comptez pas l’utiliser pendant longtemps. Lorsque le système est hors tension, vous ne pouvez pas recevoir d’appel d’un interlocuteur.
- Si vous utilisez le système en écran d’ordinateur en mode PC, l’alimentation s’éteint par simple pression sur l’interrupteur d’alimentation.
- Pendant une conférence, l’interrupteur d’alimentation ne fonctionne pas.

Réglage du système de communication vidéo en mode veille

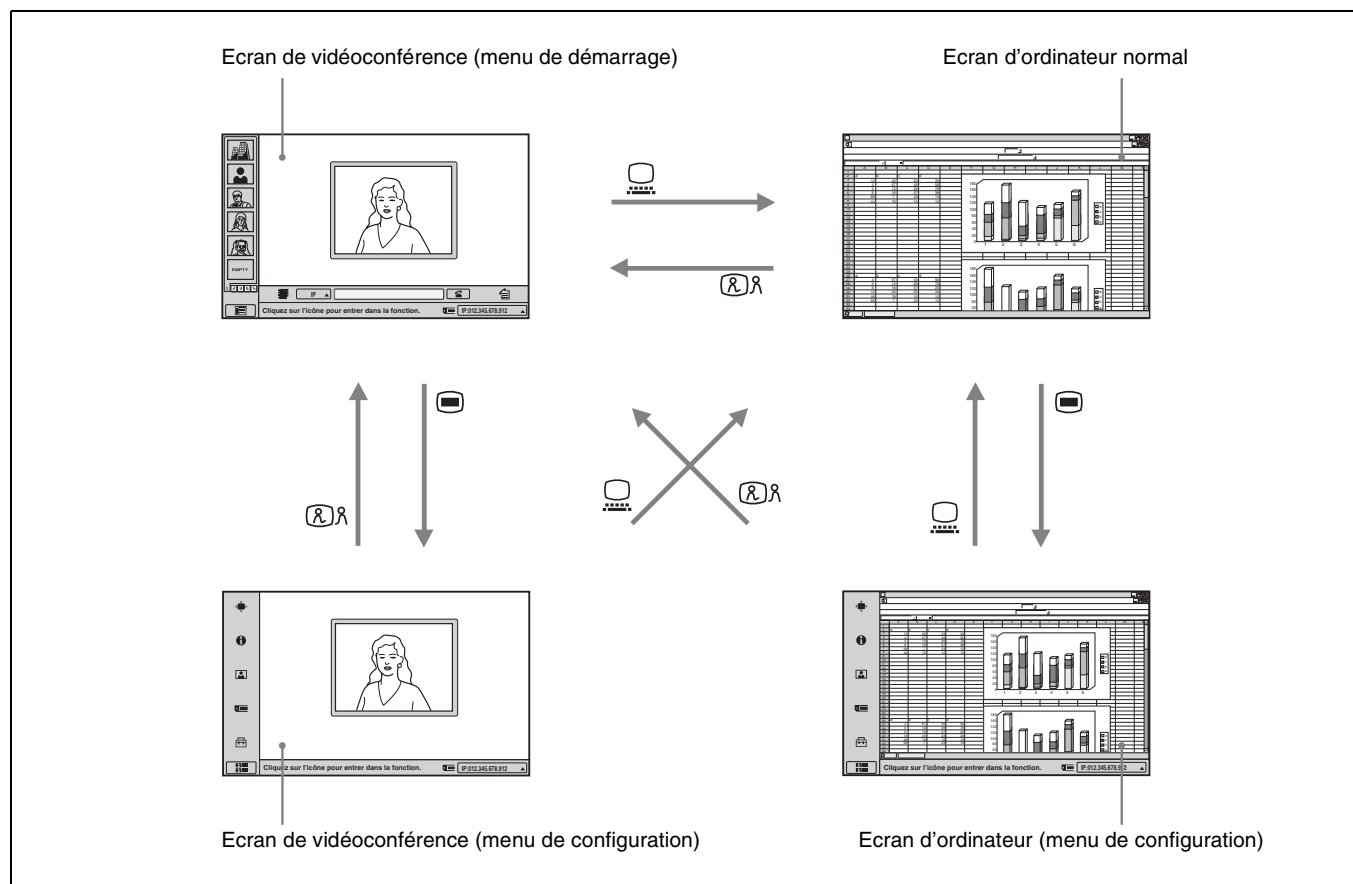
Lorsque vous appuyez sur l’interrupteur | / ⏻ (Alimentation) sur le PCS-TL33, le message « Pour entrer en mise en veille, attendez 5 secondes. Pour éteindre, appuyez à nouveau sur l’interrupteur d’alimentation. » s’affiche à l’écran. Si vous attendez simplement, le système se mettra en mode veille.

Vous pouvez recevoir un appel d’un interlocuteur en mode veille.

Pour revenir du mode veille au mode normal, appuyez une fois sur l’interrupteur d’alimentation.

Commuter entre l'écran de vidéoconférence et l'écran d'ordinateur

Vous pouvez utiliser le bouton  (Menu), le bouton  (PC) et le bouton  (Vidéoconférence) dans la partie inférieure droite de l'appareil pour commuter entre l'écran de vidéoconférence et l'écran d'ordinateur.



Remarques

- Quand le PCS-TL33 n'est pas raccordé à un ordinateur, la pression du bouton  (PC) pour commuter vers l'écran d'ordinateur désactive la souris.
- Si une sous-image est affichée lors d'une communication, cette sous-image reste visible même quand vous commutez vers l'écran d'ordinateur. Mais la vidéo affichée dans la sous-image provient soit du système à distance ou du système local.
- Lors de l'utilisation de souris différentes pour le PCS-TL33 et l'ordinateur, la souris active dépend de l'affichage d'écran en cours. Lors de l'affichage d'écran d'ordinateur normal, la souris raccordée à l'ordinateur est active. Quand d'autres écrans sont affichés, la souris raccordée au PCS-TL33 est active.

Réglage de la hauteur de l'écran

Le support et l'écran du PCS-TL33 sont joints par une fermeture à vis. Il y a trois positions d'orifices de vis, à 25 mm d'intervalle. La position d'usine par défaut de l'écran est la position la plus basse. En choisissant d'autres positions de trous de vis, vous pouvez changer la hauteur de l'écran.

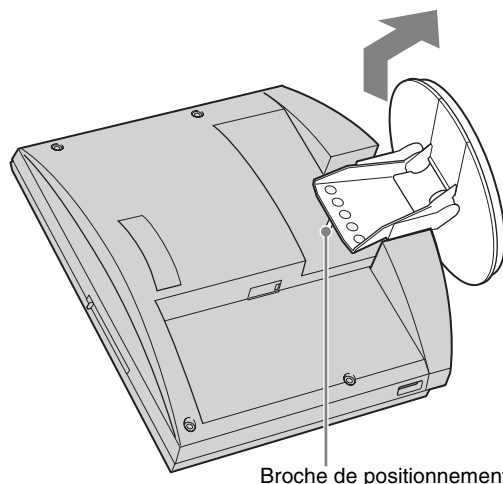
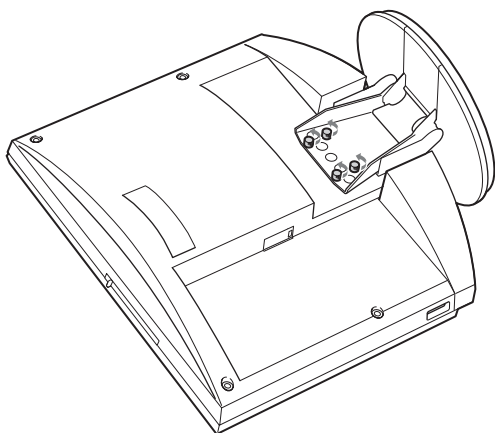
- 1 Retirez le capot arrière de l'appareil.

Pour des informations sur cette étape, voir page 42.

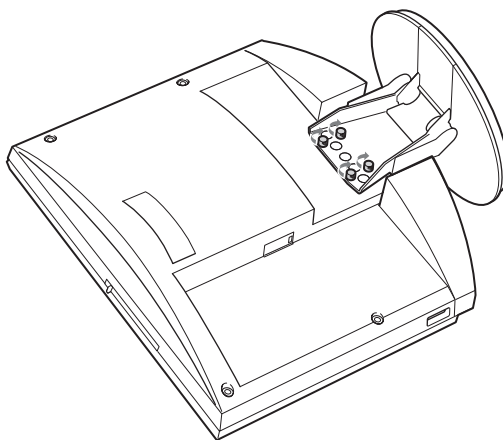
- 2 Enlevez les 4 vis à l'aide d'une pièce de monnaie ou d'un objet similaire, soulevez le support et introduisez la broche de positionnement dans l'orifice pour la nouvelle position du support.

Remarque

Avant de changer la hauteur de l'écran comme ci-dessus, veillez à mettre l'appareil hors tension. Placez l'écran avec sa face vers le bas sur un chiffon doux ou similaire.



- 3 Remplacez les 4 vis à l'aide d'une pièce de monnaie ou d'un objet similaire pour fixer le support.



- 4 Remplacez le capot arrière.

Précautions

Emplacement de fonctionnement ou de stockage

Evitez de faire fonctionner ou de stocker le système dans les endroits suivants :

- Endroits très chauds ou très froids
- Endroits humides ou poussiéreux
- Endroits exposés à une forte vibration
- Près de sources de fort magnétisme
- Près de sources de radiation électromagnétique, telles que des radios ou des transmetteurs TV
- Endroits bruyants

Ecran LCD

Remarques sur l'utilisation

- N'exposez pas la surface de l'écran LCD au soleil. Vous risquez de l'endommager.
- Ne poussez ni n'égratignez pas l'écran LCD. Ne placez aucun objet au-dessus du système. L'image risque de devenir irrégulière ou l'écran LCD risque d'être endommagé.
- Si vous utilisez le système dans un endroit froid, une tache risque d'apparaître sur l'image ou l'image risque de devenir foncée. Ceci n'est pas un problème. Ces phénomènes s'améliorent au fur et à mesure que la température augmente.
- Des ombres risquent d'apparaître lorsque vous affichez des images fixes en continu. Elles peuvent disparaître au bout d'un moment.
- L'écran et l'armoire deviennent chauds lorsque vous utilisez le système. Il ne s'agit pas d'une anomalie.

Pixels d'affichage

Même si le panneau d'affichage LCD est fabriqué avec une technologie de haute précision et possède un rapport d'élément d'image effectif supérieur à 99,99%, des points noirs (pixels morts) peuvent apparaître sur l'écran ou certains pixels peuvent rester en permanence allumés (rouge, bleu, vert, etc.) ou éteints. Il est normal que des pixels morts apparaissent sur les panneaux d'affichage LCD après de longues périodes d'utilisation. Ces apparitions ne sont pas une anomalie.

Phénomènes particuliers aux capteurs CMOS

Les phénomènes suivants qui peuvent apparaître dans les images sont particuliers aux capteurs CMOS (Complementary Metal Oxide Semiconductor). Ils ne signalent pas une anomalie.

Taches blanches

Bien que les capteurs CMOS soient fabriqués à l'aide de technologies de haute précision, rarement, il arrive que de petites taches blanches apparaissent sur l'écran, celles-ci sont causées par les rayons cosmiques, etc. Cet effet est dû à la technologie des capteurs CMOS et ne signale pas une anomalie.

Les taches blanches sont surtout visibles dans les cas suivants :

- Lors du fonctionnement à haute température ambiante
- Lorsque vous avez augmenté le gain (la sensibilité)

Distorsion

Lorsque des lignes ou des motifs précis sont filmés, il arrive qu'ils soient déformés ou qu'ils clignotent.

Remarque concernant les faisceaux laser

Les faisceaux laser peuvent endommager un capteur CMOS. Ne pas exposer la surface d'un capteur CMOS à un rayonnement laser dans un environnement où un dispositif à faisceau laser est utilisé.

Haut-parleurs intégrés

Les haut-parleurs génèrent du magnétisme. Pour éviter d'endommager les données, conservez les bandes magnétiques et les disques loin des haut-parleurs.

Nettoyage

- Avant le nettoyage, débranchez le cordon d'alimentation de la prise secteur.
- La surface de l'écran LCD est protégée par un film spécial. Pour enlever la poussière de la surface de l'écran, utilisez un chiffon sec et doux.
- N'utilisez pas de solvants volatiles tels que l'alcool, le benzène ou des diluants car ils risquent d'abîmer le revêtement de la surface.
- Lorsque vous utilisez un chiffon de nettoyage chimique, suivez les instructions qui l'accompagnent.
- N'appliquez pas de solvants volatiles tels que des insecticides sur l'écran et ne le mettez pas en contact avec des objets en caoutchouc ou en plastique pendant longtemps car ils risquent d'abîmer le revêtement de la surface.

Spécifications

PCS-TL33 Système de communication vidéo

Cet appareil est conforme aux recommandations ITU-T H.323 et IETF SIP.

Images animées

Bande passante de fonctionnement

64 kbps à 2048 kbps

Codage

H.261/H.263/H.263+/H.263++/H.264
(recommandation ITU-T)

MPEG4 Simple Profile

Éléments d'image

CIF : 352 pixels × 288 lignes

QCIF : 176 pixels × 144 lignes

Images fixes

Pixels	704 pixels × 576 lignes
Codage	H.261 (recommandation ITU-T) Annexe. D (4CIF) H.263 (format spécial de ce système)

Son

Bande passante	14 kHz (MPEG4 Audio) 7 kHz (G.722 conforme à la recommandation ITU-T) 3,4 kHz (G.711/G.728/G.729 conforme à la recommandation ITU-T)
Débit de transfert	64 kbps, 96 kbps (MPEG4 Audio) 56 kbps, 64 kbps (G.711 conforme à la recommandation ITU-T) 48 kbps, 56 kbps, 64 kbps (G.722 conforme à la recommandation ITU-T) 16 kbps (G.728 conforme à la recommandation ITU-T) 8 kbps (G.729 conforme à la recommandation ITU-T)

Réseau

Multiplexage	vidéo, audio, données
Format d'images	H.225.0 (conforme à la recommandation ITU-T)
Interface	LAN (100BASE-TX/10BASE-T)
Protocole LAN pris en charge	HTTP FTP Telnet RTP/RTCP TCP/UDP SNMP

Télécommande

Commande de la caméra distante	H.281 (conforme à la recommandation ITU-T)
--------------------------------	---

Caméra

Dispositif d'image	1/3,8 pouces couleur CMOS Nombre total de pixels : environ 1,33 million Nombre total de pixels effectifs : environ 1,28 million
Objectif	f = 2,1 mm F = 1:2,4 Angle horizontal : 87° environ Angle vertical : 71° environ
Distance focale	300 mm
Fonction pan/tilt/zoom (panoramique/inclinaison/zoom)	Par traitement numérique
Fonction de Balance des blancs automatique intégrée	
Fonction de prise de vue automatique intégrée	

Fréquence d'images

Auto (commute automatiquement pour correspondre à l'éclairage ambiant)/ 30/15 fps

Ecran

Taille	Ecran large de 17,1 pouces (mesure en diagonale de la zone écran)
Résolution	1280 × 768 (WXGA)
Luminance d'écran maximale	410 cd/m ²
Temps de réponse	13 ms
Rapport de contraste	600 : 1
Angle de prise de vue	176 degrés
Nombre de couleurs	16 700 000 couleurs

Contrôleur d'écran

PinP	4 coins
PandP	Deux/Trois fenêtres
Côte-à-côte	Deux fenêtres
Entrée	interne : Communication vidéo RGB externe : Écran d'ordinateur
Mode de largeur	Normal, Zoom, Large
Mode RGB	640 × 480, 800 × 600, 1024 × 768, 1280 × 768, etc. L'affichage d'une image agrandie est possible.

Haut-parleur

Haut-parleur	3 W × 2
--------------	---------

Microphone

Plage de fréquence	14 kHz
Propriétés directives	Directionnel, angle étroit

Informations générales

Alimentation	19,5 V DC
Consommation électrique	6,15 A
Température d'utilisation	5 °C à 35 °C (41 °F à 94 °F)
Humidité d'utilisation	20% à 80%
Température de stockage	-20 °C à +60 °C (-4 °F à +140 °F)
Degré d'humidité pour le stockage	20% à 80% (sans condensation)
Dimensions	424 × 376 × 95,5 mm (l/h/p) (16 3/4 × 14 7/8 × 3 7/8 pouces) (sans le support) 424 × 419 × 258 mm (l/h/p) (16 3/4 × 16 1/2 × 10 1/4 pouces) (avec le support)
Poids	8 kg (17 lb 9 oz) environ

Accessoires fournis

Souris numérique PCS-RMU1 (1)
Adaptateur CA VGP-AC19V15 (1)
Cordon d'alimentation (1)
CD-ROM (1)
Guide de démarrage rapide (1)
Certificat de garantie (1)

Adaptateur CA VGP-AC19V15

Alimentation 100 V à 240 V AC, 50/60 Hz, 1,6 A à 0,7 A
Sortie 19,5 V DC, 6,2 A
Température d'utilisation 5 °C à 35 °C (41 °F à 94 °F)
Humidité d'utilisation 20% à 80%
Température de stockage -20 °C à +60 °C (-4 °F à +140 °F)
Degré d'humidité pour le stockage 20% à 80% (sans condensation)
Dimensions 155 × 67 × 36,5 mm (l/h/p)
(6 1/8 × 2 3/4 × 1 7/16 pouces)
(sans les parties saillantes)
Poids 550 g (1 lb 3 oz) environ

Microphone PCS-A1 (en option)

Bande passante 13 kHz
Propriétés directives Omnidirectionnel
Dimensions 74 × 16 × 93 mm (l/h/p)
(3 × 21/32 × 3 3/4 pouces)
Poids 170 g (6 oz) environ
Alimentation Auto-alimentation
Longueur du câble 8 m (26 pieds 3 pouces)

Microphone PCSA-A3 (en option)

Bande passante 13 kHz
Propriétés directives Unidirectionnel
Dimensions 68 × 16 × 96 mm (l/h/p)
(2 3/4 × 21/32 × 3 7/8 pouces)
Poids 200 g (7 oz) environ
Alimentation Auto-alimentation
Longueur du câble 8 m (26 pieds 3 pouces)

Module Solution de données PCSA-DSM1 (en option)

Consommation 20 W max.
Température d'utilisation 5 °C à 35 °C (41 °F à 94 °F)
Humidité d'utilisation 20% à 80%

Température de stockage

-20 °C à +60 °C (-4 °F à +140 °F)

Degré d'humidité pour le stockage

20% à 80% (sans condensation)

Dimensions 107 × 250 × 34 mm (l/h/p)
(4 1/4 × 9 7/8 × 1 3/8 pouces)
(sans les parties saillantes)

Poids 550 g (1 lb 3 oz) environ

Accessoires fournis

Guide de démarrage rapide (1)
Certificat de garantie (1)

Logiciel SIP PCSA-SP1 (en option)

Accessoires fournis

Etiquette de numéro de série (1)
Mode d'emploi (1)

La conception et les spécifications sont susceptibles d'être modifiées sans préavis.

Ce produit utilise les polices par point Ricoh, produites et commercialisées par Ricoh Co., Ltd.

Remarque

Vérifiez toujours que l'appareil fonctionne correctement avant l'utilisation. Sony n'assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu'elle soit.

Signaux d'entrée/sortie RGB acceptables

Élément d'image	Format du signal	fH (kHz)	fV (Hz)	Fréquence de point (MHz)	Sync.
640 × 480	Mode VGA	31,469	59,94	25,17	H nég V nég
	Macintosh 13"	35	66,667	30,24	H nég V nég
	VGA VESA 72 Hz	37,861	72,809	31,5	H nég V nég
	VGA VESA 75 Hz	37,5	75	31,5	H nég V nég
	VGA VESA 85 Hz	43,269	85,008	36	H nég V nég
800 × 600	SVGA VESA 56 Hz	35,156	56,25	36	H-pos V-pos
	SVGA VESA 60 Hz	37,879	60,317	40	H-pos V-pos
	SVGA VESA 72 Hz	48,077	72,188	50	H-pos V-pos
	SVGA VESA 75 Hz	46,875	75	49,5	H-pos V-pos
	SVGA VESA 85 Hz	53,674	85,061	56,25	H-pos V-pos
1024 × 768	XGA VESA 60 Hz	48,363	60,004	65	H nég V nég
	XGA VESA 70 Hz	56,476	70,069	75	H nég V nég
	XGA VESA 75 Hz	60,023	75,029	78,75	H-pos V-pos
1280 × 768	WXGA VESA 60 Hz*	47,693	59,992	80,12	H-nég V-pos

* Pas de transmission possible via le module de solution de données PCSA-DSM1.

VORSICHT

Schützen Sie das Gerät vor Regen und Feuchtigkeit. Andernfalls besteht die Gefahr von Bränden und elektrischen Schlägen.

**Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden.
Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur einem Fachmann.**

WARNUNG

Verwenden Sie ausschließlich das mitgelieferte Netzteil zur Stromversorgung.

Hersteller	Typ-Nr.
Sony	VGP-AC19V15

Bei Verwendung anderer Netzteile bestehen Brand- und anderen Gefahren.

Um das Gerät vom Stromnetz zu trennen, ziehen Sie den Stecker des Netzteils aus der Steckdose.

Stellen Sie sicher, dass das Gerät in der Nähe einer leicht zugänglichen Steckdose installiert wird.

Bei unnormalem Betriebsverhalten ziehen Sie den Stecker des Netzteils aus der Steckdose.

HINWEIS

Verwenden Sie nur das Netzkabel, welches für den Einsatzort von der entsprechend zuständigen Prüfstelle zugelassen ist.

WARNHINWEIS zum Anschluss LAN

Schließen Sie aus Sicherheitsgründen an den Anschluss LAN keine Netzwerkgeräte an, die hohe Spannungen führen könnten.

Für Kunden in Europa

Der Hersteller dieses Produkts ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.

Der autorisierte Repräsentant für EMV und Produktsicherheit ist Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Bei jeglichen Angelegenheiten in Bezug auf Kundendienst oder Garantie wenden Sie sich bitte an die in den separaten Kundendienst- oder Garantiedokumenten aufgeführten Anschriften.

Für Kunden in Europa, Australien und Neuseeland

Warnung

Dies ist eine Einrichtung, welche die Funk- Entstörung nach Klasse A besitzt. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen durchzuführen und dafür aufzukommen. Sollten Funkstörungen auftreten, wenden Sie sich bitte an den nächsten autorisierten Sony-Kundendienst.

Dieser Apparat darf nicht im Wohnbereich verwendet werden.

Maschinenlärminformations -Verordnung - 3. GPSGV, der höchste Schalldruckpegel beträgt 70 dB(A) oder weniger gemäß EN ISO 7779.

Inhaltsverzeichnis

Umfang der Dokumentation	54
Produkteigenschaften.....	54
Integriertes tragbares Videokommunikationssystem	54
Intuitive Benutzeroberfläche	55
Verwenden des PCS-TL33 als Computerbildschirm.....	55
Überprüfen des Packungsinhalts	55
Namen und Funktionen der Teile.....	56
Namen und Funktionen der LEDs	57
Systemanschlüsse	58
Hinweis zu den Anschlüssen	58
Sicherheitshinweise für die Verbindungen ..	58
Anschlussbeispiel (Verwendung als selbstständiges Gerät).....	59
Anschlussbeispiel für die Verwendung mit einem Computer (separate Maus)	59
Anschlussbeispiel für die Verwendung mit einem Computer (gemeinsam genutzte Maus).....	59
Ein- und Ausschalten des Systems.....	60
Öffnen der Objektivabdeckung.....	60
Einschalten des Systems	60
Setup-Assistent für die Ersteinrichtung	61
Ausschalten des Systems	61
Aktivieren des Bereitschaftsmodus des Videokommunikationssystems	61
Umschalten zwischen Videokonferenzmonitor und Computermonitor	62
Höheneinstellung des Monitors.....	63
Vorsichtsmaßnahmen.....	63
Betriebs- und Lagerbedingungen.....	63
LCD-Bildschirm	64
Nebeneffekte der CMOS-Sensoren	64
Integrierte Lautsprecher.....	64
Reinigen des Gerätes	64
Technische Daten.....	64
Zulässige RGB-Eingangs-/Ausgangs-Signale.....	67

Diese Kurzanleitung enthält wichtige Sicherheitshinweise und Anweisungen zum Umgang mit dem Gerät Produkt zur Vermeidung von Unfällen oder Verletzungen. Lesen Sie das Dokument aufmerksam und bewahren Sie es zum Nachschlagen auf, um einen sicheren Betrieb des Produkts zu gewährleisten.

Beachten Sie außerdem die ausführlichen Informationen über das Produkt in der Betriebsanleitung auf der beiliegenden CD-ROM, die gemeinsam mit der Kurzanleitung zu verwenden ist.

Umfang der Dokumentation

Im Lieferumfang dieses Produkts sind die im Folgenden aufgeführten Dokumente enthalten.

Kurzanleitung (dieses Dokument)

Enthält grundlegende Informationen über die Grundeinstellungen und das Anschließen des Systems. (Die beiliegende CD-ROM enthält die Kurzanleitung in Dateiform.)

Betriebsanleitung (auf CD-ROM)

Enthält ausführliche Informationen über die Bedienung des Gerätes und die erforderlichen Einstellungen für verschiedene Arten von Videokonferenzen. Dieses Dokument enthält eine Beschreibung aller Funktionen des Produkts.

Systemanforderungen für die Benutzung der CD-ROM

Für die Benutzung der CD-ROM müssen die folgenden Systemanforderungen erfüllt sein.

- Computer: Intel® Pentium®-Prozessor
 - RAM: Mindestens 64 MB
 - CD-ROM-Laufwerk: Mindestens 8-fache Geschwindigkeit
- Monitor: Auflösung mindestens 800 × 600
- Betriebssystem: Microsoft® Windows® XP Professional oder Windows XP Home Edition

Wenn diese Anforderungen nicht erfüllt sind, kann die CD-ROM unter Umständen nicht oder nur sehr langsam benutzt werden.

Vorbereitungen

Um die Betriebsanleitung auf der beiliegenden CD-ROM verwenden zu können, muss auf dem Computer eine der folgenden Softwareanwendungen installiert sein:

- Adobe® Acrobat® Reader ab Version 4.0
- Adobe® Reader ab Version 6.0

Hinweis

Wenn Adobe Reader nicht installiert ist, können Sie die Anwendung von der folgenden URL-Adresse herunterladen: <http://www.adobe.com>

Anzeigen der Bedienungsanleitung

- 1 Legen Sie die mitgelieferte CD-ROM mit dem Titel „Manuals for Video Communication System“ in das CD-ROM-Laufwerk Ihres Computers ein.

Nach einer kurzen Zeit wird ein Bildschirm mit dem Inhalt der CD-ROM angezeigt.

- 2 Doppelklicken Sie auf die PDF-Datei mit dem Namen „Deutsch“.

Adobe Reader wird gestartet, und die erste Seite der Betriebsanleitung für das

Videokommunikationssystem wird auf dem Bildschirm angezeigt.

Durch Klicken auf ein Thema im „Inhaltsverzeichnis“ können Sie direkt zu der betreffenden Seite wechseln.

- Adobe und Adobe Reader sind Warenzeichen von Adobe Systems, Incorporated.
 - Microsoft und Windows sind in den USA sowie weiteren Ländern eingetragene Warenzeichen der Microsoft Corporation.
 - Intel und Pentium sind in den USA und anderen Ländern Warenzeichen oder eingetragene Warenzeichen von Intel Corporation oder deren Tochterunternehmen.
 - „IPELA“ und **IPELA** sind Warenzeichen der Sony Corporation.

Produkteigenschaften

Das PCS-TL33-Videokommunikationssystem ist ein Videokonferenzsystem zum Senden und Empfangen von Bildern und Ton über das Netzwerk. Es ermöglicht eine natürliche Kommunikation mit einem fernen Teilnehmer, der sich an einem beliebigen anderen Ort, auch auf einem anderen Kontinent, befinden kann.

Integriertes tragbares Videokommunikationssystem

Alle erforderlichen Elemente des Videokommunikationssystems, einschließlich Kamera, Monitor, Codec, Mikrofone und Lautsprecher sind in einem kompakten, gut transportablen Gehäuse integriert, so dass Sie an nahezu jedem Ort eine Videokonferenz einrichten können.

Der integrierte 17-Zoll-Monitor unterstützt die Wiedergabe im Breitbildformat. Die integrierte Kamera ist mit digitalen Funktionen zum Schwenken, Neigen und Zoomen ausgestattet.

Intuitive Benutzeroberfläche

Die Benutzeroberfläche ermöglicht die unkomplizierte Ausführung der Bedienvorgänge durch Klicken mit der Maus (im Lieferumfang enthalten). Zudem ist das System mit einer Onlinehilfe sowie Meldungen zur Benutzerführung ausgestattet.

Verwenden des PCS-TL33 als Computerbildschirm

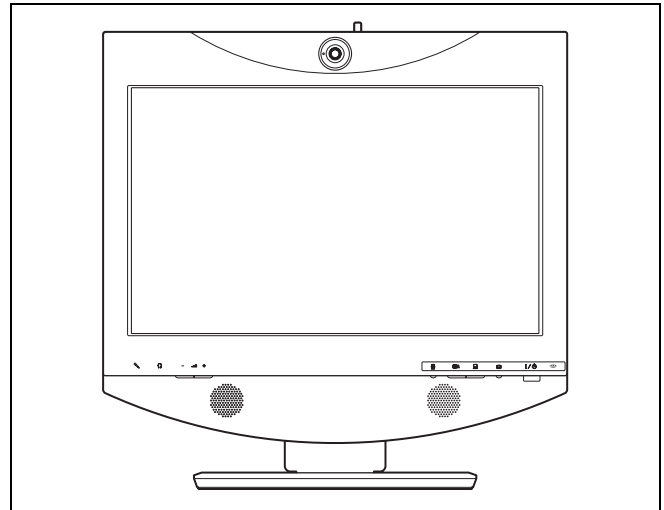
Das PCS-TL33 kann sowohl als selbstständiges Gerät als auch in Verbindung mit einem Computer betrieben werden. In diesem Fall können Sie den Computer und das PCS-TL33 mit jeweils einer eigenen Maus bedienen oder eine Maus für beide Geräte verwenden. Mit dem separat erhältlichen Datenlösungsmodul PCSA-DSM1 können Sie in einer Videokonferenz den Inhalt des Computerbildschirms an den fernen Teilnehmer senden.

Verwendung als selbstständiges Gerät	Verwendung mit einem Computer und separaten Zeigegeräten	Verwendung mit einem Computer und einem einzelnen Zeigegerät
		

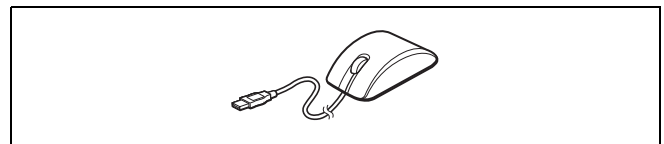
Überprüfen des Packungsinhalts

Überprüfen Sie beim Auspacken des Geräts, dass alle im Folgenden genannten Gegenstände vorhanden sind:

- PCS-TL33 Haupteinheit (1)



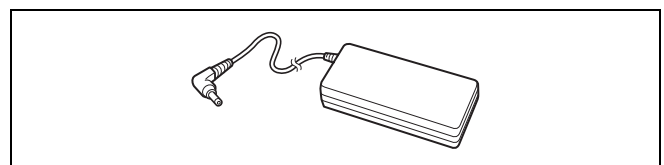
- Optische Maus PCS-RMU1 (1)



Hinweis

Aufgrund des Charakters des optischen Sensors funktioniert die Maus möglicherweise nicht richtig auf transparenten oder reflektierenden Oberflächen wie Glas oder einem Spiegel. Vermeiden Sie in diesen Fällen das Arbeiten auf solchen Oberflächen, oder verwenden Sie eine im Handel erhältliche Mausunterlage. Abhängig von Farbe und Material der Mausunterlage funktioniert die Maus ggf. dennoch nicht richtig.

- Netzteil VGP-AC19V15 (1)



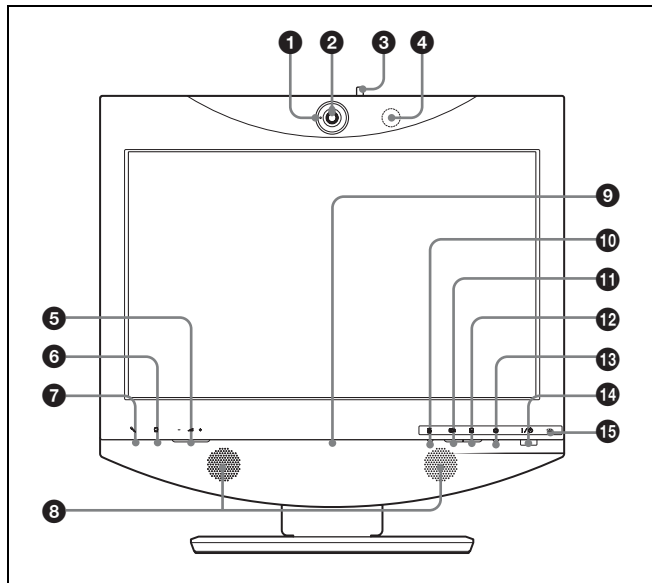
- Netzkabel (1)
- Kurzanleitung (dieses Dokument) (1)
- CD-ROM (Betriebsanleitung) (1)
- Garantieheft (1)

Hinweis

Die mitgelieferte CD-ROM enthält die Bedienungsanleitung mit ausführlicher Beschreibung der Bedienvorgänge und aller Einstellungen. Dieses Dokument wird als PDF-Datei bereitgestellt.

Namen und Funktionen der Teile

Vorderseite



1 Sende-Kontrolleuchte

Leuchtet, wenn lokale Videosignale an das ferne System gesendet werden.

2 Kameraobjektiv

3 Hebel für die Objektivabdeckung

Zum Schließen des Kameraobjektivs.

4 Mikrofon

5 Lautstärketasten

Zum Einstellen der Lautstärke.

+: Erhöht die Lautstärke.

–: Senkt die Lautstärke.

6 Kopfhörerbuchse (für Stereo-Miniklinkenstecker)

Zum Anschluss eines handelsüblichen Kopfhörers.

7 Mikrofonbuchse (für Miniklinkenstecker)

Zum Anschluss des optionalen Mikrofons PCS-A1 oder PCSA-A3.

8 Lautsprecher

9 Online-Leuchte

Zeigt hauptsächlich den Status ankommender und abgehender Gespräche an.

10 Taste und LED „Mikrofon aus“

Ermöglicht die Stummschaltung des lokalen Systems. Durch erneutes Drücken der Taste wird das Tonsignal wieder an das ferne System gesendet.

11 Taste und LED „Videokonferenz“

Zum Umschalten zwischen Computerbildschirm und Videokonferenzbildschirm.

12 Taste und LED „PC“

Zum Umschalten zum Computerbildschirm.

13 Menütaste

Zum Aufrufen des Konfigurationsmenüs.

Halten Sie diese Taste während der Kommunikation 3 Sekunden lang gedrückt, um die DTMF-Tastatur auf dem Bildschirm einzublenden.

14 Schalter und LED „Power“

Schaltet das System ein und aus.

Wenn das System im PC-Modus als Computerbildschirm verwendet wird, wird es durch einmaliges Drücken dieses Schalters ausgeschaltet.

Wenn das System im Videokonferenz-Modus verwendet wird, wird es durch einmaliges Drücken in den Bereitschaftsmodus geschaltet. Zum Ausschalten im Videokonferenz-Modus den Schalter innerhalb von 5 Sekunden nach der ersten Betätigung erneut drücken.

Hinweis

Der Netzschalter ist während einer laufenden Kommunikationssitzung gesperrt.

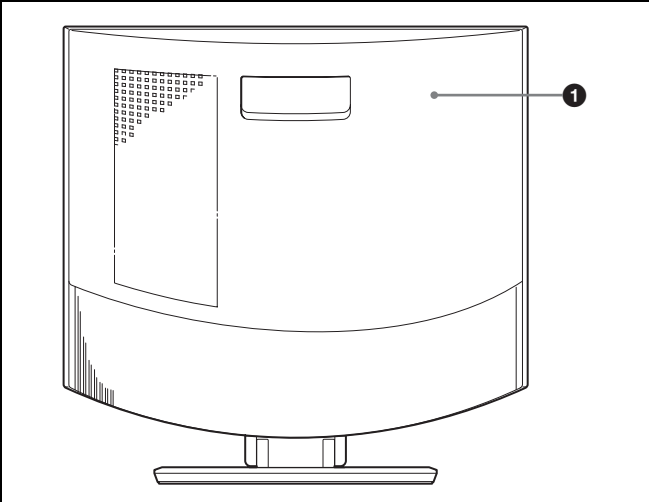
15 LED „Memory Stick“

Zeigt den Status des Memory Stick-Steckplatzes.

Hinweis

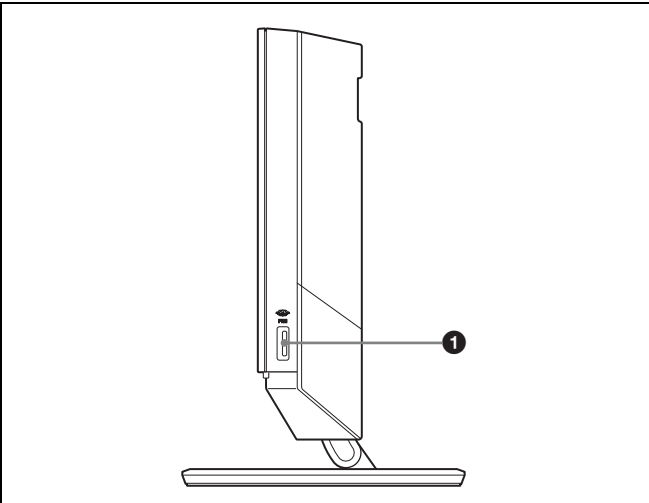
Entnehmen Sie den Memory Stick nicht, solange die LED leuchtet.

Rückseite



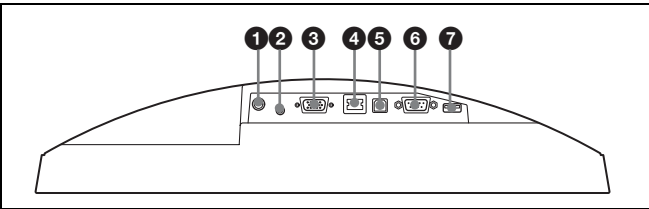
1 Rückwand
Diese Abdeckung entfernen, um Zugang zur Anschlussleiste zu erhalten. Hinter der Rückwand befindet sich außerdem der Anschlussbereich zwischen dem Fuß und dem Monitor. Die Höhe des Monitors lässt sich durch Ändern der Schraubenpositionen einstellen.

Rechte Seite



1 Memory Stick-Steckplatz
Zum Einstecken eines Memory Stick.

Anschlussleiste
(hinter der Rückwand, von unten)



1 Netzteilanschluss (19,5 V –)
Zum Anschließen des im Lieferumfang enthaltenen Netzteils VGP-AC19V15.

- 2 AUDIO IN: Eingangsbuchse für PC-Sound (Stereo-Miniklinke)**
Diese Buchse an den Audioausgang eines mit dem RGB IN-Anschluss verbundenen Computers anschließen.
- 3 RGB IN-Anschluss (15-poliger D-Sub-Minianschluss)**
Zum Anschließen an den RGB-Ausgang eines Computers.
- 4 100BASE-TX/10BASE-T-Anschluss (Modularbuchse)**
Diesen Anschluss mit einem LAN-Kabel der Kategorie 5 mit einem Hub oder ähnlichen Gerät verbinden. Der Anschluss ist mit einer Link/Data-LED (grün) und einer 100/10-Mb/s-LED (orange) ausgestattet.
- 5 PC-Anschluss**
Dieser Anschluss wird verwendet, wenn der PCS-TL33 und ein mit dem RGB IN-Anschluss verbundener Computer mit derselben Maus bedient werden. Verbinden Sie den Anschluss mit einem USB-Anschluss des Computers.
- Hinweis**
Das verwendete USB-Kabel darf maximal 3 m lang sein.
- 6 RS-232C-Anschluss (9-poliger D-Sub-Anschluss)**
Dieser Anschluss wird nur für die Wartung des Systems verwendet.
- 7 Mausanschluss**
Zum Anschließen der beiliegenden Maus PCS-RMU1.

Namen und Funktionen der LEDs

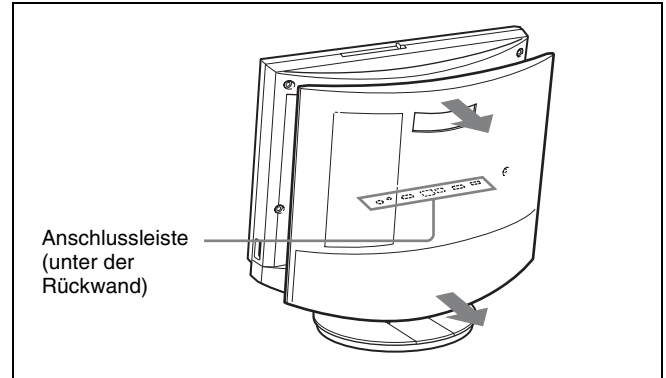
LED	Status	Bedeutung
I /  (Power) *	Leuchtet grün	Gerät ist eingeschaltet
	Leuchtet orange	Bereitschaft
	Blinkt orange (einmal pro Sekunde)	Lüfterstörung
	Aus	Gerät ist ausgeschaltet
Online *	Blinkt blau (3 Mal pro Sekunde)	Senden/Empfangen von Signalen
	Leuchtet blau	Kommunikation findet statt
	Aus	Offline (keine verpassten Gespräche) oder Bereitschaft
 (PC) *	Leuchtet blau	Computermonitor
	Leuchtet weiß	Videokonferenzmonitor
	Aus	Bereitschaft

LED	Status	Bedeutung
 (Videokonferenz) *	Leuchtet blau	Videokonferenzmonitor
	Leuchtet weiß	Computermonitor
	Aus	Bereitschaft
 (Mikrofon aus) *	Leuchtet orange	Mikrofon ausgeschaltet
	Leuchtet weiß	Mikrofon eingeschaltet
	Aus	Bereitschaft
 („Memory Stick“)	Leuchtet orange	Zugriff auf „Memory Stick“
	Aus	Kein Zugriff auf „Memory Stick“
Sende-Kontrolleuchte	Leuchtet orange	Kamerabild wird an fernen Teilnehmer gesendet (Objektivabdeckung)
	Blinkt orange (5-Mal pro Sekunde)	Bild „Closed“ (Geschlossen) wird an fernen Teilnehmer gesendet (Objektivabdeckung geschlossen)
	Aus	Kamerabild wird nicht gesendet
Link/Data	Leuchtet grün	Verbindung hergestellt
	Blinkt grün	Daten werden übertragen
	Aus	Verbindung ist offline
100/10 Mbit/s	Leuchtet orange	100 Mbit/s
	Aus	10 Mbit/s

* Die LED leuchtet während des Systemstarts. Wenn ein unzulässiger Temperaturwert erkannt wird, blinkt die LED, und das Gerät wird abgeschaltet.

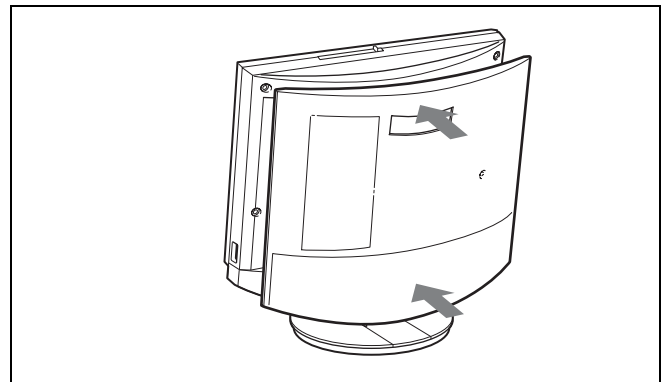
Entfernen der Rückwand

Ziehen Sie die Rückwand ab.



Anbringen der Rückwand

Drücken Sie die Rückwand gegen das Gerät. Achten Sie dabei auf die richtige Ausrichtung der vier Stifte.



Sicherheitshinweise für die Verbindungen

Warnung

- Verwenden Sie nur das im Lieferumfang enthaltene Netzteil und Netzkabel.
- Stecken Sie den Netzstecker und den Adapterstecker des Netzteils stets vollständig in die Steckdose bzw. Buchse.
- Schließen Sie den 100BASE-TX/10BASE-T-Anschluss nicht an Netzwerke an, in denen übermäßige Spannungen auftreten können.

Sicherheitshinweis

- Schalten Sie vor dem Herstellen der Verbindungen alle Komponenten aus.
- Um Beschädigungen des Geräts zu verhindern, dürfen Stecker nur bei ausgeschaltetem Gerät eingesteckt oder gezogen werden.

Systemanschlüsse

In diesem Abschnitt werden die typischen Systemanschlüsse beschrieben.

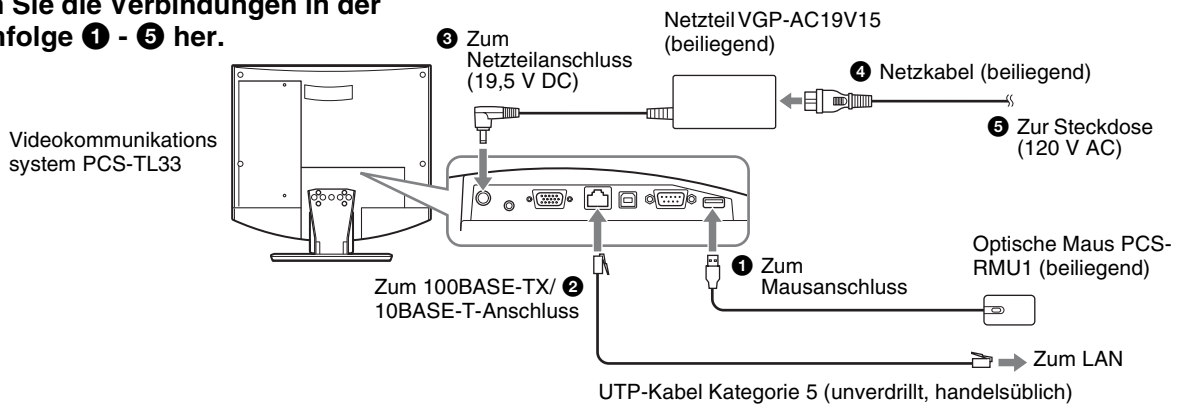
Das PCS-TL33 kann sowohl als selbstständiges Gerät betrieben als auch als Monitor an einen Computer angeschlossen werden. In diesem Fall können Sie den Computer und das PCS-TL33 mit jeweils einer eigenen Maus bedienen oder den Computer und das PCS-TL33 mit einem USB-Kabel verbinden und eine Maus für beide Geräte verwenden.

Hinweis zu den Anschlüssen

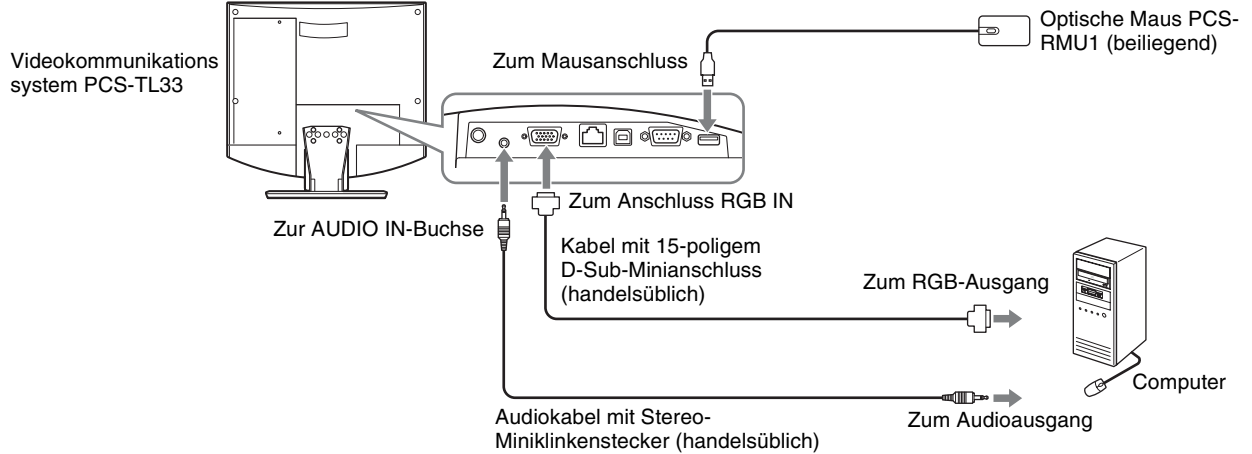
Die Anschlüsse des Systems befinden sich unter der Rückwand. Entfernen Sie zum Herstellen der Verbindungen die Rückwand, und bringen Sie sie danach wieder an.

Anschlussbeispiel (Verwendung als selbstständiges Gerät)

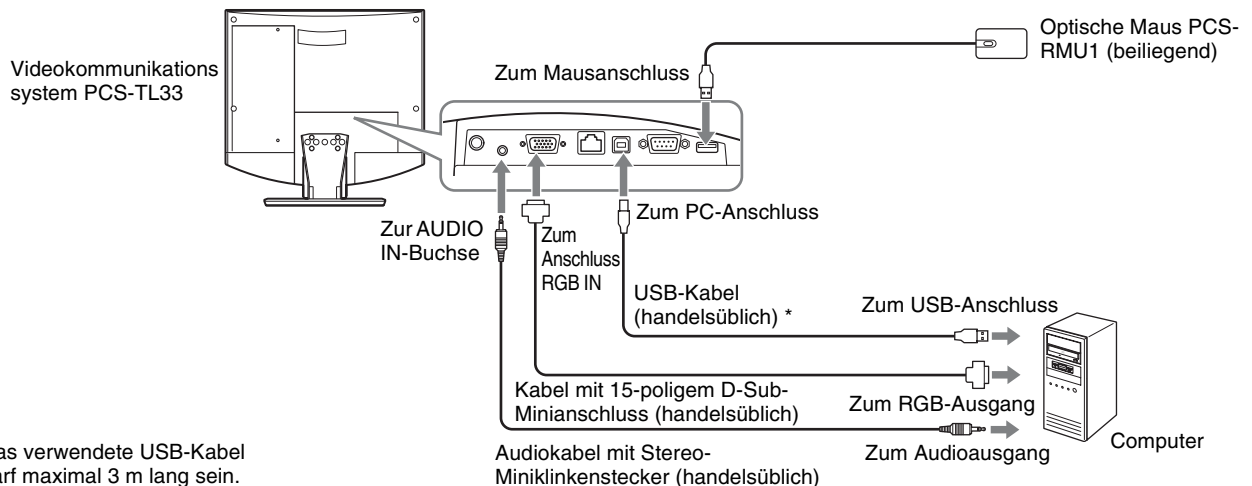
Stellen Sie die Verbindungen in der Reihenfolge ① - ⑤ her.



Anschlussbeispiel für die Verwendung mit einem Computer (separate Maus)



Anschlussbeispiel für die Verwendung mit einem Computer (gemeinsam genutzte Maus)



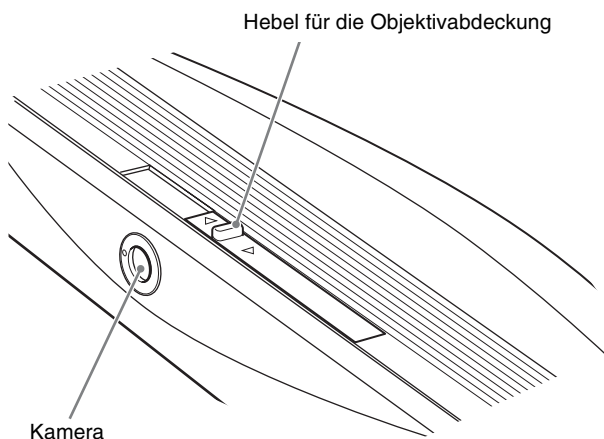
Ein- und Ausschalten des Systems

Vor dem Einschalten müssen alle Verbindungen des Systems ordnungsgemäß hergestellt sein.

Je nach der verwendeten Software können die angezeigten Bildschirme von den hier abgebildeten abweichen.

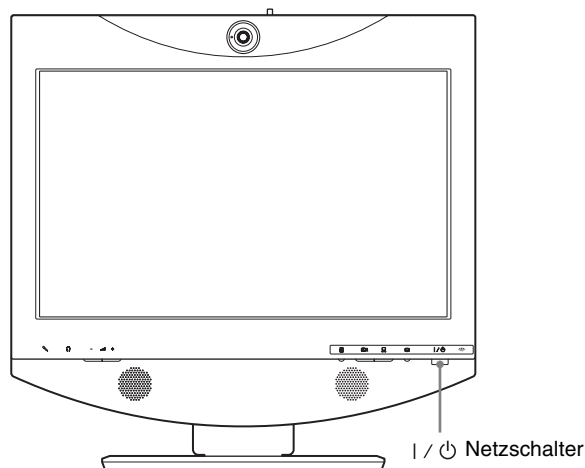
Öffnen der Objektivabdeckung

Das System ist mit einer Objektivabdeckung zum Abdecken der Kamera ausgestattet. Öffnen Sie vor Beginn einer Videokonferenz die Objektivabdeckung, indem Sie den Hebel für die Objektivabdeckung auf der Oberseite des Systems nach rechts schieben. Wenn die Objektivabdeckung geschlossen ist, kann der Fernteilnehmer das Bild am lokalen Standort nicht sehen.



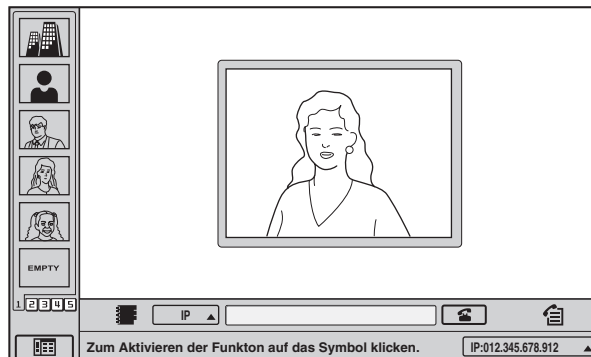
Einschalten des Systems

Drücken Sie den Netzschalter  des PCS-TL33.

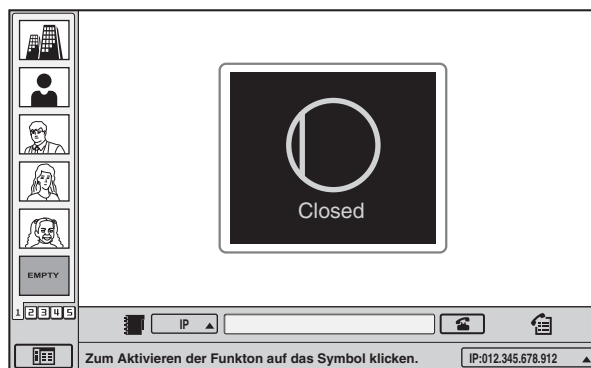


Die Anzeige des Schalters leuchtet orange. Das Videokommunikationssystem ist jetzt eingeschaltet. Wenn der Start des Systems abgeschlossen ist, leuchtet die LED grün. Das Menü „Start“ und das Bild der lokalen Kamera werden auf dem Monitor angezeigt.

Menü „Start“



Wenn die Objektivabdeckung geschlossen ist, wird das Menü „Start“ wie in der folgenden Abbildung angezeigt:



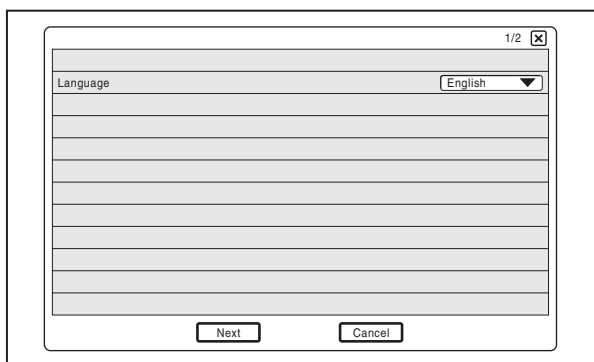
Hinweise

- Beim ersten Einschalten des Geräts nach dem Anschließen des Netzkabels an eine Netzsteckdose leuchtet die LED unter Umständen erst nach 10 Sekunden.
- Wenn Sie das Videokommunikationssystem zum ersten Mal nach der Installation einschalten, wird der Setup-Assistent angezeigt. Konfigurieren Sie das System mit Hilfe des Konfigurationsassistenten.

Setup-Assistent für die Ersteinrichtung

Je nach der verwendeten Software können unterschiedliche Konfigurationsoptionen zur Verfügung stehen.

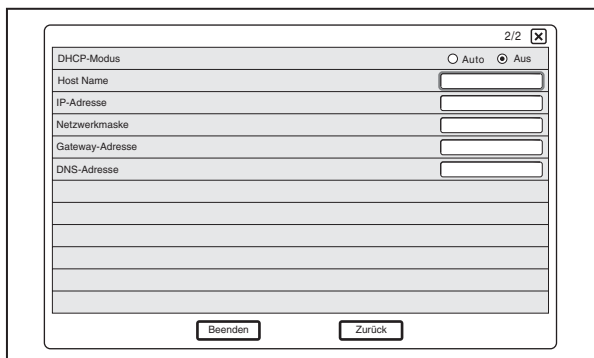
- 1 Wählen Sie in der Pulldown-Liste „Language“ die Sprache aus, in der das Menü und die Meldungen angezeigt werden sollen.



- 2 Klicken Sie auf „Next“.
- 3 Nehmen Sie die erforderlichen Einstellungen für das LAN vor.

Hinweis

Die folgenden Beispiele setzen voraus, dass Deutsch als Anzeigesprache gewählt wurde.



DHCP-Modus: Zum Definieren der DHCP-Einstellungen (Dynamic Host Configuration Protocol).

Auto: IP-Adresse, Teilnetzmaske, Gateway-Adresse und DNS-Adresse werden automatisch zugewiesen.

Aus: DHCP deaktiviert. In diesem Fall müssen Sie Ihre IP-Adresse, die Teilnetzmaske, die Gateway-Adresse und die DNS-Adresse manuell eingeben.

Host Name: Geben Sie hier den Hostnamen ein.

IP-Adresse: Geben Sie hier Ihre IP-Adresse ein.

Netzwerkmaske: Geben Sie hier Ihre Teilnetzmaske ein.

Gateway-Adresse: Geben Sie hier die Standardgateway-Adresse ein.

DNS-Adresse: Geben Sie die Adresse des DNS-Servers ein (Domain Name System-Server).

Wenn Ihnen die erforderlichen Einstellungen nicht bekannt sind, wenden Sie sich an den Netzwerkadministrator.

- 4 Klicken Sie auf „Beenden“.

Die Einstellungen werden gespeichert.

Ausschalten des Systems

- 1 Drücken Sie zweimal die Taste | / ⏻ (Power).

Nach einmaligem Drücken des Schalters wird die Meldung „Warten Sie 5 Sekunden, bis das Gerät in den Standby-Modus wechselt. Zum Ausschalten erneut den Power-Schalter drücken“ angezeigt.

- 2 Schalten Sie die anderen Geräte aus, die für die Videokonferenz verwendet werden.

Hinweise

- Schalten Sie das System aus, wenn es längere Zeit nicht verwendet wird. Solange das Gerät ausgeschaltet ist, können keine Anrufe von Fernteilnehmern empfangen werden.
- Wenn das System im PC-Modus als Computermonitor verwendet wird, wird es durch einen Druck auf den Netzschalter ausgeschaltet.
- In einer Konferenz ist der Netzschalter funktionslos.

Aktivieren des Bereitschaftsmodus des Videokommunikationssystems

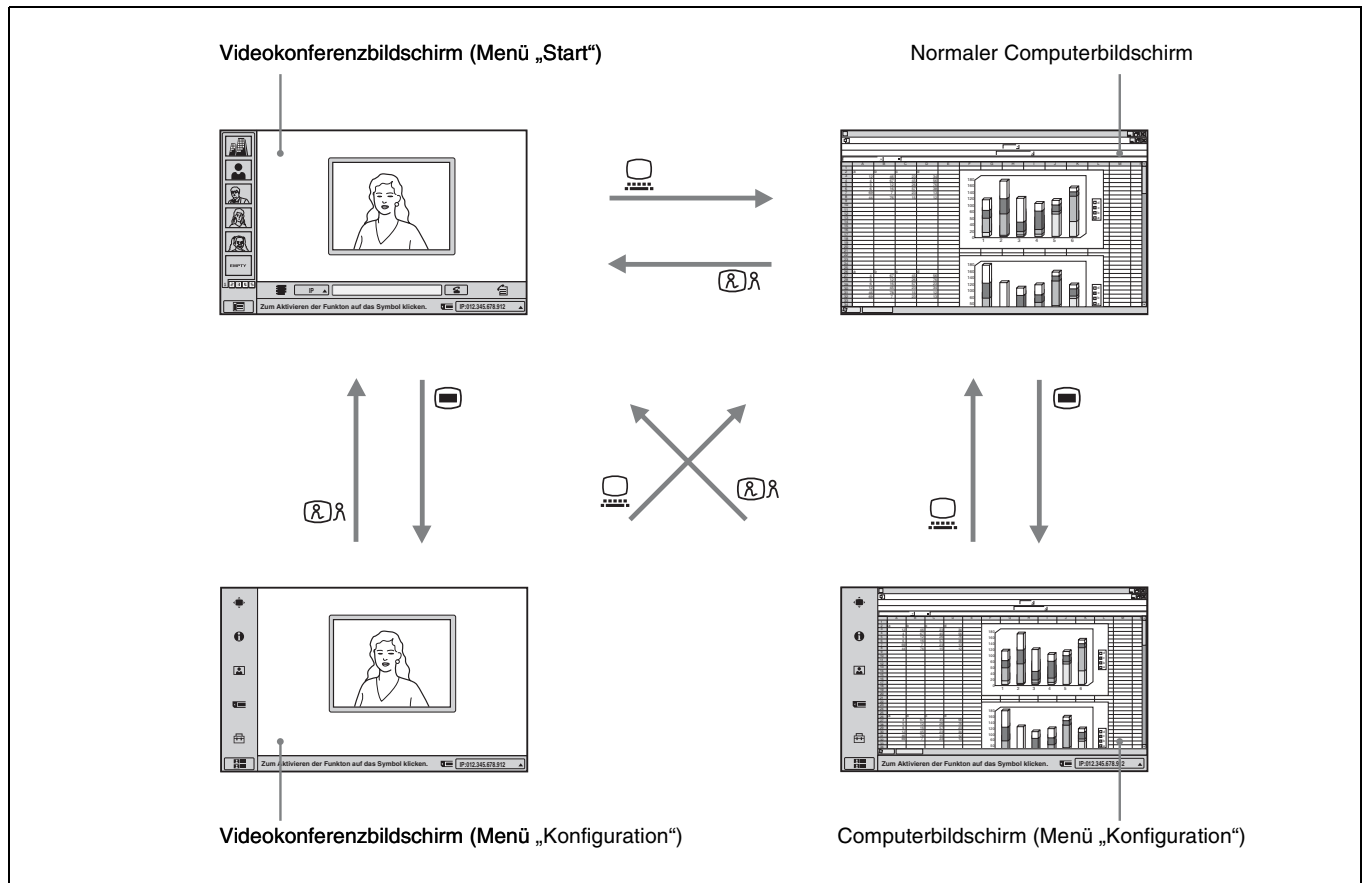
Wenn Sie den Schalter | / ⏻ (Power) des PCS-TL33 drücken, erscheint die Meldung „Warten Sie 5 Sekunden, bis das Gerät in den Standby-Modus wechselt. Zum Ausschalten erneut den Power-Schalter drücken.“. Das System wechselt nach einigen Sekunden in den Standby-Modus.

Im Standby-Modus können Anrufe von Fernteilnehmern empfangen werden.

Um aus dem Standby-Modus in den normalen Modus zu wechseln, drücken Sie einmal den Netzschalter.

Umschalten zwischen Videokonferenzmonitor und Computermonitor

Mit den Tasten  (Menü)  (PC) und  (Videokonferenz) unten rechts am Gerät können Sie zwischen Videokonferenzbildschirm und Computerbildschirm umschalten.



Hinweise

- Wenn das PCS-TL33 nicht an einen Computer angeschlossen ist, wird beim Drücken der Taste  (PC) zum Umschalten auf den Computermonitor die Maus deaktiviert.
- Wenn während einer Kommunikation ein Sub-Bild angezeigt wird, bleibt dieses auch beim Umschalten auf den Computermonitor erhalten. Das im Sub-Bild angezeigte Video kann vom fernen oder vom lokalen System stammen.
- Wenn für den PCS-TL33 und den Computer separate Mäuse verwendet werden, ist die aktive Maus vom aktuellen Monitorbildschirm abhängig. Wenn der normale Computerbildschirm angezeigt wird, ist die an den Computer angeschlossene Maus aktiv. Wenn andere Bildschirme angezeigt werden, ist die an den PCS-TL33 angeschlossene Maus aktiv.

Höheneinstellung des Monitors

Der Fuß und der Monitor des PCS-TL33 sind mit Halteschrauben verbunden. Im Monitor befinden sich im Abstand von 25 mm drei Reihen von Schraubenlöchern. Im Lieferzustand ist der Monitor in der niedrigsten Position fixiert. Wählen Sie eine andere Reihe von Löchern, um die Höhe des Monitors zu ändern.

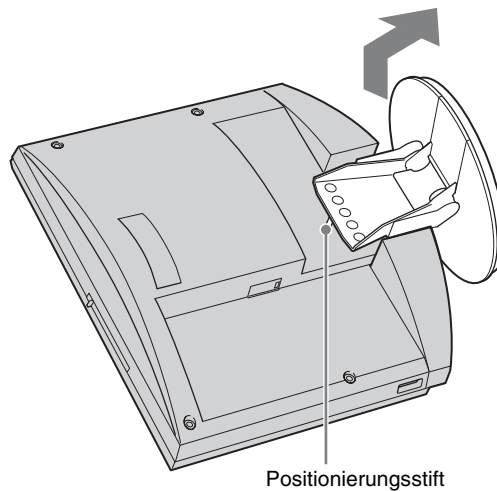
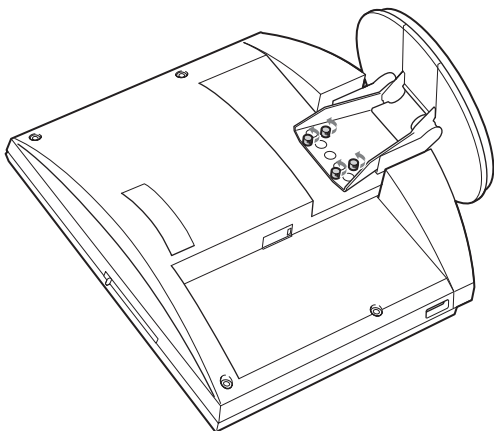
- 1 Nehmen Sie die Rückwand des Geräts ab.

Eine Anleitung hierzu finden Sie Seite 58.

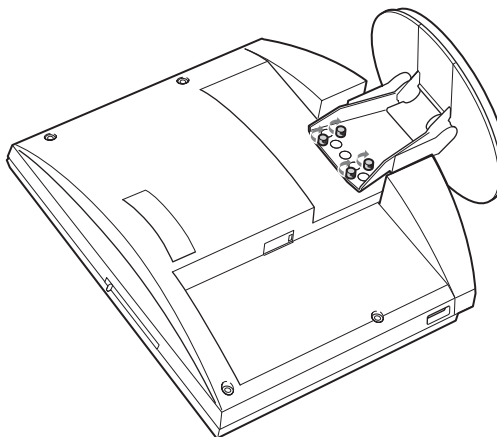
- 2 Lösen Sie mit einer Münze o. ä. die 4 Schrauben, heben Sie den Fuß an, und führen Sie den Positionierungsstift in die Öffnung für die neue Position des Fußes.

Hinweis

Ehe Sie die Höhe des Monitors entsprechend der obigen Beschreibung ändern, muss das Gerät ausgeschaltet werden. Legen Sie den Monitor mit der Frontseite nach unten auf ein weiches Tuch o. ä.



- 3 Ziehen Sie die 4 Schrauben zur Sicherung des Fußes mit einer Münze o. ä. fest.



- 4 Bringen Sie die Rückwand wieder an.

Vorsichtsmaßnahmen

Betriebs- und Lagerbedingungen

Folgende Bedingungen sind für den Betrieb oder die Lagerung des Systems nicht geeignet:

- Extreme Hitze oder Kälte
- Feuchtigkeit und Staub
- Starke Erschütterungen
- Nähe zu starken Magnetquellen
- Nähe zu starken elektromagnetischen Strahlungsquellen, wie Radio- oder Fernsehsendemasten
- Hohe Lärmbelastung

LCD-Bildschirm

Hinweise zum Gebrauch

- Der LCD-Bildschirm darf keiner direkten Sonneneinstrahlung ausgesetzt werden, da dies zu einer Beschädigung der Bildschirmoberfläche führen kann.
- Der LCD-Bildschirm darf nicht eingedrückt, zerkratzt oder als Unterlage für Gegenstände verwendet werden, da hierdurch die Bilddarstellung verzerrt oder die LCD-Anzeige beschädigt werden kann.
- Wenn das System unter kalten Bedingungen verwendet wird, können Schmier- oder Verdunklungseffekte in der Bildanzeige auftreten. Dies sind keine Zeichen für Gerätefehler. Diese Erscheinungen verschwinden bei höherer Außentemperatur wieder.
- Wenn Bilder für längere Zeit angezeigt werden, kann die Bilddarstellung unscharf werden. Dieses Phänomen verschwindet nach einer Weile wieder.
- Es wird dadurch verursacht, dass sich Bildschirm und Gehäuse während des Systembetriebs erwärmen und stellt keine Funktionsstörung dar.

Anzeigepixel

Obgleich die LCD-Anzeige unter Einsatz von Hochpräzisionstechnologien gefertigt wurde und über 99,99% aktive Bildelemente enthält, können schwarze oder permanent helle (rote, blaue oder grüne) Lichtpunkte auf dem LCD-Bildschirm erscheinen. Nach längerem Gebrauch können defekte Bildpunkte auftreten. Dies ist eine spezifische Eigenschaft von LCD-Bildschirmen und keine Fehlfunktion.

Nebeneffekte der CMOS-Sensoren

Die nachfolgend aufgeführten Erscheinungen können in Bildern auftreten und sind charakteristisch für CMOS-Sensoren (Complementary Metal Oxide Semiconductor). Sie stellen keine Fehlfunktion dar.

Weißer Flecken

Obwohl CMOS-Sensoren mit Präzisionstechnologie gefertigt werden, können in seltenen Fällen kleine weiße Flecken auf dem Bildschirm erscheinen, die durch kosmische Strahlungseinflüsse usw. hervorgerufen werden.

Dies ist durch das Funktionsprinzip von CMOS-Sensoren bedingt und stellt keine Fehlfunktion dar.

Diese weißen Flecken treten vornehmlich in folgenden Fällen auf:

- bei Betrieb mit hoher Umgebungstemperatur
- bei erhöhter Verstärkung (höherer Empfindlichkeit)

Aliasing

Beim Aufnehmen von feinen Mustern, Streifen oder Linien erscheinen diese möglicherweise gezackt oder flimmernd.

Hinweis zu Laserstrahlung

Laserstrahlen können zu Schäden an CMOS-Sensoren führen. Wir weisen Sie hiermit ausdrücklich darauf hin, dass in Umgebungsbedingungen, in denen Lasergeräte verwendet werden, die Oberfläche eines CMOS-Sensors keinesfalls Laserstrahlung ausgesetzt werden darf.

Integrierte Lautsprecher

Lautsprecher erzeugen Magnetfelder. Um Beschädigungen der Daten zu vermeiden, dürfen Magnetbänder und Datenträger nicht in der Nähe von Lautsprechern aufbewahrt werden.

Reinigen des Gerätes

- Ziehen Sie vor dem Reinigen des Gerätes das Netzkabel aus der Steckdose.
- Die Oberfläche des LCD-Bildschirms ist mit einer Spezialbeschichtung behandelt. Wischen Sie die Bildschirmoberfläche zum Entstauben vorsichtig mit einem trockenen, weichen Tuch ab.
- Verwenden Sie keine flüchtigen Lösungsmittel wie Alkohol, Benzin oder Verdünner, da diese u. U. die Oberflächenbeschichtung beschädigen.
- Bei der Verwendung von chemischen Reinigungsmitteln die dazugehörigen Anweisungen.
- Verwenden Sie keine flüchtigen Lösungsmittel wie Insektizide, und befestigen Sie keine Gummi- oder Plastikobjekte für längere Zeit am Bildschirm, da dies die Oberflächenbeschichtung beschädigen kann.

Technische Daten

PCS-TL33 Videokommunikationssystem

Dieses Gerät entspricht den ITU-T-Empfehlungen H.323 und IETF SIP.

Bewegtes Bild

Betriebsbandbreite

	64 kbit/s bis 2048 kbit/s
Codierung	H.261/H.263/H.263+/H.263++/H.264 (ITU-T Empfehlung)
	MPEG4 Simple Profile
Bildelemente	CIF: 352 Pixel × 288 Zeilen
	QCIF: 176 Pixel × 144 Zeilen

Standbild

Pixel	704 Pixel × 576 Zeilen
Codierung	H.261 (ITU-T Recommendation) Annex. D (4CIF) H.263 (Sonderformat dieses Systems)

Ton

Bandbreite	14 kHz (MPEG4 Audio) 7 kHz (G.722 entspricht der ITU-T-Empfehlung) 3,4 kHz (G.711/G.728/G.729 entspricht der ITU-T-Empfehlung)
------------	--

Übertragungsrate

64 kbit/s, 96 kbit/s (MPEG4 Audio)
56 kbit/s, 64 kbit/s (G.711 entspricht der ITU-T-Empfehlung)
48 kbit/s, 56 kbit/s, 64 kbit/s (G.722 entspricht der ITU-T-Empfehlung)
16 kbit/s (G.728 entspricht der ITU-T-Empfehlung)
8 kbit/s (G.729 entspricht der ITU-T-Empfehlung)

Netzwerk

Multiplexfunktion	Video, Audio, Daten
Frameformat	H.225.0 (entspricht der ITU-T-Empfehlung)
Schnittstelle	LAN (100BASE-TX/10BASE-T)
Unterstützte LAN-Protokolle	HTTP FTP Telnet RTP/RTCP TCP/UDP SNMP

Fernsteuerung

Steuerung der Kamera am fernen Standort	H.281 (entspricht der ITU-T-Empfehlung)
---	---

Kamera

Bildwandler	1/3,8 Zoll Farbe CMOS Gesamtanzahl Pixel: ca. 1,33 Millionen Anzahl effektive Pixel: ca. 1,28 Millionen
Objektiv	f = 2,1 mm F = 1:2,4 Horizontalwinkel: ca. 87° Vertikalwinkel: ca. 71°
Brennweite	300 mm
Schwenken/Neigen/Zoomen	Digital
Integrierter automatischer Weißabgleich	
Integrierter automatischer Belichtung	
Bildfrequenz	Auto (automatisch an Umgebungsbeleuchtung angepasst)/ 30/15 fps

Monitor

Größe	17,1-Zoll-Breitbildschirm (Diagonale des sichtbaren Bereichs gemessen)
Auflösung	1280 × 768 (WXGA)
Maximale Bildschirmhelligkeit	410 cd/m ²
Reaktionszeit	13 ms
Kontraste	600 : 1
Blickwinkel	176 Grad
Anzahl der Farben	16.700.000 Farben

Anzeige-Controller

PinP	4 Ecken
PandP	Zwei/drei Fenster
Nebeneinander	Zwei Fenster
Eingang	intern: Videokommunikation Externes RGB-Signal: Computermonitor
Brennweite	Normal, Zoom, Weit
RGB-Modus	640 × 480, 800 × 600, 1024 × 768, 1280 × 768 usw. Zoomanzeige ist möglich.

Lautsprecher

Lautsprecher	3 W × 2
--------------	---------

Mikrofon

Frequenzbereich	14 kHz
Direktionale Eigenschaften	Richtmikrofon

Allgemein

Betriebsspannung	19,5 V DC
Stromverbrauch	6,15 A
Betriebstemperatur	5 °C bis 35 °C
Betriebsluftfeuchtigkeit	20% bis 80%
Lagertemperatur	-20 °C bis +60 °C
Luftfeuchtigkeit für Lagerung	20% bis 80% (nicht kondensierend)
Abmessungen	424 × 376 × 95,5 mm (B×H×T) (16 ³ / ₄ × 14 ⁷ / ₈ × 3 ⁷ / ₈ Zoll) (ohne Fuß) 424 × 419 × 258 mm (B×H×T) (16 ³ / ₄ × 16 ¹ / ₂ × 10 ¹ / ₄ Zoll) (mit Fuß)
Masse	ca. 8 kg
Mitgeliefertes Zubehör	Optische Maus PCS-RMU1 (1) Netzteil VGP-AC19V15 (1) Netzkabel (1) CD-ROM (1) Kurzanleitung (1) Garantieheft (1)

VGP-AC19V15 Netzteil

Betriebsspannung	100 bis 240 V AC; 50/60 Hz; 1,6 A bis 0,7 A
Ausgang	19,5 V DC; 6,2 A
Betriebstemperatur	5 °C bis 35 °C
Betriebsluftfeuchtigkeit	20% bis 80%
Lagertemperatur	-20 °C bis +60 °C
Luftfeuchtigkeit für Lagerung	20% bis 80% (nicht kondensierend)
Abmessungen	155 × 67 × 36,5 mm (B×H×T) (6 ¹ / ₈ × 2 ³ / ₄ × 1 ⁷ / ₁₆ Zoll) (ohne herausragende Teile)
Masse	ca. 550 g

PCS-A1 Mikrofon (optional)

Bandbreite	13 kHz
Direktionale Eigenschaften	Kugelcharakteristik
Abmessungen	74 × 16 × 93 mm (B×H×T) (3 × ²¹ / ₃₂ × 3 ³ / ₄ Zoll)
Gewicht	ca. 170 g
Stromversorgung	Über Anschlusskabel
Kabellänge	8 m (26 ft 3 in)

PCSA-A3 Mikrofon (optional)

Bandbreite	13 kHz
Direktionale Eigenschaften	Unidirektional
Dimension	68 × 16 × 96 mm (B×H×T) (2 ³ / ₄ × ²¹ / ₃₂ × 3 ⁷ / ₈ Zoll)
Gewicht	ca. 200 g
Stromversorgung	Über Anschlusskabel
Kabellänge	8 m (26 ft 3 in)

Datenlösungsmodul PCSA-DSM1 (optional)

Stromverbrauch	20 W max.
Betriebstemperatur	5 °C bis 35 °C
Betriebsluftfeuchtigkeit	20% bis 80%
Lagertemperatur	-20 °C bis +60 °C
Luftfeuchtigkeit für Lagerung	20% bis 80% (nicht kondensierend)
Abmessungen	107 × 250 × 34 mm (B×H×T) (4 ¹ / ₄ × 9 ⁷ / ₈ × 1 ³ / ₈ Zoll) (ohne herausragende Teile)
Masse	ca. 550 g
Mitgeliefertes Zubehör	Kurzanleitung (1)

Garantieheft (1)

Software PCSA-SP1 SIP (optional)

Mitgeliefertes Zubehör	Aufkleber mit Seriennummer (1) Betriebsanleitung (1)
------------------------	---

Konstruktion und technische Daten können ohne Vorankündigung geändert werden.

Dieses Produkt verwendet von Ricoh Co., Ltd. produzierte und gefertigte Ricoh-Bitmapschriftarten.

Hinweis

Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLISSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGLICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.

Zulässige RGB-Eingangs-/Ausgangs-Signale

Bildelement	Signalformat	fH (kHz)	fV (Hz)	Grafikkarte (MHz)	Sync
640 × 480	VGA-Modus	31,469	59,94	25,17	H-neg, V-neg
	Macintosh 13"	35	66,667	30,24	H-neg, V-neg
	VGA VESA 72 Hz	37,861	72,809	31,5	H-neg, V-neg
	VGA VESA 75 Hz	37,5	75	31,5	H-neg, V-neg
	VGA VESA 85 Hz	43,269	85,008	36	H-neg, V-neg
800 × 600	SVGA VESA 56 Hz	35,156	56,25	36	H-pos, V-pos
	SVGA VESA 60 Hz	37,879	60,317	40	H-pos, V-pos
	SVGA VESA 72 Hz	48,077	72,188	50	H-pos, V-pos
	SVGA VESA 75 Hz	46,875	75	49,5	H-pos, V-pos
	SVGA VESA 85 Hz	53,674	85,061	56,25	H-pos, V-pos
1024 × 768	XGA VESA 60 Hz	48,363	60,004	65	H-neg, V-neg
	XGA VESA 70 Hz	56,476	70,069	75	H-neg, V-neg
	XGA VESA 75 Hz	60,023	75,029	78,75	H-pos, V-pos
1280 × 768	WXGA VESA 60 Hz*	47,693	59,992	80,12	H-neg, V-pos

* Kann nicht über das Datenlösungsmodul PCSA-DSM1 übertragen werden.

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de que se produzcan incendios o descargas eléctricas, no exponga el producto a la lluvia o a la humedad.

Para evitar descargas eléctricas, no abra la unidad. En caso de avería, solicite el servicio de personal cualificado únicamente.

ADVERTENCIA

Utilice el adaptador de ca suministrado con el equipo como fuente de suministro de alimentación.

Fabricación	Número de modelo
Sony	VGP-AC19V15

La utilización de cualquier otra fuente de alimentación podría provocar un incendio.

Desconecte el enchufe del cable del adaptador de ca para apagar el dispositivo.

El enchufe del cable de alimentación de este equipo debe utilizarse para desconectar la red eléctrica.

Asegúrese de que la toma de corriente está instalada cerca del equipo y se puede acceder a ella con facilidad.

En el caso de que se produjera un funcionamiento anormal, desconecte el enchufe de la corriente.

AVISO

Utilice el cable de alimentación aprobado por el organismo de homologación competente en aquellos países donde se vaya a utilizar la unidad.

PRECAUCIÓN sobre el puerto LAN

Por razones de seguridad, no conecte el puerto LAN a ningún dispositivo de red que pudiese tener una tensión demasiado elevada.

Para los clientes de Europa

El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, Japón.

El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para asuntos relacionados con el servicio y la garantía, consulte las direcciones entregadas por separado para los documentos de servicio o garantía.

Para los clientes de Europa, Australia y Nueva Zelanda

ADVERTENCIA

Éste es un producto de clase A. En un ambiente doméstico, este producto puede causar interferencias radioeléctricas, en cuyo caso el usuario puede tener que tomar las medidas adecuadas.

En el caso de producirse interferencias, póngase en contacto con el centro de servicio técnico Sony autorizado más cercano.

Este dispositivo no debe utilizarse en zonas residenciales.

Tabla de contenido

Documentos suministrados	70
Características.....	70
Sistema de comunicaciones de vídeo portátil integrado.....	70
Interfaz de usuario intuitiva	71
Uso del sistema PCS-TL33 como pantalla de ordenador.....	71
Comprobación del contenido del paquete.....	71
Nombres y funciones de las piezas.....	72
Nombres y funciones de los indicadores	73
Conexiones del sistema	74
Acerca de los conectores	74
Precauciones durante la conexión.....	74
Ejemplo de conexión (utilización en modo autónomo)	75
Ejemplo de conexión para utilizar la unidad con el ordenador (con ratón independiente)	75
Ejemplo de conexión para utilizar la unidad con el ordenador (con ratón compartido)	75
Encendido/apagado del sistema.....	76
Apertura de la cubierta del objetivo.....	76
Encendido del sistema	76
Asistente de configuración inicial	77
Apagado del sistema	77
Ajuste del sistema de comunicaciones de vídeo para el modo de espera	77
Cambio de la pantalla de videoconferencia a la pantalla del ordenador	78
Ajuste de la altura de la pantalla.....	79
Precauciones	79
Ubicación de funcionamiento o almacenamiento.....	79
Pantalla de cristal líquido.....	80
Fenómenos específicos de sensores CMOS	80
Altavoces incorporados	80
Limpieza	80
Especificaciones	80
Señales aceptables de entrada/salida RGB.....	83

Esta guía de inicio rápido proporciona medidas de precaución importantes e instrucciones de manejo del producto para evitar accidentes y lesiones. Para garantizar el funcionamiento seguro del producto, lea atentamente esta guía y consérvela para consultarla en el futuro.

Asimismo, consulte el manual de instrucciones guardado en el CD-ROM suministrado para obtener información más detallada sobre el producto. Consulte este documento y la guía de inicio rápido.

Documentos suministrados

Este producto viene suministrado con los documentos enumerados a continuación. Consulte los documentos adecuados en función de sus necesidades.

Guía de inicio rápido (este documento)

Ofrece información básica acerca de los ajustes iniciales y de cómo conectar el sistema. (El CD-ROM suministrado también contiene un archivo idéntico de la Guía de inicio rápido.)

Manual de instrucciones (en el CD-ROM suministrado)

Proporciona información detallada sobre los procedimientos de manejo y sobre la configuración necesaria para llevar a cabo varios tipos de sesiones de videoconferencia. Todas las funciones del producto están descritas en este documento.

Requisitos de funcionamiento del CD-ROM

Para poder utilizar el CD-ROM deben cumplirse los siguientes requisitos de sistema.

- Ordenador: equipado con un procesador Intel® Pentium®
 - RAM: 64 MB como mínimo
 - Unidad de CD-ROM: velocidad de ×8 como mínimo
 - Pantalla: resolución de 800 × 600 como mínimo
 - Sistema operativo: Microsoft® Windows® XP Professional o Windows XP Home Edition
- Si no se cumplen los requisitos anteriormente mencionados, es posible que el funcionamiento del CD-ROM sea lento o no sea posible.

Preparativos

Para poder acceder al manual de instrucciones del CD-ROM suministrado, es necesario disponer de una de las siguientes aplicaciones de software instalada en el ordenador:

- Adobe® Acrobat® Reader 4.0 o posterior
- Adobe Reader 6.0 o posterior

Nota

Si no tiene Adobe Reader instalado, puede descargarlo de la siguiente URL:
<http://www.adobe.com>

Visualización del manual de instrucciones

- 1 Inserte el CD-ROM suministrado (“Manuals for Video Communication System”) en la unidad de CD-ROM del ordenador.

Tras unos instantes, aparecerá una pantalla en la que se facilitarán los contenidos del CD-ROM.

- 2 Haga doble clic en el archivo PDF de nombre “Español”.

Se iniciará Adobe Reader y se mostrará la primera página del manual de instrucciones del Sistema de comunicaciones de vídeo en la pantalla.

Haga clic en una entrada de la sección “Content” (Contenido) para saltar directamente a la página correspondiente.

- Adobe y Adobe Reader son marcas comerciales de Adobe Systems Incorporated.
- Microsoft y Windows son marcas comerciales registradas de Microsoft Corporation en los Estados Unidos de América y en otros países.
- Intel y Pentium son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de Intel Corporation o de sus subsidiarias en los Estados Unidos de América y otros países.
- “IPELA” y **IPELA** son marcas comerciales de Sony Corporation.

Características

El Sistema de comunicaciones de vídeo PCS-TL33 es un sistema de videoconferencias que permite establecer comunicaciones naturales cara a cara con ubicaciones remotas mediante la transmisión y recepción de imágenes y sonido a través de una red. La ubicación remota puede encontrarse en cualquier lugar, incluso en el extranjero.

Sistema de comunicaciones de vídeo portátil integrado

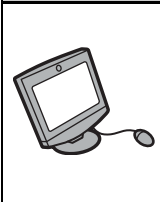
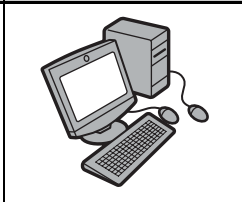
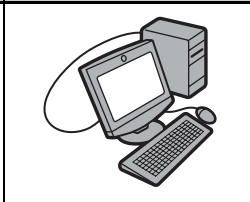
Todos los elementos necesarios del Sistema de comunicaciones de vídeo, incluida la cámara, el monitor, el codificador/descodificador, los micrófonos y los altavoces están integrados en una única carcasa compacta. Esto facilita el transporte del mismo y permite establecer una videoconferencia desde casi cualquier lugar. La pantalla integrada de tipo 17 admite el modo panorámico, y la cámara integrada va equipada con funciones de pantalla panorámica/inclinación y zoom digitales.

Interfaz de usuario intuitiva

La interfaz de usuario utiliza un diseño de capas que permite al usuario controlar las operaciones con sólo hacer clic en el ratón suministrado. También ofrece orientación al usuario mediante mensajes, así como ayuda en línea.

Uso del sistema PCS-TL33 como pantalla de ordenador

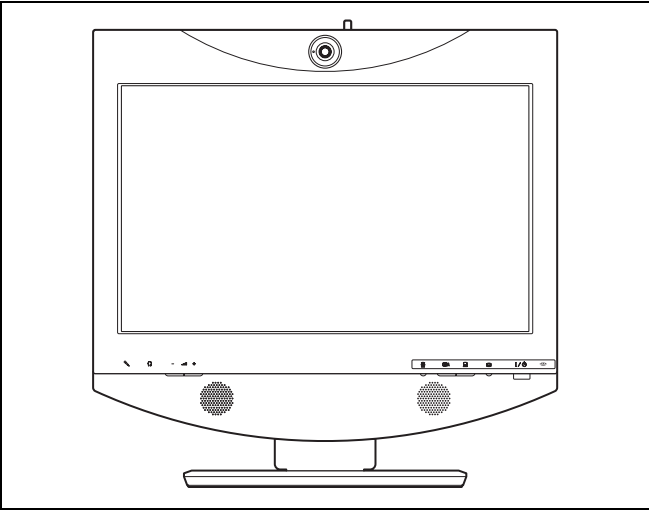
Además de utilizarlo en modo autónomo, también es posible conectar el sistema PCS-TL33 a un ordenador. En este caso, puede utilizar ratones diferentes para el ordenador y el sistema PCS-TL33, o utilizar un único ratón para ambos. El módulo de conexión de datos PCSA-DSM1, que se puede adquirir por separado, permite transmitir el contenido de la pantalla del ordenador a la ubicación remota durante una videoconferencia.

Utilización en modo autónomo	Utilización con un ordenador y con dispositivos señadores independientes	Utilización con un ordenador y un único dispositivo señalador independiente
		

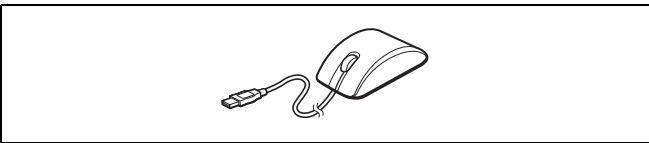
Comprobación del contenido del paquete

Una vez desempaquetada la unidad, asegúrese de que se encuentran todos los elementos siguientes:

- Unidad principal PCS-TL33 (1)



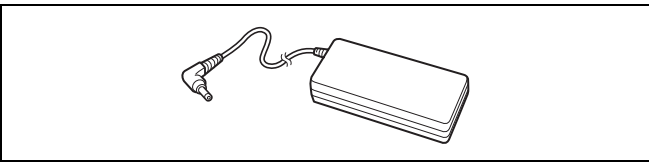
- Ratón óptico PCS-RMU1 (1)



Nota

Debido a la naturaleza del sensor óptico, es posible que el ratón no funcione correctamente en superficies transparentes o reflectantes (por ejemplo, cristales o espejos). Si el ratón no funciona correctamente, evite utilizar estas superficies o utilice una alfombrilla para ratón óptico disponible en el mercado. No obstante, según el color y el material de la alfombrilla, es posible que el ratón continúe sin funcionar correctamente.

- Adaptador de ca VGP-AC19V15 (1)



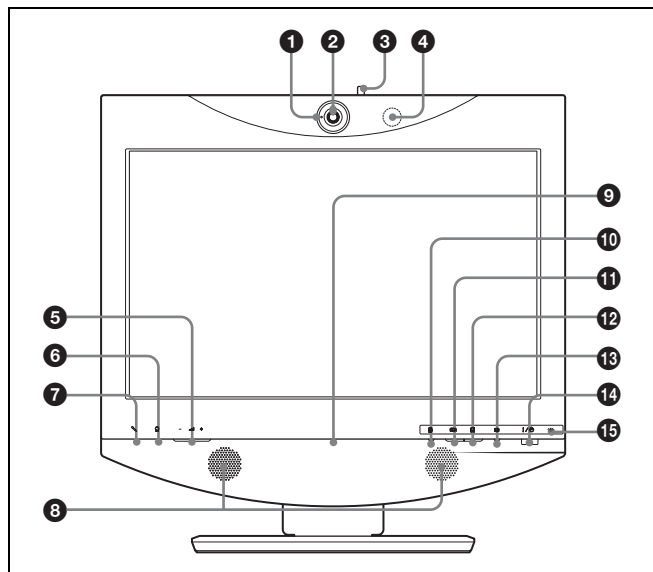
- Cable de alimentación (1)
- Guía de inicio rápido (este documento) (1)
- CD-ROM (manual de instrucciones) (1)
- Folleto de garantía (1)

Nota

El CD-ROM suministrado contiene el manual de instrucciones, que proporciona información detallada sobre los procedimientos de manejo y los distintos ajustes. Dicho documento de suministra en formato PDF.

Nombres y funciones de las piezas

Vista frontal



1 Lámpara indicadora

Se enciende al enviar vídeo local al sistema remoto.

2 Objetivo de la cámara

3 Palanca de la cubierta del objetivo

Permite cerrar el objetivo de la cámara.

4 Micrófono

5 Botones (volumen)

Permiten ajustar el volumen.

+: aumenta el nivel de volumen.

-: reduce el nivel de volumen.

6 Toma (auriculares) (minitoma estéreo)

Permite la conexión de auriculares (disponibles en el mercado).

7 Toma (micrófono) (minitoma)

Permite conectar el micrófono opcional PCS-A1 o PCSA-A3.

8 Altavoces

9 Lámpara en línea

Muestra principalmente el estado de las llamadas entrantes y salientes.

10 Botón e indicador (micrófono desactivado)

Permite suprimir el sonido proveniente del sistema local.

Pulse el botón nuevamente para reanudar el envío del

sonido al sistema remoto.

11 Botón e indicador (videoconferencia)

Permite pasar de la pantalla del ordenador a la pantalla de la videoconferencia.

12 Botón e indicador (ordenador)

Permite pasar a la pantalla del ordenador.

13 Botón (menú)

Púlselo para que aparezca el menú Configuración.

Manténgalo pulsado durante 3 segundos durante la

comunicación para que aparezca el teclado en pantalla de DTMF.

14 Interruptor e indicador (alimentación)

Permite activar y desactivar la alimentación del sistema.

Cuando utilice el sistema como pantalla de un ordenador en el modo PC, la alimentación se desactivará al pulsar el interruptor una vez.

Cuando utilice el sistema en el modo de videoconferencia, el sistema pasará al modo de espera al pulsar el interruptor una vez. Para desactivar la alimentación en el modo de videoconferencia, pulse el interruptor nuevamente antes de que transcurran 5 segundos desde la primera pulsación.

Nota

El interruptor de alimentación no funcionará mientras se esté llevando a cabo una sesión de comunicación.

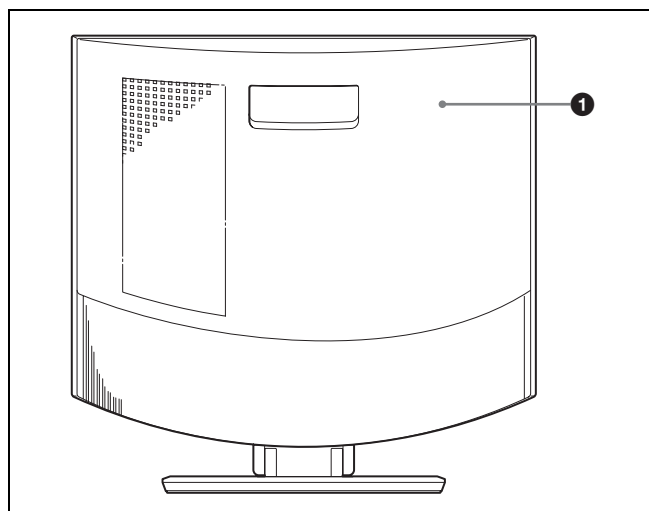
15 Indicador "Memory Stick"

Muestra el estado de la ranura para "Memory Stick".

Nota

No extraiga el "Memory Stick" si el indicador está encendido.

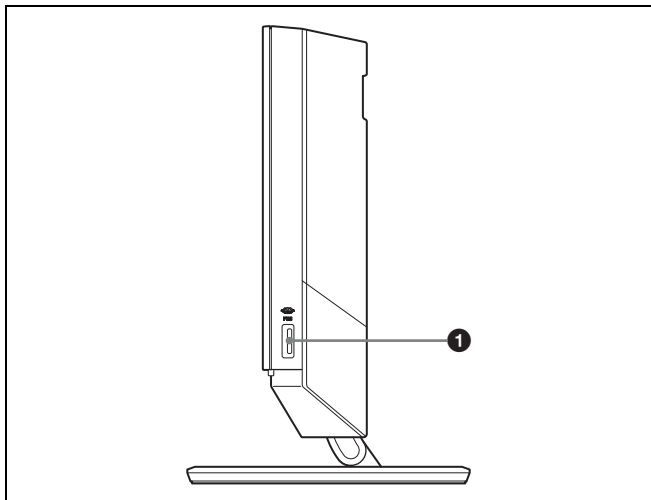
Vista posterior



1 Cubierta trasera

Si extrae la cubierta, obtendrá acceso al panel de conectores. La sección de conexiones entre el soporte y la pantalla también está situada detrás del panel. Es posible cambiar la posición de los tornillos para ajustar la altura de la pantalla.

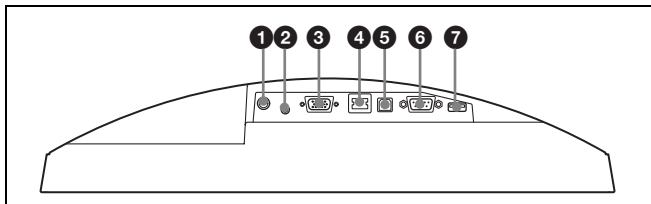
Vista del lateral derecho



1 Ranura para “Memory Stick”

Se puede insertar un “Memory Stick”.

Panel de conectores (sección situada detrás de la cubierta trasera, vista desde abajo)



1 Conector DC19,5V

Permite la conexión del adaptador de ca VGP-AC19V15 suministrado.

2 Toma AUDIO IN (entrada de audio del ordenador) (minitoma estéreo)

Permite la conexión de esta toma a la salida de audio de un ordenador conectado al conector RGB IN.

3 Conector RGB IN (conector mini D-sub de 15 terminales)

Permite conectar la salida RGB de un ordenador.

4 Puerto 100BASE-TX/10BASE-T (puerto modular)

Utilice un cable LAN de categoría 5 para conectar este puerto a un concentrador o a un equipo similar.

Este puerto está equipado con un indicador de Enlace/Datos (verde) y un indicador de velocidad de 100/10 Mbps (naranja).

5 Puerto del ordenador

Este conector se utiliza cuando se desea utilizar el mismo ratón para el sistema PCS-TL33 y el ordenador conectado al conector RGB IN. Conecte el conector a un puerto USB del ordenador.

Nota

Utilice un cable USB de 3 m como máximo.

6 Puerto RS-232C (conector D-sub de 9 terminales)

Este conector se utiliza únicamente para llevar a cabo reparaciones del sistema.

7 Puerto del ratón

Permite conectar el ratón óptico PCS-RMU1 suministrado.

Nombres y funciones de los indicadores

Indicador	Estado	Significado
I /  (alimentación) *	Iluminado en verde	La alimentación está activada
	Iluminado en naranja	Espera
	Parpadeo en naranja (ciclos de 1 segundo)	Problema con el ventilador
	Apagado	La alimentación está desactivada
En línea *	Parpadeo en azul (3 veces por segundo)	Enviando/recibiendo
	Iluminación en azul encendida	Comunicación en curso
	Apagado	Sin conexión (no hay llamadas perdidas) o en espera
 (ordenador) *	Iluminado en azul	Pantalla de ordenador
	Iluminado en blanco	Pantalla de videoconferencia
	Apagado	Espera
 (videoconferencia) *	Iluminado en azul	Pantalla de videoconferencia
	Iluminado en blanco	Pantalla del ordenador
	Apagado	Espera
 (micrófono desactivado) *	Iluminado en naranja	Micrófono desactivado
	Iluminado en blanco	Micrófono activado
	Apagado	Espera

Indicador	Estado	Significado
 ("Memory Stick")	Iluminado en naranja	Se está accediendo al "Memory Stick"
	Apagado	No se está accediendo al "Memory Stick"
Lámpara indicadora	Iluminada en naranja	Se está enviando la imagen de la cámara a la ubicación remota (cubierta del objetivo)
	Parpadeo en naranja (ciclos de 5 segundos)	Se está enviando la imagen cerrada a la ubicación remota (cubierta del objetivo cerrada)
	Apagada	No se está enviando la imagen de la cámara
Enlace/Datos	Iluminado en verde	Se ha establecido un enlace
	Parpadeo en verde	Se están transfiriendo datos
	Apagado	El enlace no está conectado
100/10 Mbps	Iluminado en naranja	100 Mbps
	Apagado	10 Mbps

* El indicador se ilumina mientras se inicia el sistema. Si se detecta una temperatura fuera de lo común, el indicador parpadea y se desactiva la alimentación.

Conexiones del sistema

Esta sección describe las conexiones características del sistema.

Además de utilizarlo en modo autónomo, también es posible conectar el sistema PCS-TL33 a un ordenador para usarlo como pantalla cuando no hay ninguna videoconferencia en curso. En tal caso, es posible utilizar ratones diferentes para el ordenador y el sistema PCS-TL33 o conectar el sistema PCS-TL33 y el ordenador con un cable USB genérico y utilizar el mismo ratón para ambos.

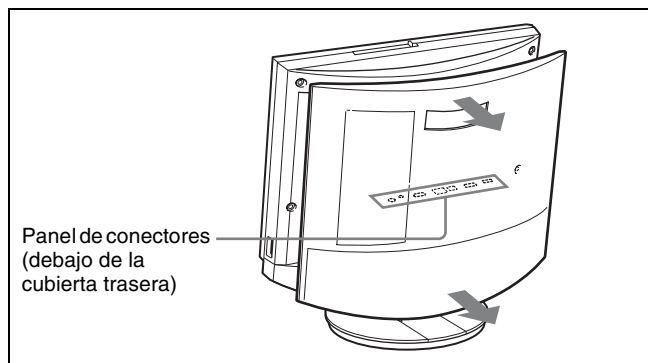
Acerca de los conectores

Los conectores del sistema están situados debajo de la cubierta trasera.

Retire la cubierta para realizar las conexiones y, a continuación, vuelva a colocarla nuevamente.

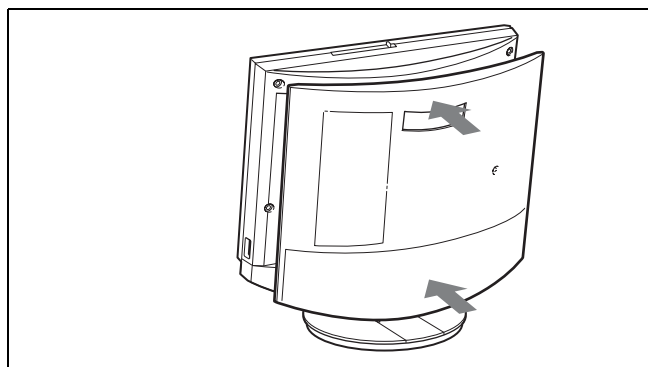
Extracción de la cubierta posterior

Tire de la cubierta posterior hacia usted.



Colocación de la cubierta posterior

Alinee los cuatro salientes de la cubierta con los orificios de la parte posterior del sistema y empuje la cubierta.



Precauciones durante la conexión

Advertencia

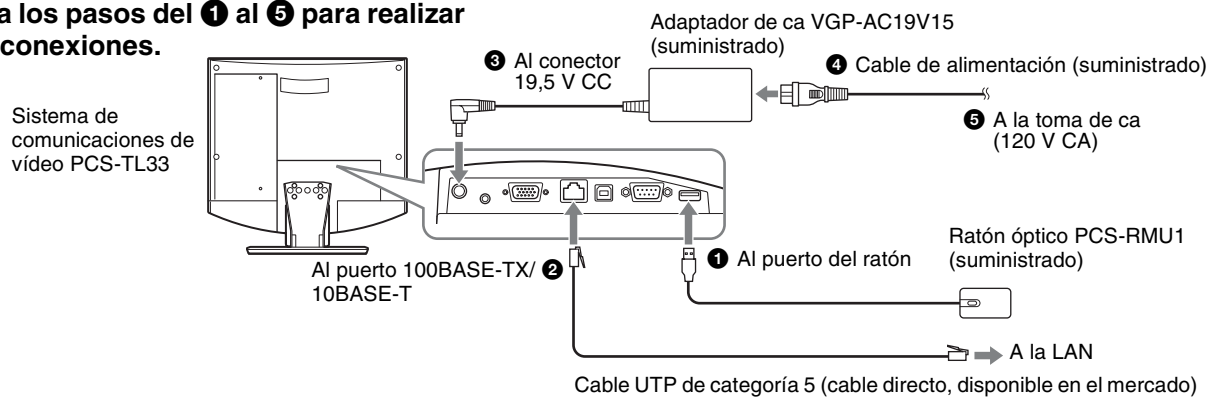
- Utilice únicamente el adaptador de ca y el cable de alimentación suministrados.
- Al conectar el cable de alimentación del adaptador de ca y el cable de cc, introduzca las clavijas hasta el final y con firmeza.
- Por motivos de seguridad, no conecte el conector 100BASE-TX/10BASE-T a una red en la que se puedan producir voltajes excesivos.

Precaución

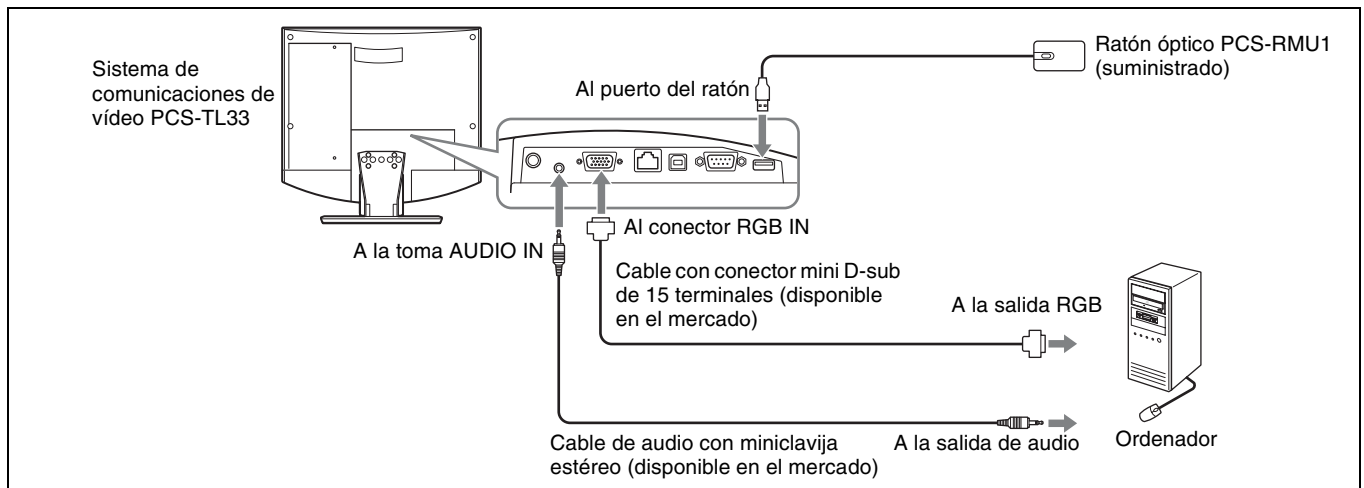
- Antes de realizar las conexiones, asegúrese de desconectar la alimentación de todos los componentes.
- Para evitar daños en la unidad, no enchufe ni desconecte ningún cable mientras la alimentación de la misma esté activada.

Ejemplo de conexión (utilización en modo autónomo)

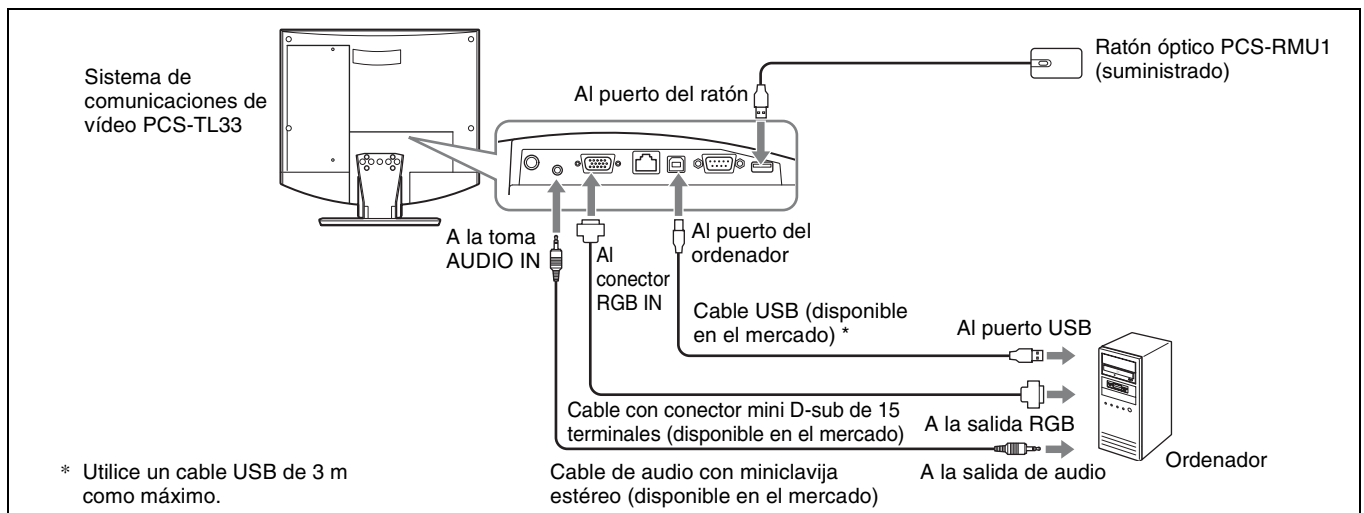
Siga los pasos del **1** al **5** para realizar las conexiones.



Ejemplo de conexión para utilizar la unidad con el ordenador (con ratón independiente)



Ejemplo de conexión para utilizar la unidad con el ordenador (con ratón compartido)



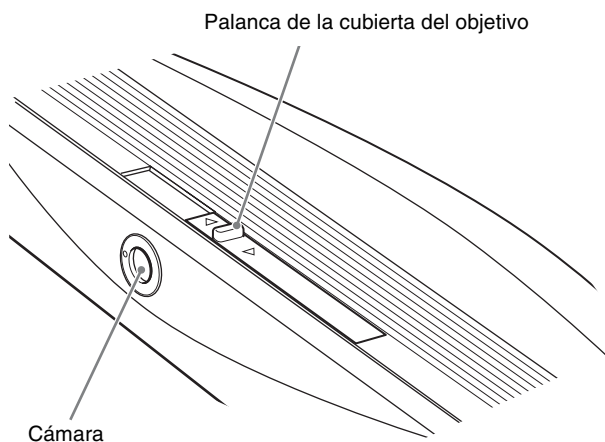
Encendido/apagado del sistema

Antes de encender el sistema, asegúrese de que se han realizado correctamente las conexiones.

En función del software que utilice, es posible que las pantallas que aparezcan sean distintas de las que se muestran aquí.

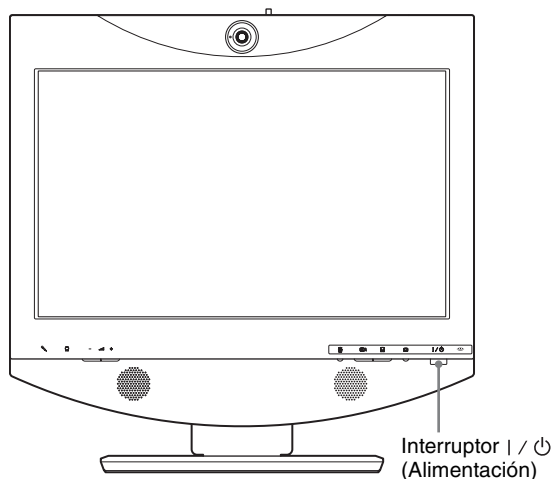
Apertura de la cubierta del objetivo

El sistema está equipado con una cubierta del objetivo que permite ocultar la cámara. Antes de iniciar una videoconferencia, deslice la palanca de la cubierta del objetivo situada en la parte superior del sistema hacia la derecha para abrir la cubierta del objetivo. Si la cubierta del objetivo está cerrada, la imagen de la ubicación local no se verá en la ubicación remota.



Encendido del sistema

Pulse el interruptor  (Alimentación) del sistema PCS-TL33.

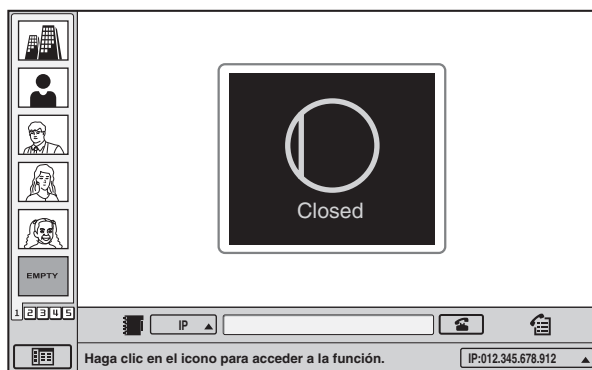


El indicador del interruptor se ilumina en naranja y se activa la alimentación del Sistema de comunicación de vídeo. Una vez finalizado el encendido, el indicador se ilumina en verde. El menú de inicio aparece en la pantalla junto con la imagen de la cámara local.

Menú de inicio



Cuando la cubierta del objetivo está cerrada, el menú de inicio aparece como se indica a continuación.



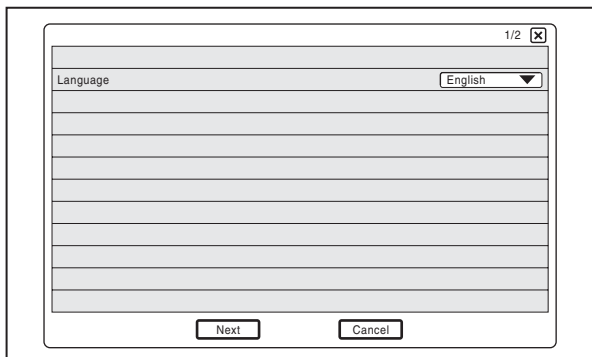
Notas

- La primera vez que se pulsa el interruptor de encendido cuando se ha enchufado el cable de alimentación a una toma de pared, es posible que el indicador del interruptor tarde hasta 10 segundos en iluminarse.
- Cuando conecte la alimentación del Sistema de comunicaciones de vídeo por primera vez tras la instalación, aparecerá el asistente de configuración. Configure el sistema siguiendo las indicaciones del asistente.

Asistente de configuración inicial

Los elementos de configuración pueden variar en función del software.

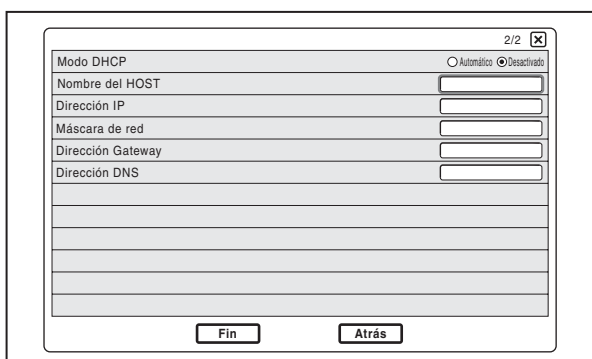
- 1 Seleccione el idioma que utilizará para los menús y mensajes en la lista desplegable “Language”.



- 2 Haga clic en “Next”.
- 3 Realice los ajustes necesarios de la LAN.

Nota

Para los ejemplos siguientes se ha seleccionado el Español como idioma de la pantalla.



Modo DHCP: ajusta el protocolo DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol, Protocolo de configuración dinámica del sistema principal).

Automático: asigna automáticamente su dirección IP, máscara de subred, dirección de pasarela y dirección de DNS.

Desactivado: desactiva el protocolo DHCP. En este caso, deberá ajustar manualmente su dirección IP, máscara de subred, dirección de pasarela y dirección de DNS.

Nombre del Host: introduzca el nombre del sistema principal.

Dirección IP: introduzca su dirección IP.

Máscara de red: introduzca la máscara de subred.

Dirección Gateway: introduzca su dirección de pasarela predeterminada.

Dirección DNS: introduzca su dirección de servidor DNS (Domain Name System, Sistema de nombres de dominio).

Si no sabe qué ajustes debe realizar para configurar la LAN, póngase en contacto con su administrador de red.

- 4 Haga clic en “Fin”.

Se guardan los ajustes.

Apagado del sistema

- 1 Pulse dos veces el interruptor I / O (alimentación).

Cuando haya pulsado el interruptor una vez, aparecerá el mensaje “Para entrar en modo de espera, espere unos segundos. Para desconectar la alimentación, pulse el interruptor de encendido nuevamente.”. Vuelva a pulsar el interruptor de alimentación.

- 2 Desconecte la alimentación de los otros equipos utilizados para la videoconferencia.

Notas

- Apague el sistema cuando no vaya utilizarse durante un período prolongado. Cuando la alimentación se encuentra desconectada, no se pueden recibir llamadas desde una ubicación remota.
- Si utiliza el sistema como pantalla de ordenador en modo PC, la alimentación se desactivará al pulsar una vez el interruptor de encendido.
- Durante las conferencias, el interruptor de encendido no funciona.

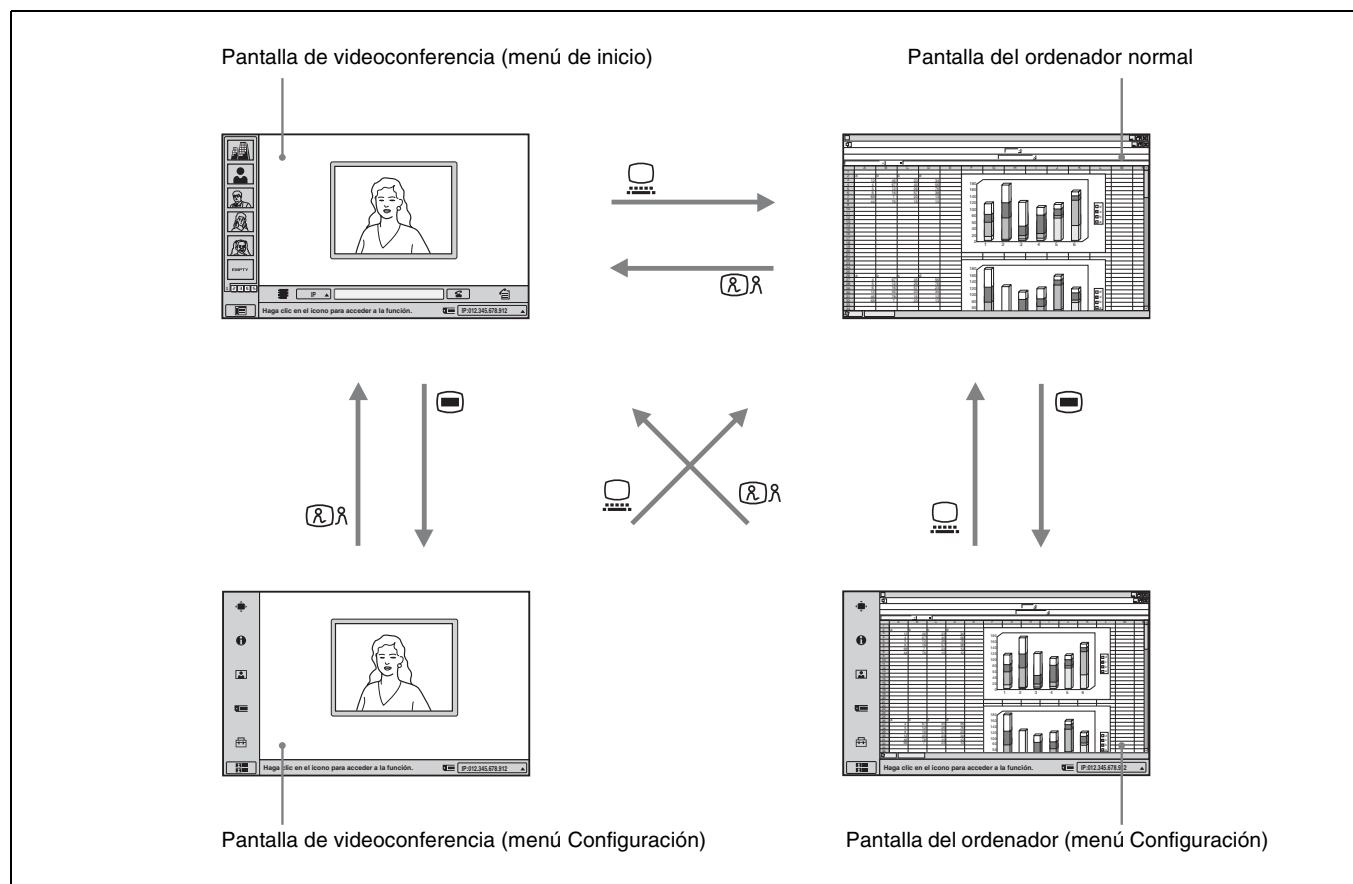
Ajuste del sistema de comunicaciones de vídeo para el modo de espera

Al pulsar el interruptor I / O (Alimentación) del sistema PCS-TL33, aparecerá en la pantalla el mensaje “Para entrar en modo de espera, espere unos segundos. Para desconectar la alimentación, pulse el interruptor de encendido nuevamente.”. Si espera unos momentos sin realizar ninguna acción, el sistema entrará en modo de espera.

Se puede recibir una llamada de la ubicación remota mientras se encuentra en modo de espera. Para volver al modo normal desde el modo de espera, pulse una vez el interruptor de alimentación.

Cambio de la pantalla de videoconferencia a la pantalla del ordenador

Puede utilizar los botones  (Menú),  (Ordenador) y  (videoconferencia) situados en la parte inferior derecha de la unidad para alternar entre la pantalla de videoconferencia y la pantalla del ordenador.



Notas

- Si el sistema PCS-TL33 no está conectado a un ordenador y pulsa el botón  (Ordenador) para cambiar a la pantalla del ordenador, se desactivará el ratón.
- Si se está mostrando una imagen secundaria durante una sesión de comunicación, ésta permanecerá visible cuando cambie a la pantalla del ordenador. Sin embargo, el vídeo mostrado en la imagen secundaria procederá del sistema remoto o del sistema local.
- Si se utilizan ratones independientes para el sistema PCS-TL33 y el ordenador, el ratón que se encuentre activo en esos momentos dependerá de la pantalla conectada. El ratón conectado al ordenador estará activo mientras se muestre la pantalla del ordenador normal, mientras que el ratón conectado al sistema PCS-TL33 estará activo cuando se muestren otras pantallas.

Ajuste de la altura de la pantalla

El soporte y la sección de la pantalla del sistema PCS-TL33 están unidos mediante tornillos de sujeción. Hay tres conjuntos de orificios para los tornillos, separados entre sí por 25 mm. La pantalla viene fijada en la posición más baja de fábrica. Seleccione un conjunto de orificios para los tornillos distinto para modificar la altura de la pantalla.

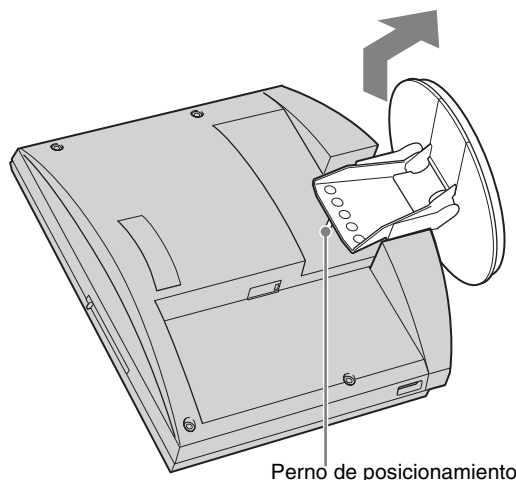
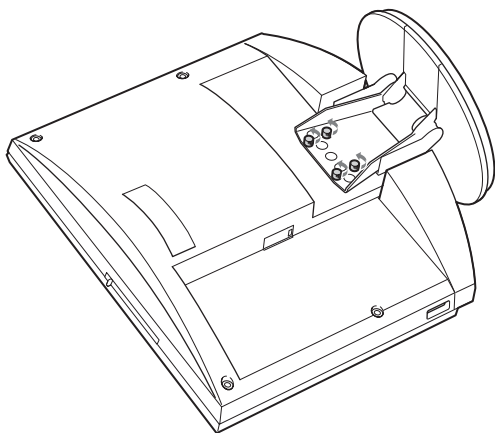
- 1 Retire la cubierta trasera de la unidad.

Para obtener información sobre cómo retirarla, consulte la página 74.

- 2 Extraiga los cuatro tornillos utilizando una moneda u objeto similar, levante el soporte e introduzca el perno de posicionamiento en el orificio correspondiente para fijar la nueva posición.

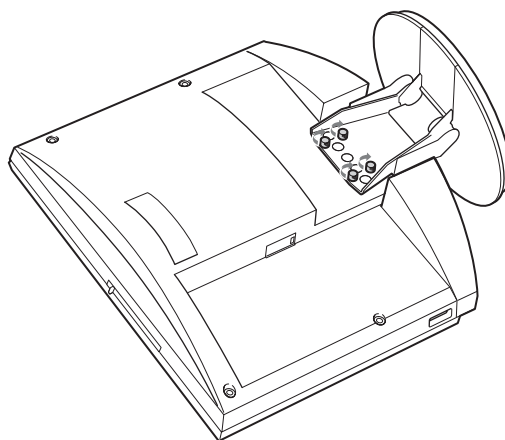
Nota

Antes de cambiar la altura de la pantalla tal y como se ha descrito anteriormente, asegúrese de desconectar la alimentación. Coloque la pantalla cara abajo sobre un paño suave o similar.



Perno de posicionamiento

- 3 Apriete los cuatro tornillos utilizando una moneda u objeto similar para fijar la posición.



- 4 Vuelva a colocar la cubierta trasera.

Precauciones

Ubicación de funcionamiento o almacenamiento

Evite utilizar o almacenar el sistema en las siguientes ubicaciones:

- Lugares extremadamente cálidos o fríos
- Lugares húmedos o con polvo
- Lugares expuestos a fuertes vibraciones
- Lugares cercanos a fuentes de magnetismo intenso
- Lugares cercanos a fuentes de radiación electromagnética potente, como radios o transmisores de televisión
- Lugares con ruido

Pantalla de cristal líquido

Notas sobre la utilización

- No exponga la superficie de la pantalla de cristal líquido al sol, ya que de lo contrario es posible que se dañe la superficie de la misma.
- No empuje ni raye la pantalla de cristal líquido ni coloque objetos sobre el sistema. Es posible que la imagen pase a visualizarse de manera irregular o que la pantalla de cristal líquido se dañe.
- Si se utiliza el sistema en un lugar frío, es posible que la imagen se oscurezca o que aparezca una mancha en la pantalla. No se trata de un fallo de funcionamiento. Estos fenómenos se solucionan a medida que la temperatura aumenta.
- Si se visualizan imágenes fijas continuamente, es posible que se produzca un efecto de imagen fantasma, que desaparecerá transcurridos unos segundos.
- Al utilizar el sistema, la pantalla y la unidad se calientan. Esto no es un fallo de funcionamiento.

Píxeles de la pantalla

Aunque el panel de la pantalla de cristal líquido está fabricado con tecnología de alta precisión y ofrece un rango de píxeles efectivos de más del 99,99%, es posible que aparezcan puntos negros (píxeles muertos) en pantalla o puntos brillantes constantes (rojos, azules, verdes, etc.) o apagados. A menudo se produce el fenómeno de píxeles muertos después de utilizar los paneles de la pantalla de cristal líquido durante largos períodos de tiempo. No se trata de un fallo de funcionamiento.

Fenómenos específicos de sensores CMOS

Los siguientes fenómenos que pueden aparecer en las imágenes son específicos de los sensores CMOS (Complementary Metal Oxide Semiconductor). Su presencia no indica que exista un fallo de funcionamiento.

Manchas blancas

Pese a que los sensores CMOS están fabricados con tecnologías de alta precisión, es posible que se generen manchas blancas en la pantalla en casos extraños, producidos por rayos cósmicos, etc. Este fenómeno está relacionado con el principio de los sensores CMOS y no se trata de un fallo de funcionamiento.

Las manchas blancas se suelen ver especialmente en los siguientes casos:

- cuando se utiliza la unidad con una temperatura ambiente elevada
- cuando se ha elevado la ganancia (sensibilidad)

Aliasing

Cuando se capturan patrones finos, rayas o líneas, es posible que aparezcan dentados o parpadeen.

Nota sobre los haces láser

Los haces láser pueden dañar un sensor CMOS. Se le advierte que la superficie de un sensor CMOS no se debe exponer a la radiación de un haz láser en un entorno donde se use un dispositivo láser.

Altavoces incorporados

Los altavoces generan magnetismo. Para evitar dañar los datos, mantenga las cintas magnéticas y los discos alejados de los altavoces.

Limpieza

- Antes de limpiar la unidad, desconecte el cable de alimentación de la toma de ca.
- La superficie de la pantalla de cristal líquido cuenta con un acabado especial. Para eliminar el polvo de la superficie de la pantalla, límpiela cuidadosamente con un paño suave y seco.
- No utilice disolventes volátiles como alcohol, bencina o diluyentes, ya que pueden dañar el acabado de la superficie.
- Si utiliza un paño de limpieza químico, lea detenidamente las instrucciones suministradas con el mismo.
- No aplique disolventes volátiles como insecticidas a la pantalla ni permita que objetos de goma o plástico estén en contacto con la pantalla durante un período prolongado, ya que podrían dañar el acabado de la superficie.

Especificaciones

Sistema de comunicaciones de vídeo PCS-TL33

Esta unidad cumple con las recomendaciones H.323 e IETF SIP de la ITU-T.

Imagen en movimiento

Ancho de banda operativo
de 64 kbps a 2.048 kbps
Codificación H.261/H.263/H.263+/H.263++/H.264
(Recomendación de la ITU-T)
MPEG4 Simple Profile
Elementos de imagen
CIF: 352 píxeles × 288 líneas
QCIF: 176 píxeles × 144 líneas

Imagen fija

Píxeles	704 píxeles × 576 líneas
Codificación	H.261 (Recomendación de la ITU-T) Anexo. D (4CIF) H.263 (formato especial de este sistema)

Sonido

Ancho de banda	14 kHz (audio MPEG4) 7 kHz (G.722 compatible con las recomendaciones de la ITU-T) 3,4 kHz (G.711/G.728/G.729 compatible con las recomendaciones de la ITU-T)
Velocidad de transmisión	64 kbps, 96 kbps (audio MPEG4) 56 kbps, 64 kbps (G.711 compatible con las recomendaciones de la ITU-T) 48 kbps, 56 kbps, 64 kbps (G.722 compatible con las recomendaciones de la ITU-T) 16 kbps (G.728 compatible con las recomendaciones de la ITU-T) 8 kbps (G.729 compatible con las recomendaciones de la ITU-T)

Red

Multiplexación	Vídeo, audio, datos
Formato de fotograma	H.225.0 (compatible con las recomendaciones de la ITU-T)
Interfaz	LAN (100BASE-TX/10BASE-T)
Protocolo LAN admitido	HTTP FTP Telnet RTP/RTCP TCP/UDP SNMP

Mando a distancia

Control de cámara lejana	H.281 (compatible con las recomendaciones de la ITU-T)
--------------------------	--

Cámara

Dispositivo de imagen	CMOS en color de 1/3,8 pulgadas Total de píxeles: aprox. 1,33 millones Píxeles efectivos: aprox. 1,28 millones
Objetivo	f = 2,1 mm F = 1:2,4 Ángulo horizontal: aprox. 87° Ángulo vertical: aprox. 71°
Distancia focal	300 mm
Función de pantalla panorámica/inclinación/zoom	Mediante procesamiento digital
Función de balance automático de blancos integrada	
Función de exposición automático integrada	

Frecuencia de fotogramas

Auto (cambia automáticamente para ajustarse a la iluminación ambiente) / 30/15 fps

Pantalla

Tamaño	17,1 pulgadas (área visible en diagonal) pantalla panorámica
Resolución	1280 × 768 (WXGA)
Luminancia máxima de pantalla	410 cd/m ²
Tiempo de respuesta	13 ms
Índice de contraste	600 : 1
Ángulo de visión	176 grados
Número de colores	16.700.000 colores

Controlador de pantalla

PinP	4 esquinas
PandP	Dos/tres ventanas
Imágenes contiguas	Dos ventanas
Entrada	Interna: Comunicación por vídeo RGB externa: Pantalla de ordenador
Modo panorámico	Normal, Zoom, Panorámico
Modo RGB	640 × 480, 800 × 600, 1024 × 768, 1280 × 768, etc. Se puede visualizar la imagen ampliada/reducida.

Altavoz

Altavoz	3 W × 2
---------	---------

Micrófono

Intervalo de frecuencia	14 kHz
Característica direccional	Direccional con ángulo cerrado

Generales

Alimentación eléctrica	19,5 V CC
Consumo de corriente	6,15 A
Temperatura de funcionamiento	De 5 a 35 °C
Humedad de funcionamiento	Del 20 al 80%
Temperatura de almacenamiento	De -20 a +60 °C
Humedad de almacenamiento	Del 20 a 80% (sin condensación)
Dimensiones	424 × 376 × 95,5 mm (an/al/prf) (sin incluir el soporte) 424 × 419 × 258 mm (an/al/prf) (incluido el soporte)

Peso Aprox. 8 kg
 Accesorios suministrados
 Ratón óptico PCS-RMU1 (1)
 Adaptador de ca VGP-AC19V15 (1)
 Cable de alimentación (1)
 CD-ROM (1)
 Guía de inicio rápido (1)
 Folleto de garantía (1)

Adaptador de ca VGP-AC19V15

Alimentación eléctrica 100 a 240 V CA, 50/60 Hz, 1,6 a 0,7 A
 Salida 19,5 V CC, 6,2 A
 Temperatura de funcionamiento De 5 a 35 °C
 Humedad de funcionamiento Del 20 al 80%
 Temperatura de almacenamiento De -20 a +60 °C
 Humedad de almacenamiento Del 20 al 80% (sin condensación)
 Dimensiones 155 × 67 × 36,5 mm (an/al/prf)
 (excluyendo las partes que sobresalen)
 Peso Aprox. 550 g

Micrófono PCS-A1 (opcional)

Ancho de banda 13 kHz
 Característica direccional Omnidireccional
 Dimensiones 74 × 16 × 93 mm (an/al/prf)
 Peso Aprox. 170 g
 Alimentación Por enchufe
 Longitud del cable 8 m

Micrófono PCSA-A3 (opcional)

Ancho de banda 13 kHz
 Característica direccional Unidireccional
 Dimensiones 68 × 16 × 96 mm (an/al/prf)
 Peso Aprox. 200 g
 Alimentación Por enchufe
 Longitud del cable 8 m

Módulo de conexión de datos PCSA-DSM1 (opcional)

Consumo de energía Máximo de 20 W
 Temperatura de funcionamiento De 5 a 35 °C
 Humedad de funcionamiento Del 20 al 80%
 Temperatura de almacenamiento De -20 a +60 °C

Humedad de almacenamiento Del 20 al 80% (sin condensación)
 Dimensiones 107 × 250 × 34 mm (an/al/prf)
 (excluyendo las partes que sobresalen)
 Peso Aprox. 550 g
 Accesorios suministrados
 Guía de inicio rápido (1)
 Folleto de garantía (1)

Software SIP PCSA-SP1 (opcional)

Accesorios suministrados
 Precinto de número de serie (1)
 Manual de instrucciones (1)

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambios sin previo aviso.

Este producto utiliza fuentes de mapas de bits de Ricoh producidas y comercializadas por Ricoh Co., Ltd.

Nota

Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarlo. SONY NO SE HACE RESPONSIBLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.

Señales aceptables de entrada/salida RGB

Elemento de imagen	Formato de señal	fH (kHz)	fV (Hz)	Frecuencia de exploración (MHz)	Sincronización
640 × 480	Modo VGA	31,469	59,94	25,17	H-neg V-neg
	Macintosh 13"	35	66,667	30,24	H-neg V-neg
	VGA VESA 72 Hz	37,861	72,809	31,5	H-neg V-neg
	VGA VESA 75 Hz	37,5	75	31,5	H-neg V-neg
	VGA VESA 85 Hz	43,269	85,008	36	H-neg V-neg
800 × 600	SVGA VESA 56 Hz	35,156	56,25	36	H-pos V-pos
	SVGA VESA 60 Hz	37,879	60,317	40	H-pos V-pos
	SVGA VESA 72 Hz	48,077	72,188	50	H-pos V-pos
	SVGA VESA 75 Hz	46,875	75	49,5	H-pos V-pos
	SVGA VESA 85 Hz	53,674	85,061	56,25	H-pos V-pos
1024 × 768	XGA VESA 60 Hz	48,363	60,004	65	H-neg V-neg
	XGA VESA 70 Hz	56,476	70,069	75	H-neg V-neg
	XGA VESA 75 Hz	60,023	75,029	78,75	H-pos V-pos
1280 × 768	WXGA VESA 60 Hz*	47,693	59,992	80,12	H-neg V-pos

* No puede transmitirse mediante el módulo de conexión de datos PCSA-DSM1.

ATTENZIONE

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo prodotto alla pioggia o all'umidità.

Per evitare scosse elettriche, non aprire l'apparecchio.

Per eventuali riparazioni, rivolgersi esclusivamente a personale qualificato.

ATTENZIONE

Per l'alimentazione elettrica utilizzare l'adattatore CA fornito in dotazione all'apparecchiatura.

Produttore	Sigla modello
Sony	VGP-AC19V15

L'utilizzo di qualsiasi altro alimentatore comporta rischi, in particolare pericolo di incendi.

Il sezionatore di questa apparecchiatura è la spina di alimentazione dell'adattatore CA.

Per scollegare l'alimentazione elettrica è necessario utilizzare la spina di questa apparecchiatura.

Assicurarsi che la presa di corrente si trovi accanto all'apparecchiatura e sia facilmente accessibile.

In caso di anomalie, scollegare la spina di alimentazione.

AVVISO

Utilizzare il cavo di alimentazione approvato dall'organizzazione di prova specifica del paese in cui verrà utilizzata l'unità.

AVVERTENZA relativa alla porta LAN

Per ragioni di sicurezza, non collegare la porta LAN ad alcun dispositivo di rete che potrebbe avere una tensione eccessiva.

Per i clienti in Europa

Il fabbricante di questo prodotto è la Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Giappone.

La rappresentanza autorizzata per EMC e la sicurezza dei prodotti è la Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stoccarda, Germania. Per qualsiasi questione riguardante l'assistenza o la garanzia, si prega di rivolgersi agli indirizzi riportati nei documenti sull'assistenza o sulla garanzia a parte.

Per gli acquirenti in Europa, Australia e Nuova Zelanda

ATTENZIONE

Questo è un apparecchio di classe A e come tale, in un ambiente domestico, può causare interferenze radio. È necessario quindi che l'utilizzatore adotti gli accorgimenti adeguati.

Nel caso si verificano interferenze, rivolgersi ad un centro assistenza Sony autorizzato.

L'apparecchio non deve essere utilizzato in aree residenziali.

Sommario

Documentazione fornita	86
Caratteristiche	86
Sistema di comunicazione video mobile integrato.....	86
Interfaccia utente intuitiva	87
Utilizzo del PCS-TL33 come display di computer.....	87
Verifica del contenuto della confezione.....	87
Nomi e funzioni delle parti.....	88
Nomi e funzioni degli indicatori.....	89
Collegamenti del sistema	90
Informazioni sui connettori.....	90
Precauzioni per il collegamento.....	90
Esempio di collegamento (utilizzo come unità indipendente).....	91
Esempio di collegamento per utilizzo con computer (mouse separato)	91
Esempio di collegamento per utilizzo con computer (mouse in condivisione)	91
Inserimento e disinserimento del sistema	92
Apertura del coperchio dell'obiettivo	92
Accensione del sistema.....	92
Installazione guidata	93
Spegnimento del sistema	93
Impostazione del sistema di comunicazione video in modalità standby	93
Commutazione tra schermo videoconferenza e schermo computer	94
Regolazione dell'altezza dello schermo.....	95
Precauzioni	95
Luoghi in cui attivare o conservare il sistema.....	95
Schermo LCD	96
Fenomeni specifici dei sensori CMOS	96
Altoparlanti incorporati	96
Pulizia	96
Caratteristiche tecniche.....	96
Segnali di ingresso/uscita RGB accettabili	99

Questa Guida introduttiva contiene importanti norme di sicurezza e istruzioni per il maneggio del prodotto aventi lo scopo di prevenire incidenti o infortuni. Per essere certi di utilizzare il prodotto in modo sicuro, leggere con attenzione questa Guida e conservarla per consultarla in seguito.

Consultare inoltre le istruzioni per l'uso memorizzate nel CD-ROM in dotazione. Esse contengono altre informazioni dettagliate su questo prodotto. Consultare questo documento assieme alla Guida introduttiva.

Documentazione fornita

Questo prodotto viene fornito con diversi documenti, elencati di seguito. Consultare gli opportuni documenti in base alle proprie esigenze.

Guida introduttiva (questo documento)

Fornisce informazioni di base sulle impostazioni iniziali e sui collegamenti del sistema. (Il CD-ROM in dotazione contiene un file con la stessa Guida introduttiva.)

Istruzioni per l'uso (su CD-ROM in dotazione)

Fornisce informazioni dettagliate sulle procedure operative e sulle impostazioni necessarie per effettuare vari tipi di sessioni di videoconferenza. Tutte le funzioni del prodotto sono trattate in questo documento.

Requisiti operativi per l'uso del CD-ROM

Per l'uso del CD-ROM devono essere soddisfatti i seguenti requisiti di sistema.

- Computer: Dotato di processore Intel® Pentium®
 - RAM: 64 MB o più
 - Unità CD-ROM: velocità ×8 o superiore
 - Schermo: Risoluzione 800 × 600 o superiore
 - Sistema operativo: Microsoft® Windows® XP Professional o Windows XP Home Edition
- Se i suddetti requisiti non sono soddisfatti, il funzionamento dell'unità CD-ROM può essere lento o impossibile.

Operazioni preliminari

Per accedere alle istruzioni per l'uso sul CD-ROM in dotazione, occorre che sul computer sia installata una delle seguenti applicazioni:

- Adobe® Acrobat® versione 4.0 o successiva
- Adobe Reader versione 6.0 o successiva

Nota

Se Adobe Reader non è installato, è possibile scaricarlo dal seguente URL:

<http://www.adobe.com>

Visualizzazione delle Istruzioni per l'uso

- 1 Inserire il CD-ROM in dotazione con etichetta “Manuals for Video Communication System” nell'unità CD-ROM del computer.

Dopo un certo tempo viene visualizzato sullo schermo un elenco del contenuto del CD-ROM.

- 2 Fare doppio clic sul PDF con il nome file “Italiano”.

Viene così avviato Adobe Reader e viene visualizzata la prima pagina delle Istruzioni per l'uso per il sistema di comunicazione video.

Facendo clic su una voce della sezione “Contenuto” è possibile saltare direttamente alla pagina corrispondente.

- Adobe e Adobe Reader sono marchi di fabbrica di Adobe Systems Incorporated.
- Microsoft e Windows sono marchi registrati di Microsoft Corporation negli Stati Uniti e in altre nazioni.
- Intel e Pentium sono marchi di fabbrica o marchi registrati di Intel Corporation o delle sue consociate negli Stati Uniti e in altre nazioni.
- “IPELA” e **IPELA** sono marchi di fabbrica di Sony Corporation.

Caratteristiche

Il PCS-TL33 sistema di comunicazione video è un sistema per videoconferenze che consente di effettuare comunicazioni normali vis-à-vis con un partecipante remoto, con ricetrasmisione di immagini e audio tramite una rete. Il partecipante remoto può trovarsi in qualsiasi parte del mondo.

Sistema di comunicazione video mobile integrato

Tutti gli elementi necessari del sistema di comunicazione video, compresa la telecamera, il monitor, il codec, i microfoni e gli altoparlanti, sono integrati in un unico apparecchio dalle dimensioni contenute. Ciò facilita il trasporto del sistema e consente di predisporre una videoconferenza quasi ovunque ci si trovi.

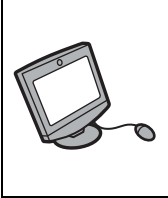
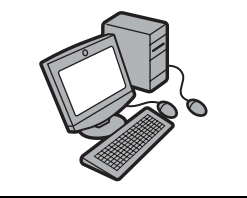
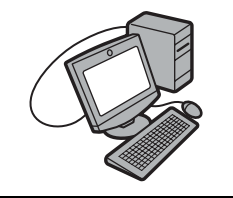
Il display incorporato da tipo 17 supporta la modalità Ampio. La telecamera incorporata è dotata di zoom e panoramica/inclinazione digitali.

Interfaccia utente intuitiva

L'interfaccia utente utilizza uno schema a sovrapposizione che permette di controllare le operazioni con un semplice clic del mouse in dotazione. Viene anche fornita una guida dell'utente, sotto forma di messaggi e di guida in linea.

Utilizzo del PCS-TL33 come display di computer

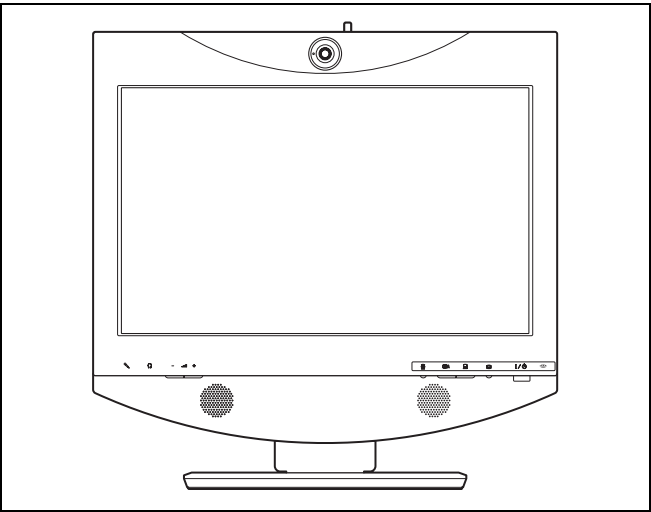
Oltre a utilizzare l'apparecchio come unità indipendente, è possibile collegare il PCS-TL33 a un computer. In questo caso è possibile utilizzare due mouse diversi per il computer e per il PCS-TL33, o utilizzare un unico mouse per entrambi.
Il Modulo soluzione dati PCSA-DSM1, disponibile a parte, consente di trasmettere il contenuto dello schermo del computer al partecipante remoto durante una videoconferenza.

Utilizzo come unità indipendente	Utilizzo con un computer e due dispositivi di puntamento distinti	Utilizzo con un computer e un singolo dispositivo di puntamento
		

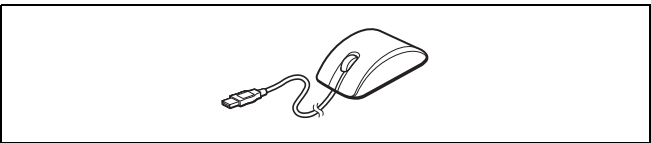
Verifica del contenuto della confezione

Una volta tolto il sistema dalla confezione, verificare che siano presenti tutti i seguenti componenti:

- PCS-TL33 unità principale (1)



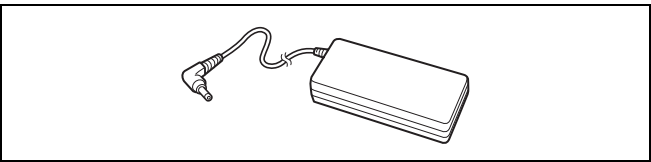
- Mouse ottico PCS-RMU1 (1)



Nota

La natura stessa del sensore ottico può impedire al mouse di funzionare correttamente su superfici trasparenti o riflettenti, quali ad esempio vetro o specchi. Se il mouse non funziona correttamente, evitare di usarlo su questo tipo di superfici o servirsi di un tappetino per mouse ottico, disponibile in commercio. Il mouse tuttavia può non funzionare correttamente con tappetini di certi tipi di materiale o in certi colori.

- Adattatore CA VGP-AC19V15 (1)



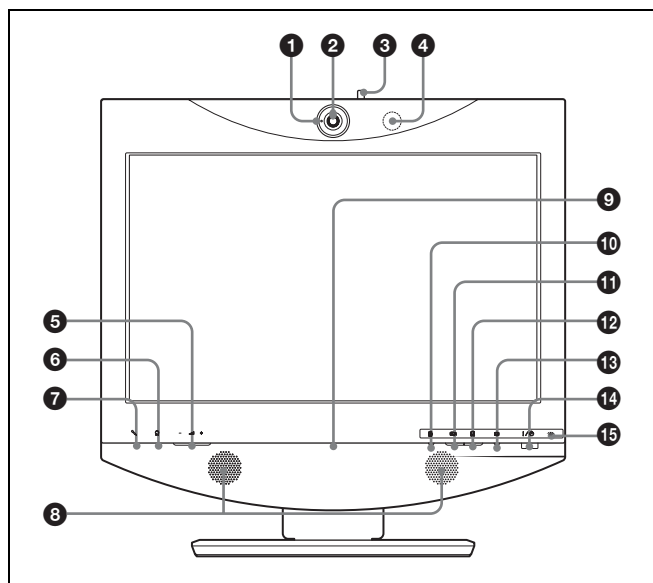
- Cavo di alimentazione (1)
- Guida introduttiva (questo documento) (1)
- CD-ROM (Istruzioni per l'uso) (1)
- Opuscolo di garanzia (1)

Nota

Il CD-ROM in dotazione contiene le Istruzioni per l'uso, con informazioni dettagliate sulle procedure operative e su tutte le impostazioni. Questo documento viene fornito come file PDF.

Nomi e funzioni delle parti

Vista frontale



1 Lampada Tally

Si accende quando il segnale video locale viene inviato al sistema remoto.

2 Obiettivo telecamera

3 Leva per coperchio dell'obiettivo

Consente di chiudere l'obiettivo della fotocamera.

4 Microfono

5 Tasti (Volume)

Servono a regolare il volume.

+: Per aumentare il volume.

–: Per diminuire il volume.

6 Jack (Cuffie) (mini jack stereo)

Consente di collegare un paio di cuffie (disponibile in commercio).

7 Jack (Mic) (mini jack)

Consente di collegare il microfono opzionale PCS-A1 o PCSA-A3.

8 Altoparlanti

9 Indicatore Online

Mostra soprattutto lo stato delle chiamate in arrivo/in uscita.

10 Tasto e indicatore (Mic Off)

Consente di sopprimere il suono proveniente dal sistema locale. Premere nuovamente il tasto per inviare nuovamente l'audio al sistema remoto.

11 Tasto e indicatore (Videoconferenza)

Serve per commutare dallo schermo del computer allo schermo di videoconferenza.

12 Tasto e indicatore (PC)

Serve per commutare allo schermo del computer.

13 Tasto (Menu)

Premere questo tasto per accedere al menu Impostazioni.

Premere e mantenere premuto questo tasto per 3 secondi durante la comunicazione per richiamare a schermo la tastiera “soft” DTFM.

14 Interruttore e indicatore (Alimentazione)

Permette di accendere e spegnere il sistema.

Quando si utilizza il sistema come schermo computer in modalità PC, basta premere una volta l'interruttore per spegnere.

Quando si utilizza il sistema in modalità Videoconferenza, basta premere una volta l'interruttore per attivare la modalità standby. Per spegnere in modalità Videoconferenza, premere nuovamente l'interruttore entro 5 secondi dalla prima volta che lo si è premuto.

Nota

L'interruttore di alimentazione è disattivato durante una sessione di comunicazione.

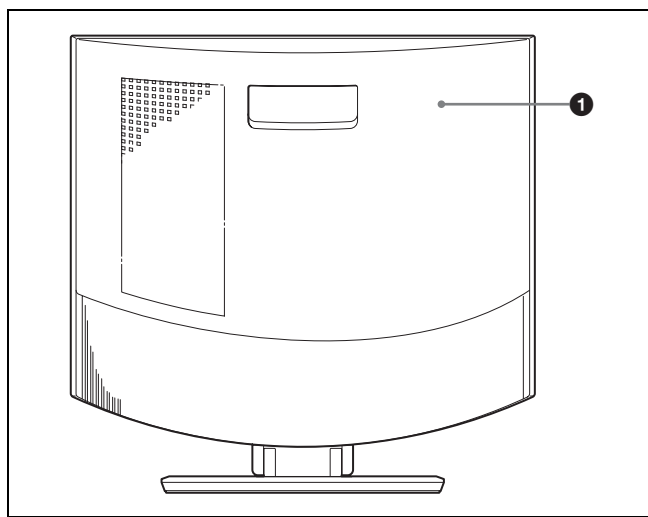
15 Indicatore “Memory Stick”

Mostra lo stato dell'alloggiamento “Memory Stick”.

Nota

Non rimuovere la “Memory Stick” quando questo indicatore è acceso.

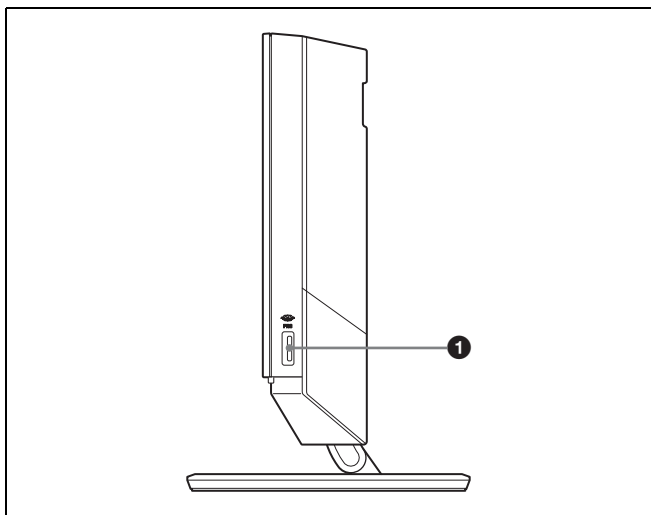
Vista posteriore



❶ Coperchio posteriore

La rimozione di questo coperchio permette di accedere al pannello dei connettori. Dietro al pannello si trova anche la sezione di collegamento tra il supporto e lo schermo. È possibile regolare l'altezza dello schermo modificando le posizioni delle viti.

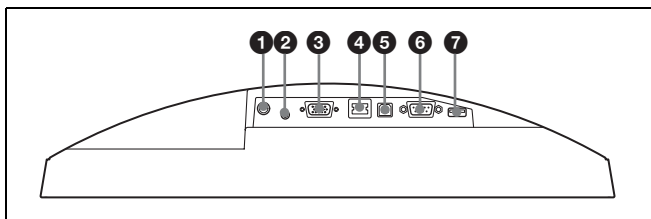
Vista lato destro



❶ Alloggiamento “Memory Stick”

Qui è possibile inserire una “Memory Stick”.

Pannello dei connettori (sezione sotto il coperchio posteriore, vista dal di sotto)



❶ Connettore DC19,5V

Collegare qui l'adattatore CA VGP-AC19V15 in dotazione.

❷ Jack AUDIO IN (ingresso audio PC) (mini jack stereo)

Collegare questo jack all'uscita audio di un computer collegato al connettore RGB IN.

❸ Connettore RGB IN (connettore mini D-sub a 15 piedini)

Collegare qui l'uscita RGB del computer.

❹ Porta 100BASE-TX/10BASE-T (porta modulare)

Utilizzare un cavo LAN Categoria 5 per collegare questa porta a un hub o un dispositivo simile. Questa porta è dotata di un indicatore Link/Data (luce verde) e un indicatore 100/10 Mbps (arancione).

❺ Porta PC

Questo connettore viene utilizzato quando si adopera lo stesso mouse per il PCS-TL33 e per un computer collegato al connettore RGB IN. Collegare il connettore a una porta USB del computer.

Nota

Utilizzare un cavo USB da 3 m (10 ft.) o più corto.

❻ Porta RS-232C (connettore D-sub a 9 piedini)

Questo connettore viene utilizzato unicamente per la manutenzione del sistema.

❼ Porta mouse

Collegare qui il mouse ottico PCS-RMU1 in dotazione.

Nomi e funzioni degli indicatori

Indicatore	Stato	Significato
I /  (Alimentazione) *	Luce verde	Apparecchio acceso
	Luce arancione	Standby
	Luce arancione lampeggiante (intervalli di 1 secondo)	Problema con la ventola
	Spento	Apparecchio spento
Online *	Luce blu lampeggiante (3 volte al secondo)	Invio/ricezione
	Luce blu	Comunicazione in corso
	Spento	Offline (nessuna chiamata perduta) o Standby
 (PC) *	Luce blu	Display computer
	Luce bianca	Schermo videoconferenza
	Spento	Standby
 (Videoconferenza) *	Luce blu	Schermo videoconferenza
	Luce bianca	Display del computer
	Spento	Standby
 (Mic off) *	Luce arancione	Microfono spento
	Luce bianca	Mic on
	Spento	Standby
 (“Memory Stick”)	Luce arancione	Accesso alla “Memory Stick”
	Spento	Mancato accesso alla “Memory Stick”

Indicatore	Stato	Significato
Lampada Tally	Luce arancione	Invio in corso dell'immagine della telecamera al partecipante remoto (coperchio obiettivo)
	Luce arancione lampeggiante (intervalli di 5 secondi)	Invio in corso dell'immagine della telecamera al partecipante remoto (coperchio dell'obiettivo chiuso)
	Spento	L'immagine della telecamera non viene inviata
Link/Dati	Luce verde	Collegamento stabilito
	Luce verde lampeggiante	Trasferimento dati in corso
	Spento	Link offline
100/10 Mbps	Luce arancione	100 Mbps
	Spento	10 Mbps

* L'indicatore è acceso durante l'avvio del sistema. Nel caso venga rilevata una temperatura anomala, l'indicatore lampeggia e il sistema si spegne.

Collegamenti del sistema

La presente sezione descrive i collegamenti tipici del sistema.

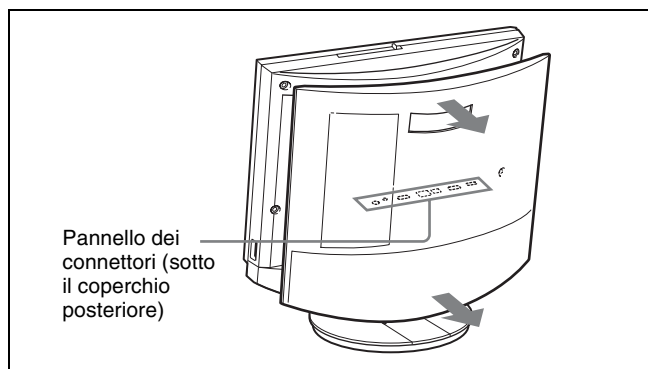
Oltre a utilizzare l'apparecchio come unità indipendente, è possibile collegare il PCS-TL33 a un computer da utilizzare come schermo quando non c'è una videoconferenza in corso. In questo caso è possibile utilizzare due mouse diversi per il computer e per il PCS-TL33, o collegare il PCS-TL33 e il computer con un cavo USB generico e utilizzare lo stesso mouse per entrambi.

Informazioni sui connettori

I connettori del sistema si trovano sotto il coperchio posteriore. Rimuovere il coperchio per effettuare i collegamenti, quindi rimetterlo nella sua sede.

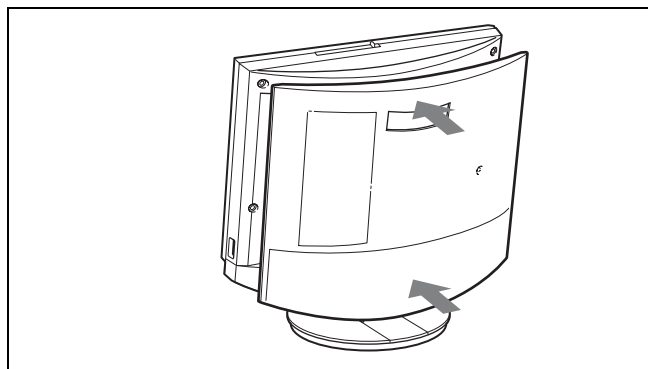
Per rimuovere il coperchio posteriore

Tirare il coperchio posteriore.



Per rimontare il coperchio posteriore

Spingere il coperchio all'interno mentre si allineano i quattro mozzetti.



Precauzioni per il collegamento

Avvertimento

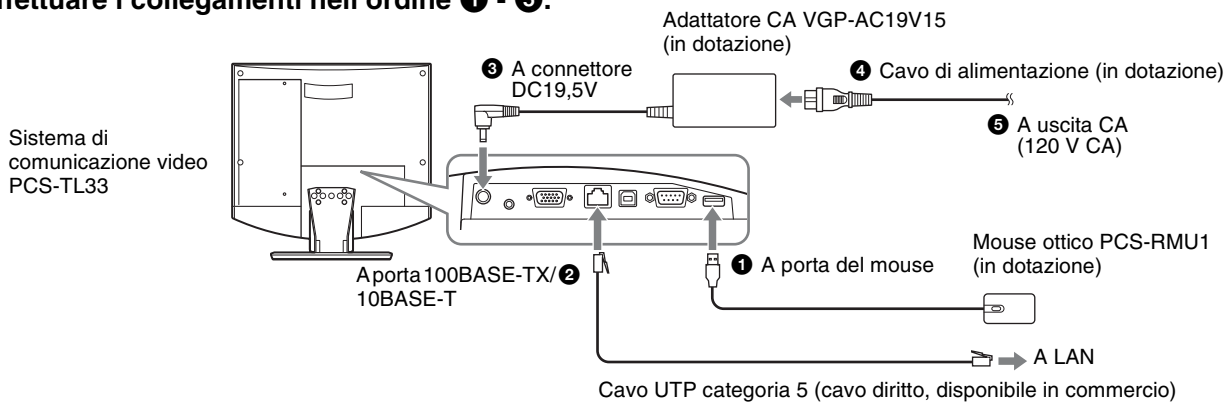
- Utilizzare esclusivamente l'adattatore CA e il cavo di alimentazione forniti in dotazione.
- Quando si collega il cavo di alimentazione dell'adattatore CA e il cavo CC, inserire le spine a fondo accertandosi che abbiano fatto buona presa.
- Per motivi di sicurezza, non collegare il connettore 100BASE-TX/10BASE-T a una rete in cui possono essere presenti tensioni eccessive.

Attenzione

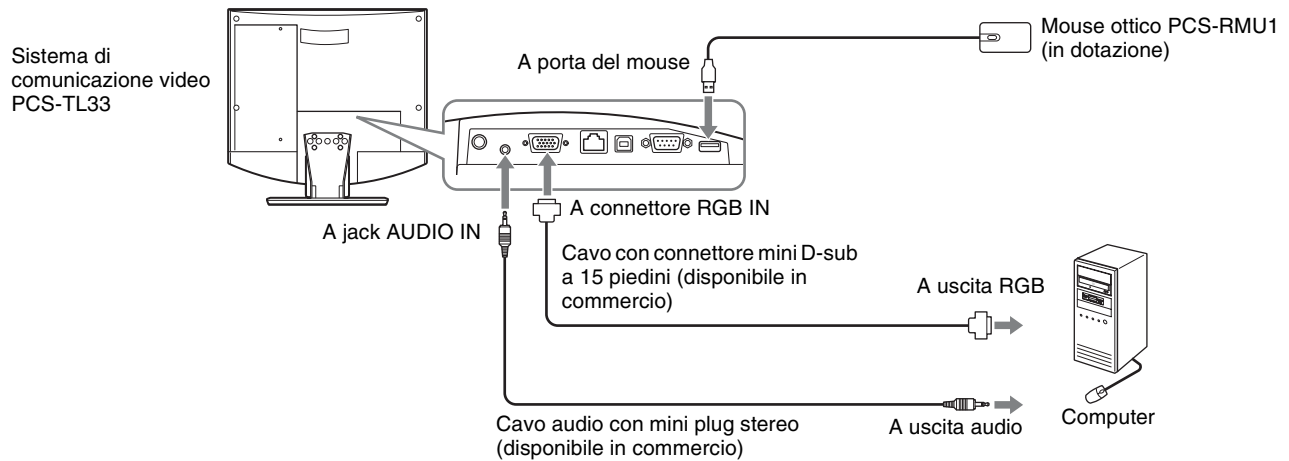
- Prima di effettuare i collegamenti, accertarsi di avere spento tutti i componenti.
- Per impedire che l'unità venga danneggiata, non collegare o scollegare cavi mentre l'unità è accesa.

Esempio di collegamento (utilizzo come unità indipendente)

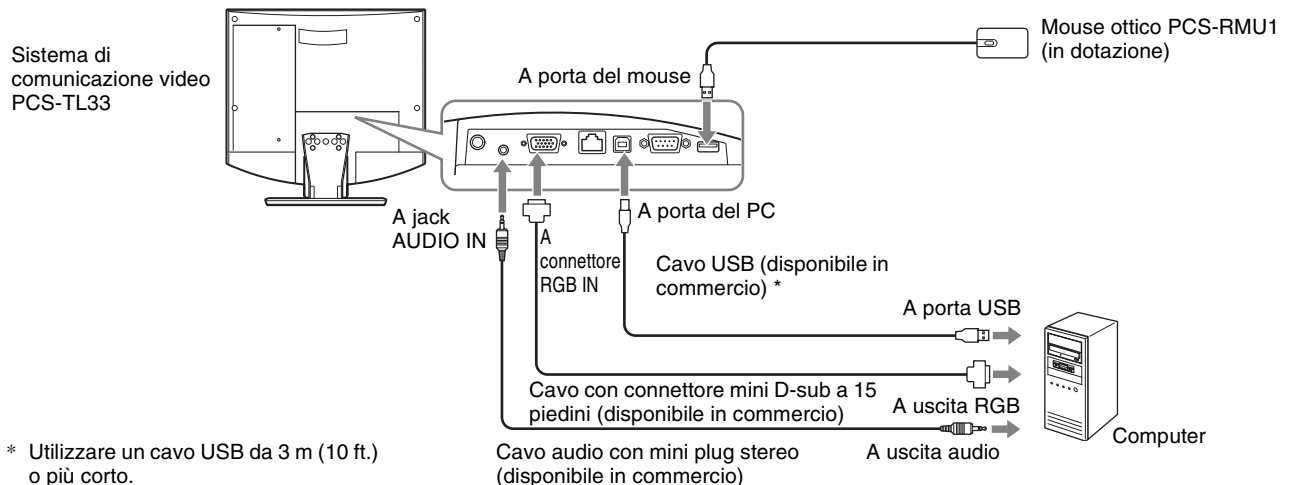
Effettuare i collegamenti nell'ordine ❶ - ❺.



Esempio di collegamento per utilizzo con computer (mouse separato)



Esempio di collegamento per utilizzo con computer (mouse in condivisione)



* Utilizzare un cavo USB da 3 m (10 ft.) o più corto.

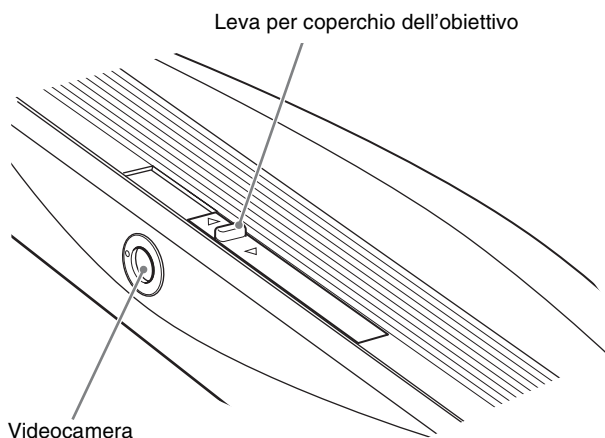
Inserimento e disinserimento del sistema

Prima di inserire il sistema, accertarsi che le connessioni del sistema siano state effettuate correttamente.

Le schermate possono essere diverse da quelle mostrate qui, a seconda del software.

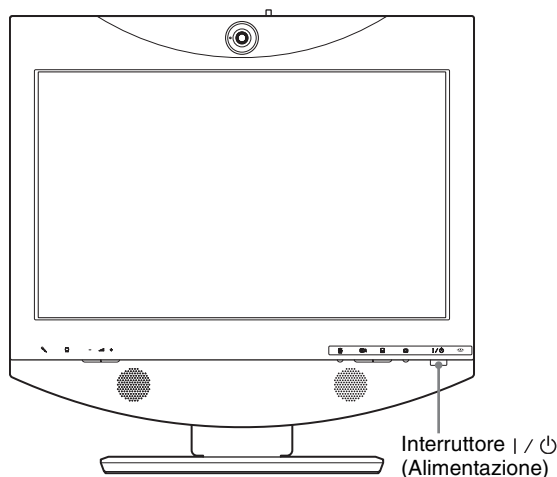
Apertura del coperchio dell'obiettivo

Il sistema è dotato di un coperchio dell'obiettivo per proteggere la videocamera. Prima di dare inizio a una videoconferenza, togliere il coperchio dell'obiettivo facendo scorrere la levetta del coperchio (nella parte superiore del sistema) verso destra. Se il coperchio dell'obiettivo è chiuso, l'immagine del sito locale non verrà visualizzata sul sito remoto.



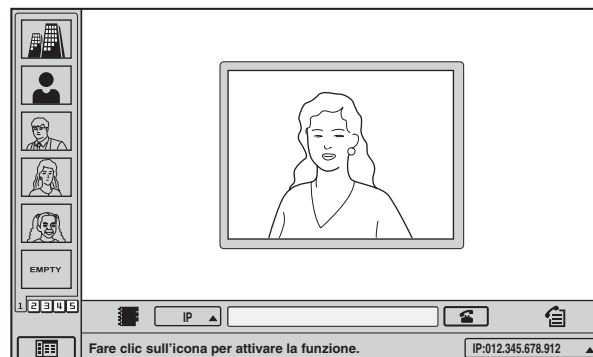
Accensione del sistema

Premere l'interruttore  (Alimentazione) sul PCS-TL33.

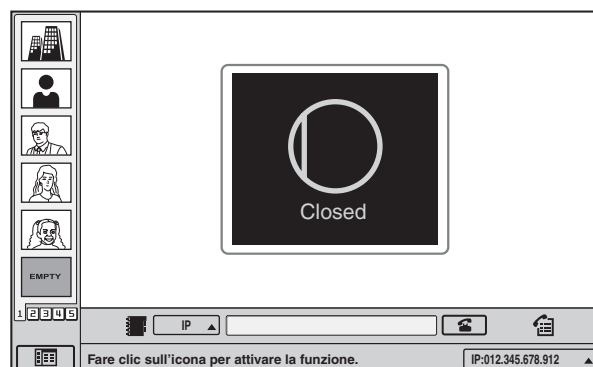


L'indicatore dell'interruttore si accende emettendo una luce arancione e il sistema di comunicazione video si accende. Al termine dell'accensione, l'indicatore emette una luce verde. Sullo schermo viene visualizzato il menu di lancio e appare l'immagine della videocamera locale.

Menu di lancio



Quando il coperchio dell'obiettivo è chiuso, il menu di lancio viene visualizzato nel modo riportato di seguito.



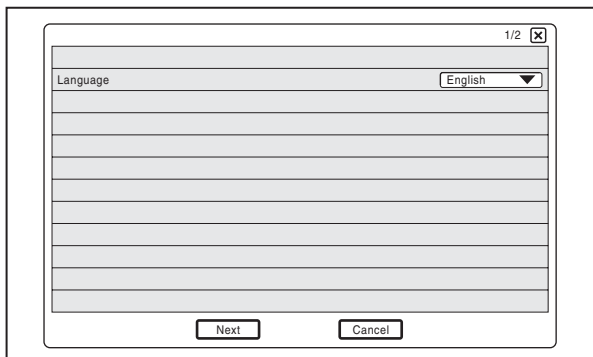
Note

- La prima volta che si preme l'interruttore di alimentazione dopo aver inserito il cavo di alimentazione nella presa di corrente, possono trascorrere anche dieci secondi prima che l'indicatore dell'interruttore si accenda.
- Quando si accende il sistema di comunicazione video per la prima volta dopo l'installazione, viene visualizzata la procedura di impostazione guidata. Impostare il sistema seguendo le istruzioni della procedura guidata.

Installazione guidata

Le voci configurabili possono variare a seconda del software.

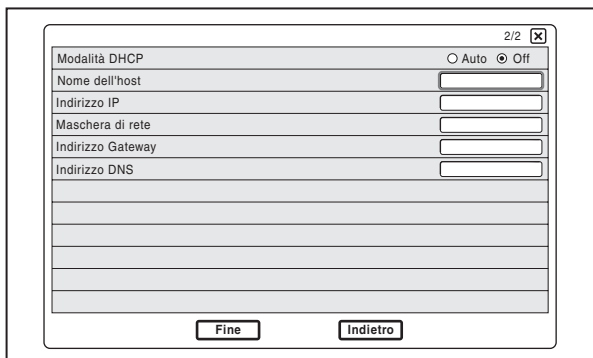
- 1 Scegliere la lingua utilizzata per i menu e i messaggi dall'elenco a discesa "Language".



- 2 Fare clic su "Next".
- 3 Effettuare le opportune impostazioni LAN.

Nota

Negli esempi seguenti si assume che sia stato scelto l'italiano come lingua.



Modalità DHCP: imposta la modalità DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol).

Auto: assegna automaticamente l'indirizzo IP, la maschera di sottorete, l'indirizzo gateway e l'indirizzo DNS.

Off: disattiva DHCP. In questo caso occorre impostare manualmente l'indirizzo IP, la maschera di sottorete, l'indirizzo gateway e l'indirizzo DNS.

Nome dell'host: inserire il nome host.

Indirizzo IP: inserire l'indirizzo IP.

Maschera di rete: inserire la maschera di rete.

Indirizzo Gateway: inserire l'indirizzo gateway predefinito.

Indirizzo DNS: inserire l'indirizzo del server DNS (Domain Name System).

Se non si conoscono le impostazioni occorrenti per la configurazione della LAN, contattare l'amministratore di rete.

- 4 Fare clic su "Fine".

Le impostazioni vengono salvate.

Spegnimento del sistema

- 1 Premere due volte l'interruttore $\mid / \odot$ (Alimentazione).

Dopo aver premuto una volta l'interruttore, viene visualizzato il messaggio "Per entrare nella modalità Standby, attendere 5 secondi. Per spegnere, premere nuovamente l'interruttore di accensione.". Premere nuovamente l'interruttore di alimentazione.

- 2 Disinserire l'alimentazione delle altre apparecchiature utilizzate per la videoconferenza.

Note

- Disinserire l'alimentazione del sistema se questo non verrà utilizzato per un periodo prolungato. Con l'alimentazione disinserita, non è possibile ricevere una chiamata da un partecipante remoto.
- Quando si utilizza il sistema come schermo computer nella modalità PC, è possibile spegnere il sistema premendo una sola volta l'interruttore di alimentazione.
- Durante una conferenza l'interruttore di alimentazione è disattivato.

Impostazione del sistema di comunicazione video in modalità standby

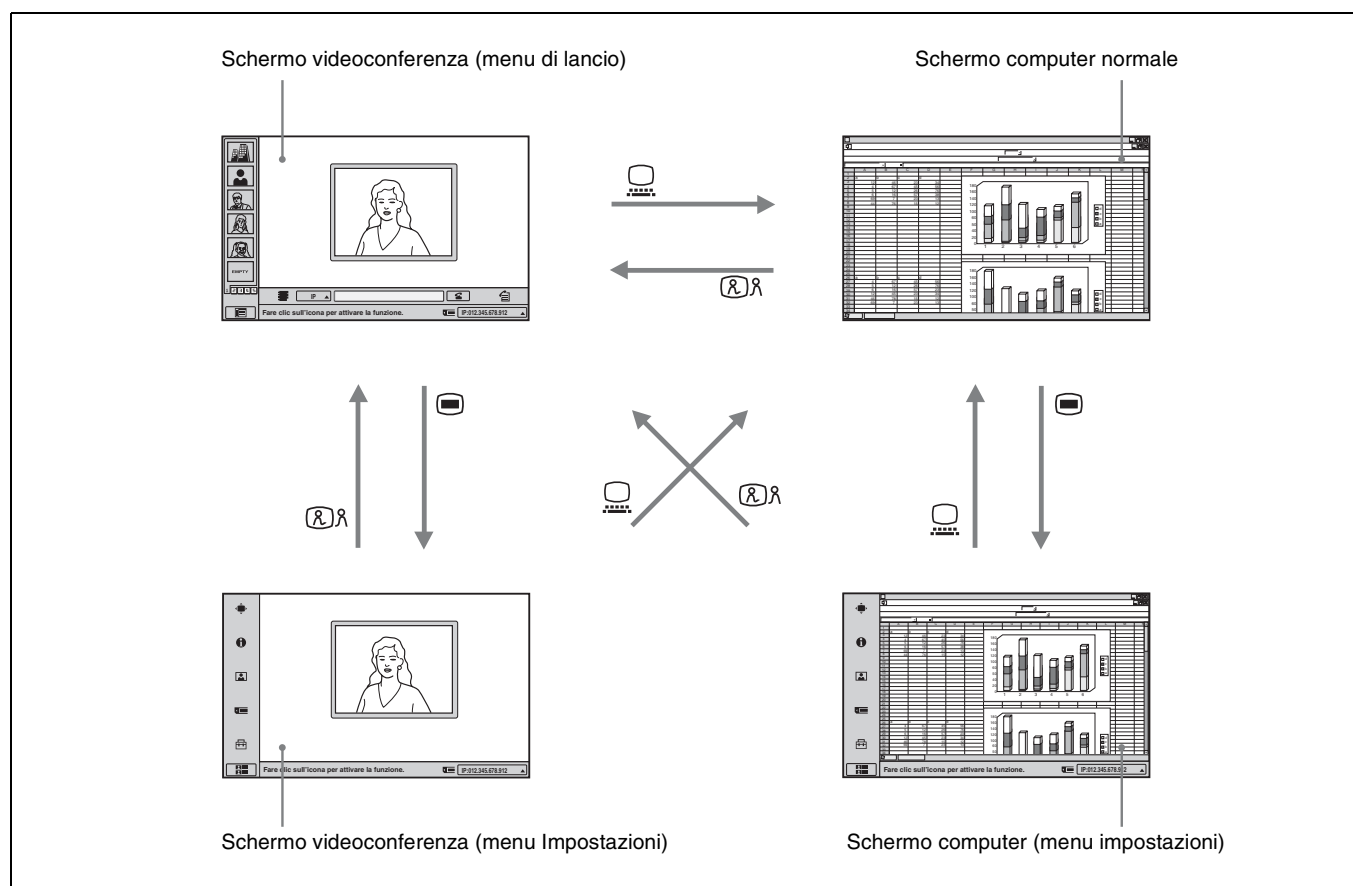
Quando si preme l'interruttore $\mid / \odot$ (Alimentazione) del PCS-TL33, viene visualizzato il messaggio "Per entrare nella modalità Standby, attendere 5 secondi. Per spegnere, premere nuovamente l'interruttore di accensione.". Se ci si limita ad attendere, il sistema entrerà nella modalità standby.

È possibile ricevere una chiamata da un partecipante remoto nella modalità standby.

Per passare dalla modalità standby a quella normale, premere una sola volta l'interruttore di alimentazione.

Commutazione tra schermo videoconferenza e schermo computer

È possibile utilizzare il tasto  (Menu), il tasto  (PC) e il tasto  (Videoconferenza) situati nella parte inferiore destra dell'unità per passare dalla modalità Schermo videoconferenza alla modalità Schermo computer, e viceversa.



Note

- Se il PCS-TL33 non è collegato a un computer, quando si preme il tasto  (PC) per passare alla visualizzazione dello Schermo computer, il mouse viene disattivato.
- Se, durante la sessione di comunicazione, è visualizzata un'immagine secondaria, tale immagine rimarrà visibile anche dopo la commutazione alla modalità Schermo computer. Tuttavia il video riprodotto nell'immagine secondaria provverrà dal sistema remoto o da quello locale.
- Quando si utilizzando dei mouse separati per il PCS-TL33 e per il computer, il mouse attivo dipenderà dalla schermata corrente. Quando viene visualizzato lo schermo computer normale, è attivo il mouse collegato al computer. Quando sono visualizzate altre schermate, è attivo il mouse collegato al PCS-TL33.

Regolazione dell'altezza dello schermo

Il supporto e la sezione di visualizzazione del PCS-TL33 sono uniti mediante viti di fissaggio. Vi sono tre gruppi di fori per viti, intervallati di 25 mm. Nelle condizioni predefinite in fabbrica il display è fissato nella sua posizione più bassa. Scegliendo un'altra serie di fori per viti è possibile modificare l'altezza del display.

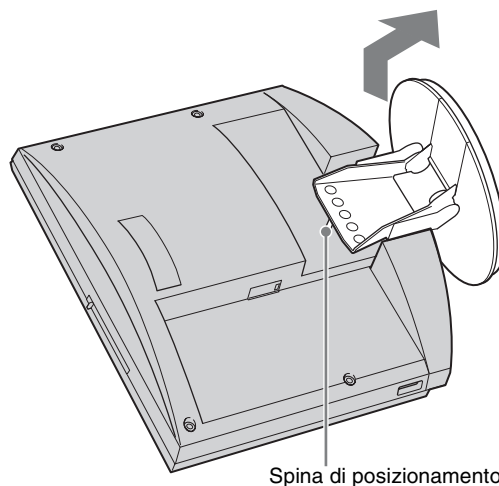
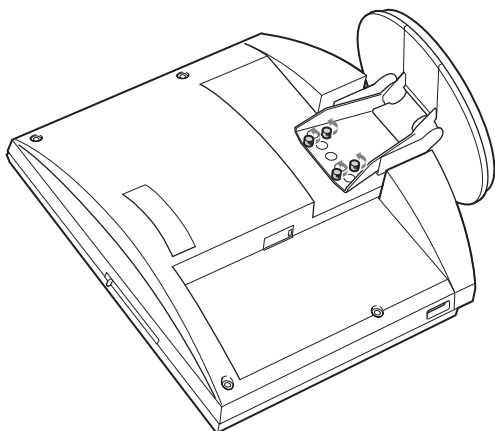
- 1 Rimuovere il coperchio posteriore dell'unità.

Per informazioni su come eseguire questa operazione, vedere pagina 90.

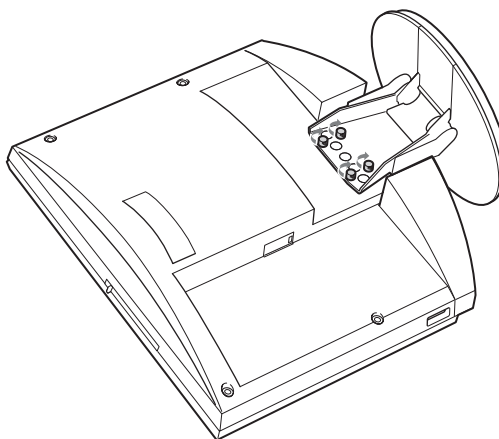
- 2 Rimuovere le 4 viti usando una moneta o un oggetto simile, sollevare il supporto e inserire la spina di posizionamento nel foro in corrispondenza della nuova posizione del supporto stesso.

Nota

Prima di modificare l'altezza dello schermo nel modo suddetto, accertarsi di avere spento l'apparecchio. Appoggiare il display a faccia in giù su un panno morbido o un oggetto simile.



- 3 Avvitare le quattro 4 viti usando una moneta o un oggetto simile per fissare il supporto.



- 4 Applicare nuovamente il coperchio posteriore.

Precauzioni

Luoghi in cui attivare o conservare il sistema

Evitare di mettere in funzione o conservare il sistema nei seguenti luoghi:

- luoghi estremamente caldi o freddi
- luoghi polverosi o soggetti a umidità
- luoghi esposti a forte vibrazione
- in prossimità di campi magnetici intensi
- in prossimità di fonti di forti radiazioni elettromagnetiche, come trasmettitori radio o TV
- in luoghi rumorosi

Schermo LCD

Note sull'impiego

- Non esporre la superficie dello schermo LCD ai raggi solari. I raggi solari potrebbero danneggiare la superficie dello schermo.
- Non esercitare pressione o graffiare lo schermo LCD, o posizionare oggetti sopra al sistema. L'immagine potrebbe divenire irregolare oppure lo schermo LCD potrebbe danneggiarsi.
- Se il sistema viene utilizzato in luoghi freddi, l'immagine potrebbe risultare macchiata o diventare scura. Ciò non indica la presenza di un guasto. Tali fenomeni tendono a scomparire quando la temperatura aumenta.
- Potrebbero comparire delle ombre quando i fermi immagine vengono visualizzati in modo continuo. Tali ombre scompariranno dopo alcuni istanti.
- Lo schermo e le parti esterne si riscaldano quando il sistema è in uso. Non si tratta di un malfunzionamento.

Visualizzazione dei pixel

Sebbene il display LCD si basi su una tecnologia ad alta precisione e abbia un coefficiente di efficacia dei pixel superiore al 99,99%, è possibile che compaiano dei punti neri (pixel "morti") o che dei punti luminosi (rossi, blu o verdi) siano accesi o spenti permanentemente sullo schermo LCD. L'apparizione di pixel "morti" dopo un uso prolungato è un fenomeno comune nei display LCD. Tali fenomeni non costituiscono un malfunzionamento.

Fenomeni specifici dei sensori CMOS

I seguenti fenomeni che possono verificarsi nelle immagini sono specifici dei sensori CMOS (Complementary Metal Oxide Semiconductor). Non sono segnale di cattivo funzionamento.

Macchiette bianche

I sensori CMOS sono prodotti con tecnologie di elevatissima precisione. Ciononostante possono presentarsi sullo schermo in alcuni rari casi piccole macchiette bianche, causate da raggi cosmici ecc. Questo fenomeno è dovuto al principio di funzionamento dei sensori CMOS e non è un malfunzionamento.

Le macchiette bianche tendono ad apparire principalmente nei seguenti casi:

- in caso di elevate temperature ambiente
- se è stato aumentato il guadagno (sensibilità)

Aliasing

Se vengono ripresi motivi, righe o simili molto "fitti", questi possono apparire spezzettati o tremolare.

Nota sui raggi laser

I raggi laser possono danneggiare il sensore CMOS. Fare attenzione che la superficie del sensore CMOS non venga esposta ai raggi laser in ambienti in cui si utilizza un dispositivo a raggi laser.

Altoparlanti incorporati

Gli altoparlanti sono fonti di campi magnetici. Per evitare di danneggiare i dati, tenere i nastri e i dischi magnetici lontano dagli altoparlanti.

Pulizia

- Prima della pulizia, scollegare il cavo di alimentazione dalla presa CA.
- La superficie dello schermo LCD ha una finitura di rivestimento speciale. Per rimuovere la polvere dalla superficie dello schermo, passare delicatamente un panno morbido asciutto.
- Non utilizzare solventi volatili come alcol, benzene o diluenti in quanto potrebbero danneggiare le finiture della superficie.
- Quando si utilizza un panno per pulizia contenente agenti chimici, attenersi alle istruzioni con esso fornite.
- Non applicare solventi volatili come un insetticida sullo schermo o lasciare che oggetti in gomma o plastica rimangano a contatto con lo schermo per un periodo di tempo prolungato, in quanto ciò potrebbe danneggiare le finiture della superficie.

Caratteristiche tecniche

Sistema di comunicazione video PCS-TL33

La presente unità è conforme alle raccomandazioni ITU-T H.323 e IETF SIP.

Immagini in movimento

Larghezza di banda di funzionamento

Da 64 kbps a 2048 kbps

Codifica H.261/H.263/H.263+/H.263++/H.264
(raccomandazione ITU-T)

MPEG4 Simple Profile

Elementi immagine

CIF: 352 pixel × 288 linee

QCIF: 176 pixel × 144 linee

Fermo immagine

Pixel	704 pixel × 576 linee
Codifica	H.261 (raccomandazione ITU-T) Annex. D (4CIF) H.263 (formato speciale di questo sistema)

Audio

Larghezza di banda	14 kHz (MPEG4 Audio) 7 kHz (G.722 conforme alle raccomandazioni ITU-T) 3,4 kHz (G.711/G.728/G.729, conforme alle raccomandazioni ITU-T)
Velocità di trasmissione	64 kbps, 96 kbps (MPEG4 Audio) 56 kbps, 64 kbps (G.711, conforme alle raccomandazioni ITU-T) 48 kbps, 56 kbps, 64 kbps (G.722, conforme alle raccomandazioni ITU- T) 16 kbps (G.728, conforme alle raccomandazioni ITU-T) 8 kbps (G.729, conforme alle raccomandazioni ITU-T)

Rete

Trasmissione in modalità multiplexing	Video, audio, dati
Formato fotogramma	H.225.0 (conforme alle raccomandazioni ITU-T)
Interfaccia	LAN (100BASE-TX/10BASE-T)
Protocollo LAN supportato	HTTP FTP Telnet RTP/RTCP TCP/UDP SNMP

Controllo a distanza

Controllo videocamera remota	H.281 (conforme alle raccomandazioni ITU-T)
------------------------------	--

Telecamera

Dispositivo immagine	1/3,8 pollici a colori CMOS Numero totale di pixel: 1,33 milioni circa Numero effettivo di pixel: 1,28 milioni circa
Obiettivo	f = 2,1 mm F = 1:2,4 Angolazione orizzontale: circa 87° Angolazione verticale: circa 71°
Distanza focale	300 mm
Funzione Panoramica/inclinazione/zoom	Mediante elaborazione digitale
Funzione Bilanciamento automatico del bianco	incorporata

Funzione di esposizione automatica incorporata

Velocità di trasmissione dei fotogrammi	Auto (con commutazione automatica in funzione dell'intensità della luce ambiente)/30/15 fps
---	---

Schermo

Grandezza	Schermo da 17,1 pollici (area visualizzabile misurata in diagonale)
Risoluzione	1280 × 768 (WXGA)
Luminanza massima dello schermo	410 cd/m ²
Tempo di risposta	13 ms
Rapporto di contrasto	600 : 1
Angolo di visione	176 gradi
Numero di colori	16.700.000 colori

Controllo immagine

PinP	4 angoli
PandP	Due/tre finestre
Side-by-Side	Due finestre
Ingresso	Interno: comunicazione video RGB esterno: display computer
Modalità Ampio	Normale, Zoom, Ampio
Modalità RGB	640 × 480, 800 × 600, 1024 × 768, 1280 × 768, ecc. La visualizzazione di immagini ingrandite è possibile.

Altoparlante

Altoparlante	3 W × 2
--------------	---------

Microfono

Campo di frequenza	14 kHz
Caratteristiche direzionali	Direzionale ad angolo diretto

Dati generali

Alimentazione	19,5 V DC
Assorbimento di corrente	6,15 A
Temperatura di utilizzo	da 5 °C a 35 °C (da 41 °F a 94 °F)
Umidità durante l'esercizio	da 20% a 80%
Temperatura di immagazzinamento	da -20 °C a +60 °C (da -4 °F a +140 °F)
Umidità di immagazzinamento	da 20% a 80% (senza condensa)
Dimensioni	424 × 376 × 95,5 mm (l/a/p) (16 ³ / ₄ × 14 ⁷ / ₈ × 3 ⁷ / ₈ pollici) (supporto escluso) 424 × 419 × 258 mm (l/a/p) (16 ³ / ₄ × 16 ¹ / ₂ × 10 ¹ / ₄ pollici) (supporto incluso)

Peso Circa 8 kg (17 lb 9 oz)
 Accessori in dotazione
 Mouse ottico PCS-RMU1 (1)
 Adattatore CA VGP-AC19V15 (1)
 Cavo di alimentazione (1)
 CD-ROM (1)
 Guida introduttiva (1)
 Garanzia (1)

Adattatore CA VGP-AC19V15

Alimentazione 100 - 240 V AC, 50/60 Hz, 1,6 - 0,7 A
 Uscita 19,5 V DC, 6,2 A
 Temperatura di utilizzo
 da 5 °C a 35 °C (da 41 °F a 94 °F)
 Umidità durante l'esercizio
 da 20% a 80%
 Temperatura di immagazzinamento
 da -20 °C a +60 °C (da -4 °F a +140 °F)
 Umidità di immagazzinamento
 da 20% a 80% (senza condensa)
 Dimensioni 155 × 67 × 36,5 mm (l/a/p)
 (6 ¹/₈ × 2 ³/₄ × 1 ⁷/₁₆ pollici)
 (escluse le parti sporgenti)
 Peso Circa 550 g (1 lb 3 oz)

Microfono PCS-A1 (opzionale)

Larghezza di banda
 13 kHz
 Caratteristiche direzionali
 Omnidirezionale
 Dimensioni 74 × 16 × 93 mm (l/a/p)
 (3 × ²¹/₃₂ × 3 ³/₄ pollici)
 Peso Circa 170 g (6 oz)
 Alimentazione Alimentazione mediante presa
 Lunghezza cavo 8 m (26 piedi e 3 pollici)

Microfono PCSA-A3 (opzionale)

Larghezza di banda
 13 kHz
 Caratteristiche direzionali
 Unidirezionale
 Dimensioni 68 × 16 × 96 mm (l/a/p)
 (2 ³/₄ × ²¹/₃₂ × 3 ⁷/₈ pollici)
 Peso Circa 200 g (7 oz)
 Alimentazione Alimentazione mediante presa
 Lunghezza cavo 8 m (26 piedi e 3 pollici)

Modulo soluzione dati PCSA-DSM1 (opzionale)

Consumo di corrente
 20 W max.
 Temperatura di utilizzo
 da 5 °C a 35 °C (da 41 °F a 94 °F)
 Umidità durante l'esercizio
 da 20% a 80%

Temperatura di immagazzinamento
 da -20 °C a +60 °C (da -4 °F a +140 °F)
 Umidità di immagazzinamento
 da 20% a 80% (senza condensa)
 Dimensioni 107 × 250 × 34 mm (l/a/p)
 (4 ¹/₄ × 9 ⁷/₈ × 1 ³/₈ pollici)
 (escluse le parti sporgenti)
 Peso Circa 550 g (1 lb 3 oz)
 Accessori in dotazione
 Guida introduttiva (1)
 Garanzia (1)

Software SIP PCSA-SP1 (opzionale)

Accessori in dotazione
 Sigillo numero di serie (1)
 Istruzioni per l'uso (1)

Design e caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Questo prodotto utilizza font bitmap Ricoh, prodotte e commercializzate da Ricoh Co., Ltd.

Nota

Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.

Segnali di ingresso/uscita RGB accettabili

Elementi immagine	Formato del segnale	fH (kHz)	fV (Hz)	Dot clock (MHz)	Sync
640 × 480	Modo VGA	31,469	59,94	25,17	H-neg V-neg
	Macintosh 13"	35	66,667	30,24	H-neg V-neg
	VGA VESA 72 Hz	37,861	72,809	31,5	H-neg V-neg
	VGA VESA 75 Hz	37,5	75	31,5	H-neg V-neg
	VGA VESA 85 Hz	43,269	85,008	36	H-neg V-neg
800 × 600	SVGA VESA 56 Hz	35,156	56,25	36	H-pos V-pos
	SVGA VESA 60 Hz	37,879	60,317	40	H-pos V-pos
	SVGA VESA 72 Hz	48,077	72,188	50	H-pos V-pos
	SVGA VESA 75 Hz	46,875	75	49,5	H-pos V-pos
	SVGA VESA 85 Hz	53,674	85,061	56,25	H-pos V-pos
1024 × 768	XGA VESA 60 Hz	48,363	60,004	65	H-neg V-neg
	XGA VESA 70 Hz	56,476	70,069	75	H-neg V-neg
	XGA VESA 75 Hz	60,023	75,029	78,75	H-pos V-pos
1280 × 768	WXGA VESA 60 Hz*	47,693	59,992	80,12	H-neg V-pos

* Non può essere trasmesso mediante il Modulo soluzione dati PCSA-DSM1.

警告

为减少火灾或电击的危险，请勿使本产品淋雨或受潮。

为避免电击，请勿拆卸机壳。维修事宜应仅由合格维修人员进行。

警告

请使用本设备附带的交流电源适配器作为电源。

制造厂商	型号
Sony	VGP-AC19V15

使用任何其他电源可能会导致火灾之类的危险。
本设备的断开装置为交流电源适配器的电源插头。
必须使用本设备的电源插头断开电源。
请确保电源插座安装在本设备附近且便于使用。
如果电源适配器工作异常，应断开电源插头。

注意

请使用经各国（使用本设备的国家）专门检测机构许可的电源线组件。

LAN 端口注意事项

为了安全起见，请不要将 LAN 端口连接到任何有过电压的网络设备。

对于欧洲用户

警告

此为 A 类产品。当在居住环境中使用时，此产品可能会产生电磁干扰。在此情况下，用户会被要求采取某些适当的对策。
在有干扰存在的情况下，请联系离您最近的 Sony 维修机构。

目录

提供的文档	102
功能	102
集成的便携式会议电视终端	102
直观的用户界面	102
将 PCS-TL33 当作计算机显示器使用 ..	102
检查包装内容	103
部件的名称与功能	103
指示灯名称和功能	105
系统连接	105
关于连接器	105
连接注意事项	106
连接范例（单独使用）	107
随同计算机使用的连接范例 （独立鼠标）	107
随同计算机使用的连接范例 （共享鼠标）	107
打开 / 关闭系统	108
打开镜头盖	108
打开系统	108
初始设置向导	109
关闭系统	109
将会议电视终端设置为待机模式	109
在视频会议显示器和计算机显示器之间进行切 换	110
调节显示器的高度	111
使用前须知	111
操作和存储位置	111
液晶屏幕	111
CMOS 传感器的特有现象	112
内置扬声器	112
清洁	112
规格	112
可接收 RGB 输入 / 输出信号	114

本“快速入门指南”提供了重要的预防措施和产品操作说明，以防意外事故或伤害。为确保产品的安全操作，请认真阅读本指南并保留以供将来参考。

同时，要想了解本产品更为详细的信息，请参阅存储在所提供的 CD-ROM 中的操作说明。您可以同时参考本文档与“快速入门指南”。

提供的文档

随本产品提供了一些文档，列表如下。根据您的实际需要，查阅相应的文档。

快速入门指南（本文档）

提供了有关初始设置和如何连接系统的基本信息。（附送的 CD-ROM 也包含相同的“快速入门指南”文件。）

操作说明（存储在附送的 CD-ROM 中）

针对实施不同种类视频会议会话所必需的操作程序和设置，提供了详细的信息。本文档包括了该产品的所有功能。

CD-ROM 操作要求

使用 CD-ROM 需要下列的系统要求。

- 计算机： 配备 Intel® Pentium® 处理器
 - 内存： 64 MB 或更大
 - 光驱： 8 倍速或更快
 - 显示器： 分辨率 800 × 600 或更高
 - 操作系统 Microsoft® Windows® XP Professional 或 Windows XP Home Edition
- 如果达不到上述要求，CD-ROM 的运行速度就会变慢或不可用。

准备

想要访问附送的 CD-ROM 中的操作说明，计算机上最少要安装有下列软件应用程序中的一种：

- Adobe® Acrobat® Reader 4.0 或更新的版本
- Adobe Reader 6.0 或更新的版本

注意

如果没有安装 Adobe Reader，可以从下面的 URL 地址进行下载：
<http://www.adobe.com>

查看操作说明

1 将附送的 CD-ROM（标有“Manuals for Video Communication System”）插入计算机的光驱中。

稍后，屏幕上会出现 CD-ROM 内容列表。

2 双击文件名为“中文”的 PDF。

Adobe Reader 开始运行，然后在屏幕上会显示“会议电视终端”的“操作说明”的第一页。通过单击“目录”区域的一个条目，可以直接跳到相应的页面。

- Adobe 和 Adobe Reader 是 Adobe Systems Incorporated 的商标。
- Microsoft 和 Windows 是 Microsoft Corporation 在美国和其它国家的注册商标。
- Intel 和 Pentium 是 Intel Corporation 或其分公司在美国和其它国家的商标或注册商标。
- “IPELA”和 IPELA 是 Sony Corporation 的商标。

功能

PCS-TL33 会议电视终端是一个视频会议系统，通过使用网络传输和接收图像及声音，可以与对方进行自然的、面对面的交流。另一方可以位于任何地点，包括国外。

集成的便携式会议电视终端

会议电视终端所需的全部元件，包括摄像机、监视器、编码解码器、麦克风和扬声器等，都集成在一个小巧的机壳内。这确保了系统的便携性，几乎可以让您在任何地点进行视频会议。内置的 17 寸监视器支持宽屏模式，内置的摄像机配备数码全景 / 倾斜和变焦功能。

直观的用户界面

用户界面采用叠加设计，通过此设计，您只需使用附送的鼠标单击即可控制操作。用户指南采用“消息”的形式，同时提供联机帮助。

将 PCS-TL33 当作计算机显示器使用

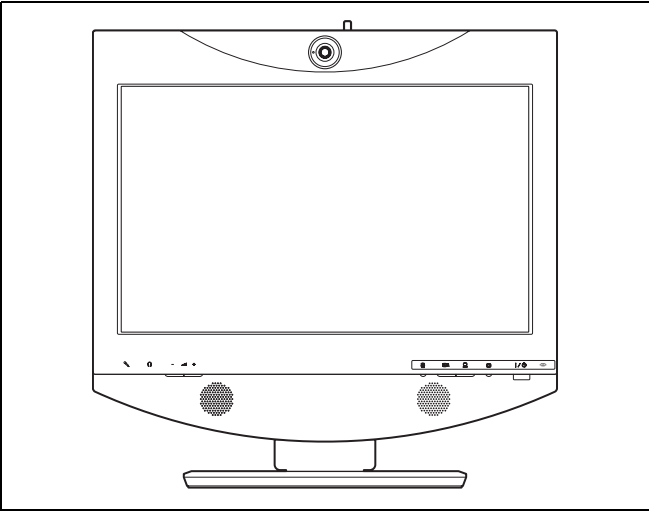
除了以独立模式操作之外，还可以将 PCS-TL33 连接到计算机。在这种情况下，既可以使用两个鼠标来操作计算机和 PCS-TL33，也可以只用一个鼠标。可单独使用的双流模块 PCSA-DSM1，能让您在视频会议期间将计算机显示器上的屏幕内容传输给对方。

单独使用	随同计算机和独立的定位设备使用	随同计算机和一个定位设备使用
		

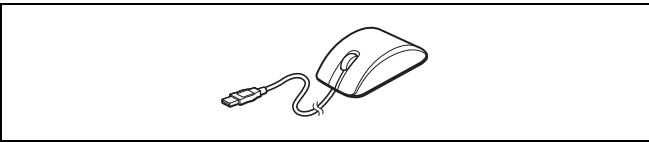
检查包装内容

当打开此设备包装时，请确保出现下列所有的项目：

- PCS-TL33 主设备 (1)



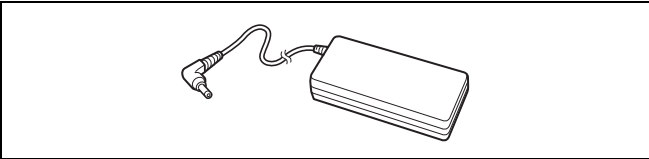
- 光电鼠标 PCS-RMU1 (1)



注意

由于光学感应器的特性，该鼠标在透明或反光表面（如玻璃或镜面）上可能无法正常工作。如果鼠标无法正常工作，请避免在这些表面上使用或使用从市场上购买的光学鼠标垫。然而根据鼠标垫的颜色和材质，鼠标可能仍无法正常工作。

- 交流电适配器 VGP-AC19V15 (1)



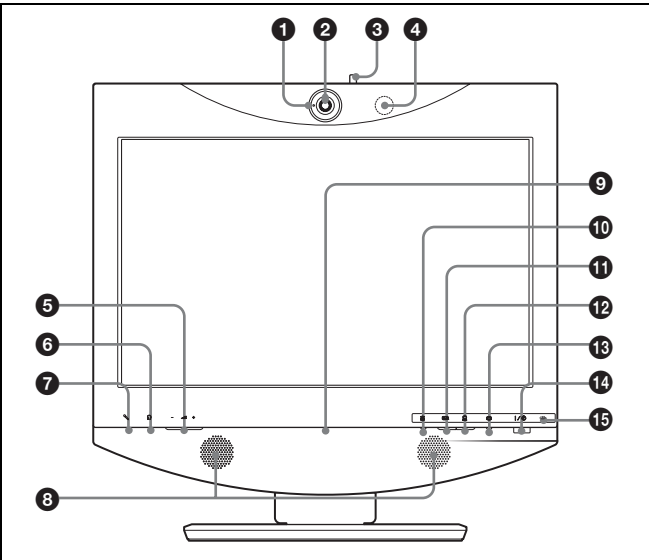
- 电源线 (1)
- 快速入门指南（本文档）(1)
- CD-ROM（操作说明）(1)
- 保修单 (1)

注意

附送的 CD-ROM 包含的操作说明提供了有关操作程序和全部设置的详细信息。该文档以 PDF 格式文件提供。

部件的名称与功能

正视图



1 信号灯

当发送本地视频到远程系统时，信号灯亮起。

2 摄像机镜头

3 镜头盖控制杆

可关闭摄像机镜头。

4 麦克风

5 音量按钮

用来调节音量。

+: 提高音量。

-: 降低音量。

6 耳机插孔（立体声微型插孔）

用于连接耳机（市场上可买到）。

7 麦克风插孔（微型插孔）

允许连接可选麦克风 PCS-A1 或 PCSA-A3。

8 扬声器

9 联机灯

主要显示传入 / 传出呼叫状态。

10 麦克风关闭按钮和指示灯

允许消除来自本地系统的声音。再次按此按钮恢复向远程系统发送声音。

11 视频会议按钮和指示灯

用来从计算机屏幕切换到视频会议屏幕。

12 (PC) 按钮和指示灯

用来切换到计算机屏幕。

13 (菜单) 按钮

按此按钮显示“安装”菜单。

在通讯过程中按住此按钮 3 秒钟可以在屏幕上显示 DTMF 软键盘。

14 (电源) 开关和指示灯

打开 / 关闭系统电源。

在 PC 模式下，系统将被用作计算机的屏幕，此时按该开关一次即可关闭电源。

在视频会议模式下按该开关一次，系统将进入待机状态。在视频会议模式下，在 5 秒内连续按此开关两次可关闭电源。

注意

电源开关在通信会话期间不起作用。

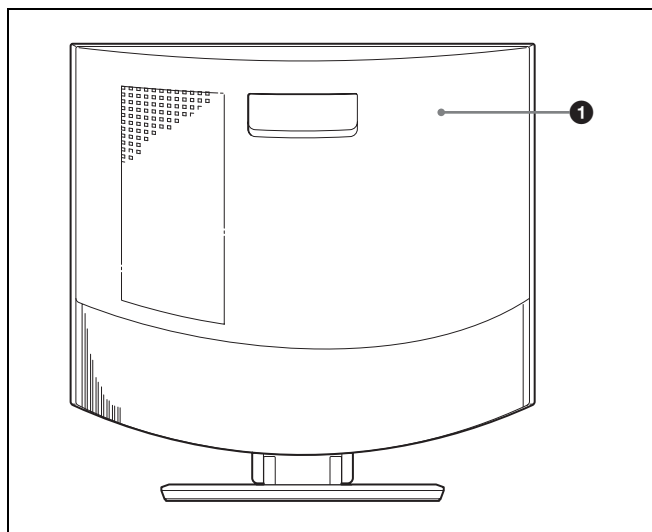
15 “Memory Stick” (记忆棒) 指示灯

显示“Memory Stick” (记忆棒) 插槽的状态。

注意

此指示灯亮起时，不要移除“Memory Stick” (记忆棒)。

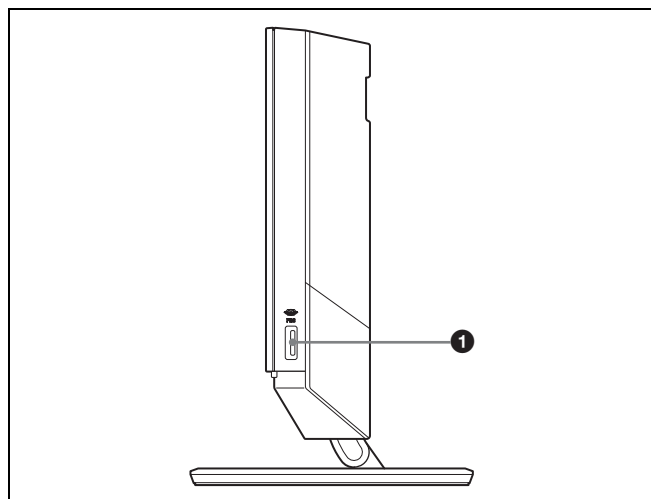
后视图



1 后盖

移除此盖可以进入连接器面板。底座和显示器的连接部分也是位于面板的后方。通过改变螺钉位置可以调节显示器的高度。

右视图

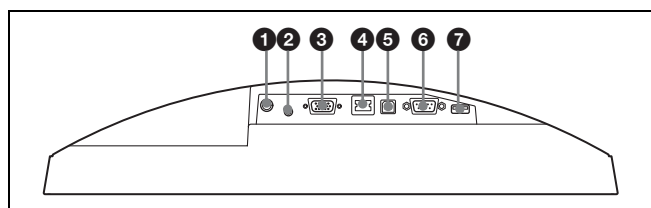


1 “Memory Stick” (记忆棒) 插槽

可将“Memory Stick” (记忆棒) 插入此处。

连接器面板

(从下方看，位于后盖后方的部位)



1 19.5V 直流电连接器

将附送的交流电适配器 VGP-AC19V15 连接到此处。

2 AUDIO IN (PC 声音输入) 插孔 (立体声微型插孔)

用 RGB IN 连接器将此插孔连接到计算机的音频输出插孔。

3 RGB IN 连接器 (15 针微型 D 型子连接器)

此处连接计算机的 RGB 输出插孔。

4 100BASE-TX/10BASE-T 端口 (模块端口)

使用 Category 5 LAN 电缆将此端口连接到集线器或类似设备。

此端口配备了链接 / 数据指示灯 (绿色) 和 100/10 Mbps 指示灯 (橙色)。

5 PC 端口

当 PCS-TL33 和连接 RGB IN 连接器的计算机用同一个鼠标时，使用此连接器。将此连接器链接到计算机的 USB 端口。

注意

使用长度为 3 米 (10 英尺) 或更短的 USB 电缆。

⑥ RS-232C 端口（9 针 D 型子连接器）
此连接器只为系统提供服务。

⑦ 鼠标端口
将附送的光电鼠标 PCS-RMU1 连接到此处。

指示灯名称和功能

指示灯	状态	意义
I / ㊦ (电源) *	绿灯亮起	电源开
	橙灯亮起	待机
	橙灯闪烁 (1 秒循环)	风扇故障
	熄灭	电源关
联机 *	蓝灯闪烁 (3 次 / 秒)	发送 / 接收
	蓝色照明灯亮起	通信正在进行中
	熄灭	脱机 (非呼叫失败) 或待机
㊦ (PC) *	蓝灯亮起	计算机显示器
	白灯亮起	视频会议显示器
	熄灭	待机
㊦ ㊦ (视频会议) *	蓝灯亮起	视频会议显示器
	白灯亮起	计算机显示器
	熄灭	待机
㊦ (麦克风关) *	橙灯亮起	麦克风关
	白灯亮起	麦克风开
	熄灭	待机
㊦ (“Memory Stick” 记忆棒)	橙灯亮起	访问 “Memory Stick” (记忆棒)
	熄灭	没有访问 “Memory Stick” (记忆棒)
信号灯	橙灯亮起	将摄像机图像传送给对方 (镜头盖开)
	橙灯闪烁 (5 秒循环)	将保密图像传送给对方 (镜头盖关)
	熄灭	没有发送摄像机图像
链接 / 数据	绿灯亮起	已建立链接
	绿灯闪烁	正在传送数据
	熄灭	链接已脱机
100/10 Mbps	橙灯亮起	100 Mbps
	熄灭	10 Mbps

* 当系统启动时，此指示灯亮起。如果检测到温度异常，则指示灯会闪烁并且电源关闭。

系统连接

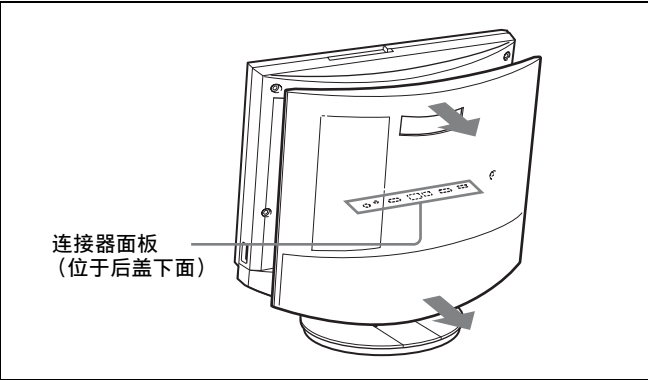
本节介绍典型的系统连接。
除了以独立模式操作之外，还可以在没进行视频会议时，将 PCS-TL33 连接到计算机当作显示器使用。
在这种情况下，既可以使用两个鼠标来操作计算机和 PCS-TL33，也可以用通用 USB 电缆将 PCS-TL33 和计算机连接到一起，然后只使用一个鼠标。

关于连接器

系统连接器位于后盖的下方。取下后盖进行连接后，再将后盖装回原位。

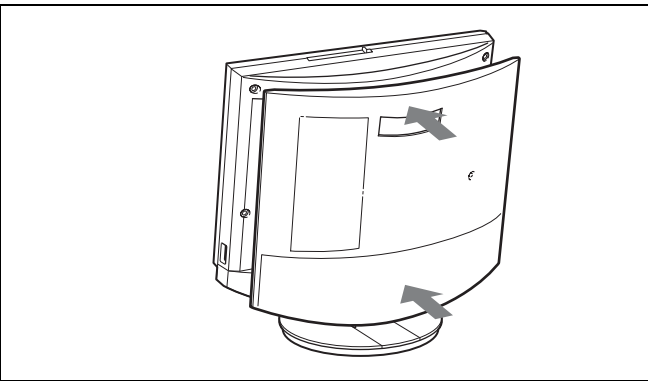
取下后盖

朝您的方向拉动并取下后盖。



装上后盖

对齐四个柱脚后将后盖推入。



连接注意事项

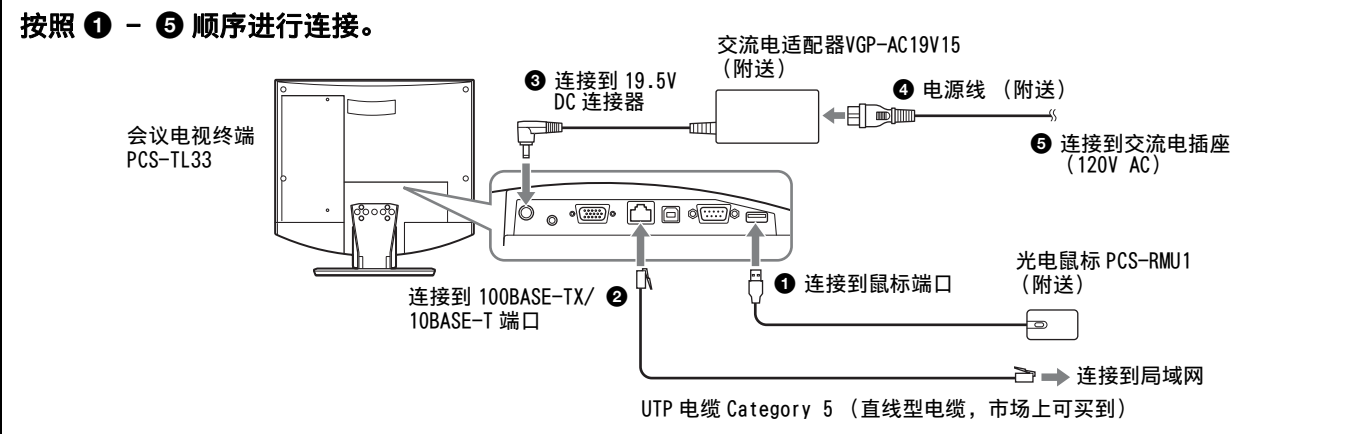
警告

- 只能使用附送的交流电适配器和电源线。
- 当连接交流电适配器的电源线和直流电电缆时，一定要安全地将插头完全插入。
- 为安全起见，不要将 100BASE-TX/10BASE-T 连接器与有可能发生超压现象的网络连接。

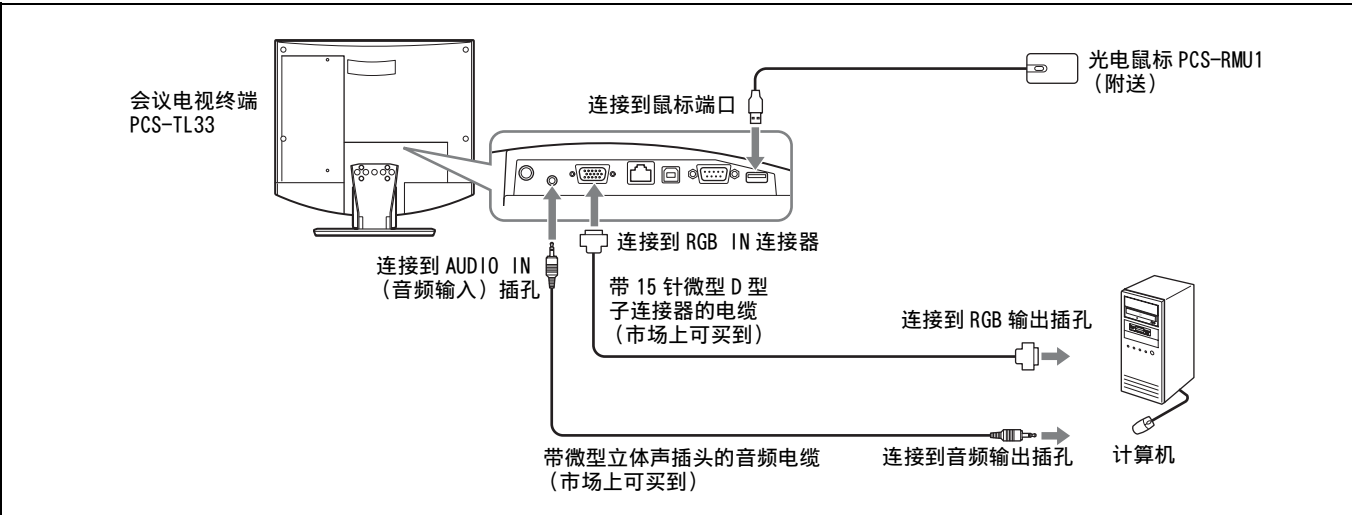
注意

- 进行任何连接之前，请确保已关闭所有组件的电源。
- 为防止对设备的损坏，在设备的电源已打开时，不要插入或断开任何电缆。

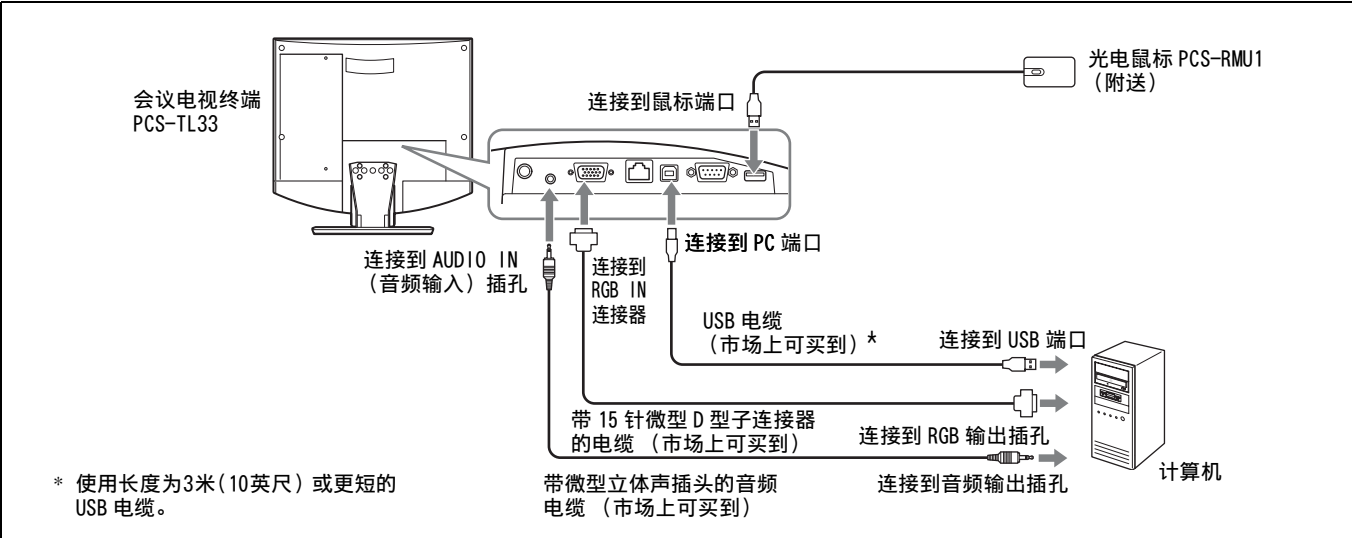
连接范例（单独使用）



随同计算机使用的连接范例（独立鼠标）



随同计算机使用的连接范例（共享鼠标）



* 使用长度为3米(10英尺)或更短的 USB 电缆。

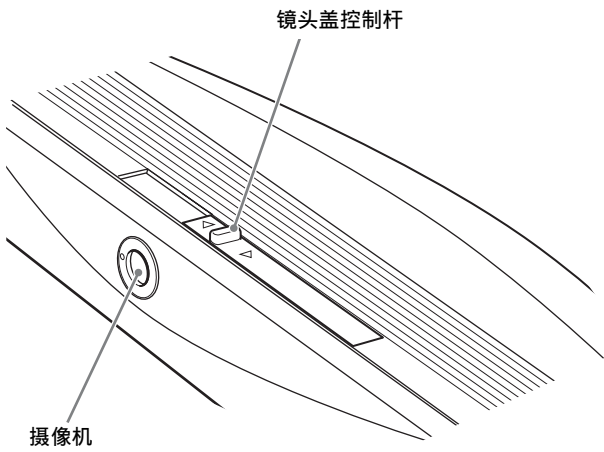
打开 / 关闭系统

打开系统之前，请确保已正确完成了系统连接。

屏幕可能与此处显示的有所不同，具体取决于软件。

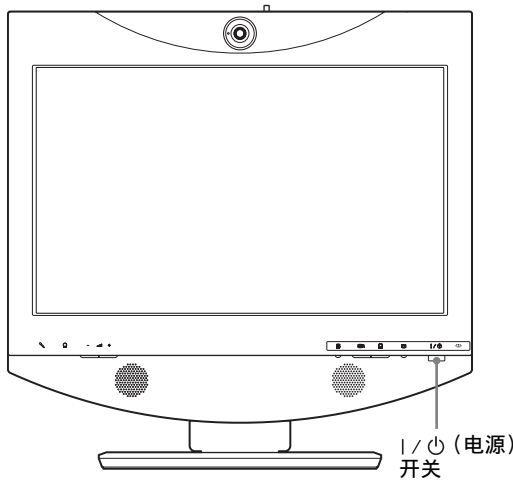
打开镜头盖

系统配备了可隐藏摄像机的镜头盖。开始视频会议之前，通过向右滑动系统顶部的镜头盖控制杆打开镜头盖。如果关闭了镜头盖，则在远程站点上将看不到本地站点上的图片。



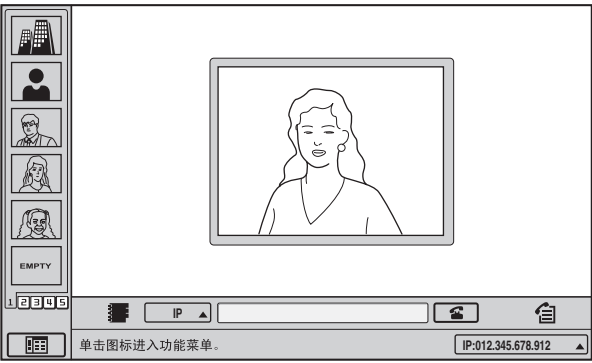
打开系统

按 PCS-TL33 上的 I/O (电源) 开关。

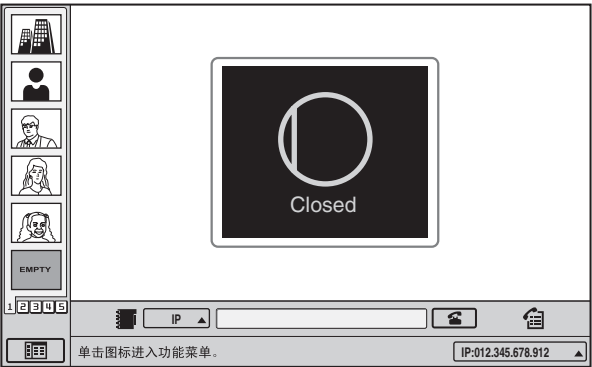


开关的指示灯亮起橙色，说明已经打开会议电视终端的电源。加电完成后，指示灯将亮起绿色。显示屏上将出现发射器菜单，同时还将显示本地摄像机的图片。

发射器菜单



关闭镜头盖后即会出现发射器菜单，如下所示：



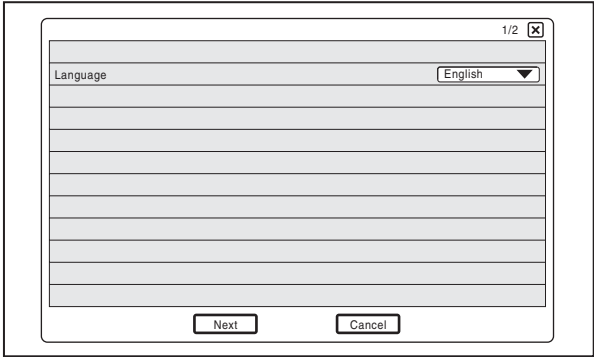
注意

- 电源线插入壁装电源插座后，首次按下电源开关后，开关上的指示灯亮起可能要花费十秒钟的时间。
- 安装后首次打开会议电视终端的电源时，将会出现设置向导。按照向导提示设置系统。

初始设置向导

不同软件设置向导中的配置项目可能会有所不同。

- 1 从“Language”下拉列表中选择菜单和消息所使用的语言。

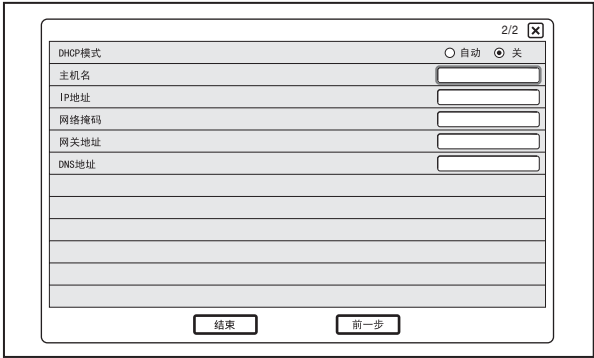


- 2 单击“Next”。

- 3 进行所要求的局域网设置。

注意

假设下列示例所选显示语言为简体中文。



- DHCP 模式：**设置 DHCP（动态主机配置协议）。
自动：自动分配您的 IP 地址、子网掩码、网关地址和 DNS 地址。
关：停用 DHCP。在此情况下，手动设置您的 IP 地址、子网掩码、网关地址和 DNS 地址。
主机名：输入您的主机名。
IP 地址：输入您的 IP 地址。
网络掩码：输入您的子网掩码。
网关地址：输入您的默认网关地址。
DNS 地址：输入您的 DNS（域名系统）服务器地址。

如果您不清楚您的局域网配置所要求的各项设置，请联系您的网络管理员。

- 4 单击“结束”。
- 设置已保存。

关闭系统

- 1 按两次 （电源）开关。

按开关一次后，将出现消息“要进入待机模式，请稍等片刻。要关闭电源，请再次按下电源按钮”。再次按下电源开关。

- 2 关闭视频会议使用的其它设备的电源。

注意

- 系统长时间不用时，请关闭系统电源。关闭电源后，将无法接收来自对方的呼叫。
- 如果在 PC 模式下将系统用作计算机显示器，当您按一次电源开关时，电源会关闭。
- 会议期间，电源开关不起作用。

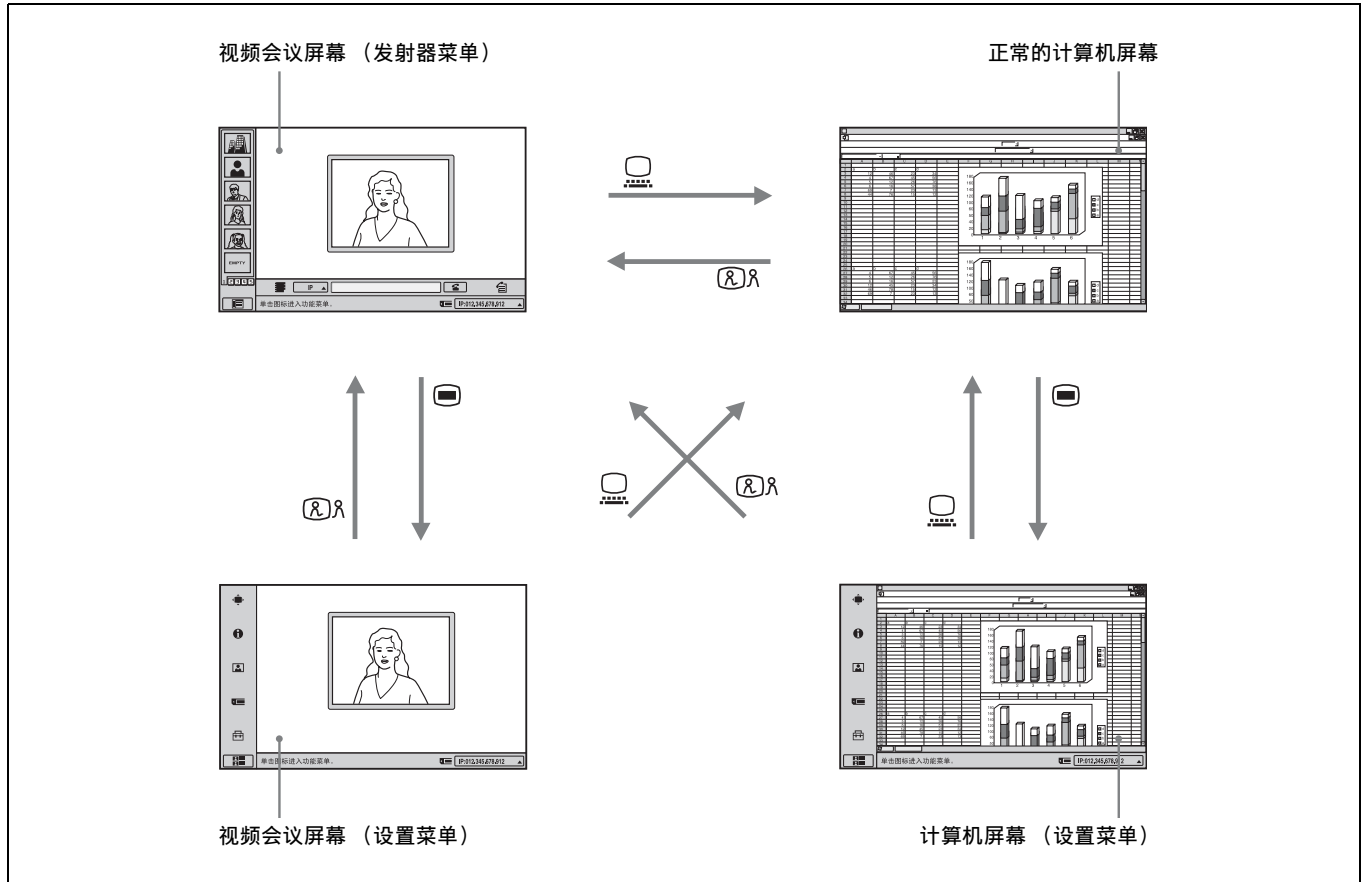
将会议电视终端设置为待机模式

按下 PCS-TL33 上的 （电源）开关后，屏幕上将显示“要进入待机模式，请稍等片刻。要关闭电源，请再次按下电源开关。”在此情况下如果仅是等待，系统将进入待机模式。

在待机模式下，可接收来自对方的呼叫。
要从待机模式返回正常模式，请按电源开关一次。

在视频会议显示器和计算机显示器之间进行切换

用此设备右下角的 （菜单）按钮、（PC）按钮和 （视频会议）按钮，可以在视频会议显示器和计算机显示器之间切换。



注意

- 如果 PCS-TL33 没有连接到计算机，那么按 （PC）按钮切换到计算机显示器后将会导致鼠标不可用。
- 如果在通讯会话过程中显示子图像，那么当切换到计算机显示器后，该子图像仍然可见。但是，子图像显示的视频既可以来自远程系统也可以是来自本地系统。
- 当 PCS-TL33 和计算机分别使用鼠标时，根据当前显示屏幕来确定哪个是当前活动鼠标。当显示正常计算机屏幕时，连接到计算机的鼠标为活动鼠标。而当显示另一屏幕时，则连接到 PCS-TL33 的鼠标是活动鼠标。

调节显示器的高度

底座和 PCS-TL33 显示器部分是由紧固螺钉联接在一起的。有三组螺钉孔，相距 25 毫米。在工厂默认条件下，显示器安装在最低的位置。选择一组不同的螺钉孔可以改变显示器的高度。

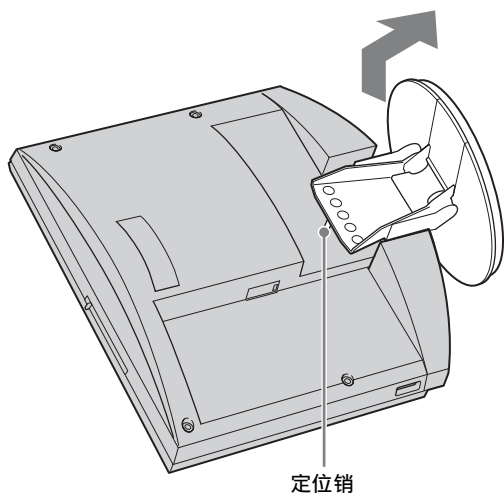
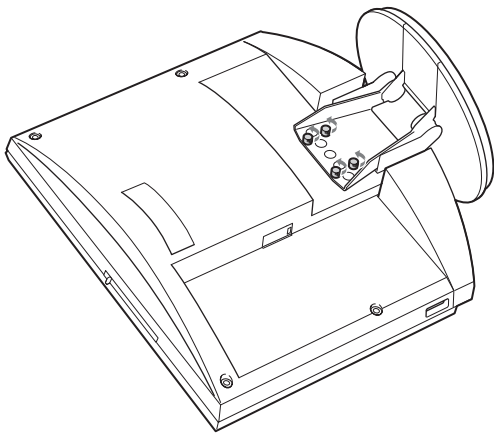
1 取下此设备后盖。

有关如何操作的信息，请参阅 105 页。

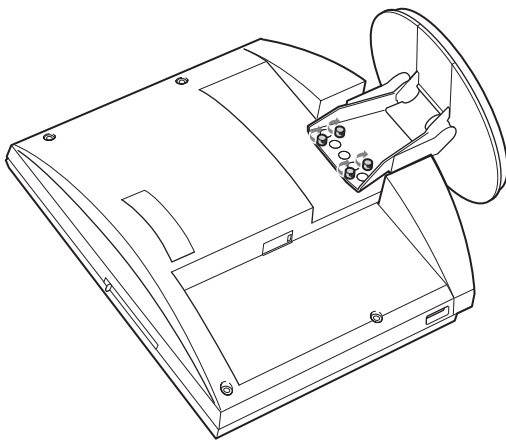
2 使用硬币或相似物取下 4 枚螺钉，提起底座，然后放到新的底座位置并在孔中插入定位销。

注意

在如上所述的改变显示器高度之前，请确保已关闭电源。将显示器面向下放置到软布或类似物质上。



3 使用硬币或相似物拧紧 4 枚螺钉以固定底座。



4 重新装回后盖。

使用前须知

操作和存储位置

避免在下列位置操作或存储系统：

- 极热或极冷的地方
- 潮湿或多灰尘的地方
- 遭受强烈震动的地方
- 靠近强磁场的地方
- 靠近强电磁辐射源的地方，如无线电或电视发射器
- 嘈杂的地方

液晶屏幕

使用注意事项

- 不要将液晶屏幕的表面暴露在太阳光之下。这样有可能损坏屏幕表面。
- 不要用力推或刮擦液晶屏幕，或将物体放置在系统的顶部。图像可能会变得不均匀或液晶显示屏可能会受到损坏。
- 如果在寒冷的地方使用系统，图片可能会出现重影并且变暗。这不表明出现故障。温度升高后，这些现象就会好转。
- 如果继续显示静止图片，就有可能出现重影。稍后就会消失。
- 系统运行之后，屏幕和外壳就会变暖。这不是故障。

显示像素

尽管液晶显示屏的生产采用了高精度技术，并且具有高达 99.99% 的有效像素比率，但是在显示屏上仍可能会出现黑点（坏点）、一直发光的亮点（红色、

蓝色、绿色等) 或不发光的点。液晶显示屏使用一段时间后, 出现坏点是正常现象。注意, 这种现象不是故障。

CMOS 传感器的特有现象

图像中可能出现的以下现象是 CMOS (互补金属氧化物半导体) 传感器所特有的。这些现象不是故障。

白斑

虽然 CMOS 传感器的生产采用了高精度技术, 但由于宇宙射线等的影响, 其屏幕上可能会出现细小的白斑 (极少数情况)。这与 CMOS 传感器的原理有关, 出现的白斑并不是故障。

在以下情况中, 比较容易出现白斑:

- 在高温环境下进行操作时
- 提高倍率 (灵敏度) 时

图形失真

拍摄微小的图案、条纹或线条时, 它们可能呈锯齿状或出现闪烁现象。

激光束说明

激光束可能会损坏 CMOS 感应器。请注意, 在使用激光束设备的环境中, 您不能将 CMOS 感应器的表面暴露在环境中的激光束辐射之下。

内置扬声器

扬声器会产生磁场。为避免损坏数据, 将磁带和磁盘保存在远离扬声器的地方。

清洁

- 在清洁之前, 从交流电插座断开电源线。
- 液晶显示屏表面覆盖有特殊的涂层。用柔软的干布轻轻擦拭, 除去屏幕表面的灰尘。
- 请勿使用挥发性溶剂, 如酒精、苯或稀释剂等。因为这些东西会损坏表面光亮度。
- 使用化学清洁布时, 请遵照随附说明操作。
- 请勿使用挥发性溶剂 (如杀虫剂) 清洁屏幕, 也不要让橡皮或塑料类物质长时接触屏幕, 因为它们可能损坏表面光亮度。

规格

PCS-TL33 会议电视终端

此设备与 ITU-T 推荐的 H.323 和 IETF SIP 相兼容。

动态图片

运行带宽
编码 64 kbps 到 2048 kbps
H.261/H.263/H.263+/H.263++/H.264 (ITU-T 推荐)
MPEG4 简易配置文件
像素 CIF: 352 像素 × 288 行
QCIF: 176 像素 × 144 行

静止图片

像素
编码 704 像素 × 576 行
H.261 (ITU-T 推荐) 附加。D (4CIF)
H.263 (此系统的特殊格式)

声音

带宽 14 kHz (MPEG4 音频)
7 kHz (G.722 与 ITU-T 推荐的相兼容)
3.4 kHz (G.711/G.728/G.729 与 ITU-T 推荐的相兼容)
传输速度 64 kbps, 96 kbps (MPEG4 音频)
56 kbps、64 kbps (G.711 与 ITU-T 推荐的相兼容)
48 kbps、56 kbps、64 kbps (G.722 与 ITU-T 推荐的相兼容)
16 kbps (G.728 与 ITU-T 推荐的相兼容)
8 kbps (G.729 与 ITU-T 推荐的相兼容)

网络

多路传输 视频、音频、数据
帧格式 H.225.0 (与 ITU-T 推荐的相兼容)
接口 LAN(100BASE-TX/10BASE-T)
支持的 LAN 协议
HTTP
FTP
Telnet
RTP/RTCP
TCP/UDP
SNMP

远程控制

远端摄像机控制
H.281 (与 ITU-T 推荐的相兼容)

摄像机

图像设备 1/3.8 英寸彩色 CMOS
总像素数: 约 133 万
有效像素数: 约 128 万
镜头 f = 2.1 毫米
F = 1:2.4

	水平角：约 87°
	垂直角：约 71°
焦距	300 毫米
全景 / 倾斜 / 变焦功能	通过数字处理
内置自动白平衡功能	
内置自动曝光功能	
帧频	Auto（自动切换以匹配环境照度）/ 30/15 fps

显示器

尺寸	17.1 英寸（43.4 厘米）宽屏（对角 测量可视区域）
分辨率	1280 × 768（WXGA）
最大屏幕亮度	410 cd/m ²
响应时间	13 毫秒
反差比	600 : 1
视角	176 度
颜色数量	1670 万色

显示控制器

PinP	4 角
PandP	两个 / 三个窗口
并列	两个窗口
输入	内部：视频通讯 外部 RGB：计算机显示器
宽屏模式	标准、缩放、宽屏
RGB 模式	640 × 480、800 × 600、 1024 × 768、1280 × 768 等。 可以显示经过缩放后的图片。

扬声器

扬声器	3 W × 2
-----	---------

麦克风

频率范围	14 kHz
方向性	小角方向的

常规

电源要求	19.5 V DC
电流消耗	6.15 A
工作温度	5 °C 到 35 °C（41 °F 到 94 °F）
工作湿度	20% 到 80%
存放温度	-20 °C 到 +60 °C（-4 °F 到 +140 °F）
存放湿度	20% 到 80%（无冷凝）
尺寸	424 毫米 × 376 毫米 × 95.5 毫米（宽 × 高 × 厚）（16 ³ / ₄ 英寸 × 14 ⁷ / ₈ 英寸 × 3 ⁷ / ₈ 英寸）（不包括底座） 424 毫米 × 419 毫米 × 258 毫米（宽 × 高 × 厚）（16 ³ / ₄ 英寸 × 16 ¹ / ₂ 英寸 × 10 ¹ / ₄ 英寸）（包括底座）
质量	约 8 公斤（17 磅 9 盎司）
附送的附件	光电鼠标 PCS-RMU1（1） 交流电适配器 VGP-AC19V15（1） 电源线（1） CD-ROM（1） 快速入门指南（1） 保修单（1）

交流电适配器 VGP-AC19V15

电源要求	100 V 至 240 V AC, 50/60 Hz, 1.6 A 至 0.7 A
输出	19.5 V DC, 6.2 A
工作温度	5 °C 到 35 °C（41 °F 到 94 °F）
工作湿度	20% 到 80%
存放温度	-20 °C 到 +60 °C（-4 °F 到 +140 °F）
存放湿度	20% 到 80%（无冷凝）
尺寸	155 毫米 × 67 毫米 × 36.5 毫米 （宽 × 高 × 厚）（6 ¹ / ₈ 英寸 × 2 ³ / ₄ 英寸 × 1 ⁷ / ₁₆ 英寸）（不 包括凸出部分）
质量	约 550 克（1 磅 3 盎司）

PCS-A1 麦克风（可选）

带宽	13 kHz
方向性	全向
尺寸	74 毫米 × 16 毫米 × 93 毫米（宽 × 高 × 厚）（3 英寸 × 2 ¹ / ₃₂ 英寸 × 3 ³ / ₄ 英寸）
质量	约 170 克（6 盎司）
电源	插入式电源
电缆长度	8 米（26 英尺 3 英寸）

PCSA-A3 麦克风（可选）

带宽	13 kHz
方向性	单向
尺寸	68 毫米 × 16 毫米 × 96 毫米（宽 × 高 × 厚）（2 ³ / ₄ 英寸 × 2 ¹ / ₃₂ 英寸 × 3 ⁷ / ₈ 英寸）
质量	约 200 克（7 盎司）
电源	插入式电源
电缆长度	8 米（26 英尺 3 英寸）

双流模块 PCSA-DSM1（可选）

功耗	最大 20 W
工作温度	5 °C 到 35 °C（41 °F 到 94 °F）
工作湿度	20% 到 80%
存放温度	-20 °C 到 +60 °C（-4 °F 到 +140 °F）
存放湿度	20% 到 80%（无冷凝）
尺寸	107 毫米 × 250 毫米 × 34 毫米（宽 × 高 × 厚）（4 ¹ / ₄ 英寸 × 9 ⁷ / ₈ 英寸 × 1 ³ / ₈ 英寸）（不包括凸出部分）
质量	约 550 克（1 磅 3 盎司）
附送的附件	快速入门指南（1） 保修单（1）

PCSA-SP1 SIP 软件（可选）

附送的附件 序列号封条（1）
 操作说明书（1）

设计和规格如有变动，恕不另行通知。

本简体 Bitmap 字库由北京卓绝创新信息技术有限公司制作。

注意

在使用前请始终确认本机运行正常。
无论保修期内外或基于任何理由，SONY 对任何损坏（包括但不限于）概不负责。由于本机故障造成的现有损失或预期利润损失，不进行退货或赔偿。

可接收 RGB 输入 / 输出信号

像素	信号格式	fH (kHz)	fV (Hz)	点时钟 (MHz)	同步
640 × 480	VGA 模式	31.469	59.94	25.17	H-neg V-neg
	Macintosh 13"	35	66.667	30.24	H-neg V-neg
	VGA VESA 72 Hz	37.861	72.809	31.5	H-neg V-neg
	VGA VESA 75 Hz	37.5	75	31.5	H-neg V-neg
	VGA VESA 85 Hz	43.269	85.008	36	H-neg V-neg
800 × 600	SVGA VESA 56 Hz	35.156	56.25	36	H-pos V-pos
	SVGA VESA 60 Hz	37.879	60.317	40	H-pos V-pos
	SVGA VESA 72 Hz	48.077	72.188	50	H-pos V-pos
	SVGA VESA 75 Hz	46.875	75	49.5	H-pos V-pos
	SVGA VESA 85 Hz	53.674	85.061	56.25	H-pos V-pos
1024 × 768	XGA VESA 60 Hz	48.363	60.004	65	H-neg V-neg
	XGA VESA 70 Hz	56.476	70.069	75	H-neg V-neg
	XGA VESA 75 Hz	60.023	75.029	78.75	H-pos V-pos
1280 × 768	WXGA VESA 60 Hz*	47.693	59.992	80.12	H-neg V-pos

* 不能通过双流模块 PCSA-DSM1 进行传输。

ADVERTÊNCIA

Para reduzir o risco de incêndio ou choque elétrico, não exponha este produto à chuva ou à umidade.

Para evitar choque elétrico, não abra o gabinete. Sempre que necessário, procure o Serviço Autorizado Sony.

ADVERTÊNCIA

Use o adaptador AC fornecido com este equipamento como fonte de alimentação.

Fabricação	Tipo No
Sony	VGP-AC19V15

Qualquer outra fonte de alimentação pode representar riscos, inclusive de incêndio.

O dispositivo de desconexão deste equipamento é a tomada de alimentação principal do adaptador AC.

A tomada de alimentação principal deste equipamento deve ser usada para desconectar a alimentação principal.

Assegure-se de que a tomada de parede esteja instalada perto do equipamento e tenha fácil acesso.

No caso de operação anormal do equipamento, desconecte a tomada de alimentação principal.

AVISO

Use o conjunto de cabo de alimentação aprovado pela organização de testes apropriada dos países específicos onde esta unidade deve ser usada.

ADVERTÊNCIA para porta LAN

Por motivos de segurança, não conecte a porta LAN em nenhum dispositivo de rede que possa ter uma tensão excessiva.

Para clientes na Europa

O fabricante deste produto é a Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japão.

O Representante Autorizado para o EMC e segurança de produtos é a Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemanha. Para quaisquer questões sobre serviço ou a garantia, consulte os endereços nos documentos de serviço ou garantia fornecidos à parte.

Para clientes na Europa, Austrália e Nova Zelândia

ADVERTÊNCIA

Esse é um produto da Classe A. Em um ambiente doméstico, esse produto pode causar interferência de rádio. Neste caso, o usuário poderá precisar tomar medidas adequadas.

Caso ocorrer interferência, consulte seu Serviço Autorizado Sony mais perto.

Este aparelho não deve ser usado em área residencial.

Índice

Documentos fornecidos	117
Características.....	117
Sistema de Comunicação por Vídeo portátil integrado.....	117
Interface de usuário intuitiva	118
Usar o PCS-TL33 como uma tela de computador.....	118
Verificando o conteúdo do pacote	118
Nomes e funções das peças	119
Nomes e funções dos indicadores.....	120
Conexões do sistema	121
Sobre os conectores	121
Precauções para conexão	121
Exemplo de conexão (uso autônomo).....	122
Exemplo de conexão para uso no computador (mouse separado).....	122
Exemplo de conexão para uso no computador (mouse compartilhado).....	122
Ligando/Desligando o Sistema	123
Abrindo a Tampa da lente.....	123
Ligando o sistema	123
Assistente de configuração inicial	124
Desligando o sistema	124
Ajustando o Sistema de Comunicação por Vídeo para o Modo de espera.....	124
Alternando entre a tela da videoconferência e a do computador.....	125
Ajustando a altura da tela.....	126
Precauções	126
Local de operação ou armazenamento.....	126
Tela LCD	126
Fenômenos específicos dos sensores CMOS	127
Alto-falantes embutidos.....	127
Limpeza	127
Características técnicas	127
Sinais de Entrada/Saída RGB Aceitáveis.....	130

Este Guia de Início Rápido fornece precauções importantes e instruções de manuseio do produto para evitar acidentes ou ferimentos. Para garantir a operação segura do produto, leia este guia cuidadosamente e guarde-o para consultas futuras.

Consulte também as instruções de operação contidas no CD-ROM para obter informações mais detalhadas sobre este produto. Este documento deve ser consultado juntamente com o Guia de Início Rápido.

Documentos fornecidos

Acompanham este produto vários documentos, como os listados abaixo. Consulte o(s) documento(s) apropriado(s), de acordo com sua necessidade.

Guia de Início Rápido (este documento)

Fornecer informações básicas sobre os ajustes iniciais. (O CD-ROM fornecido também contém um arquivo idêntico ao Guia de Início Rápido.)

Instruções de Operação (no CD-ROM fornecido)

Fornecer informações detalhadas sobre os procedimentos de operação e ajustes necessários para realizar vários tipos de sessões de videoconferência. Todas as funções do produto estão descritas neste documento.

Requisitos de operação do CD-ROM

Os seguintes requisitos de sistema aplicam-se ao uso do CD-ROM.

- Computador: Equipado com processador Pentium® Intel®
 - RAM: 64 MB ou mais
 - Unidade de CD-ROM: Velocidade 8× ou melhor
 - Imagem: Resolução de 800 × 600 ou melhor
 - Sistema operacional: Microsoft® Windows® XP Professional ou Windows XP Home Edition
- Se os requisitos acima não estiverem presentes, a operação do CD-ROM pode ser lenta ou impraticável.

Preparações

Para acessar as instruções de operação no CD-ROM fornecido, um dos seguintes aplicativos de software deve estar instalado em seu computador:

- Adobe® Acrobat® Reader 4.0 ou versão posterior
- Adobe Reader 6.0 ou versão posterior

Nota

Se o Adobe Reader não estiver instalado, faça o download do programa na seguinte página:
<http://www.adobe.com.br>

Visualizando as Instruções de Operação

- 1 Insira o CD-ROM fornecido (intitulado “Manuals for Video Communication System” - Manuais para o Sistema de Comunicação por Vídeo) na unidade de CD-ROM do computador.

Após alguns instantes, aparecerá uma tela listando o conteúdo do CD-ROM.

- 2 Clique duas vezes no PDF com o nome “Português”.

O Adobe Reader será iniciado e a primeira página das Instruções de Operação para o Sistema de Comunicação por Vídeo será exibida na tela.

Clicando em uma entrada da seção “Conteúdo”, você pode pular diretamente para a página correspondente.

- Adobe e Adobe Reader são marcas comerciais da Adobe Systems Incorporated.
- Microsoft e Windows são marcas registradas da Microsoft Corporation nos Estados Unidos da América e em outros países.
- Intel e Pentium são marcas comerciais ou marcas registradas da Intel Corporation ou de suas subsidiárias nos Estados Unidos da América e em outros países.
- “IPELA” e **IPELA** são marcas comerciais da Sony Corporation.

Características

O Sistema de Comunicação por Vídeo PCS-TL33 é um sistema de videoconferência que permite comunicação natural e face a face com um local remoto, transmitindo e enviando imagens e som via rede. O outro local pode estar localizado em qualquer lugar, inclusive no exterior.

Sistema de Comunicação por Vídeo portátil integrado

Todos os elementos necessários para o Sistema de Comunicação por Vídeo são integrados em um único gabinete compacto: câmera, monitor, codec, microfones e alto-falantes. Isto garante um fácil transporte e permite a realização de uma videoconferência em praticamente qualquer lugar.

O visor embutido de tipo 17 suporta o modo de abertura e a câmera embutida é equipada com pan/tilt (girar/inclinar) e zoom digital.

Interface de usuário intuitiva

A interface do usuário possui um design com coberturas que permite a você controlar as operações com um simples clique no mouse. É fornecida também orientação ao usuário na forma de mensagens e ajuda on-line.

Usar o PCS-TL33 como uma tela de computador

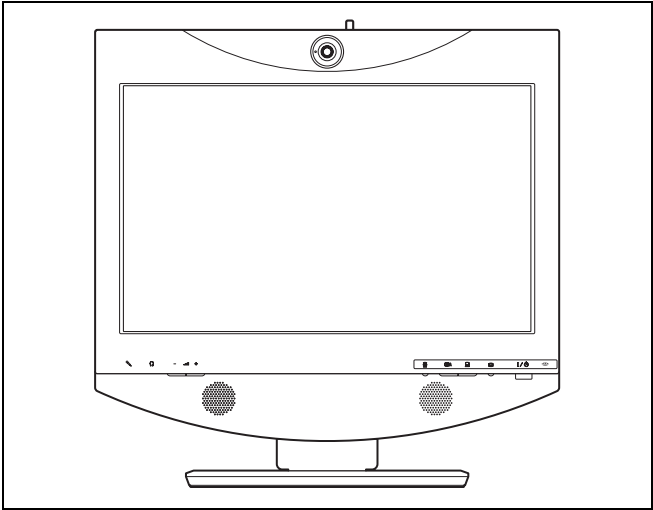
Além de operar no modo autônomo, também é possível conectar o PCS-TL33 a um computador. Neste caso, você pode utilizar um mouse para o computador e outro para o PCS-TL33, ou então apenas um mouse para ambos. O Data Solution Module PCSA-DSM1 (disponível separadamente) permite a transmissão do conteúdo da tela do computador para o local remoto durante a videoconferência.

Uso no modo autônomo	Usar com um computador e dispositivos de apontamento separados	Usar com um computador e um único dispositivo de apontamento
		

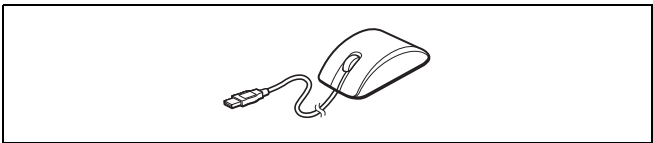
Verificando o conteúdo do pacote

Depois de desembalar a unidade, certifique-se de que todos os itens a seguir estão presentes:

- PCS-TL33 unidade principal (1)



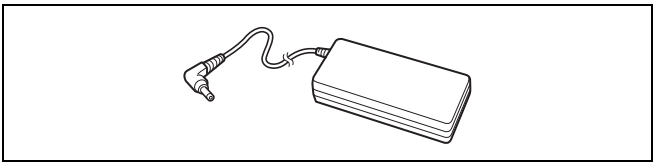
- Mouse ótico PCS-RMU1 (1)



Nota

Devido à natureza do sensor ótico, o mouse pode não funcionar corretamente em superfícies transparentes ou refletivas, como vidros ou espelhos. Se o mouse não funcionar corretamente, evite usá-lo nesses tipos de superfície; use-o em um mouse pad específico para dispositivos óticos, disponível no mercado. Porém, dependendo da cor e do material do mouse pad, ainda assim o mouse pode não funcionar corretamente.

- Adaptador AC VGP-AC19V15 (1)



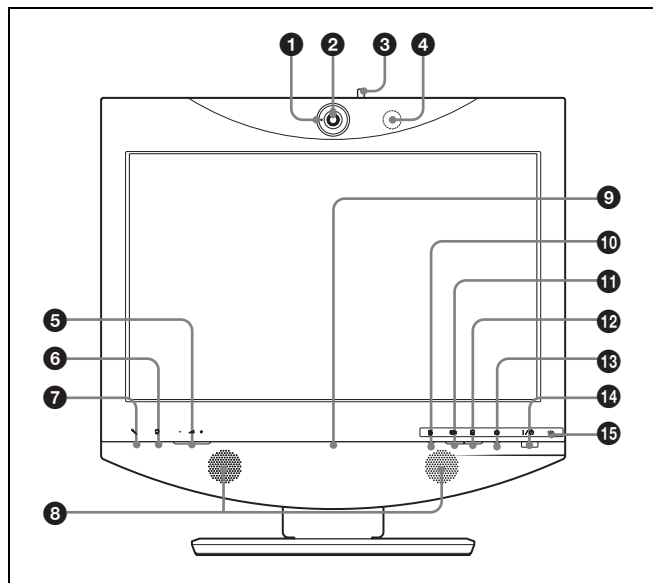
- Cabo de alimentação (1)
- Guia de Início Rápido (este documento) (1)
- CD-ROM (Instruções de Operação) (1)
- Garantia (1)

Nota

O CD-ROM fornecido contém as Instruções de Operação que fornecem informações detalhadas sobre os procedimentos de operação e todos os ajustes. Este documento é fornecido como arquivo PDF.

Nomes e funções das peças

Vista dianteira



1 Lâmpada de Tally

Acende quando o vídeo local está sendo enviado para o sistema remoto.

2 Lente da câmera

3 Alavanca para a tampa da lente

Permite fechar a lente da câmera.

4 Microfone

5 Botões (Volume)

Serve para ajustar o volume.

+: Aumenta o nível do volume.

-: Diminui o nível do volume.

6 Tomada (Fones) (minitomada estéreo)

Permite a conexão de um par de fones de ouvido (disponível no mercado).

7 Tomada (Microfone) (minitomada)

Permite a conexão do microfone opcional PCS-A1 ou PCSA-A3.

8 Alto-falantes

9 Lâmpada on-line

Mostra principalmente o status de chamadas recebidas/enviadas.

10 Botão e indicador (microfone desligado)

Permite suprimir o som do sistema local. Pressione o botão mais uma vez para o som retornar para o sistema remoto.

11 Botão e indicador (Videoconferência)

Serve para alternar entre a tela do computador e a de videoconferência.

12 Botão e indicador (PC)

Serve para alternar para a tela do computador.

13 Botão (Menu)

Pressione para exibir o menu Configuração.

Mantenha pressionado o botão por 3 segundos durante a comunicação para exibir o teclado virtual DTMF na tela.

14 Interruptor e indicador (Alimentação)

Liga e desliga o sistema.

Ao usar o sistema como uma tela de computador no modo PC, pressionando o interruptor uma vez faz com que a alimentação seja desligada.

Ao usar o sistema no modo Videoconferência, pressionando o interruptor uma vez faz o sistema ficar em Modo de espera. Para desligar o sistema no modo Videoconferência, pressione o interruptor novamente em 5 segundos após o primeiro acionamento.

Nota

O interruptor de alimentação não funciona durante a sessão de comunicação.

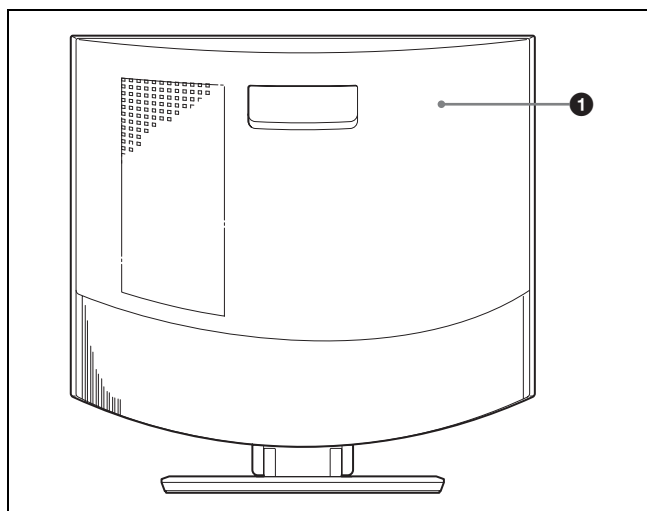
15 Indicador (Memory Stick)

Mostra o status do slot do “Memory Stick”.

Nota

Não remova o “Memory Stick” quando o indicador estiver aceso.

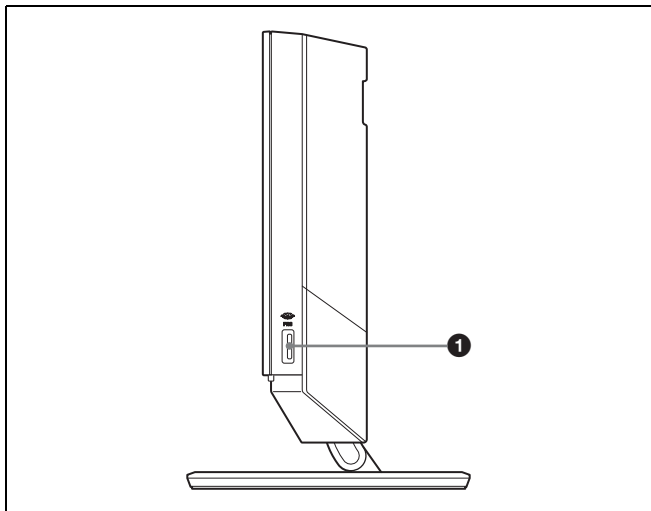
Vista traseira



❶ Proteção traseira

A remoção desta tampa permite o acesso ao painel do conector. A seção de conexão entre o suporte e a tela está também localizada atrás do painel. Você pode ajustar a altura da tela mudando os parafusos de posição.

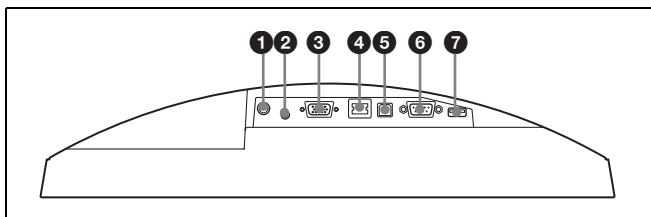
Vista lateral direita



❶ Slot do “Memory Stick”

Um “Memory Stick” pode ser inserido aqui.

Painel de conectores (seção atrás da tampa traseira, vista de baixo)



❶ Conector DC19,5V

Conecte aqui o adaptador de CA VGP-AC19V15 fornecido.

❷ Tomada (minitomada estéreo) de AUDIO IN (entrada de som PC)

Conecte esta tomada à saída de áudio do computador ligado ao conector RGB IN.

❸ Conector RGB IN (miniconector D sub de 15 pinos)

Conecte a saída RGB de um computador aqui.

❹ Porta 100BASE-TX/10BASE-T (porta modular)

Utilize um cabo LAN de categoria 5 para conectar esta porta ao hub ou a um equipamento similar.

Esta porta é equipada com um indicador Link/Data (verde) e um outro 100/10 Mbps (laranja).

❺ Porta do PC

Este conector é utilizado quando o mesmo mouse está sendo usado para o PCS-TL33 e para o computador ligado ao conector RGB IN. Acople o conector a uma porta USB no computador.

Nota

Use um cabo USB de 3 m ou menor.

❻ Porta RS-232C (conector D sub de 9 pinos)

Este conector é utilizado apenas para fazer manutenção no sistema.

❼ Porta do mouse

Conecte aqui o mouse ótico PCS-RMU1 fornecido.

Nomes e funções dos indicadores

Indicador	Status	Significado
I / ⏻ (Alimentação) *	Luz verde	A unidade está ligada
	Luz laranja	Espera
	Luz laranja piscando (intervalo de 1 segundo)	Problema no ventilador
	Desligado	A unidade está desligada
Online *	Luz azul piscando (3 vezes por seg.)	Enviando/ recebendo
	Luz de fundo azul	Comunicação em progresso
	Desligado	Offline (nenhuma chamada perdida) ou espera
🖥️ (PC) *	Luz azul	Imagem do computador
	Luz branca	Tela de videoconferência
	Desligado	Espera
🗣️ (Videoconferência) *	Luz azul	Tela de videoconferência
	Luz branca	Imagem do computador
	Desligado	Espera
🎤 (microfone desligado) *	Luz laranja	Mic desligado
	Luz branca	Mic ligado
	Desligado	Espera

Indicador	Status	Significado
☞ ("Memory Stick")	Luz laranja	Acessando o "Memory Stick"
	Desligado	Não acessando o "Memory Stick"
Lâmpada de Tally	Luz laranja	A imagem da câmera está sendo enviada para o local remoto (tampa da lente)
	Luz laranja piscando (intervalo de 5 segundos)	Imagem fechada sendo enviada para o local remoto (tampa da lente fechada)
	Desligado	A imagem da câmera não está sendo enviada
Link/Data	Luz verde	A ligação foi estabelecida
	Luz verde piscando	Os dados estão sendo transferidos
	Desligado	A ligação está offline
100/10 Mbps	Luz laranja	100 Mbps
	Desligado	10 Mbps

* O indicador fica aceso enquanto o sistema é iniciado. Se for detectada uma temperatura anormal, o indicador piscará e o equipamento será desligado.

Conexões do sistema

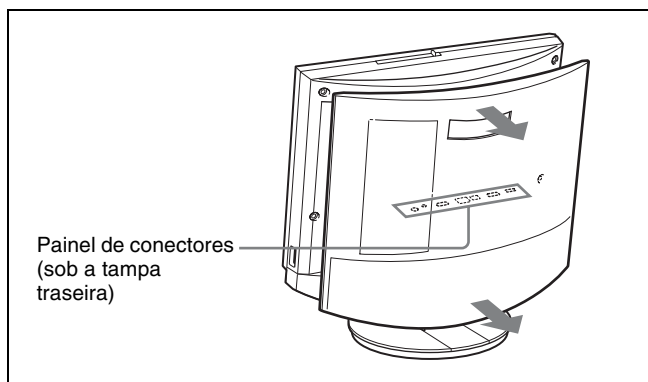
Esta seção descreve as conexões de sistema típicas. Além de operar no modo autônomo, também é possível conectar o PCS-TL33 a um computador para utilizá-lo como monitor quando não houver videoconferência em progresso. Neste caso, você pode utilizar um mouse para o computador e outro para o PCS-TL33, ou então conectar o PCS-TL33 e o computador com um cabo USB genérico e usar o mesmo mouse para ambos.

Sobre os conectores

Os conectores do sistema local estão localizados sob a tampa traseira. Remova a tampa para realizar as conexões e depois coloque-a no lugar novamente.

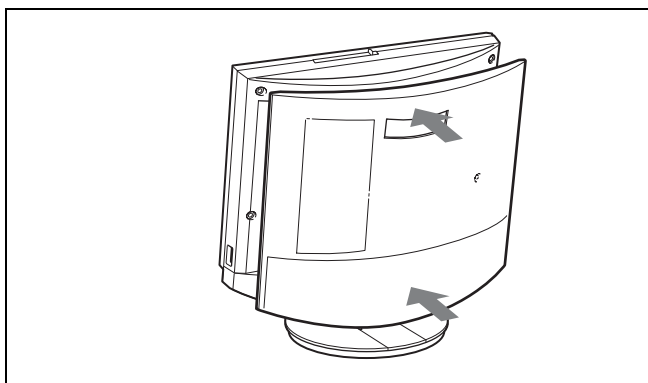
Para remover a tampa traseira

Puxe a tampa na sua direção.



Para acoplar a tampa traseira

Pressione a tampa com os quatro parafusos alinhados.



Precauções para conexão

Advertência

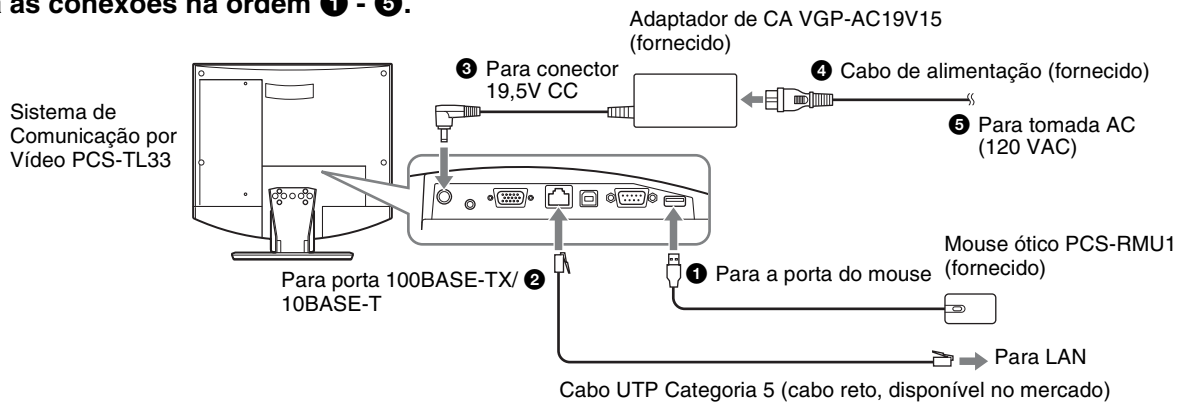
- Utilize apenas o adaptador AC e o cabo de alimentação fornecidos.
- Ao conectar o cabo de alimentação do adaptador AC e o cabo DC, insira os plugues inteiramente e com firmeza.
- Para sua segurança, não ligue o conector 100BASE-TX/10BASE-T a uma rede que possa conter voltagens excessivas.

Cuidado

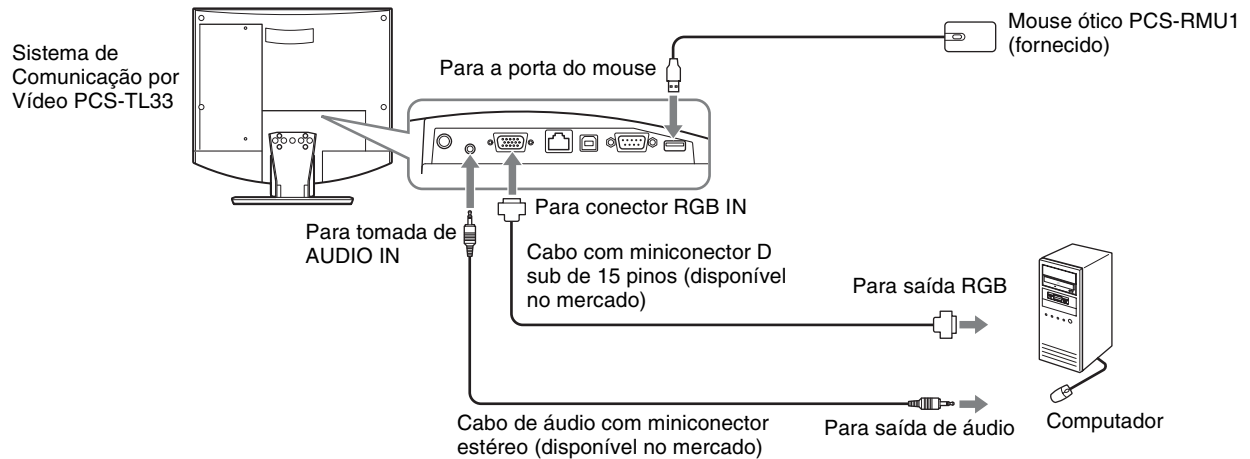
- Antes de fazer qualquer conexão, certifique-se de que todos os componentes da unidade estejam desligados.
- Para evitar danos à unidade, não conecte ou desconecte cabos enquanto a alimentação estiver ligada.

Exemplo de conexão (uso autônomo)

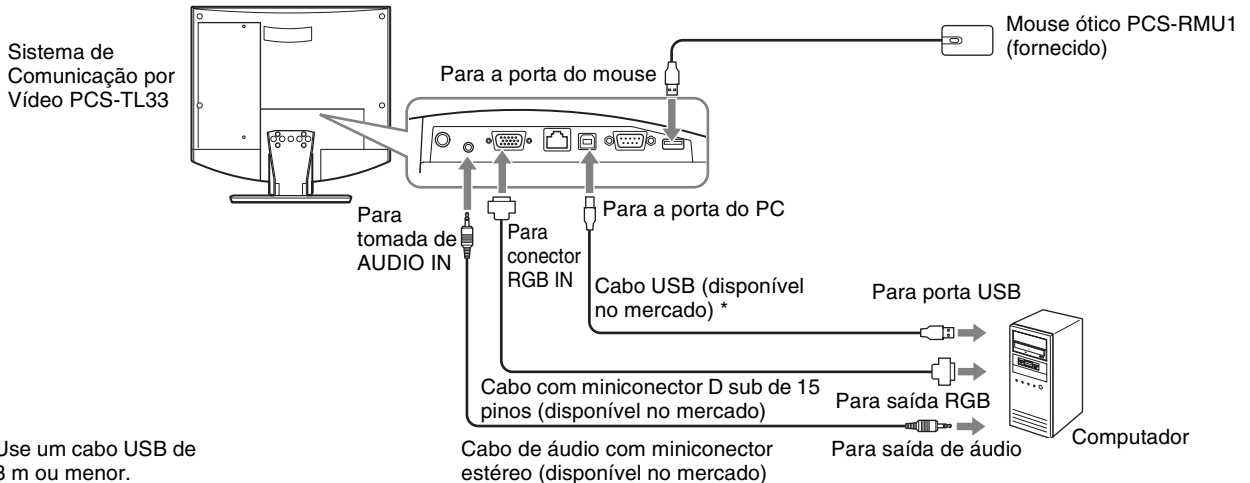
Faça as conexões na ordem **1 - 5**.



Exemplo de conexão para uso no computador (mouse separado)



Exemplo de conexão para uso no computador (mouse compartilhado)



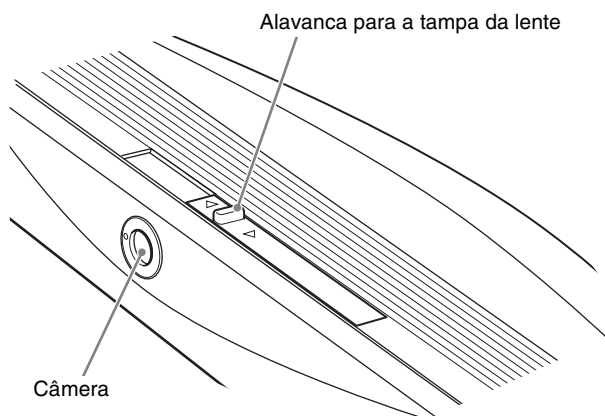
Ligando/Desligando o Sistema

Antes de ligar o sistema, verifique se as conexões foram concluídas corretamente.

As telas podem aparecer diferentes das que são exibidas aqui, dependendo do software.

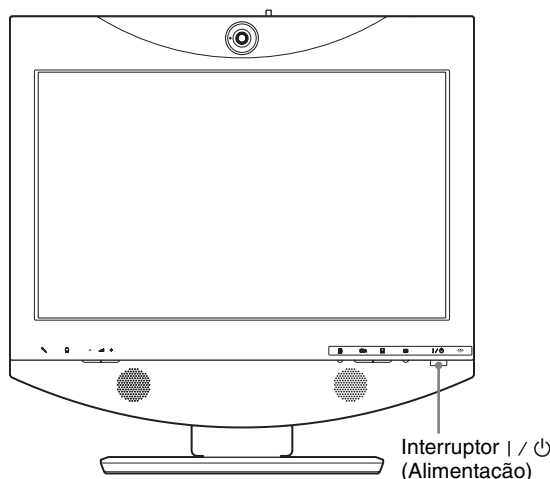
Abrindo a Tampa da lente

O sistema é equipado com uma tampa de lente para ocultar a câmera. Antes de iniciar uma videoconferência, abra a tampa da lente deslocando para a direita a alavanca para a tampa da lente da câmera na parte superior do sistema. Se ela estiver fechada, a imagem do ambiente local não será vista no local remoto.



Ligando o sistema

Pressione o interruptor (Alimentação) para ligar o PCS-TL33.

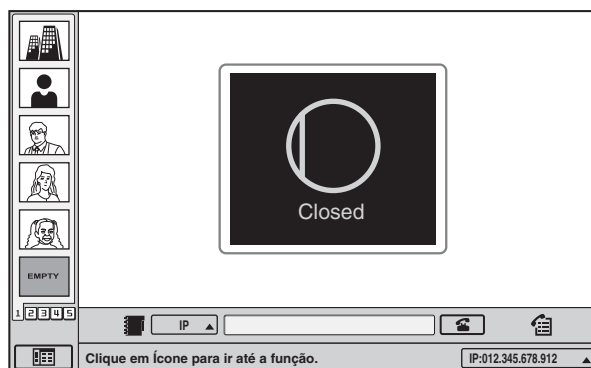


O indicador do interruptor laranja acende e o Sistema de Comunicação por Vídeo é ligado. Quando o sistema está completamente ligado, o indicador acende com a luz verde. O menu do ativador aparece na tela e a imagem capturada pela câmera local também aparece.

Menu do Ativador



Quando a tampa da lente está fechada, o menu do ativador aparece assim:



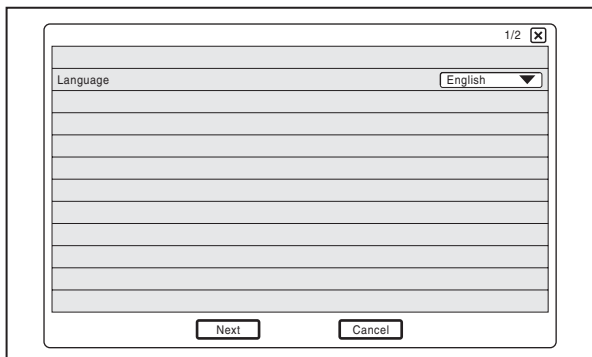
Notas

- Quando o interruptor de alimentação é ligado pela primeira vez após o cabo de alimentação ser conectado à tomada de parede, pode demorar até dez segundos para que o indicador do interruptor se acenda.
- Quando você ligar o Sistema de Comunicação por Vídeo pela primeira vez após a instalação, o assistente de configuração aparecerá. Configure o seu sistema seguindo o assistente.

Assistente de configuração inicial

Os itens de configuração podem ser diferentes dependendo do software.

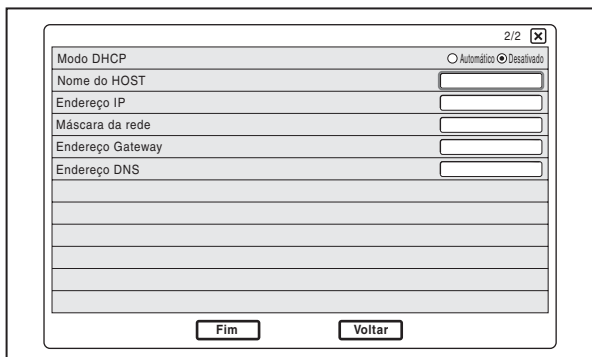
- 1 Selecione o idioma usado para menus e mensagens na lista suspensa “Language”.



- 2 Clique em “Next”.
- 3 Faça as configurações de LAN necessárias.

Nota

Os exemplos a seguir pressupõem que Português seja selecionado como o idioma de exibição.



Modo DHCP: Ajusta o DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol).

Automático: Atribui automaticamente o endereço IP, a máscara de sub-rede, o endereço gateway e o endereço DNS.

Desativado: Desativa o DHCP. Neste caso, você deve ajustar o endereço IP, a máscara de sub-rede, o endereço gateway e o endereço DNS manualmente.

Nome do Host: Introduza o nome do host.

Endereço IP: Introduza o endereço IP.

Máscara da rede: Introduza a máscara de sub-rede.

Endereço Gateway: Introduza o endereço gateway padrão.

Endereço DNS: Introduza o endereço do servidor DNS (Domain Name System).

Se você não tem conhecimento dos ajustes necessários para a configuração LAN, entre em contato com o administrador da rede.

- 4 Clique em “Fim”.

Os ajustes são guardados.

Desligando o sistema

- 1 Pressione o interruptor $\mid / \cup$ (Alimentação) duas vezes.

Após pressionar uma vez o interruptor, a mensagem “Para entrar no modo de espera, espere 5 segundos. Para desligar, pressione o interruptor liga/desliga novamente.” aparece. Pressione o interruptor de alimentação novamente.

- 2 Desligue o outro equipamento usado para a videoconferência.

Notas

- Desligue o sistema quando ele não for utilizado durante um período longo. Quando a alimentação estiver desligada, você não receberá chamadas de locais remotos.
- Ao usar o sistema como uma tela de computador no modo PC, o sistema é desligado pressionando-se uma vez o interruptor de alimentação.
- Durante uma conferência, o interruptor de alimentação não funciona.

Ajustando o Sistema de Comunicação por Vídeo para o Modo de espera

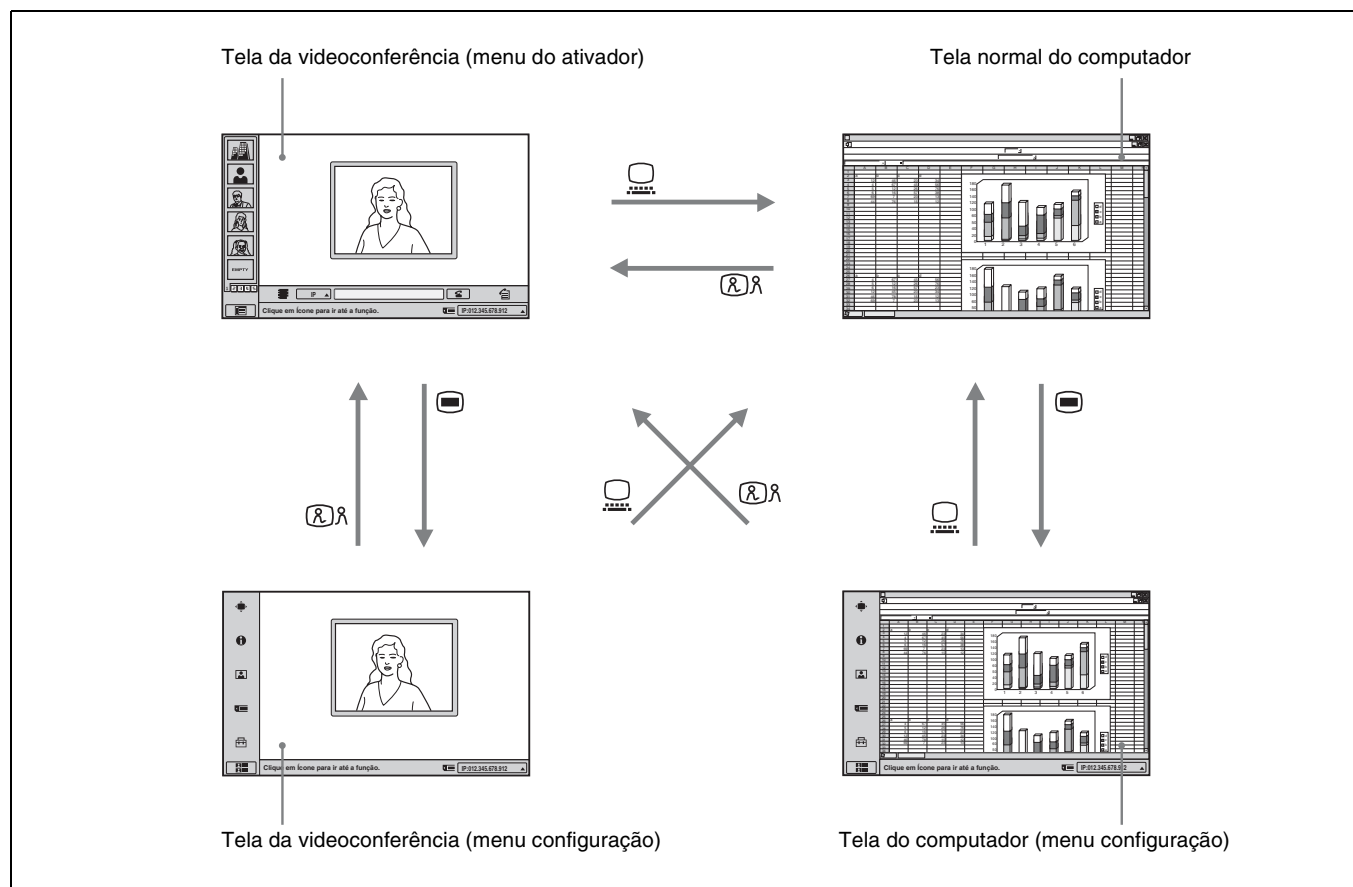
Quando você pressiona o interruptor $\mid / \cup$ (Alimentação) no PCS-TL33, a mensagem “Para entrar no modo de espera, espere 5 segundos. Para desligar, pressione o interruptor liga/desliga novamente.” aparece na tela. Enquanto você simplesmente aguarda esta condição, o sistema entra no modo de espera.

Você pode receber chamadas de locais remotos em modo de espera.

Para retornar ao modo normal do modo de espera, pressione o interruptor de alimentação uma vez.

Alternando entre a tela da videoconferência e a do computador

Você pode usar o botão  (Menu), o botão  (PC) e o botão  (Videoconferência) na parte inferior direita da unidade alternar entre a tela da videoconferência e a do computador.



Notas

- Quando o PCS-TL33 não está conectado ao computador, pressionar o botão  (PC) para alternar para a tela do computador desativará o mouse.
- Se uma imagem secundária for exibida durante a sessão de comunicação, esta imagem também ficará visível quando você alternar para a tela do computador. Entretanto, o vídeo exibido na imagem secundária será tanto do sistema remoto quanto do sistema local.
- Quando estão sendo usados mouses separados para o PCS-TL33 e para o computador, o mouse que estiver ativo dependerá da tela utilizada no momento. Enquanto a tela normal do computador é exibida, o mouse conectado a ele fica ativado. Quando outras telas são exibidas, o mouse conectado ao PCS-TL33 fica ativado.

Ajustando a altura da tela

O suporte e a seção da tela do PCS-TL33 são fixos um no outro com parafusos de aperto. Há três conjuntos de orifícios de parafusos, com espaço de 25 mm entre eles. No padrão de fábrica, a tela fica fixada na posição mais baixa. Se você escolher um conjunto diferente de orifícios para parafusos, poderá alterar a altura da tela.

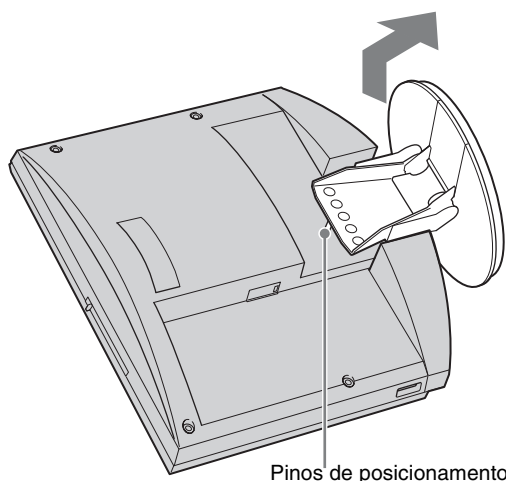
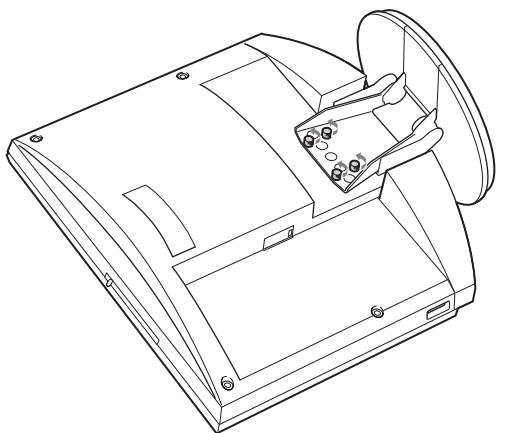
- 1 Remova a tampa traseira da unidade.

Para obter mais informações sobre este processo, consulte página 121.

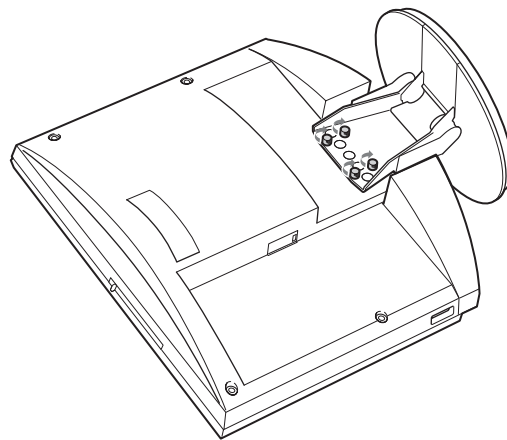
- 2 Remova os 4 parafusos usando uma moeda ou um objeto semelhante, levante o suporte e insira o pino de posicionamento no orifício para ajustar a posição desejada.

Nota

Antes de alterar a altura da tela como descrito acima, certifique-se de que a unidade esteja desligada. Coloque a tela com a face para baixo apoiada em um pano macio ou similar.



- 3 Aperte os 4 parafusos usando uma moeda ou um objeto semelhante para fixar o suporte.



- 4 Instale a tampa traseira novamente.

Precauções

Local de operação ou armazenamento

Evite operar ou armazenar o sistema nos locais com as características a seguir:

- Muito quentes ou muito frios
- Úmidos ou empoeirados
- Expostos a forte vibração
- Próximos a fontes de forte magnetismo
- Próximos a fontes de forte radiação eletromagnética, como transmissores de TV ou rádio
- Locais barulhentos

Tela LCD

Notas sobre o uso

- Não exponha a superfície da tela LCD à luz solar. Tal exposição pode danificar a superfície da tela.
- Não empurre ou arranhe a tela LCD nem coloque objetos sobre o sistema. A imagem pode tornar-se irregular ou o painel LCD pode ser danificado.
- Se o sistema for utilizado em um local frio, pode ocorrer uma mancha na imagem ou ela pode tornar-se escura. Isso não indica uma falha. Esses fenômenos melhoram quando a temperatura aumenta.
- Pode ocorrer o efeito “fantasma” quando imagens estáticas são exibidas continuamente. Esse efeito pode desaparecer em pouco tempo.

- A tela e o gabinete se aquecem quando o sistema está sendo utilizado. Isso não representa um mal funcionamento.

Pixels de exibição

Embora o painel do visor LCD seja feito com tecnologia de alta precisão e possua uma proporção de elemento de imagem eficaz de mais de 99,99%, podem aparecer na tela pontos pretos (pixels mortos) ou os pixels podem ficar permanentemente acesos (vermelho, azul, verde etc.) ou apagados. A aparência de pixels mortos após longos períodos de uso é comum nos painéis de exibição LCD. Observe que essas exibições não representam problemas no funcionamento.

Fenômenos específicos dos sensores CMOS

Os seguintes fenômenos podem ocorrer nas imagens específicas dos sensores CMOS (semicondutor de óxido metal complementar). Isso não indica defeito.

Manchas brancas

Embora os sensores CMOS sejam produzidos com tecnologia de alta precisão, manchas brancas finas podem ser geradas na tela, raramente, causadas por raios cósmicos etc.

Isso se deve aos preceitos dos sensores CMOS e não é um defeito.

As manchas brancas tendem, principalmente, a ocorrer nestes casos:

- ao operar em alta temperatura ambiente
- ao elevar o aprimoramento (sensibilidade)

Graduação gráfica

Quando padrões finos, tiras ou linhas são filmados, podem aparecer com efeito serrilhado ou tremido.

Observação sobre feixes de laser

Feixes de laser podem danificar um sensor CMOS. Você deve ter cuidado para não expor a superfície de um sensor CMOS à radiação de feixes de laser em um ambiente onde é utilizado um dispositivo que emite feixes de laser.

Alto-falantes embutidos

Os alto-falantes geram magnetismo. Para evitar danos aos dados, mantenha fitas e discos magnéticos afastados dos alto-falantes.

Limpeza

- Antes de limpar, desconecte o cabo de alimentação da tomada de AC.
- A superfície da tela LCD é revestida com cobertura especial. Para remover a poeira da superfície da tela, passe cuidadosamente um pano macio e seco.
- Não use solventes voláteis, como álcool, benzina ou thinners, pois eles podem danificar os acabamentos das superfícies.
- Ao usar pano de limpeza químico, observe as instruções que o acompanham.
- Não use solventes voláteis, como inseticida, na tela nem deixe que objetos de borracha ou de plástico toquem a tela por muito tempo, pois podem danificar o acabamento da superfície.

Características técnicas

PCS-TL33 Sistema de Comunicação por Vídeo

Esta unidade é compatível com as Recomendações ITU-T H.323 e IETF SIP.

Imagem com movimento

Largura de banda operacional

64 kbps a 2048 kbps

Codificação H.261/H.263/H.263+/H.263++/H.264/SIF (Recomendação ITU-T)

Perfil Simples MPEG4

Resolução CIF: 352 pixels × 288 linhas
QCIF: 176 pixels × 144 linhas

Imagem estática

Pixels 704 pixels × 576 linhas

Codificação Anexo H.261 (Recomendação ITU-T). D (4CIF)

H.263 (formato especial deste sistema)

Som

Largura de banda

14 kHz (Áudio MPEG4)

7 kHz (G.722 compatível com a Recomendação ITU-T)

3,4 kHz (G.711/G.728/G.729 compatível com a Recomendação ITU-T)

Velocidade de transmissão

64 kbps, 96 kbps (Áudio MPEG4)

56 kbps, 64 kbps (G.711 compatível com a Recomendação ITU-T)

48 kbps, 56 kbps, 64 kbps (G.722 compatível com a Recomendação ITU-T)

16 kbps (G.728 compatível com a Recomendação ITU-T)
8 kbps (G.729 compatível com a Recomendação ITU-T)

Rede

Multiplexação Vídeo, áudio, dados
Formato do quadro H.225.0 (compatível com a Recomendação ITU-T)
Interface LAN (100BASE-TX/10BASE-T)
Protocolo LAN compatível
HTTP
FTP
Telnet
RTP/RTCP
TCP/UDP
SNMP

Controle remoto

Controle da câmera remota
H.281 (compatível com a Recomendação ITU-T)

Câmera

Dispositivo de imagem
1/3,8 polegadas colorida CMOS
Contagem total de pixels:
cerca de 1,33 milhões
Contagem efetiva de pixels:
cerca de 1,28 milhões
Lente $f = 2,1$ mm
 $F = 1:2,4$
Ângulo horizontal: Aprox. 87°
Ângulo vertical: Aprox. 71°
Distância focal 300 mm
Função Pan/tilt/zoom (girar/inclinar/zoom)
Por processo digital
Função de Equilíbrio Automático de Branco embutida
Função de Exposição Automática embutida
Velocidade de quadro
Auto (alternados automaticamente para acompanhar a iluminação ambiente)/
30/15 fps

Exibição

Tamanho Tela plana de 17,1 polegadas (área de visibilidade medida na diagonal)
Resolução 1280 × 768 (WXGA)
Iluminação máxima da tela
 410 cd/m^2
Tempo de resposta
13 ms
Proporção de contraste
600 : 1
Ângulo de visão
176 graus
Número de cores
16.700.000 cores

Visualização

PinP 4 cantos
PandP Duas/Três janelas
Side-by-side Duas janelas
Entrada Interna: Comunicação por Vídeo
RGB externo: Imagem do computador
Modo de abertura
Normal, Zoom, Abertura
Modo RGB 640 × 480, 800 × 600, 1024 × 768, 1280 × 768 etc.
É possível a exibição de imagem com zoom.

Alto-falante

Alto-falante 3 W × 2

Microfone

Faixa de frequência
14 kHz
Característica direcional
Direcional com ângulo fechado

Geral

Requisitos de energia
19,5 V CC
Consumo de corrente
6,15 A
Temperatura de funcionamento
 5°C a 35°C
Umidade para o funcionamento
20% a 80%
Temperatura de armazenamento
 -20°C a $+60^\circ \text{C}$
Umidade para o armazenamento
20% a 80% (sem condensação)
Dimensões 424 × 376 × 95,5 mm (l/a/p)
($16 \frac{3}{4} \times 14 \frac{7}{8} \times 3 \frac{7}{8}$ polegadas)
(não incluindo o suporte)
424 × 419 × 258 mm (l/a/p)
($16 \frac{3}{4} \times 16 \frac{1}{2} \times 10 \frac{1}{4}$ polegadas)
(incluindo o suporte)
Peso Aprox. 8 kg
Acessórios fornecidos
Mouse ótico PCS-RMU1 (1)
Adaptador de CA VGP-AC19V15 (1)
Cabo de alimentação (1)
CD-ROM (1)
Guia de Início Rápido (1)
Garantia (1)

Adaptador de CA VGP-AC19V15

Requisitos de energia
100 a 240 V CA, 50/60 Hz, 1,6 a 0,7 A
Saída 19,5 V CC, 6,2 A
Temperatura de funcionamento
 5°C a 35°C
Umidade para o funcionamento
20% a 80%

Temperatura de armazenamento	-20 °C a +60 °C
Umidade para o armazenamento	20% a 80% (sem condensação)
Dimensões	155 × 67 × 36,5 mm (l/a/p) (6 ¹ / ₈ × 2 ³ / ₄ × 1 ⁷ / ₁₆ polegadas) (sem incluir as partes projetadas)
Peso	Aprox. 550 g

Microfone PCS-A1 (Opcional)

Largura de banda	13 kHz
Característica direcional	Multidirecional
Dimensões	74 × 16 × 93 mm (l/a/p) (3 × ²¹ / ₃₂ × 3 ³ / ₄ polegadas)
Peso	Aprox. 170 g
Alimentação	Alimentação interna
Comprimento do cabo	8 m

Microfone PCSA-A3 (Opcional)

Largura de banda	13 kHz
Característica direcional	Unidirecional
Dimensões	68 × 16 × 96 mm (l/a/p) (2 ³ / ₄ × ²¹ / ₃₂ × 3 ⁷ / ₈ polegadas)
Peso	Aprox. 200 g
Alimentação	Alimentação interna
Comprimento do cabo	8 m

Data Solution Module PCSA-DSM1 (Opcional)

Consumo de energia	20 W máx.
Temperatura de funcionamento	5 °C a 35 °C
Umidade para o funcionamento	20% a 80%
Temperatura de armazenamento	-20 °C a +60 °C
Umidade para o armazenamento	20% a 80% (sem condensação)
Dimensões	107 × 250 × 34 mm (l/a/p) (4 ¹ / ₄ × 9 ⁷ / ₈ × 1 ³ / ₈ polegadas) (sem incluir as partes projetadas)
Peso	Aprox. 550 g
Acessórios fornecidos	Guia de Início Rápido (1) Garantia (1)

Software PCSA-SP1 SIP (Opcional)

Acessórios fornecidos	Selo com Número de Série (1) Instruções de Operação (1)
-----------------------	--

Projeto e características técnicas sujeitas a alteração sem prévia notificação.

Este produto utiliza fontes Ricoh bitmap produzidas e fabricadas pela Ricoh Co., Ltd.

Nota

Verifique sempre se a unidade está a funcionar correctamente antes de a usar. A SONY NÃO SE RESPONSABILIZA POR DANOS DE QUALQUER TIPO, INCLUINDO, MAS NÃO LIMITADOS A, COMPENSAÇÃO OU REEMBOLSO DEVIDO A PERDA DE LUCROS ACTUAIS OU FUTUROS NO DECORRER DE AVARIA DESTA UNIDADE, QUER DURANTE O PERÍODO DE GARANTIA QUER APÓS A EXPIRAÇÃO DA GARANTIA OU POR QUALQUER OUTRA RAZÃO.

Sinais de Entrada/Saída RGB Aceitáveis

Resolução	Formato do sinal	fH (kHz)	fV (Hz)	Dot clock (MHz) (Frequência de pontos)	Sincronismo
640 × 480	Modo VGA	31,469	59,94	25,17	H-neg V-neg
	Macintosh 13"	35	66,667	30,24	H-neg V-neg
	VGA VESA 72 Hz	37,861	72,809	31,5	H-neg V-neg
	VGA VESA 75 Hz	37,5	75	31,5	H-neg V-neg
	VGA VESA 85 Hz	43,269	85,008	36	H-neg V-neg
800 × 600	SVGA VESA 56 Hz	35,156	56,25	36	H-pos V-pos
	SVGA VESA 60 Hz	37,879	60,317	40	H-pos V-pos
	SVGA VESA 72 Hz	48,077	72,188	50	H-pos V-pos
	SVGA VESA 75 Hz	46,875	75	49,5	H-pos V-pos
	SVGA VESA 85 Hz	53,674	85,061	56,25	H-pos V-pos
1024 × 768	XGA VESA 60 Hz	48,363	60,004	65	H-neg V-neg
	XGA VESA 70 Hz	56,476	70,069	75	H-neg V-neg
	XGA VESA 75 Hz	60,023	75,029	78,75	H-pos V-pos
1280 × 768	WXGA VESA 60 Hz*	47,693	59,992	80,12	H-neg V-pos

* A transmissão não pode ser efetuada pelo Data Solution Module PCSA-DSM1.

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.net/>

Sony Corporation